



# ExaPad マニュアル

Copyright © 2017 BroadLeaf Co. Ltd. All rights reserved.

# Table of Contents

Part I	はじめに	5
1	製品概要	8
Part II	主な使い方 (ユーザー・チュートリアル)	11
1	ログインする	12
2	ファイルを見る	12
3	ファイルを探す	19
4	ファイルを追加する	22
5	ファイルの編集	30
6	複数ファイル操作	33
7	ファイルのプロパティ	36
8	ファイルを直接開く (オプション)	40
9	多言語対応について	42
Part III	システム管理者リファレンス	43
1	導入作業	44
	インストーラーの実行	44
	インストールされるサービス	45
	システム初期設定	45
	システム設定画面アクセスの許可	45
	ユーザー認証方法の設定	47
	ライセンスの適用	52
	ドキュメントルートフォルダの設定	56
	リモートコンピューターの共有フォルダを公開する	60
	サービス実行ユーザーの設定	61
	ログ出力の設定	63
	パフォーマンスチューニング	64
	インデックス構築処理の高速化	65
	ヒープメモリ割り当てを増やす	66
	プレビュー作成設定	68
	動画プレビュー作成	74
	インデックス構築	77
	定期実行タスクの設定	81
	管理者パスワードの設定	84
2	導入時の留意事項	86
	インストールできない	86
	Fb3Indexer サービスの起動に失敗する	88
	Fb3Indexer サービスの回復	89
	ポート番号をずらすには?	91
	シャットダウン・スクリプトの登録	93
	検索インデックス設定	95
	インデックス除外設定	98
	テキスト抽出エンジンIFilterの使用について	101
	排他的ロックへの対応	103

フォルダアクセスのセキュリティ .....	104
ExaPadのセキュリティ設定 .....	108
詳細環境設定 .....	114
ロードバランサーや、プロキシサーバーを使用する場合 .....	115
IPv6接続を有効にする .....	116
3 導入後の運用について .....	117
サービスの実行と停止 .....	118
作業ファイルの再配置 .....	119
検索インデックスの設定変更 .....	120
運用ログについて .....	122
アクセスログの読み方 .....	123
(旧)アクセスログの読み方 .....	128
インデックス再構築 .....	133
Part IV あれっ?と思ったら .....	139
1 ログインできない .....	140
ローカルログオンを許可する .....	142
LANのPCからログインできない .....	147
2 フォルダが「存在しません」と表示される .....	150
3 検索にヒットしない・ヒットしすぎる .....	151
4 検索できなくなった .....	152
5 プレビューが見えない .....	153
プレビューが作成されない .....	155
Part V こんな機能もあります .....	157
1 メニューや機能のカスタマイズ .....	158
ファイル一覧でのクリック動作 .....	159
拡張プロパティ .....	162
タグの設定 .....	165
2 画面カスタマイズ .....	169
ヘッダーのカスタマイズ .....	171
フッターのカスタマイズ .....	172
iPhone/iPadのホーム画面用アイコンなど .....	172
直接ファイルオープンツール インストール画面 .....	173
その他カスタマイズ .....	175
3 直接ファイルオープン .....	176
4 ポータルオプション .....	180
5 プレビューの大きさを変更する .....	183
6 もしかして検索 .....	185
7 ACLサーチ(アクセス権高度検索)の適用 .....	186
8 検索ファイルタイプの追加 .....	187
9 *.dat, *.bin, *.hogeファイルをテキストファイルとして扱う .....	189
10 セッションタイムアウト時間の変更(ブラウザ再起動時に自動でログイ ンする) .....	191
11 アクセスログ集計(オプション) .....	191
12 Windowsのショートカットファイルへの対応 .....	197
13 パスワードオートコンプリートの有効化、無効化 .....	198

14	CADファイルのプレビュー（オプション）	199
15	統合Windows認証	201
16	SSL設定	209
	自己署名証明書の作成	214
17	ファイル一覧の並び順を固定する	216
18	デフォルトの表示形式を変更する	217
Part VI 仕様		219
1	動作環境	220
	推奨ハード構成	222
2	全文検索対応形式	223
3	画像プレビュー対応フォーマット	225
4	データ領域とバックアップ対象	228
Part VII バージョンアップに関する重要な情報		230
1	バージョンアップに関する注意事項	231
2	追加・変更された機能一覧	233
3	Ver.3.3.2 - プレビュー作成設定の仕様変更	242
4	Ver.3.2.2 - 新UIの実装と仕様変更	245
5	Ver.3.2.1.0 - PHPの利用廃止	246
6	Ver.3.1.8.0 - Solr3.6への自動バージョンアップ	247
7	Ver.3.1.7.4 - Apache2.2への自動バージョンアップ	248
8	Ver3.3.3.34 - Apache2.2.27(IPv6対応版)への自動バージョンアップ	249
9	Ver3.4.0 - 旧UIの廃止と仕様変更	249
10	Ver3.4.1.1 - Windows XP, 2003のサポート終了と仕様変更	251
11	Ver3.5.0 - パス形式の変更	252
12	Ver3.5.1.1 - アクティベーション(ライセンス認証)が必要になりました	255
13	Ver3.6.0.1 - 管理ツールのWeb化、 ドキュメントルートエイリアスの省略禁止、 トップフォルダの表示	255
14	Ver3.7.0 - ユーザ・インターフェース（UI）を刷新して使い勝手をより良くしました	258
15	Ver3.8.0 - WebサーバーがApache HTTP Serverからアプリケーションサーバー一体の独自Webサーバへ変更 されます	262



**Part**



## 1 はじめに

このたびは、ExaPadをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

本マニュアルは、ExaPadの使い方とシステム管理者向けの解説の、主に2つの章で構成されています。

ご不明な点や、ご質問などがございましたら、弊社サポートまでご連絡ください。

### 本マニュアルについて

#### ExaPadを利用される方

- ExaPadは、シンプルなインターフェイスで構成されており、すぐに使い始めることができます。
- ご使用前に「主な使い方」の章をご覧くださいと、ExaPad機能を十分に活用できるようになります。
- システム管理者の設定によって、一部の機能が制限されていることがあります。

#### ExaPadを導入・管理される方

- ExaPadのセットアップや、利用を始める前に、「システム管理者リファレンス」の章を必ずお読みください。
- 複雑な導入作業は必要としませんが、適切に設定されていないと、期待する動作ができない場合があります。

#### おことわり

本マニュアルはバージョンアップに伴う仕様変更や、記述の訂正・改善を反映するために、予告なく変更されることがあります。

### 商標について

- Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Internet Explorer、Active Directory、ActiveX、NET Framework、IISは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Access、Excel、Word、PowerPoint、Outlook、Visioは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentium、Celeron、Xeonは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- iPhone、iPad、iPod touch、iBooksは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Mac、Macintosh、Safari、iOS は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iOS商標は、米国Cisco社のライセンスに基づき使用されています。
- Google chrome、Androidは、Google Inc. の登録商標です。
- Firefoxは、Mozilla Foundationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Apache、Apache Solr、Tomcat、Jettyは、Apache Software Foundationの商標または登録商標です。
- Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Acrobat およびAdobe Reader はAdobe Systems Incorporated の、米国およびその他の国における商標または登録商標です。

す。

- Illustrator、Photoshop および InDesign は、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- OpenOffice.org は、米国 Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- DocuWorksは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- AutoCAD は、米国および/またはその他の国々における Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。
- 3Dオフィスデザイナー、3Dマイホームデザイナーは、メガソフト株式会社の商品名称です。
- 1-2-3はLotus Development Corporationの登録商標です。
- 松、新松は、(株)管理工学研究所の商品名称です。
- OASYSは、富士通株式会社の商標です。
- 一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- その他、本文中に使われている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

## マニュアル改訂履歴

- 2017/01/26 Ver.3.8.0.2リリースに伴う改訂
  - Ver3.8.0 - WebサーバーがApache HTTP Serverからアプリケーションサーバー一体の独自Webサーバへ変更されます の追加
  - SSL設定 の修正
  - システム管理者 リファレンス ポート番号をずらすには? の修正
  - こんな機能もあります デフォルトの表示形式を変更する を追加
  - システム管理者 リファレンス インデックス除外設定 に追記
  - システム管理者 リファレンス IPv6接続を有効にする を追加
- 2016/11/17 Ver.3.7.0.12リリースに伴う改訂
  - 新UI導入にともない画面キャプチャーの張替え
  - 全文検索対応形式にmd(Markdown) ファイルを追加
  - メニューや機能のカスタマイズ タグの設定 の追記
  - 画面カスタマイズ ファイルの一覧の並び順を固定する の追記
- 2016/07/07 Ver.3.6.0.1リリースに伴う改訂
  - Ver3.6.0.1 - 管理ツールのWeb化、トキュメントレイアウトエリアの省略禁止、トップフォルダの表示 の追記
  - 環境設定をWebブラウザから変更できるようになったので文言の修正と画像を張り替えました
  - ファイルを追加する にドラッグ&ドロップによるアップロード方法を追記しました
  - インストーラーの実行 の初期化ウィザードの説明を削除しました
- 2016/02/29 Ver.3.5.1.1リリースに伴う改訂
  - Ver3.5.1.1 - アクティベーション(ライセンス認証)が必要になりました の追記
  - 管理ツール SSL設定において、自己署名証明書の作成方法と既存秘密鍵のインポート方法 の追記
  - 直接ファイルオープンツール インストール画面 のカスタマイズ方法 の追記
  - ポータルオプション トキュメントレイアウト以外に配置する方法 の追記
  - Windows8.0, Internet Explorer8 がサポート対象外になりました。Microsoft Edgeがサポート対象になりました
  - 管理ツールで管理者パスワードの初期化ができるようになりました
  - 操作画面に変更 (ファイルパスを一番上に表示するようになった) があったので、画像を張り替えました
- 2015/11/26 Ver.3.5.0.7リリースに伴う改訂
  - 「ロードバランサーや、プロキシサーバーを使用する場合」を追記
- 2015/05/01 Ver.3.4.0 リリースに伴う改訂

- 旧UI廃止
- アクセスログのパス形式の変更
- 2014/08/28 Ver.3.3.3 リリースに伴う改訂
  - OWA対応
  - 初期導入ウィザード追加
  - Apache2.2.27(IPV6対応版)
- 2014/04/03 Ver.3.3.2 リリースに伴う改訂
  - [プレビュー作成設定](#)の仕様変更に伴い、操作方法が変更になりました。
  - [プレビュー閲覧画面](#)のビューアーが新しくなりました。
- 2013/12/20 Ver.3.3.0 リリースに伴う改訂
  - 主に管理ツールの仕様変更に伴う操作方法の変更など
- 2013/09/12 マニュアルの構成・内容を一部変更・追記しました。
  - [バージョンアップに関する重要な情報](#)の項にバージョンアップに関する情報を集約しました。
  - [動作環境・推奨ハード構成](#)の項目を、[仕様](#)の項に統合しました。
  - [定期実行タスクの登録の項目](#)に、[バッチ](#)の説明を追記しました。
- 2013/08/30 Ver.3.2.6 リリースに伴う改訂
  - [フォルダ](#)を除外した検索機能の追加、検索インデックス登録時の「登録済チェックをスキップする」の非表示など
- 2013/08/08 Ver.3.2.5 リリース
  - [パスワードオートコンプリートの有効化、無効化](#)（追加された機能）
  - [追加・変更された機能](#)（ページ追加）
- 2013/07/24 [検索にヒットしない・ヒットしすぎる](#)（訂正）
  - ファイル名検索「文字列長2～15のNグラム方式」「文字列長1～15のNグラム方式」
- 2013/07/17 ExaPadの[セキュリティ設定](#)について、説明を分かりやすくするため追記。
- 2013/07/04 [画像プレビュー対応フォーマット](#)から Open Document形式（ODT, ODS, ODP）を除外しました。
- 2013/06/28 Ver.3.2.4 リリースに伴う変更・追加
  - 主な使い方 > [ファイルを見る](#)  
マウスホイール操作でのプレビュー拡大・縮小（追記）
  - 主な使い方 > [複数ファイル操作](#)  
ファイル属性の一括編集機能（追加）  
右クリックメニューからの複数ファイル操作（改訂・追記）
- 2013/06/28 [Fb3Indexerサービスの回復](#)（改訂）
- 2013/04/09 Ver.3.2.2 新UI対応マニュアル（発行）

## 1.1 製品概要

### ExaPadについて

- ExaPadはサーバーアプリケーションです。
- Webブラウザを使用してファイルサーバーにアクセスできるようになります。
- Windowsエクスプローラーと同じような感覚で簡単に操作できます。
- ファイルのキーワード検索、検索範囲の指定・変更が簡単です。
- プレビューにより簡単にファイル内容を閲覧です。

## ExaPad の主な機能

Web アプリケーション機能	
ファイル一覧 フォルダー一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Web ブラウザでフォルダ階層をたどってファイルを一覧</li> <li>● ファイルをサムネイル（縮小版画像）で一覧</li> <li>● ファイル一覧のExcel ワークシート書き出し</li> </ul>
ファイル閲覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイルの内容をイメージや抜粋テキストでプレビュー表示</li> <li>● 複数ページのファイルはページ単位でプレビュー（PowerPoint文書など）</li> </ul>
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Windowsユーザー認証やWindows ファイルシステムのセキュリティに連動</li> <li>● 統合Windows認証 *1</li> </ul>
ダウンロード/ アップロード *2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規 ファイルのアップロード</li> <li>● 既存 ファイルのダウンロード</li> <li>● 新しいファイルをアップロードして既存ファイルの上書き</li> </ul>
ファイル/ フォルダ 操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規 フォルダを作成</li> <li>● テキストファイルの作成、編集</li> <li>● フォルダ/ファイルのコピー、移動、削除</li> </ul>
属性管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイル/フォルダに任意のテキストを書き込み</li> <li>● ファイルに任意のテキストを書き込み（追記型）</li> <li>● ファイルプロパティ（タイトル・表題・カテゴリ・キーワード・コメント）に任意のテキストを書き込み</li> </ul>
検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイル名検索、全文検索、属性検索</li> <li>● フォルダも検索対象</li> <li>● フォルダ階層を選択して検索範囲を自由に指定、変更</li> <li>● 更新日、ファイル種類を選択して絞り込み検索</li> </ul>

\*1 Internet Explorerでの利用が必須です。それ以外のWeb ブラウザではログイン認証が必要です。

\*2 モバイル端末などでは、端末の仕様によりアップロードできない場合やファイル種類に制限がある場合があります。

ファイル変更検出エンジン機能	
リアルタイム変更検出	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規に追加・更新された文書を即時に検出し、全文検索 インデックスおよびプレビュー画像を更新</li> </ul>
定期変更検出	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期的に全フォルダ 全 ファイルを巡回して、変更検出の漏れを補完</li> </ul>

## ExaPad使用上の注意

### 有効なファイル名について

- ExaPadはファイルやフォルダをWindowsのファイルシステムに保存しています。
- ExaPadのご使用にあたって、次の制限があります。
  - ファイル名、パス名の長さ制限はありません。
  - ただし長いファイル名（文字数259文字、文字帳512バイトを超えるファイルパス）を持つファイルの場合、全文検索、プレビュー、ファイル操作は可能ですが、プロパティ変更などの一部機能が制限されます。

# Part

---



## 2 主な使い方（ユーザー・チュートリアル）

この章では ExaPadの基本的な使い方を説明します。

### 2.1 ログインする

ExaPadを利用するには、ユーザー名とパスワードを入力してログイン認証を行う必要があります。

Windows OS に登録されているユーザー情報を利用するため、通常は新たなユーザー登録を行う必要はありません。

標準設定では、ExaPadをインストールしたサーバーに登録されているユーザーアカウントでログインできるようになっています。

#### ログインの方法

1. ExaPadのURLをブラウザのURL 欄に入力して、ログイン画面を開きます。  
http://<ホスト名>/ExaPad など システム管理者に確認してください。
2. Windows ユーザーアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。
3. 「ログイン」ボタンを選択すると、画面が切り替わります。

#### メニューを英語に切り替える

- ログイン時に画面下部に表示される「ExaPad in English」を選択すると、メニューの表示を英語に切り替えることができます。
- ログインした後に切り替える場合は、画面下部の「オプション」を選択して言語設定を変更してください。
- 英語（English）を選択して「設定する」を選択して完了です。

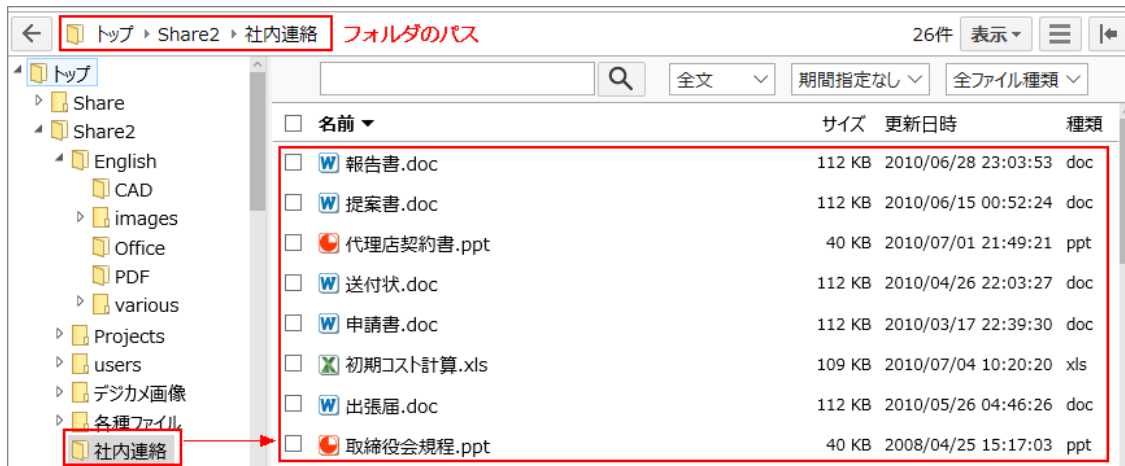


### 2.2 ファイルを見る

ExaPadでは、フォルダの階層をたどってファイルを一覧表示したり、プレビューしたりすることができます。



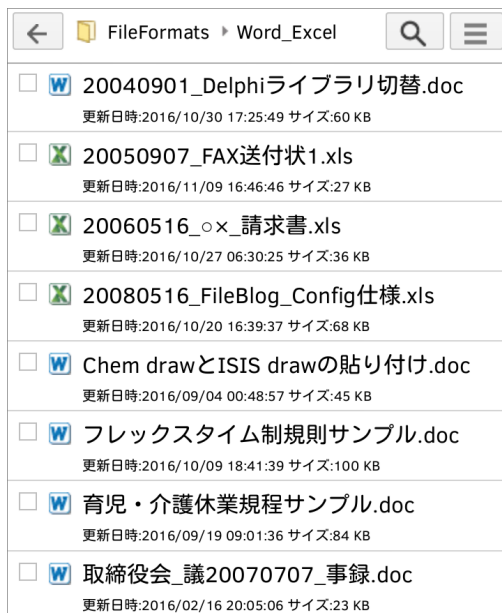
## 見たいフォルダに移動する



- PC画面では左側にフォルダのツリーが表示されています。右側には選択したフォルダの内容が表示されます。
- ページ上部にはフォルダのパスが表示されています。移動先を選択してクリックすると、そのフォルダの内容が表示されます。

### 〔モバイル端末での表示の場合〕

- モバイル端末は、Android OS の端末、iPhone が分類されます。（iPad はPC と同じ表示です。）
- モバイル画面ではPCの場合と画面構成は同一ですが、フォルダツリーは表示されず、フォルダの内容のみ表示されます。
- タッチパネルで操作しやすく、画面が見やすくなるようボタンの大きさや表記がPC版とは異なります。



## ファイルパスを直接入力して移動する

- Version3.5.1以降、ファイルパスの直接入力に対応しました。

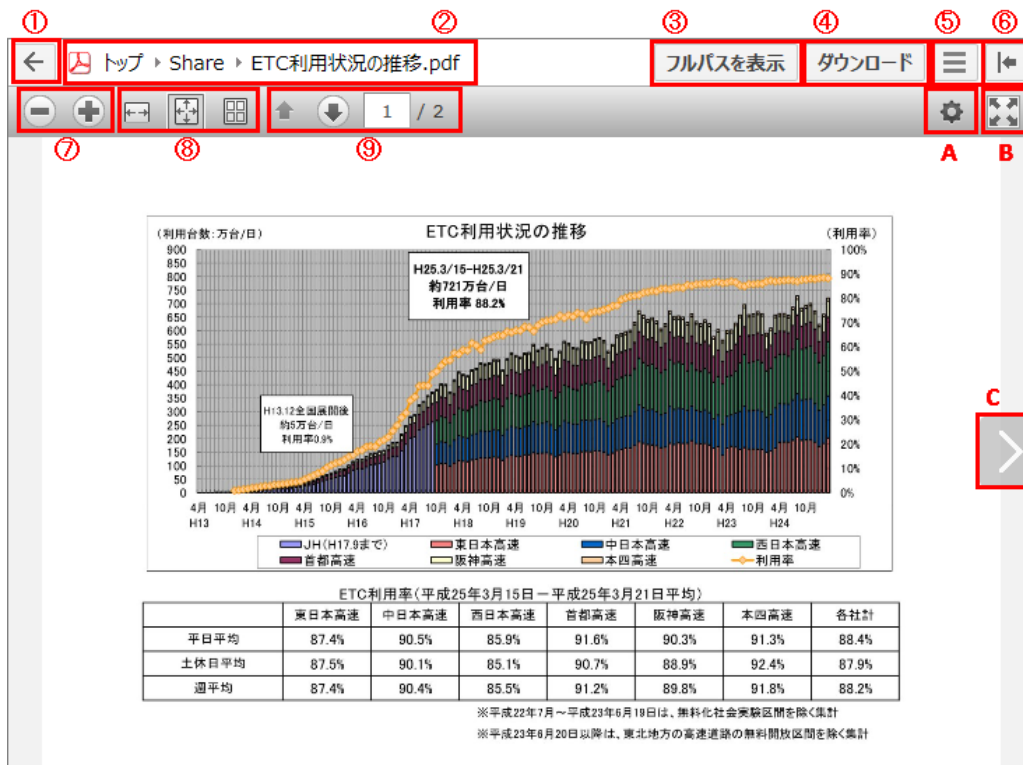
- 直接入力するには パスが表示されているパネルの空いた箇所をクリックしてください。
- iPad などのモバイル端末では直接入力できません。



## ファイルを閲覧

選択したフォルダの中からファイルをクリックすると 1 ページ目のプレビューが表示されます。

### 画像プレビュー



一覧に戻る: ひとつ上のフォルダ階層に移動します。

・ファイルを開いている場合はファイルのあるフォルダに移動します。

検索結果からファイルを開いた場合は、検索結果に戻ります。

プレッドクランプス: 選択したフォルダを開きます。

フルパス: ファイルパスを表示します。

ダウンロード: ファイルをダウンロードします。

操作メニュー: ファイル操作メニュー一覧が表示されます。

プロパティ: プロパティの表示 非表示を切り替えます。



サイドバー：サイドバーの表示・非表示を切り替えます。サムネール一覧や目次一覧を表示できます。

検索：キーワードでファイル内検索ができます。キーワードのハイライト表示、ジャンプができます。

ページ送り：上下ボタンでページを繰ることができます。ページ数を入力すると当該ページまでジャンプします。

A 拡大 縮小：PDF表示の拡大 縮小を行います。倍率を指定できます。

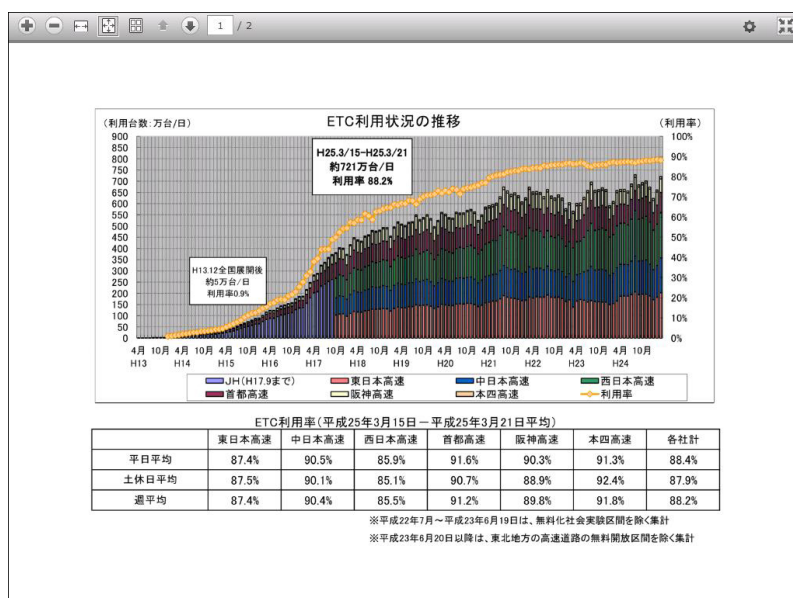
B 全画面表示：ファイルの内容を全画面で表示します。

C ツール：最初・最後のページにジャンプ、表示の回転などができます。

D ファイル送り：次のファイル、前のファイルを表示します

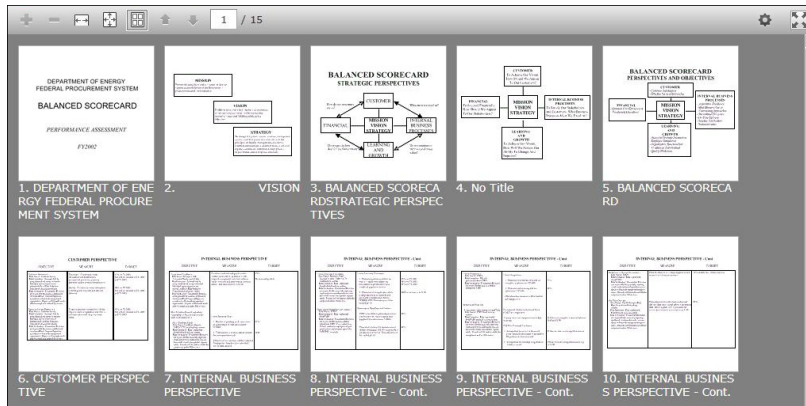
## 「全画面表示」

- 全画面「ボタン」を押すと画面いっぱいにプレビューを表示します。
- PCでの操作の場合、画面をダブルクリックすると、その位置を中心にプレビューが拡大されます。
- iPad等のタッチデバイスでは、ピンチイン・ピンチアウトでの拡大縮小ができます。



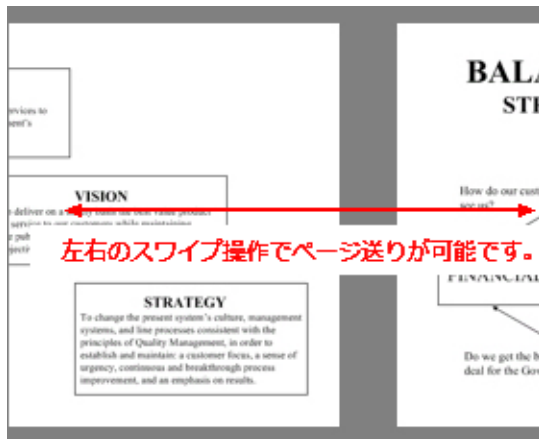
## 「サムネール一覧画面」

サムネール一覧画面では任意のページへジャンプすることが可能です。



### 「スワイプ操作によるページ移動」

iPadなどのタッチデバイスでは、画面を左右にスワイプする事で、ページ送りができます。



### 表示形式の切り替え

ExaPadではファイルやフォルダの表示のしかたを変更することができます。

### 「並び順の変更」

- ファイルの並び順を変更できます。
- ファイル名、更新日時、サイズ、種類の昇順、降順から選択します。
- 赤い枠で囲まれた部分を押すと、ファイルの並び順が変わります。押すごとに、昇順、降順が順番に変わります。



## 「表示形式の変更」

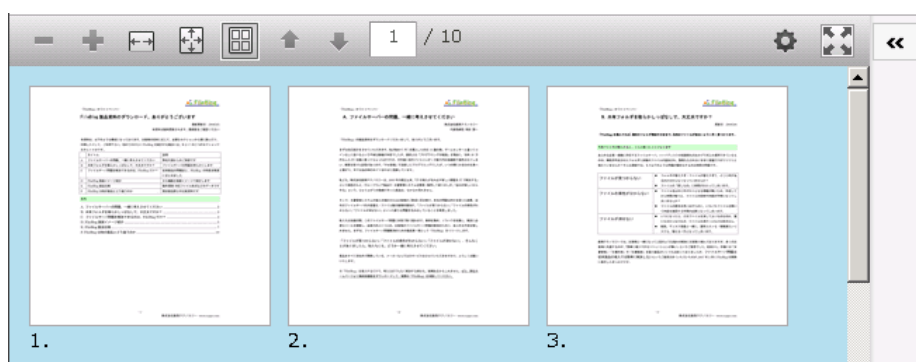
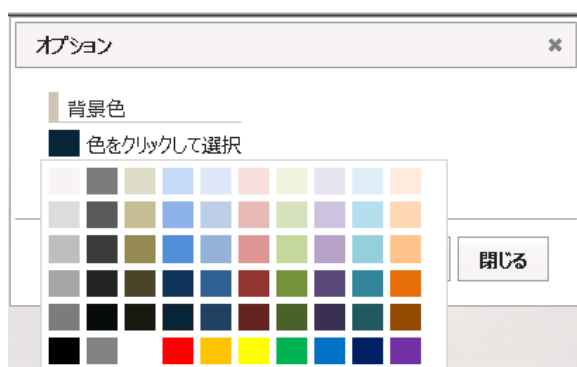
ファイル一覧の表示形式を変更できます。



- 一覧                      ファイル名、サイズ、更新日時、種類をリスト形式で表示します。
- 画像                      ファイルから抽出したサムネイルを表示します。サムネイルが作成されていない場合はアイコンで表示します。
- 画像(大)                  より大きなサイズのサムネイルを表示します。
- 詳細                      上記に加えて、ファイルから抽出したテキストがあれば表示します。
- フォルダツリー          左カラムのフォルダツリーの表示・非表示を操作できます。

## 「画面設定」

プレビュー画面の背景色を変更できます。



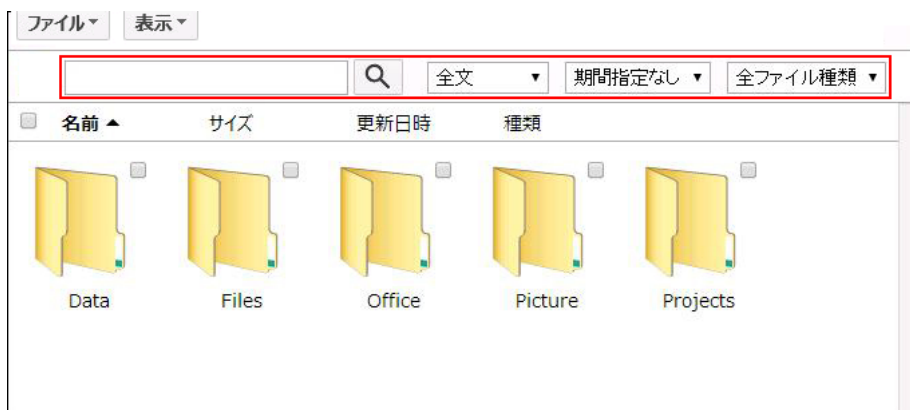
## 2.3 ファイルを探す

### 基本的な検索方法

ExaPadでは「全文検索」と「ファイル名検索」の2つの方法で検索することができます。

- 全文検索： ファイルとフォルダの名前、内容テキスト、概要・コメント、Office文書プロパティが検索対象です。
- ファイル名検索： ファイルとフォルダの名前が検索対象です。
  1. 検索したいフォルダに移動します。
  2. 検索したいキーワードと検索条件を指定して、検索ボタンを押します。
  3. 検索結果が表示されます。（全文検索の場合、表示を詳細表示にすると、検索された文字が強調表示されます。）
  4. 検索対象フォルダを変更する場合は、検索したいキーワードをクリアせずに別のフォルダに移動します。
  5. 検索を終えるには、検索ワードボックスの「x」を押して検索をクリアします。

### 「検索条件について」

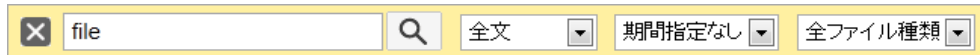


検索条件は入力フォームの右側のドロップダウンリストで選択します。

- 検索対象
  - 全文検索
  - ファイル名検索
  - プロパティ検索（検索対象を選択します： 概要・タイトル・表題・作成者・カテゴリ・キーワード・コメント）
- ファイル更新日時指定
  - 期間指定なし
  - 今日のみ
  - 3日以内
  - 1週間以内
  - 1カ月以内
  - 3カ月以内
  - 半年以内
  - 1年以内
  - 期間を指定（開始日と終了日を選択します）
- ファイル種類
  - 全ファイル種類
  - フォルダを除く
  - フォルダ
  - Word
  - Excel
  - PowerPoint
  - PDF
  - テキスト
  - 画像： JPEG, GIF, PNGが検索対象です。
  - HTML： HTML, HTM, THTML（メモ）が検索対象です。



### 「検索結果の表示」



- 検索結果の表示中は検索バーの背景色が変化します。
- この状態のままフォルダを移動すると、移動先のフォルダの検索を引き続き行うことができます。
- 検索を終了するには左側の「✕」を押して、検索条件をクリアします。

### 複数キーワードでの検索

#### • AND検索

複数のキーワードの間にスペース（空白）を挿入すると、複数キーワードを全て含む検索をすることができます。

[ キーワード1 ] [ スペース ] [ キーワード2 ] のように入力します。

例）発売日 決定」

#### • OR検索

複数のキーワードの間に、半角の|（縦線）もしくはbr」を挿入すると、複数キーワードのいずれかを含む検索をすることができます。

[ キーワード1 ] [ スペース ] [ | （半角縦線）または or ] [ スペース ] [ キーワード2 ] のように入力します。

例）横綱 | 大関」または 横綱 or 大関」

#### • NOT検索

特定のキーワードを含む検索結果を除外したい場合は、半角の「!」マークを除外したいキーワードの直前に付加します。

[ キーワード1 ] [ スペース ] [ ! （半角の感嘆符）または not ] [ スペース ] [ キーワード2 ] のように入力します。

例）野球 !大リーグ」または 野球 not 大リーグ」

### より高度な検索

#### ワイルドカード検索

ExaPadの全文検索では、半角文字列の部分一致では検索に反映されないようになっています。

（ファイル名検索では、半角文字列の部分一致を検索することができます。）

ワイルドカード検索を使うと、全文検索において、半角文字列の部分一致を検索することができます。

- [ \* ]
  - 任意の0文字以上にヒットします。
  - 「abc\*」で検索した場合、「abc」も検索されます。

- [ ? ]
  - 任意の1文字にヒットします。
  - 「abc?」で検索した場合、「abc」は検索されません。「abcd」にはヒットします。

❖ 例1

検索ワード: 「share\*」もしくは「share?」

share で始まるキーワードを検索します。

❖ 例2

検索ワード: 「\*file」もしくは「?file」

file で終わるキーワードを検索します。

❖ 例3

検索ワード: 「file\*.pdf」

file で始まり pdf で終わるキーワードを検索します。

## 2.4 ファイルを追加する

### ファイルの登録・アップロード

ExaPadには、フォルダにファイルを追加するためのアップロード機能があります。

ファイル追加にはアップロード機能の使用が必須ではなく Windowsエクスプローラーを使用してファイルを追加することもできます。

- 標準アップローダー

- どのブラウザでもプラグインを必要とせず動作します。
- 同一フォルダ内のファイルを複数選択して一括アップロードすることができます。
- フォルダのアップロードはできません。

- ドラッグ&ドロップ

- ファイルの一覧画面（Webブラウザ）にWindowsエクスプローラーやデスクトップから、複数ファイルをドラッグ&ドロップでアップロードできます。
- フォルダのアップロードはできません。
- PCのみ有効な機能で、モバイル端末では使用できません。
- HTML5 File.APIに対応したブラウザのみ対応しています。（Internet Explorer10以降、Google Chrome, Firefox）
- ファイルの上書き時には、上書きダイアログへドロップすることができます。

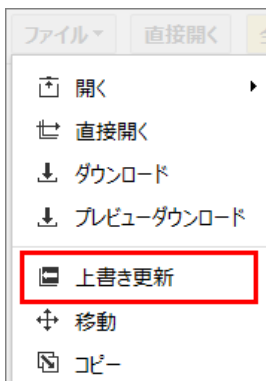
- Java アップローダー

- Java アプレットの実行環境が必要です。
- Windows エクスプローラーやデスクトップから、複数 ファイルやフォルダをドラッグ&ドロップでアップロードできます。
- サーバーの接続に、セキュリティサービスやリモートアクセスサービスなどをお使いの場合、Java アップローダーが使用できない場合があります。
- 最新のブラウザでは、Java アプレットがサポートされなくなり、Java アップローダーを使用できない場合があります。

## ファイルの上書き更新

ファイルアップロードによる既存ファイルの更新には「上書き更新」機能を使用してください。

ファイルメニュー > 上書き更新 で行います。

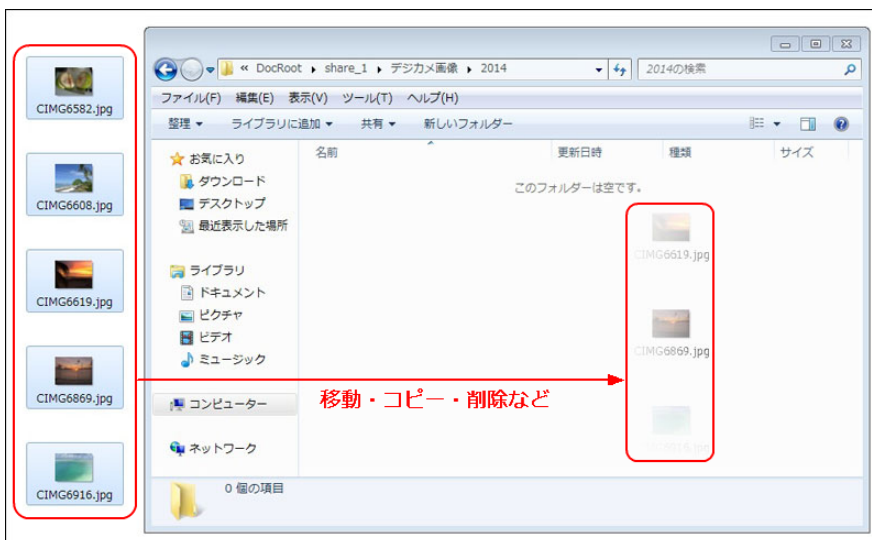


## エクスプローラーからファイルサーバーに直接アクセスする

ExaPadが公開しているフォルダは、Windows ファイルサーバーに実際に存在するフォルダです。

このフォルダに直接アクセスすることで、ファイルの追加・更新を行なうことができます。

直接ファイルサーバーに加えられた変更も ExaPad は自動的に検出してインデックスなどを更新します。



Windowsエクスプローラーで変更されたファイルは、ExaPadで操作した場合と全く同じように画面上で閲覧できるようになります。

ExaPadの画面を更新することによりに反映されます。ファイルの登録作業は不要です。



## ExaPadからアップロードする

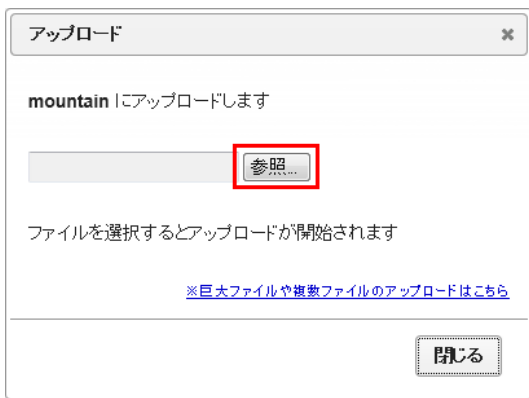
### 標準アップロード( PCの場合 )

標準アップロードでは、同一フォルダ内の複数ファイルを一括アップロードすることができます。

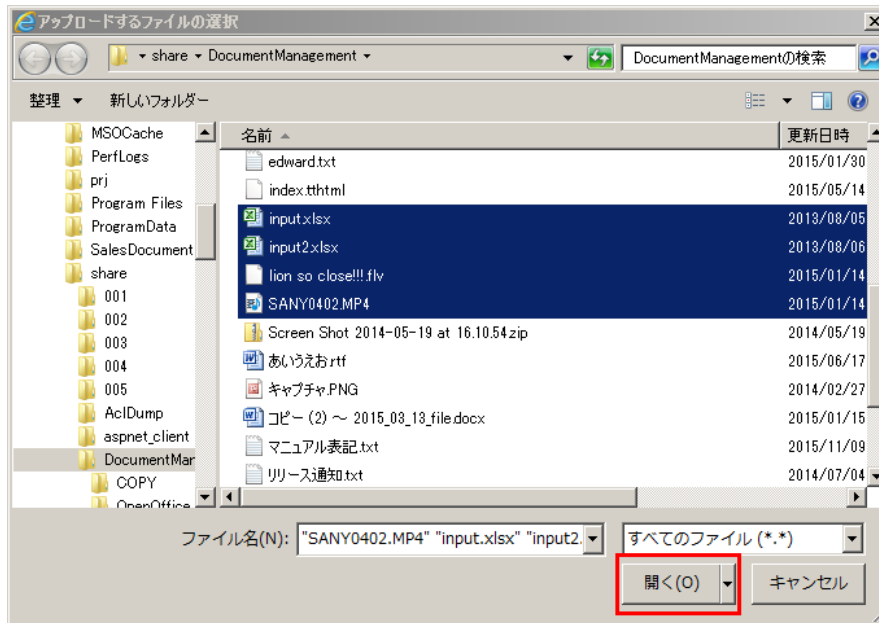
- ファイルをアップロードしないフォルダに移動し、操作メニューを開いてアップロードを選択します。  
( フォルダツリーやファイルのパスを右クリックしても選択できます。 )



- ダイアログボックスが開きます。



- 参照を押すとエクスプローラーが開きます。



- アップロードするファイルを選択してください。開くをクリックするとアップロードが始まります。
- 続けてアップロードする場合はダイアログボックスの指示にしたがってください。
- アップロードが終わったらダイアログボックスを閉じます。

### モバイル端末からのアップロード

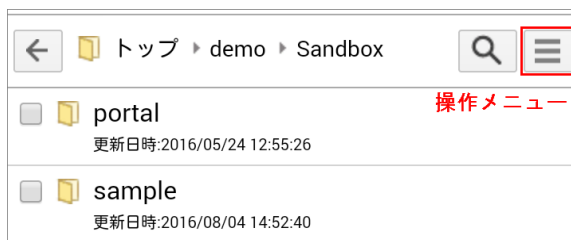
ExaPad Ver.3.2.2以降、モバイル端末からのアップロードが可能になりました。

モバイル端末からのアップロードは、端末の機能に依存しています。アップロード機能の使用やアップロードできるファイル種類が制限される場合があります。

たとえば iOS 5 以前の端末はアップロードできません。また可能な iOS 端末でもカメラロールやフォトライブラリ内のファイルのみが対象となります。

- ファイルをアップロードしたいフォルダを開きます。

画面左上のファイルメニューをタッチしてメニューを表示してください。



- 「アップロード」を選択します。



- アップロードダイアログが開いたら、「ファイルを選択」を選択してください。



- ファイルの選択画面が表示されます。アップロードするファイルを選択してください。

端末種別によってファイルの選択方法が異なります。ここでは一例としてOS（iPhone、iPadなど）の場合をご紹介します。

iOSでは「カメラロール」からアップロードを行います。



- メニューからアップロードするファイルを選択してください。



- ファイルを選択すると自動的にアップロードが始まります。  
アップロードが完了すると「続けてアップロードできます」と表示されます。



続けてファイルをアップロードする場合は、再度「ファイルを選択」していただき、  
アップロードを終了する場合は「閉じる」を押して元の画面に戻ります。

### ドラッグ&ドロップ (PCのみ)

ドラッグ&ドロップでは、複数ファイルを一括してアップロードできます。

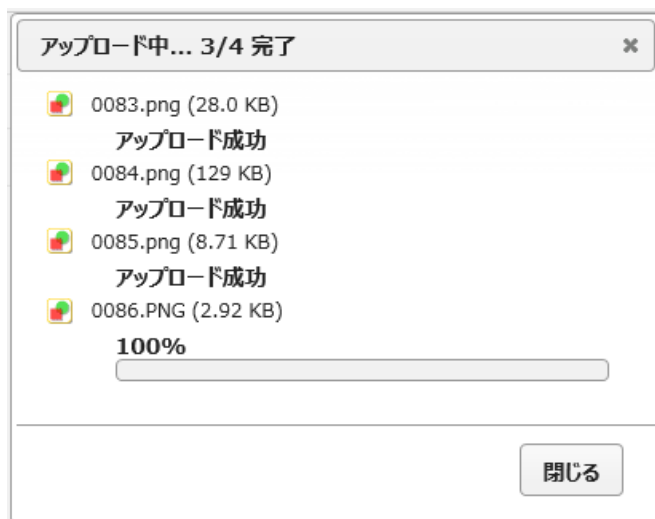
PCのみ対応しており、IE10以降、最新のEdge、Firefox、Chromeが対応しているブラウザです。

- ExaPadでフォルダを開き、Windowsエクスプローラーやデスクトップからファイルをドラッグ&ドロップします。



- アップロードプロセスのダイアログが表示されます。

アップロードするファイル数が少ない、ファイルサイズが小さい場合には表示時間が短く表示されなかったように見える場合があります。



### Javaアップローダーの使用（PCのみ）

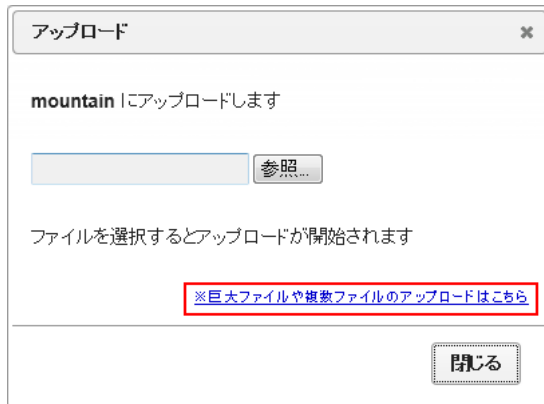
- ❖ モバイル端末では、Javaアップローダーを使用できません。
- ❖ Google Chrome, Microsoft Edgeは、javaアップローダーを使用できません。
- ❖ Java Runtime Version 1.5 より最新の Java Runtime のインストールが必要です。

- ファイルをアップロードしたフォルダに移動してアップロード画面を開きます。

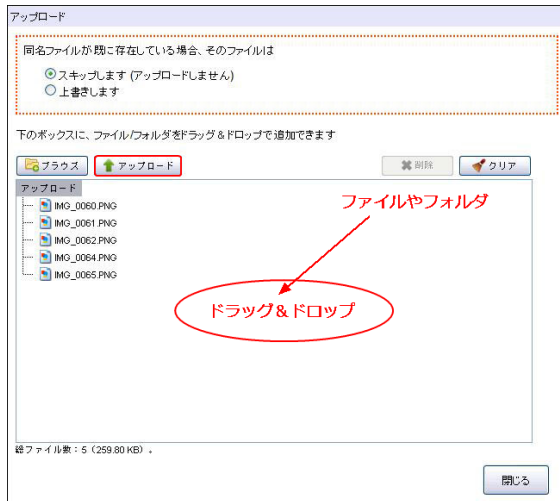
Javaアップローダーでは1回のアップロードで複数のファイルやフォルダをアップロードできます。

巨大ファイルや複数ファイルのアップロードは「こちら」をクリックします。

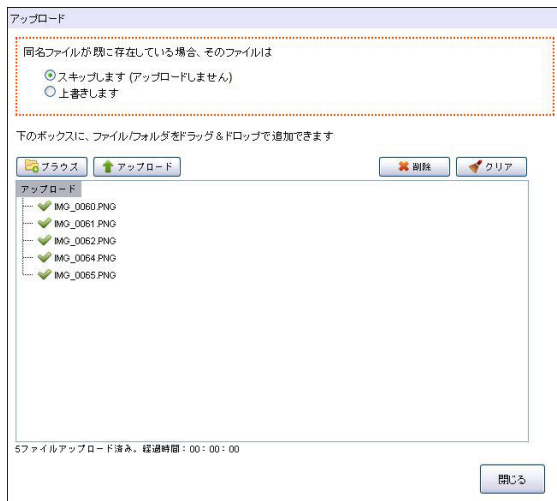




- 「ブラウズ」からアップロードするファイルを選択するか、画面のボックス内にドラッグ&ドロップしていただき、「アップロード」をクリックするとアップロードが開始されます。



- アップロードが完了しました。



## 2.5 ファイルの編集

### ファイルの操作

上書きや削除などファイルに対して変更を行う場合は、相応のアクセス権限が必要です。

ExaPadでは、ファイルに対して次の操作を行えます。

管理者設定によって表示されないメニューのある場合があります。



- 開く
  - 別ウィンドウで開く: 新しいタブでファイルを開きます。
  - フラッシュを表示: ファイルフラッシュを表示します。
- 直接開く( オプション機能 )

ファイルをダウンロードせずに開くことができます。
- ダウンロード

ファイルをダウンロードします。
- 上書き更新

ファイルを別のファイルで上書きします。( 同じ拡張子のファイルに限ります。 )
- 移動

ファイルを別のフォルダへ移動します。
- コピー

ファイルをコピーします。
- 削除

ファイルを削除します。(ファイルサーバーから本当に削除されるため注意してください。)

- 名前の変更
  - ファイル名を変更します。
  - ファイル名に次の文字はつかえません。 \ / : \* ? " < > |
- プレビュー操作
  - プレビュー再作成：ファイルのプレビューを作り直します。(プレビュー作成にはある程度の時間がかかります。)
  - プレビュー回転(右回転、左回転、180度回転)：           プレビュー画像を回転させます。
    - プレビューのみ回転され、実際のファイルは回転しません。
    - GIF、PNG ファイルはプレビュー回転できません。
- プロパティ  
ファイルのプロパティを編集できます。
- ここに解凍
  - ZIP ファイルを解凍することができます。
  - 同一フォルダにZIPファイルと同じ名前でフォルダが作られ、そこに解凍されます。
  - 既に同名フォルダがある場合には解凍できません。

## 右クリックメニューによるファイル操作

ファイル操作はファイル一覧画面の右クリックメニューからでも行うことができます。

- プレビューの回転は右クリックの操作メニューからは選択できません。
- 表示される項目はフォルダとファイルで異なります。
- 管理者の設定によっては表示されない項目がある場合もあります。

## フォルダの操作

- 一覧表示画面でフォルダソートやフォルダ名を右クリックすると、フォルダ操作メニューが表示されます。
- フォルダのチェックボックスにチェックを入れてファイル操作メニューを開くと、複数フォルダを一括して操作できます。(右クリックでも同じです。)
- メニューの開き方によって表示されるメニュー項目が異なります。

Version3.6.1からファイル一覧の空きスペースの右クリックでカレントフォルダのメニューが開けるようになりました



- 開く
  - 別ウインドウで開く: 新しいタブでフォルダを開きます。
  - フルパスを表示: フォルダパスを表示します。
- 直接開く( オプション機能 )
  - Windowsエクスプローラーでフォルダを開きます。( モバイル端末では使用できません。 )
  - PCにクライアントプログラムのインストールが必要です。
- ダウンロード
 

フォルダをダウンロードします。
- 一覧出力
  - CSV形式 ( カンマ区切り ) : フォルダ内にあるファイルの一覧をCSV形式で出力します。
  - Excel形式: フォルダ内にあるファイルの一覧を、サムネイル画像も含めてExcel形式で出力します。
- アップロード
 

ファイルをアップロードします。
- 新規作成
  - 新しいフォルダ: 新しいフォルダを作成します。
  - 新しいテキスト: 純テキストファイル ( txt ) を作成します。
  - 新しいメモ: 新規メモ ( thtml ) を作成します。
- 移動
 

フォルダを別のフォルダに移動します。
- コピー

フォルダをコピーします。

- 削除

フォルダを削除します。(ファイルサーバーから本当に削除されるため注意してください。)

- 名前の変更

- フォルダ名を変更します。

- フォルダ名に次の文字はつかえません。 \ / : \* ? " < > |

- 管理者メニュー

- インデックス/プレビュー再構築：      ファイルの検索インデックスとプレビューを作り直します。再作成にはある程度の時間がかかります。

- インデックス/プレビュー掃除：              使われなくなった古いインデックスやプレビューを削除します。

- プロパティ

フォルダのプロパティを編集できます。

## 2.6 複数ファイル操作

ExaPadでは、複数のファイルやフォルダを一括して移動、削除などの操作ができます。

### 複数ファイルに対して行える操作

- ダウンロード
- 一覧出力
- 移動
- コピー
- 削除
- プレビュー再作成
- ファイル属性を一括編集

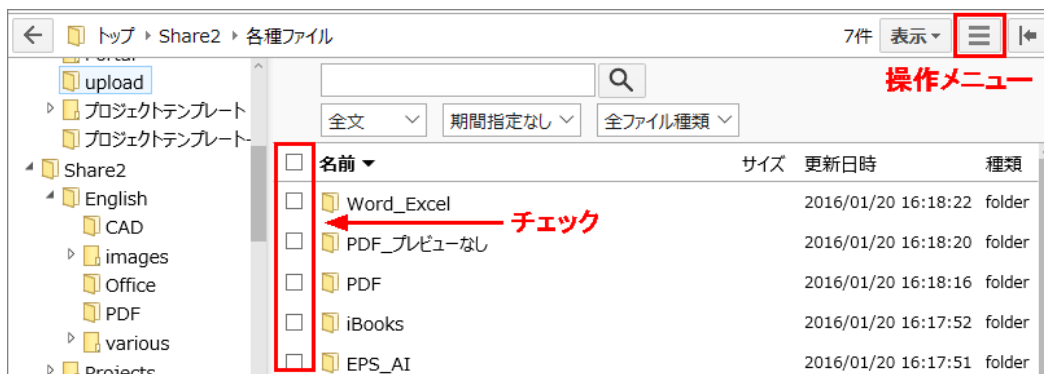
### 複数フォルダに対して行える操作

- ダウンロード

- 一覧出力
- 移動
- コピー
- 削除
- ファイル属性を一括編集

## 複数ファイル操作の共通の流れ

- ファイル・フォルダをチェックボックスで選択します。  
ファイル一覧画面または検索結果画面において、一括操作したいファイルやフォルダのチェックボックスにチェックを入れます。
- 「名前」の左側のチェックボックスは「全てを選択」または「全てを解除」のチェックボックスです。  
ページ内のすべてのファイル・フォルダが選択・解除の対象となります。



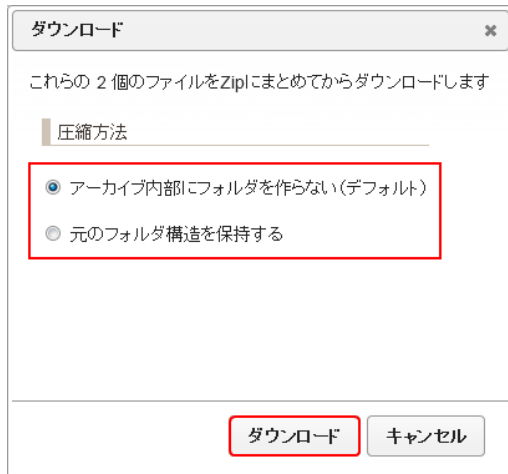
- ファイルを選択したら、画面左上のファイル操作メニューか、ファイルの右クリックメニューから実行する操作を選びます。



## ファイルのダウンロード

- ファイルを選択してファイル操作メニューで「ダウンロード」を選択します。

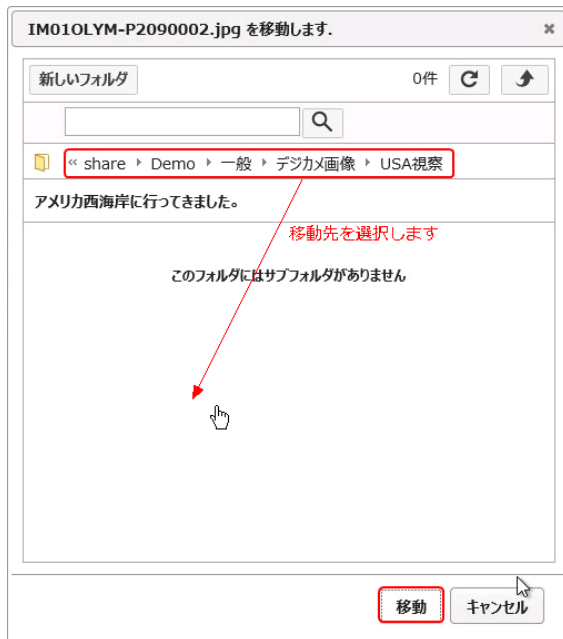
- ダイアログでフォルダ構造を選択して「ダウンロード」を選択します。



- アーカイブ内部にフォルダを作らない（デフォルト）：元のフォルダ構造を保持せずに同一フォルダにまとめてダウンロードします。
- 元のフォルダ構造を保持する：元のフォルダ構造を維持した状態でダウンロードします。

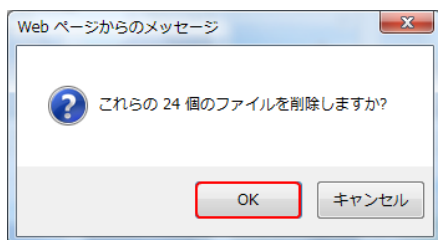
## ファイルの移動・コピー

- ファイルを選択しファイル操作メニューで「移動」または「コピー」を選択します。（移動とコピーの操作は同じ手順です。）
- コピー先フォルダの選択ダイアログが別ウインドウで開きます。コピー先フォルダを開きます。
- 「移動」または「コピー」ボタンを選択すると操作が実行されます。



## ファイルの削除

- ファイルを選択してファイル操作メニューまたは右クリックメニューで「削除」を選択します。
- ダイアログの「削除」ボタンを選択すると、選択したファイルが削除されます。



### ファイルのプレビュー再作成

- ファイルを選択しファイル操作メニューで「プレビュー再作成」を選択すると プレビューの再作成が開始されます。

## 2.7 ファイルのプロパティ

ExaPadでは、登録されたファイルやフォルダに内容を説明するためのテキスト情報を付与することができます。

Windowsが提供するOffice文書プロパティに加え、ExaPad独自の「概要」「コメント」の二つのプロパティがあります。

Office文書プロパティ、概要、コメントに付与された内容は全文検索対象になります。

### ファイルに概要を付ける

- ファイルプレビュー画面の「概要」にカーソルを合わせると入力ボックスが表示されます
  - 矢印ボタンでプロパティ欄を畳んだり開いたりできます



- 概要を入力して「OK」を選択します。



概要

ワークスタイル変革  
テレワーク

OK キャンセル

- 概要が追加されました

概要

ワークスタイル変革  
テレワーク

## ファイルにコメントを付ける

後述のOffice文書プロパティのコメントと、当項目のコメントは連動していません。

- ファイルプレビュー画面ののコメント欄にコメントを入力します。

トップ > Share2 > 各種ファイル > Word\_Excel > 育児・介護.docx

フルバスを表示 ダウンロード

概要

概要を入力

コメント

コメントを投稿

OK キャンセル

育児・介護休業規程

- 投稿 ボタンを選択します。

コメント

従業員は規定をダウンロードして必ず確認してください

OK キャンセル

- コメントが追加されました

コメント


コメントを投稿

OK キャンセル

Administrator

従業員は規定をダウンロードして  
必ず確認してください

2016/11/10 17:41:30



## ファイルにタグをつける

タグを登録するには、予め管理者によってタグ項目の設定が必要です。

タグはテキスト、日付、真偽値の形式で登録できます。

← トップ > Share > ETC利用状況の推移.pdf

フルパスを表示 ダウンロード

1 / 2

概要

概要を入力

コメント

コメントを投稿

タグ

登録日 OK キャンセル

製品型番 OK キャンセル

情報

レビュー 作成状況最新です

サイズ 202 KB

更新日時 2016/11/16 14:50

作成日時 2016/11/16 14:50

ETC利用状況の推移

ETC利用率(平成25年3月15日～平成25年3月21日平均)

	東日本高速	中日本高速	西日本高速	首都圏高速	阪神高速	北陸高速	合計
平日平均	87.4%	90.5%	85.9%	91.8%	90.3%	91.3%	88.4%
土休日平均	87.5%	90.1%	85.1%	90.7%	88.9%	92.4%	87.9%
年平均	87.4%	90.4%	85.5%	91.2%	89.8%	91.8%	88.2%

※平成22年7月～平成23年3月19日は、新幹線北陸新幹線開業に伴い、北陸地方の高速道路の利用率は開業前と異なり、集計対象外とさせていただきます。

## 概要とコメントをファイル一覧に表示する

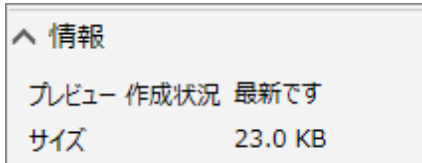
- ファイル一覧画面で表示形式を「詳細」にします。
- 概要とコメントがファイル名の下に表示されます。



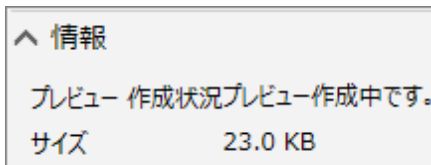
## プレビュー作成状況

現在のプレビュー作成状況をプレビュー画面の情報欄に表示します。

- プレビューが最新の場合は「最新です」と表示されます。



- プレビューを作成中の場合は、「プレビュー作成中です。」と表示され、数分後に作成されます。



## Office文書プロパティの編集

ファイル編集画面の「操作メニュー」を開いて、プロパティを選択します。

ExaPadでは、Office文書プロパティのうち6種類を閲覧・編集することができます。

- タイトル
- 表題（サブジェクト）
- 作成者（作者）
- カテゴリ（分類）
- キーワード（タグ）
- コメント

プロパティ CIMG6356.jpg

サイズ: 79.6 KB | 更新日時: 2007/07/23 11:26 | 作成日時: 2013/02/19 13:15 | 読み取り専用 | 更新者: | 作成者: |

検索インデックス 作成状況: 2007/07/23 11:26 (最新です) | プレビュー 作成状況: 2007/07/23 11:26 (最新です) |

パス: /トップ/share/CIMG5342.jpg

概要: パンの木

タイトル | 表題 | 作成者

カテゴリ | キーワード | コメント

保存する | キャンセル

- 変更や追加した項目欄に入力したら「保存する」をクリックします。

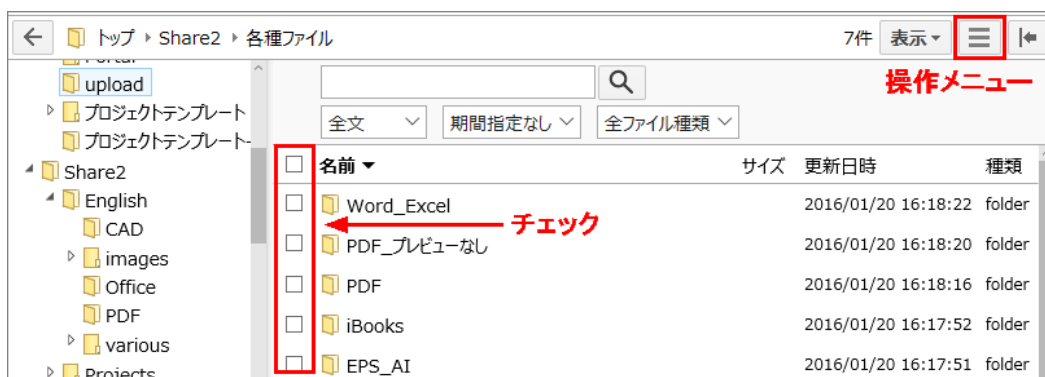
## 2.8 ファイルを直接開く（オプション）

### 直接ファイルオープン機能について（オプション）

ExaPad からファイルやフォルダを、ダウンロードすることなく直接開くことができる機能です。

Windowsエクスプローラーでファイルサーバーのファイルを開くと同じ動作です。

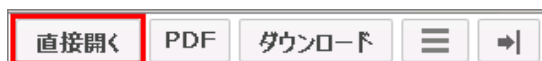
1. Microsoft PowerPoint ファイルを直接開いてみます。



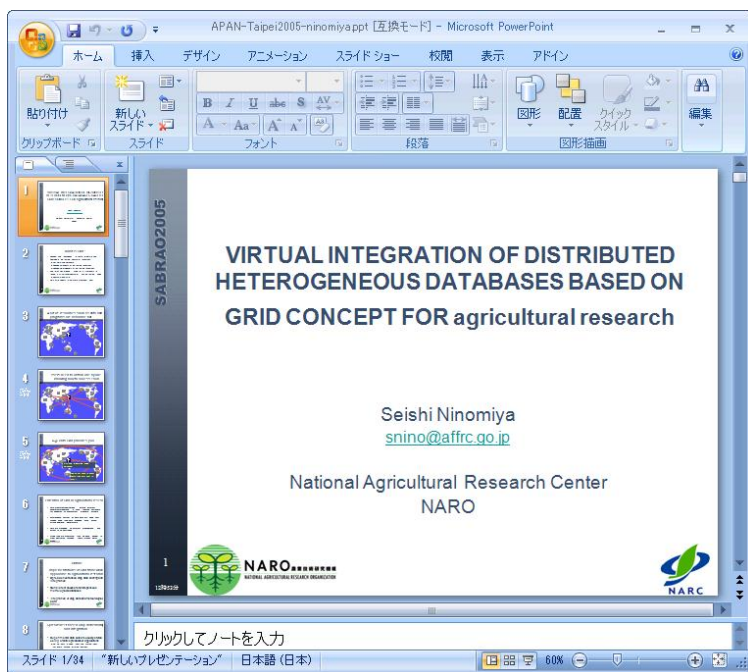
2. ファイルメニューを開き、直接開くを選択します。



ファイルプレビュー画面上部の「直接開く」ボタンからも操作できます。



3. アプリケーション（PowerPoint）が起動して、ファイルがC上で直接開きました。



- 初めて「直接開く」を使用する場合は、先に「ExaPadクライアント」のインストールが必要です。
- 詳細は「[直接ファイルオープン](#)」をご覧ください。

## サーバー側の設定について

詳細は[システム管理者リファレンス](#)をご覧ください。

## ファイル直接オープン機能の注意事項

- LAN内でのみ直接ファイルオープン機能を使うことができます。
- 外部ネットワークから直接ファイルを開くことはできません。
- モバイル端末では直接ファイルオープン機能を使用できません。
- 64bit版のWebブラウザでは、直接ファイルオープン機能は動作しません。

## 2.9 多言語対応について

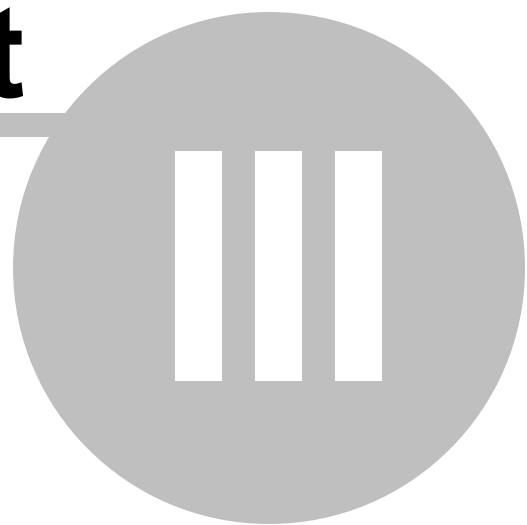
- ExaPadのメニュー言語は、日本語と英語で切り替えることができます。

メニュー言語の切り替えは、2つの方法があります。

- ログイン画面のフッターにある「ExaPad in English」を選択してください。
  - ExaPadにログインして、画面右上の「ログインユーザー名」を選択してください。
- ExaPadの全文検索エンジンは、Unicodeに対応しています。Microsoft Office などUnicode対応ドキュメントは、日本語・英語に限らず、世界中の言語・文字コードの文書を検索することができます。

# Part

---



## 3 システム管理者リファレンス

この章は、ExaPadの管理者向けのリファレンスです。

### 3.1 導入作業

ExaPadをはじめてインストールするときの導入作業の流れです。

1. 導入環境の確認
2. インストーラーの実行
3. ライセンスファイルの設置（評価版の場合は不要）
4. ログインセキュリティとユーザー管理の設定
5. ドキュメントルートフォルダの設定
6. ログ出力の設定
7. パフォーマンスチューニング
8. インデックス初期構築
9. 定期実行タスクの登録

#### 3.1.1 インストーラーの実行

##### ExaPadインストーラーの実行

ExaPadインストーラーを実行して、プログラムをセットアップします。

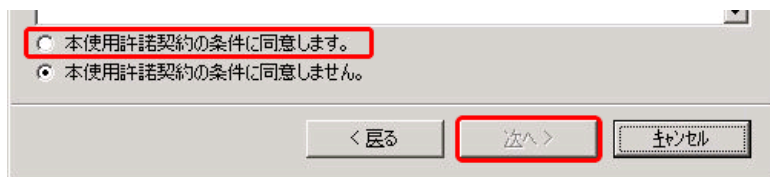
##### インストーラーの実行

ExaPadInstaller\_\*\*\*.exeを実行してください。（\*\*部分はリリースによって変わります。）

ExaPadをインストール済みの環境でインストーラーを実行すると、バージョンアップのための上書きインストールとなります。

##### インストールの手順

- インストーラーを起動すると「ようこそ」画面が表示されますので、「次へ」で画面を進めてください。
- 使用許諾契約画面が表示されます。使用許諾契約書を読んで「同意します」にチェックを入れて「次へ」を選択してください。





- インストール先フォルダの設定をします。通常はインストールフォルダを変える必要はありません。そのまま「次へ」を選択してください。
- インストール準備完了画面にて「インストール」でファイルのコピーが開始されます。
- ファイルのコピーが完了すると「インストールが完了しました」と表示されます。
- インストールが完了すると Windows スタートメニューにプログラムが追加され、デスクトップにショートカットが追加されます。

### 3.1.1.1 インストールされるサービス

インストールされるサービスについての解説です。特に、導入時に必要な作業はありません。

#### サービス構成

ExaPadをインストールすると、次の3つのWindowsサービスが登録されます。

サービス名	プロセスのイメージ名	使用TCPポート	スタートアップの種類	機能
Fb3Indexer	TpIdxSvr.exe	1980	自動	ファイル変更検出、プレビュー、検索用インデックス作成を行います。
Fb3Solr	Fb3Solr.exe	8181	手動 ( 1 )	ファイルの検索や変更検知を行います。
Fb3Web	jQueryServer.exe	80 ( 2 )	自動	Web サーバー

このうち、Fb3Indexerを「ExaPad サーバー」、Fb3Webを「Web サーバー」と呼んでいます。

- 1 : Fb3Solrサービスは、Fb3Indexerの開始時に自動的に起動します。停止時も同様に連動します。
- 2 : Fb3Webのポート番号は、既定では80番ですが、ExaPad管理ツールから変更可能です。

Fb3IndexerおよびFb3Webサービスは、スタートアップの種類を自動に設定してありますので、Windows OSの再起動時に自動的に起動されます。

Fb3SolrサービスはFb3Indexerサービスによって起動されるため、Windowsの起動時にはすべてのサービスが自動的に起動されるのが既定の設定となっています。

### 3.1.2 システム初期設定

ExaPadの各種設定は、Webアプリケーションの「システム設定」画面から行います。

#### 3.1.2.1 システム設定画面アクセスの許可

##### (初めて) システム設定画面にアクセスする方法

ExaPadサーバーのインストールが完了したら、インストールしたサーバーで、<http://127.0.0.1/> にアクセスすることができます。

Windows サーバーOSの場合、インターネットエクスプローラーの「信頼済みサイト」に127.0.0.1を追加してください。

サーバーOSのデフォルトのセキュリティ設定が厳格であるため、信頼済みサイトに追加せずにアクセスすると権限不足によって画面が真っ白になるなど、完全に表示されないことがあります。

<http://127.0.0.1/> にアクセスすると ログイン画面が表示されます。

有効なWindowsユーザーIDとパスワードを入力してログインしてください。（典型的には、Administrator ユーザーでログインできるはずです。）

画面右下フッター部の「システム設定」をクリックすることで、システム設定画面にアクセスが可能です。



## システム設定画面へのアクセス許可設定の必要性

システム設定画面では、ExaPad サーバーの再起動・シャットダウンができるほか、対象フォルダを含めた各種の設定変更ができ、システム設定画面にアクセスできれば、対象ファイルシステムに変更を加えることが潜在的にできるようになります。

システム設定画面の利用権限は、このような強力な権限のため、ネットワークに接続される誰もが使えるようにすることは危険です。

そのため、ExaPadをインストールした直後の状態では、サーバーPC上で起動したインターネットエクスプローラーからのアクセスに限り、システム設定画面へのアクセスが許可されています。

アクセス許可の設定は変更することができます。

## ネットワーク越しのシステム設定を可能にする

- 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > セキュリティ > セキュリティパラメータを開きます。
- adminnetlist を編集することで、アクセスを許可するネットワークアドレスを指定します。
- 既定値では、127.0.0.0/8 が含まれるため、127.0.0.1 からの localhost アクセスができるようになっています。
- 例えば、192.168.0.0/24 を追加すれば、192.168.0.\* のネットワークからExaPadサーバーのシステム設定画面のアクセスが許可されます。

## システム設定画面へのアクセスパスワードを設定する

不特定多数のユーザーが利用する場合には、システム設定画面へのアクセスをパスワードで保護したほうが安全です。

- 画面下部システム設定 > 基本設定 > ExaPad管理者パスワードの設定 を開きます。
- 管理者パスワードを設定することで、ExaPadサーバーは、システム設定画面にアクセスするためにパスワードの入力を求めるようになります。

## システム設定画面へのアクセスを、特定のユーザーに限定する

アクセスパスワードを設定するほかに、システム設定画面へのアクセスを特定のユーザーに限定することもできます。

- 画面下部のシステム設定画面 > 基本設定 > セキュリティパラメータを開きます。
- adminusers を編集することで、特定のユーザーにアクセスを許可します。
- 例えば adminusers に "Administrator" を指定すると、Administratorユーザー以外はシステム設定画面にアクセスできなくなります。

## システム設定画面へのアクセス許可設定をリセットする

次の場合、システム設定画面にアクセスできなくなってしまう場合があります。

- システム設定画面へのアクセスパスワードを忘れてしまった場合
- システム設定画面へのアクセス許可ネットワーク設定を誤って設定してしまった場合
- システム設定画面へのアクセス許可ユーザを誤って設定して待った場合

このようなときは、サーバーPCで ExaPad管理ツールを起動して設定をリセットしてください。

- ExaPad管理ツール > 高度な設定 > システム管理アクセス許可 を開きます。
- 状況に応じて設定をリセットします。

### 3.1.2.2 ユーザー認証方法の設定

ExaPadにログインするには、Windowsに登録されているユーザーアカウントの、ログイン名とパスワードを使用します。

- ExaPadサーバーをインストールするときに、ドメイン名の入力を省略すると、インストールしたサーバーに登録されているローカルユーザーアカウントでログイン認証を行います。
- ドメイン名を設定すると、ログイン時の認証は Active Directory ドメインのユーザーアカウントで認証を行います。
- ドメイン名の設定によるユーザー認証方法の指定は、インストールのあとでも行なうことができます。
- ExaPadでユーザーが行うファイル操作は、Web サービスの権限ではなく、ログインに用いたユーザーアカウントの権限で行われます。

## ログインチェック動作の切り替え

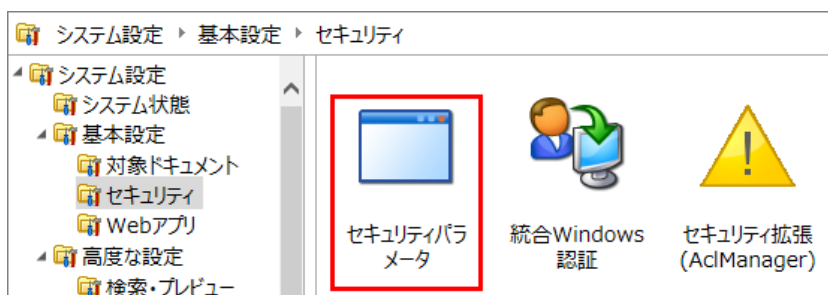
ログイン時のユーザー認証は、次の方法を選択できます。

認証方法	説明
ワークグループユーザー認証	ローカルマシンのユーザーアカウントを用いて、ログインのユーザー認証を行います。 ExaPad をインストール後の標準方法です。

ドメインユーザー認証	Active Directory に参加し、ドメインコントローラーにユーザー認証を委ねる方法です。既存ドメインコントローラー、既存ファイルサーバーがある環境で選択できます。 (ExaPadをインストールするサーバーが、ドメインに参加している必要があります。)
匿名ユーザーログオン	ログイン認証無しで、誰でもアクセスできるようにする方法です。不特定多数のユーザーに対して公開する場合やデモ環境を公開する場合などにお使いください。(ファイルやフォルダの操作(コピー、移動、削除など)をできるようにするには匿名ユーザーに指定したユーザーが読み取り権限だけでなく書き込み権限や削除権限を持つ必要があります。)

## 設定方法

- 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > セキュリティ > セキュリティパラメータを開きます。



- 「windows\_domain」にドメイン名を指定します。



- ドメイン名を指定します。



- ドメイン には、ExaPadをご使用になる環境のドメイン名をセットしてください。
- ドメイン名が空白の場合、WORKGROUPに対してログイン認証を行います。
- 信頼関係を結んだドメインのユーザーでもログインができます。
- 複数のドメインを改行区切りで指定することができます。
- ローカルマシン (ワークグループ) は半角ドット「.」を指定します。

HOGE

FOO

.

4. 「保存する」ボタンを選択し、WEBサーバーにチェックを入れてサービスを再起動します。
5. ログイン画面に「ログイン先」が表示され、ドメインを選択できるようになります。

ユーザー名
<input type="text" value="Windowsユーザー名"/>
パスワード
<input type="password"/>
ログイン先
<input type="text" value="CUCUMBER (ローカルログイン)"/>
<input type="button" value="ログイン"/>

- ❖ ドメインを指定した後ログインできなくなった場合は、ExaPadをインストールしたマシンが、ドメインサーバーにアクセス (ログイン) できるかどうか確認してください。

## ログイン可能なユーザーおよびグループの指定

ExaPadにログインできるユーザーのユーザーIDもしくは グループ名を指定することができます。

指定されないユーザーもしくはグループメンバーはログインできません。

### [利用シーン]

1. 30ユーザーライセンスで、Active Directory（もしくはWORKGROUP）に登録されているユーザー数は100名のうち、特定の30ユーザーアカウントだけをログインできるようにしたい。（他70ユーザーにはログインを許可しない。）
2. 特定のグループに所属しているユーザーのみにログインを許可したい。

### 設定方法

#### • ユーザーIDを指定する方法

1. 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > セキュリティ > セキュリティパラメータを開きます。
2. 「fixed\_userid\_list」でユーザーを指定します。

システム設定 > 基本設定 > セキュリティ > セキュリティパラメータ

保存する キャンセル

絞り込み fix

パラメータ名	設定値	説明	状態
fixed_groupid_list		ログイン可能なWindowsグループアカウントを制限します。グループIDの一覧を改行区切りで指定します。指定したいいずれかのグループに所属していないユーザーはたとえ、IDとパスワードが一致してもログインできなくなります。	初期値
fixed_userid_list		ログイン可能なWindowsユーザーアカウントを制限します。ユーザーIDの一覧を改行区切りで指定します。指定したいいずれかのユーザーIDでないとログインできなくなります。	初期値

3. ユーザーIDを改行区切りで指定してください。

fixed\_userid\_listの設定

値

user1  
user2  
user3

OK キャンセル

user1

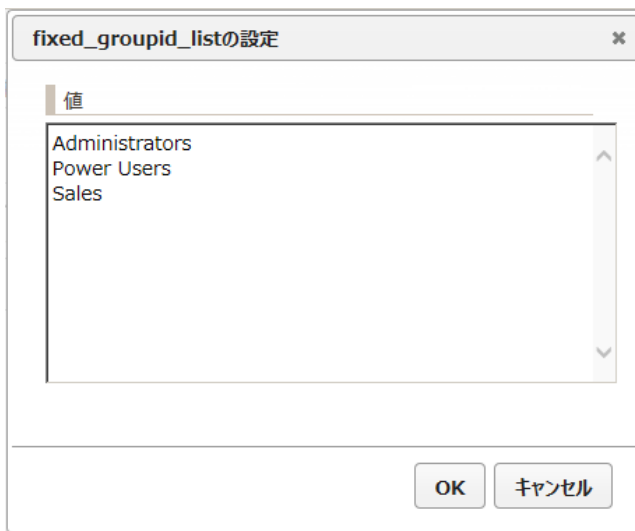
user2

user3

4. 「保存する」ボタンを選択し、WEBサーバーにチェックを入れてサービスを再起動します。
5. 指定したユーザーのみがログインできることを確認してください。

- グループ名を指定する方法

1. 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > セキュリティ > セキュリティパラメーターを開きます。
2. 「fixed\_groupid\_list」でグループを指定します。
3. 許可グループリストを改行区切りで指定してください。



Administrators

Power Users

Sales

4. 「保存する」ボタンを選択し、WEBサーバーにチェックを入れてサービスを再起動します。
5. 指定したグループに所属するユーザーのみがログインできることを確認してください。

- 複数のドメインが設定されている場合

ドメインが複数設定されている場合は、ドメイン名の指定が必要です。

- グループ名の後に@ドメイン名を指定します。
- ワークグループは「」(半角ドット)を使います。

groupA@HOGE

.groupB

users@FOO

ドメイン名の形式は、HOGE のようなNetBIOS名と、hoge.com のような完全修飾名がありますが、ドメイン一覧に指定した形式で統一してください。

### 設定値の説明

- 「fixed\_userid\_list / fixed\_groupid\_list」(ログイン許可リスト) は、Windowsに登録されているユーザーIDのうち、ExaPadにログインできるユーザーIDを指定する設定です。
- ログイン許可リストが定義されていない場合は、ログインユーザーIDの制限は行われません。
- 標準ではログイン許可リストは定義されていません。
- 「fixed\_userid\_list / fixed\_groupid\_list」の両方が設定されている場合、どちらかに指定されているユーザーが許可対象になります。

## 3.1.2.3 ライセンスの適用

### ライセンスの適用

ExaPadを製品版として正規利用するにはライセンスの適用が必要です。

ライセンスの適用には、ExaPadプログラムへのライセンスファイルの登録とオンラインによるライセンス認証を行います。

ライセンスの適用を反映するにはサービスの再起動が必要です。

### 評価利用について

- ExaPadをインストール後の60日間は全機能が利用できます。
- 60日を経過するとExaPadは自動的に利用できなくなります。

### 評価版にライセンスを適用する方法

1. ExaPadを購入すると「license\_201602250000.ltx」のようなライセンスファイルが発行されます。
2. ExaPad管理ツール > 基本設定 > ライセンス を開きます。





3. 「ライセンスファイルの適用」ボタンを選択し、発行されたライセンスファイル（.ltx）を選択してください。
4. ライセンスファイルを登録すると、アクティベーション画面が表示されます。

ライセンス

ステータス: アクティベーションが必要です

アクティベーション ライセンス情報 非常用ライセンス

・こちらの「製品アクティベーションページ」にWebブラウザでアクセスしてください

https:// xxx.activation-online.net 開く

・製品アクティベーションページでは下記の情報の入力を求められます

1: ライセンス証書記載の シリアルNo: 201602240000

2: ライセンス証書記載の メールアドレス sample@test.com

3: 右記のマシンキー: d05887c9-fab4b031-07d396fe-19ddef80

・「製品アクティベーションページ」から得られる「ライセンスキー」を入力し登録ボタンを押してください

以上で、ライセンス認証が完了します

ライセンスキー: 登録

閉じる

5. 開くボタンを選択して、製品アクティベーションページに接続します。

製品アクティベーションページ

シリアルNo

メールアドレス

マシンキー

認証する

6. 管理ツール画面に表示されている「シリアルNo.」「メールアドレス」「マシンキー」を入力し、「認証する」ボタンを選択します。

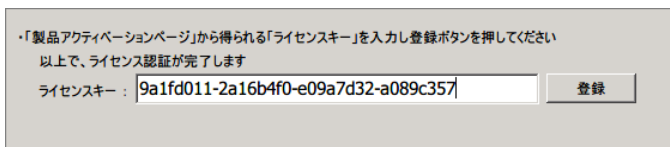
製品アクティベーションページ

認証に成功しました

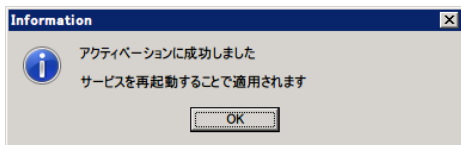
ライセンスキー

9q1fd021-2a16b4f8-d09a7d32-b089c457

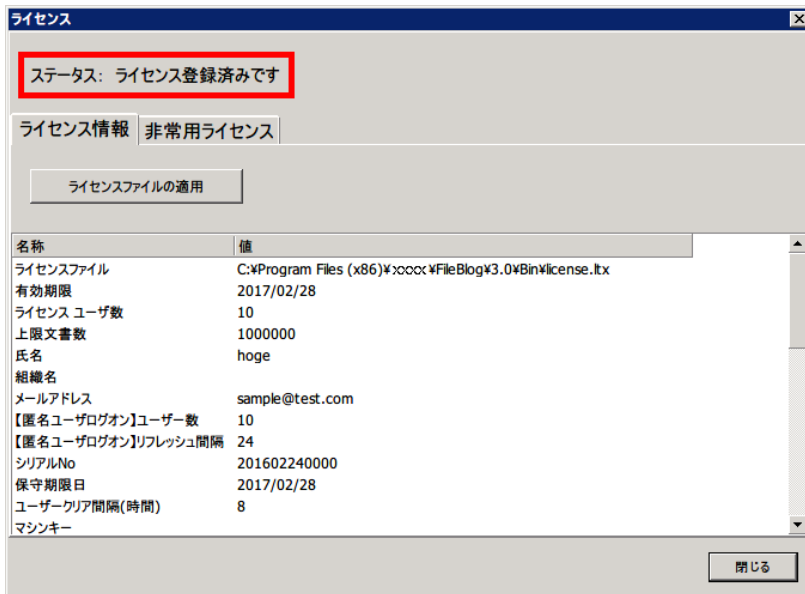
7. 表示されたライセンスキーをコピーし、管理ツールに貼り付けて「登録」ボタンを選択します。



8. 「アクティベーションに成功しました」のダイアログが表示されたら正しくライセンス適用できています。



9. ExaPad管理ツール > 通常運用ツール > サービス確認 起動 終了 を開いてサービスを再起動します。
10. ライセンス適用完了後の登録状況を確認してください。

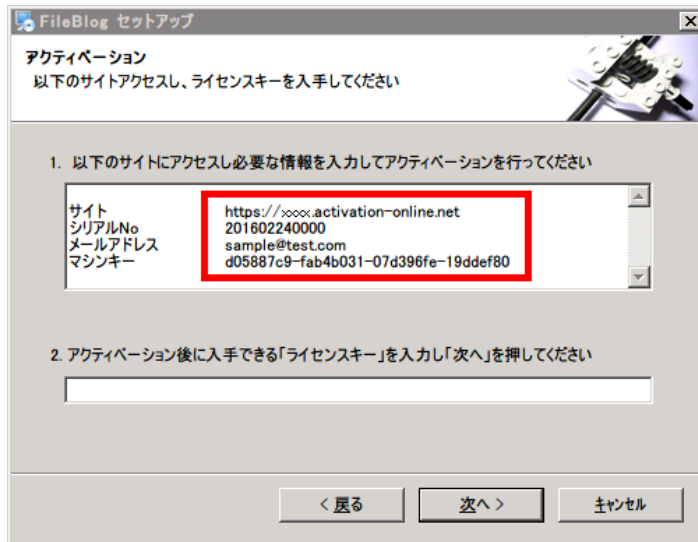


### 新しいライセンスを適用する方法

1. ExaPad管理ツール > 基本設定 > ライセンス を開きます。
2. 「ライセンスファイルの適用」ボタンを選択し、発行されたライセンスファイル( ltx ) を選択してください。
3. 「ライセンスのコピーに成功しました」というダイアログが表示されれば適用成功です。
4. ExaPad管理ツール > 通常運用ツール > サービス確認 起動 終了 を開いてサービスを再起動します。

### バージョンアップ時にライセンスを適用する方法

1. ExaPadの最新版インストーラーを入手します。
2. インストーラーを実行して進めいくとライセンスキーの入力画面が表示されます。



3. 表示されているURLの製品アクティベーションページに接続します。
4. 「シリアルNO.」「メールアドレス」「マシンキー」を入力して認証し、ライセンスキーを入手します。
5. 入手したライセンスキーをインストーラー画面に入力して「次へ」ボタンで進みます。



6. 「ExaPadをバージョンアップします」という画面が表示されれば正しくライセンス適用ができています。
7. そのままインストールを進めて完了させてください。

### オフライン環境でライセンスを適用する方法

ExaPadのインストールされているサーバーが、インターネットに接続されていない場合のライセンス適用方法です。

1. インターネットに接続できる端末を用意します。
2. 用意した端末で製品アクティベーションページに接続します。
3. 管理ツールやインストーラー画面に表示されている「シリアルNO.」「メールアドレス」「マシンキー」を入力します。
4. 表示された「ライセンスキー」を管理ツールやインストーラー画面に入力します。

### 非常用ライセンスについて

ExaPad Ver.3.3以降、非常用ライセンス機能が追加されました。

- 有効にすると30日間限定でログイン可能ユーザー数が無制限になります。
  - 非常用ライセンスを使えるのは「一度」だけです。
  - 評価版では非常用ライセンスを使用できません。
1. ExaPad管理ツール > 基本設定 > ライセンス を開きます。
  2. 非常用ライセンス(タブ)に移動します。

3. 非常用ライセンスを有効にする」ボタンを選択します。
4. サービスを再起動して、非常用ライセンスを有効にしてください。

### 3.1.3 ドキュメントルートフォルダの設定

#### ドキュメントルートフォルダについて

ExaPadでユーザーに公開する、トップレベルのフォルダが、「ドキュメントルートフォルダ」です。

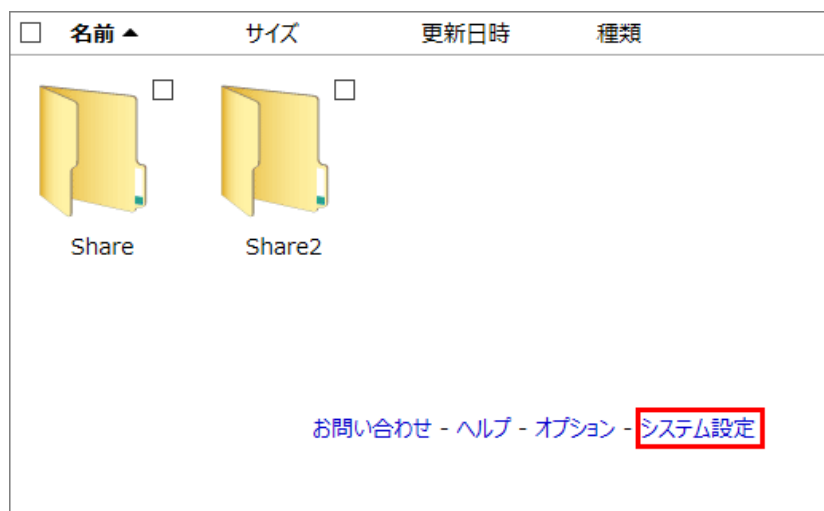
ExaPadのインストール後は、まずローカルドライブにC:\share などの空フォルダを作成してドキュメントルートに設定し、少数のファイルで動作確認を行うことをお勧めします。その後、多数のファイルが登録された既存フォルダをドキュメントルートに設定し、動作確認を行ってください。

#### ドキュメントルートの設定変更

##### 設定手順

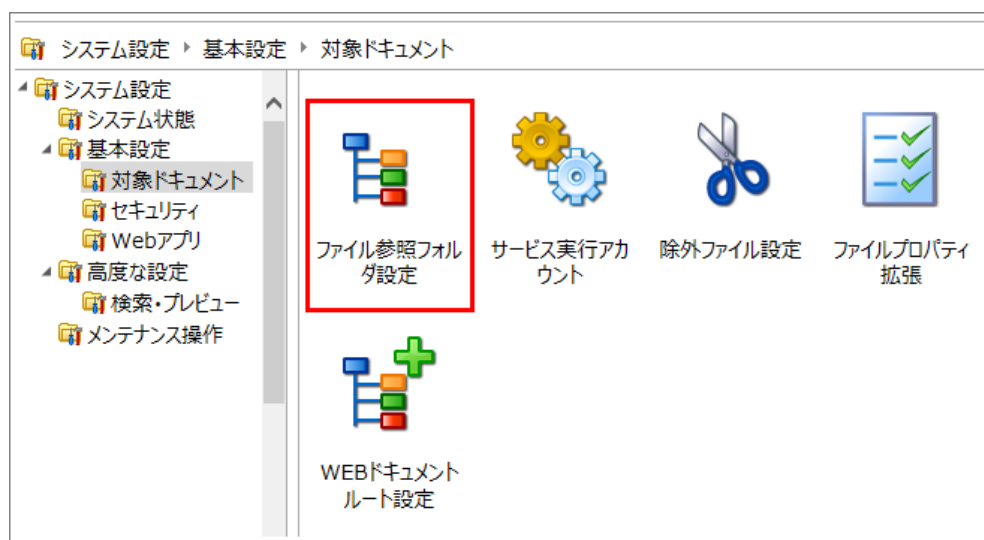
1. システム設定画面を開きます。

ExaPad画面 > システム設定 を開きます。



2. 設定画面を開きます。

基本設定 > 対象ドキュメント > ファイル参照フォルダ設定 を開きます。



3. 変更したいドキュメントルートを選択します。



4. 各項目に適切な情報を入力します。

ドキュメントルートの設定

ドキュメントルート  
C:¥share

プレビュー保存フォルダ  
C:¥Preview¥P1

エイリアス  
share

表示名  
Share

フォルダ変更検知  
☒

Patterns

OK キャンセル

- ドキュメントルート

ExaPadが検索・閲覧の対象とするフォルダを指定します。(規定値はC:\ProgramData\ExaPad\_data\DocRoot)

- プレビュー保存フォルダ

作成されるプレビュー画像や、抽出されるテキスト情報を保存する場所を指定します。(規定値はC:\ProgramData\ExaPad\_data\Preview)

このフォルダは、全ユーザーが読み取り可能であることが必須で、ドキュメントルート配下のフォルダには設定できません。

- エイリアス

半角英数文字列で指定する必要があり、指定した文字列はURLとして使用されます。

- 表示名

フォルダの表示名を指定します。全角・半角文字を使用できます。省略した場合はエイリアスが表示名として使用されます。

- patterns

ドキュメントルートパターンを設定します。ショートカットファイル( Ink )を開くときに使用します。

ドキュメントルートフォルダがUNCパス( \\server\share )で指定されている場合、このドライブパス( T:\share )を登録しておくことで両パターンが同一視されます。

**【注意】**

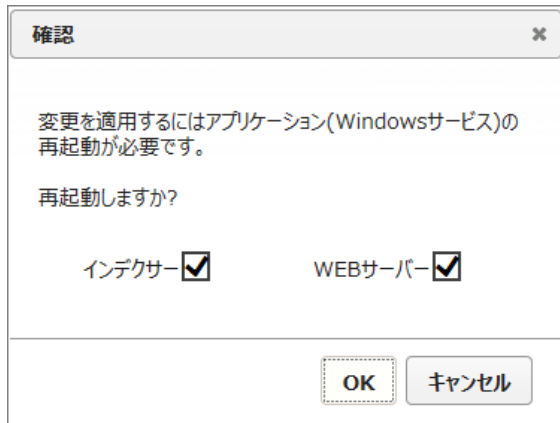
ドキュメントルートとして、リモートフォルダ( ネットワークドライブのフォルダ )を設定する場合には、[リモートコンピュータの共有フォル](#)

[タブを公開する](#)もお読みください。（別の設定値を変更する必要があります）

#### 5. サービスを再起動します

設定後に「保存する」ボタンを押すと、サービス再起動のダイアログが表示されます。

「インデクサー」「WEBサーバー」の両方にチェックを入れて「OK」を押します。両サービスが再起動すれば設定が完了です。



手動で再起動する場合には、次の方法で実行してください。

ExaPad画面 > システム設定 > メンテナンス操作 > サービス確認 起動 終了 を開きます。

インデクサーとWEBサーバーを再起動します。

#### 5. 設定変更後のインデックス登録について

- トキュメントレート設定の変更後は、新しいトキュメントレートに対して検索インデックスの再構築を手動で行ってください。
- 旧トキュメントレートの検索インデックスの登録を削除するには、新しいトキュメントレートの検索インデックスを構築する前にインデックスの初期化を行ってください。
- 再構築が完了するまでは、キーワード検索を行っても正常な結果が得られません。またファイルのプレビューも表示されません。（画像一覧はアイコンで表示されます）
- 再構築の進捗状況を確認するには、ExaPad画面の「システム設定」>「システム状態」>「インデックスの構築状況」で確認できます。

## 複数のトキュメントレートを設定する

複数の別階層のフォルダや、複数のファイルサーバーをトキュメントレートに設定することができます。

1. 上記の方法でトキュメントレート設定画面を開きます。
2. 「追加」タブをクリックします。

システム設定 ▶ 基本設定 ▶ 対象ドキュメント ▶ ファイル参照フォルダ設定

保存する キャンセル

追加 削除 上へ 下へ

	ドキュメントルートフォルダ	プレビュー保存フォルダ	エイリアス	表示名	変更検知
<input type="checkbox"/>	C:¥share	C:¥Preview¥P1	share	Share	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	C:¥share2	C:¥Preview¥P2	share2	Share2	<input type="radio"/>

設定方法は1つ目のドキュメントルートの設定と同じです。

「プレビュー保存フォルダ」「エイリアス」「表示名」は各ドキュメントルートで同じ値にできません。

#### [注意事項]

- 各ドキュメントルートは互いに独立したフォルダ階層である必要があります。ドキュメントルート配下のフォルダを別のドキュメントルートに設定することはできません。
- プレビュー保存フォルダは実在のフォルダを指定してください。
- 複数のドキュメントルートを設定すると、仮想の親フォルダ「トップ」(バーチャルドキュメントルート)が自動的につくられ、その配下にドキュメントルートに設定した実在のフォルダが表示されます。

#### [その他]

- サービスを開始すると、新しく設定したフォルダパス以下のファイルやフォルダの検索インデックスを自動的に再構築します。
- 再構築が完了するまでは、キーワード検索を行っても正常な結果が得られません。またファイルのプレビューやサムネイルも表示されません。

### 3.1.3.1 リモートコンピューターの共有フォルダを公開する

ExaPadでは他のコンピューターの共有フォルダを、ドキュメントルートに指定することが可能です。

#### 前提事項

- ExaPadを稼働させるサーバーとファイルサーバーは、同一マシンであるか、同一Windowsドメインに所属している必要があります。
  - WORKGROUP環境の場合は、ExaPadサーバーとファイルサーバーのユーザーアカウントを一致させることで利用できます。
- ユーザー数が増えると運用が困難になりがちです。ExaPadサーバーのローカルドライブをドキュメントルートに設定して運用することをおすすめします。

#### 設定方法

共有フォルダとして公開されているネットワークドライブのフォルダをドキュメントルートに指定します。



例) ドキュメントルートに指定するフォルダ: \\server名\share

### ドキュメントルートフォルダのパス指定方法

ドキュメントルートに指定するフォルダのパスは、ドライブ文字を使わずにUNC形式で指定してください。

例) Tドライブに割り当てているルートフォルダ\\server名\share の場合

× document\_root = T:\  
document\_root = \\server名\share

### サービス実行ユーザーアカウントの変更

インデクサー ( Fb3Indexer ) の標準の実行アカウントである、ローカルシステム ( SYSTEM ) アカウントは、C:\ドライブなどローカルドライブに対しては全アクセス権限を持っていますが、ネットワークドライブへのアクセス権限を一切持たないため、そのままではネットワークドライブのファイルを参照できません。

そこで、インデクサー ( Fb3Indexer ) の実行アカウントを「ネットワークドライブへのアクセス権限を持つアカウント」に変更する必要があります。

次のページの手順にしたがって、実行ユーザーを変更してください。

## 3.1.3.2 サービス実行ユーザーの設定

ネットワークドライブのフォルダをドキュメントルートに指定する場合には、インデクサー ( Fb3Indexer ) の実行アカウントを変更する必要があります。

### サービス実行ユーザーアカウントの準備

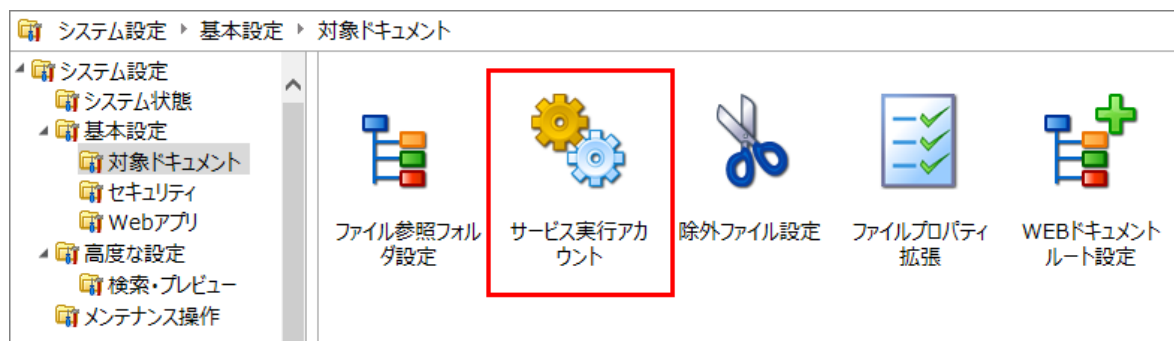
ドキュメントルートがローカルドライブ ( C:\ など ) の場合は、ローカルシステム ( SYSTEM ) アカウントが上記の要件を満たしていますが、ネットワークドライブのフォルダを対象とする場合には、次の条件を満たすユーザーアカウントを用意し、インデクサー ( Fb3Indexer ) の実行アカウントを変更してください。

- ドキュメントルート配下の検索対象となる全ファイルに対する読み取り権限
- ExaPadサーバーの全リソースへのアクセス権とサービス起動特権

### サービス実行ユーザーアカウントの変更

#### 実行アカウントの確認

1. 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > 対象ドキュメント > サービス実行アカウントを開きます。



2. チェックをつかえて、アカウント名とパスワードを入力し保存します。

- 既定の状態ではローカルシステムアカウントに設定されています。
- ドメインを使用している場合は [ ドメイン名\ユーザー名 ] の形式で入力します。

システム設定 ▶ 基本設定 ▶ 対象ドキュメント ▶ サービス実行アカウント

保存する キャンセル

インデクサー (Fb3Indexer) サービスの実行アカウントの設定

☒ ローカルシステムアカウント

☐ アカウント:  (入力例) domain¥userid

パスワード:

※以下のフォルダ権限を持つアカウントを設定してください

- ドキュメントルートフォルダ: Read
- プレビュー保存フォルダ: Read/Write
- インデックス保存フォルダ: Read/Write

FileBlogサーバーのローカルAdministratorsグループに追加し  
サービス起動のための特権を与えてください

3. インデクサーとWEBサーバーにチェックを入れて再起動すれば完了です。

確認

変更を適用するにはアプリケーション(Windowsサービス)の再起動が必要です。

再起動しますか?

インデクサー ☒ WEBサーバー ☒

OK キャンセル

## サービス実行に必要な権限（参考）

### インデクサー（Fb3Indexer）の実行アカウントに必要な権限

ドキュメントレートの指定がネットワークドライブのフォルダの場合、標準設定のローカルシステム（SYSTEM）から適切なアカウントに変更してください。

指定がローカルドライブのフォルダのみの場合は変更の必要はありません。

1. ドキュメントレートに指定したフォルダに対する読み取り権限
2. 環境設定ファイル（config.ini）に対する読み取り権限
3. プレビュー保存フォルダに対する読み取り、書き込み権限
4. AppData フォルダに対する読み取り、書き込み権限
5. ExaPadサーバーのAdministratorsグループへの所属（サービス起動特権が必要です）
6. レジストリKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\BroadLeaf\ExaPad\3.0 への読み取り、書き込み権限

### WEBサーバー（Fb3Web）の実行アカウントに必要な権限

Ver.3.4.1以降、「ローカルシステム（SYSTEM）」アカウント以外での起動ができなくなりました。

## 3.1.4 ログ出力の設定

### アクセスログ出力の設定

ExaPadはユーザー操作単位でアクセスログを出力することができます。

標準ではアクセスログを出力しない設定になっています。

#### 設定方法

1. アクセスログファイルの出力先となるフォルダを作成します。  
例）D:\ProgramData\ExaPad\_data\log
2. 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > Webアプリを開きます。



3. 「accesslog\_dir」をクリックします

パラメータ名	設定値	説明	状態
accesslog_dir		WEBブラウザから行われたFileBlogへの各操作（ダウンロード、コピー、削除など）のログを保存するフォルダパスをフルパスで指定します。例）c:¥accesslog指定なし（空白）にしておくと、ログが出力されません	初期値

4. 1で作成したフォルダのパスを入力し、OKで閉じます。

The screenshot shows a dialog box titled "accesslog\_dirの設定". Inside, there is a label "値" followed by a text input field containing "D:¥ProgramData¥log". At the bottom right, there are two buttons: "OK" and "キャンセル".

5. 保存ボタンを押すとサービス再起動のダイアログが表示されるので、インデクサーにチェックを入れて再起動を行ってください。1日ごとに1ファイルずつログが出力されます。

### 出力確認

- ExaPadにログインして、検索やファイル閲覧などの操作をしてください。
- 指定フォルダにアクセスログファイルが、[yyyymmdd]\_u.log というファイルが出力されます。

## 3.1.5 パフォーマンスチューニング

文書数やユーザー数の多い環境で快適に利用するために性能チューニングができます。

サーバーのパフォーマンスを最適化することで、インデックス構築やプレビュー作成にかかる時間を短縮できます。

### 主なチューニング項目

項目	説明
検索エンジンのメモリ割当て	検索対象の文書数が50万を超えた場合にはメモリ割当てを増やしてください。
同時実行スレッド数	ファイルに対して行うテキスト抽出およびプレビュー抽出の処理を同時並列に実行させることができます。

変更検知のON / OFF	ファイルの変更が頻繁に行われる環境や、サーバーの性能が不足している場合にOFFにするとサーバーの負荷が軽減されます。
Webサーバーの分散	検索サーバー(Fb3Indexer, Fb3Solr)とWebサーバー(Fb3Web)を別サーバーで稼働させたり検索エンジン1台に対して複数のWebサーバーを起動して負荷を分散させることができます。

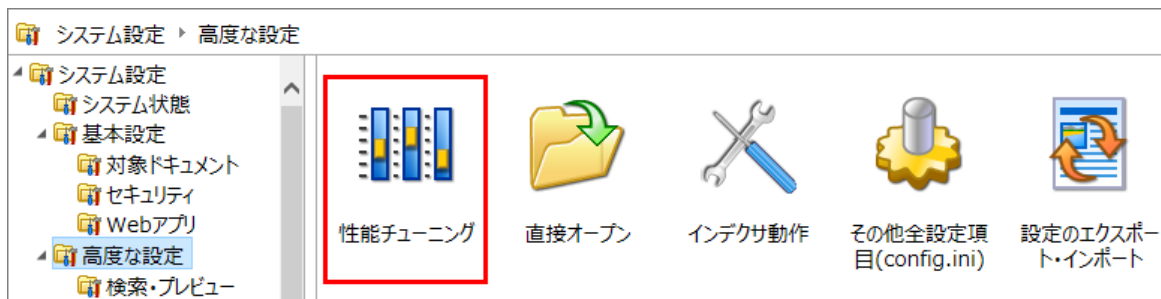
### 3.1.5.1 インデックス構築処理の高速化

ハイスペックなサーバーPC（複数のCPUを搭載など）の環境においてインデックス構築処理を高速化する方法について説明します。

#### 設定方法

複数の処理を同時に走らせることで処理が高速化する可能性があります。

1. 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 性能チューニングを開きます。



2. 3つのパラメーターを、サーバーの性能に応じて調整してください。

例として、batch\_extracttext\_threads をクリックします。

パラメータ名	設定値	説明	状態
batch_extracttext_threads	2	テキスト抽出を並列処理する数です。サーバー機に搭載されているCPU数に応じて調節します。	初期値
batch_put_threads	10	インデックス登録処理を並列処理する数です。サーバー機に搭載されているCPU数に応じて調節します。	初期値
batch_tpi_threads	2	プレビュー抽出処理を並列処理する数です。サーバー機に搭載されているCPU数に応じて調節します。	ユーザー設定

- batch\_extracttext\_threads：テキスト抽出処理を並列処理する数です。
- batch\_put\_threads：インデックス登録処理を並列処理する数です。
- batch\_tpi\_threads：プレビュー抽出処理を並列処理する数です。

いずれもサーバーマシンのCPU性能に応じて調節します。

3. 並列する数を値として入力します。

たとえば、2並列処理にする場合には「2」を入力し、OKでとじます。

The image shows a Windows-style dialog box titled "batch\_extracttext\_threadsの設定". Inside, there is a label "値" (Value) followed by a text input field containing the number "2". At the bottom right, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

4. 保存ボタンを押すとサービス再起動のダイアログが表示されるので、インデクサーにチェックを入れて再起動を行ってください。
5. batch\_put\_threads とbatch\_tpi\_threads も同様に設定します。

### 注意

- CPU（コア数・スレッド数）が1つの場合、実行中に物理メモリの使用率が高い場合には、この設定は行わないでください。
- マルチCPU・マルチコアCPUを搭載して、十分な空きメモリ容量を確保したマシンで行ってください。
- CPU使用率やメモリの使用率は、Windowsタスクマネージャのパフォーマンスにて確認できます。

❖ この設定を行うと、CPUやメモリをExaPadサーバーがより多く占有することになります。

ExaPad導入時のインデックス初期構築の場合には、リソースを使い切る設定でも問題ありません。

運用のスタート後は、サーバーのパフォーマンスを落とさないよう、値を小めに設定することを推奨します。

### 3.1.5.2 ヒープメモリ割り当てを増やす

ExaPadの検索エンジン、Apache Solrは、Java仮想マシン（以下Java VMと呼びます）で動作します。

検索対象となる文書数、テキスト量が増えるに連れて、検索エンジンが必要とするヒープメモリ量も増え、初期設定値では不足することがあります。

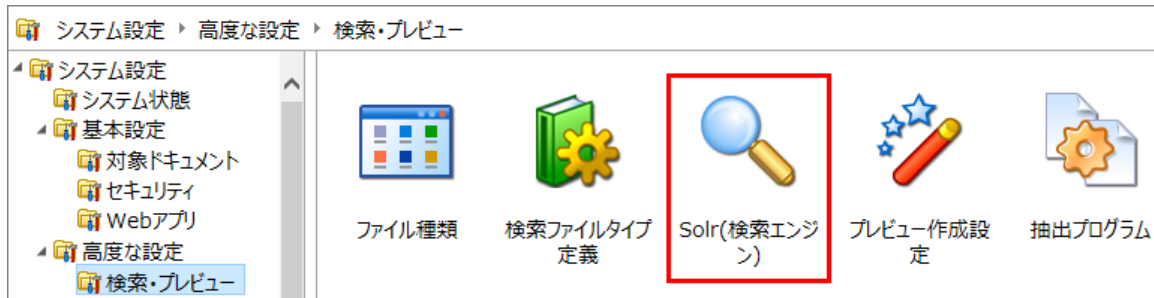
ヒープメモリ量が不足は、検索性能が低下や検索エンジンが応答しなくなる原因になります。

300万文書を越える大規模環境では、ヒープメモリサイズは1GBを超える設定が必要です。

32bit環境では、1GBを超えるメモリ割り当てができません。

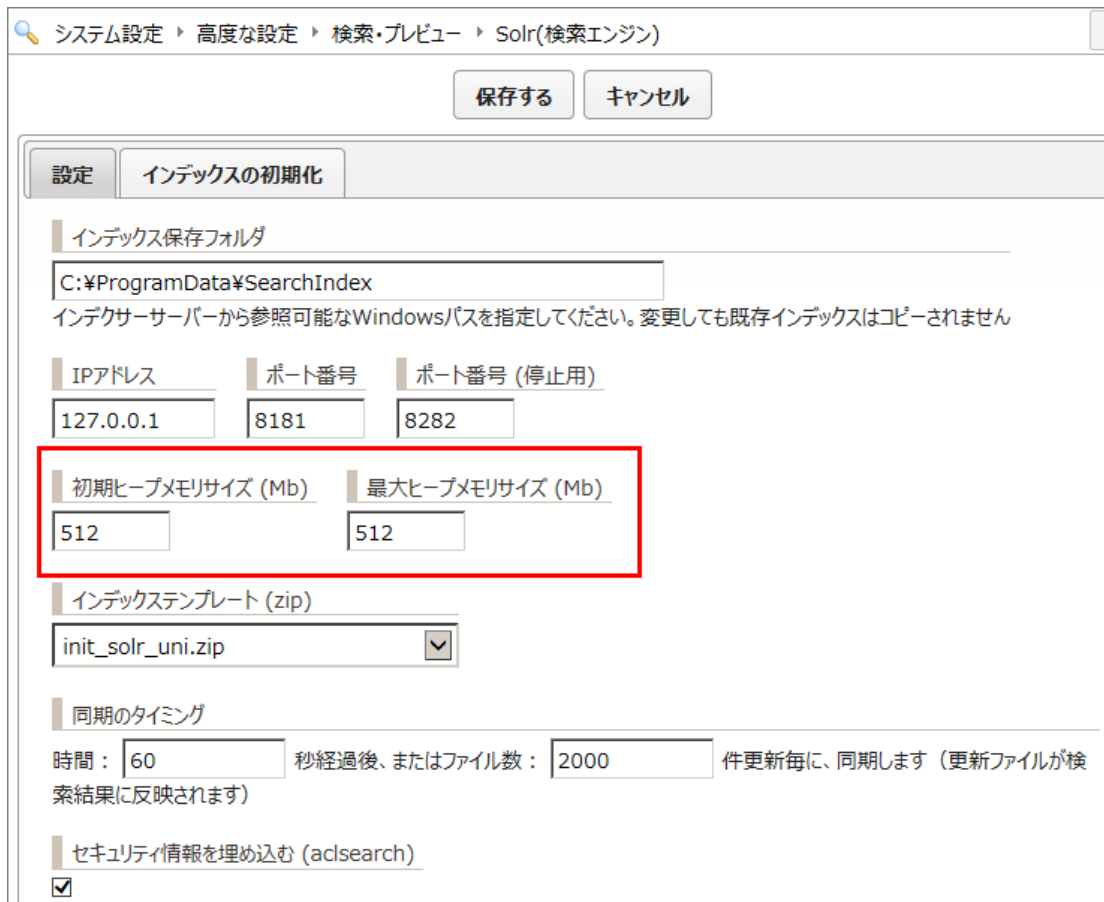
### 設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > Solr（検索エンジン）を開きます。



## 2. ヒープメモリのサイズを変更します。

初期ヒープメモリサイズ (Mb) , 最大ヒープメモリサイズ (Mb) を変更します。



初期サイズと最大サイズは同じ数値に設定することを推奨しています。

32bit OSに4GBのメインメモリを搭載したマシンの場合は、設定値を1024MB以下にしてください。

64bit OSのマシンでは、1024MB以上のヒープメモリサイズを割り当てることができます。

## 3. 保存ボタンを押すとサービス再起動のダイアログが表示されるので、インデクサーにチェックを入れて再起動を行ってください。

### 3.1.6 プレビュー作成設定

ExaPadではファイルをアプリケーションで開かずにはプレビューすることができます。

本マニュアルでは サムネイル・プレビュー 拡大プレビューを総称して「プレビュー」と記載します。

- サムネイル： フォルダを開いたときにファイル一覧時に表示される小さな画像（100px）
- プレビュー： ファイルを開いたときに表示される画像（640px）
- 拡大プレビュー： ファイルを開いたとき拡大表示用の画像（1440px）

Ver.3.3.2より前のバージョンからアップグレードされたお客様は、設定が引き継がれるため大きな変更はありません。

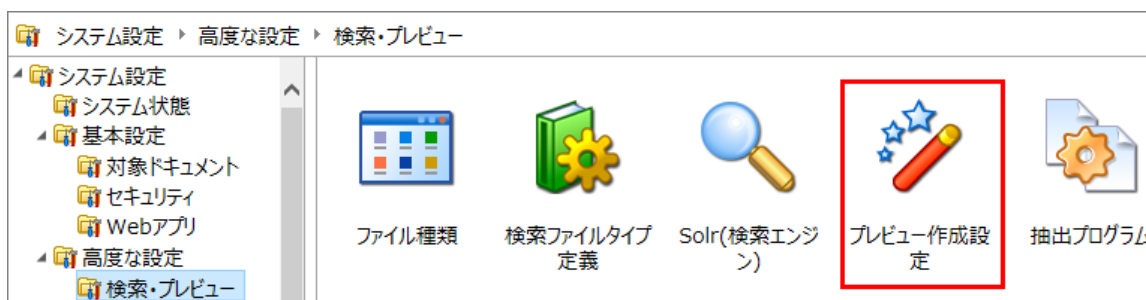
詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

### プレビュー作成設定の基本

- 標準では、事前作成 先頭サムネイルのみ、随時作成 先頭3ページ」の設定になっています。
  - プレビュー作成操作、ファイルの変更検知、ファイル一覧画面の表示のいずれかが行われると、ファイルの先頭ページのサムネイルが作成されます。
  - ファイルプレビュー画面を開くと、ファイルの先頭3ページのサムネイルとプレビューが作成されます。  
最初のユーザーは初回閲覧時にプレビューが作成されるまでにしばらく時間がかかりますが、次のユーザーは既に作成されたプレビューを閲覧することができます。
- 設定を変更することで、あらかじめ前ページのプレビュー画像を作成しておくこともできます。
- 設定した作成条件はフォルダ単位、ファイル単位に変更することができます。
- 子フォルダは一つ上の親フォルダの作成条件を継承します。階層途中のフォルダに新たに作成条件を設定した場合は、その配下のフォルダは新しい作成条件を継承します。
- 同じファイル種類（拡張子）に対して複数のフォルダで異なる作成条件が設定されている場合には、継承した作成条件もしくは、そのフォルダに設定された作成条件が有効になります。
- いずれの作成条件に指定されていないファイル種類（拡張子）のファイルは、プレビュー作成されません。
- プレビュー画像が作成済みのファイルをプレビュー作成しない（もしくは作成するページを減らす）条件にした変更した場合、インデックス再構築の実行により不要な作成済みのプレビュー画像は削除されます。
- 画像プレビューに対応していないファイル種類（拡張子）を、プレビュー作成条件で指定してもプレビューは作成されません。

### 設定方法

- 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > プレビュー作成設定 を開きます。





2. プレビュー作成条件を設定する画面が開きます。

システム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > プレビュー作成設定

保存する キャンセル

事前作成設定: カスタム\_先頭100ページ

以下のタイミングで使用するプレビュー作成設定です

- ☒ フォルダスキャンによるプレビュー再構築時 (選択必須)
- ☒ ファイルの変更検知時
- ☒ ファイル一覧の表示時

随時作成設定: カスタム\_先頭100ページ

以下のタイミングで使用するプレビュー作成設定です

- ☒ プレビュー再作成 メニューの実行時 (選択必須)
- ☒ ファイル閲覧時

保存期限: -1

インデックス・プレビュー掃除の際に、保存期限を過ぎたプレビュー・サムネイルのうち事前作成設定の対象以外を削除します。

保存期限を無期限にしたい (削除したくない場合)、-1 を設定してください。

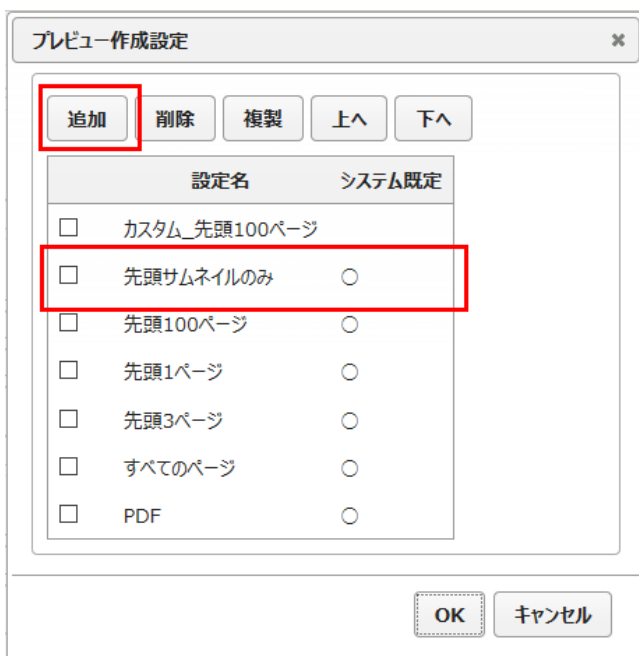
保存期限は最後にファイルを表示してから経過日数で判定します。

プレビュー作成設定を編集する

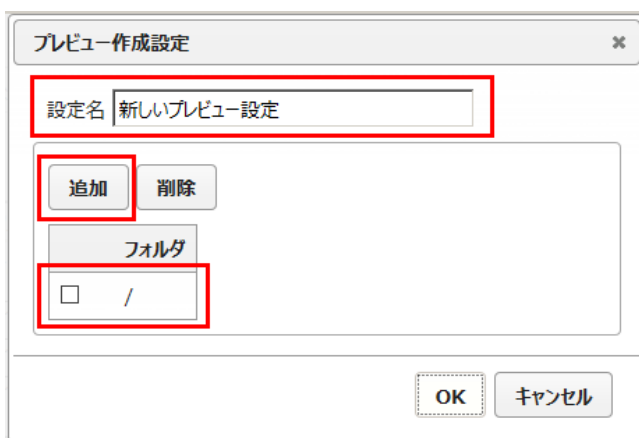
- 事前作成設定  
インデックス再構築が実行されたとき、ファイルが更新され変更を検知したとき、フォルダを開いてファイル一覧したときにプレビューが作成されます。
- 随時作成設定  
ファイルプレビュー画面を開いたとき、操作メニューからプレビュー再作成を実行したときにプレビューが作成されます。
- 保存期限  
プレビューの保存期限です。最後にファイルを閲覧された日から設定期間が過ぎたプレビューは、インデックスの掃除が実行されると先頭ページのサムネイル以外すべて削除されます。
- プレビュー作成設定を編集する  
独自のプレビュー作成条件をつくることができます。フォルダやファイル種類 (拡張子) ごとに作成条件をつくることができます。  
標準の作成条件を変更することができません。

## プレビュー作成設定を編集する

1. プレビュー作成設定のダイアログで、「プレビュー作成設定を編集する」を選択します。
  - 新規にプレビュー作成条件を設定する場合は、「追加」ボタンを選択します。
  - 既存の作成条件を選択すると内容を編集できます。(標準設定は閲覧できますが、編集はできません。)

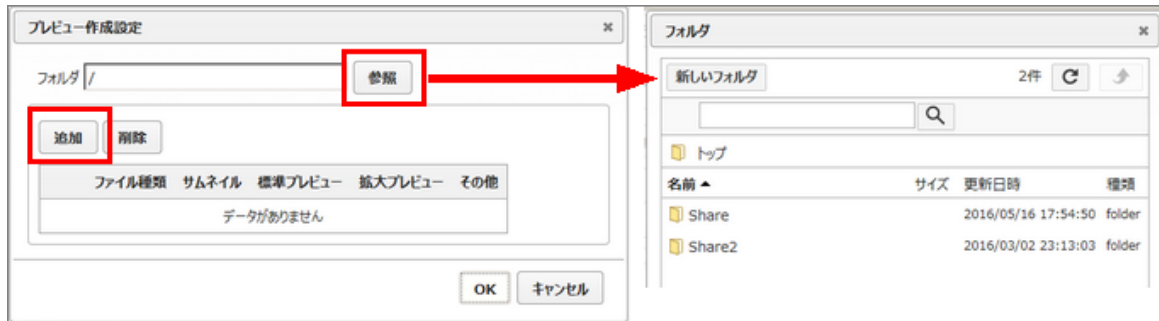


2. 設定名（作成条件名）や対象フォルダを設定します。

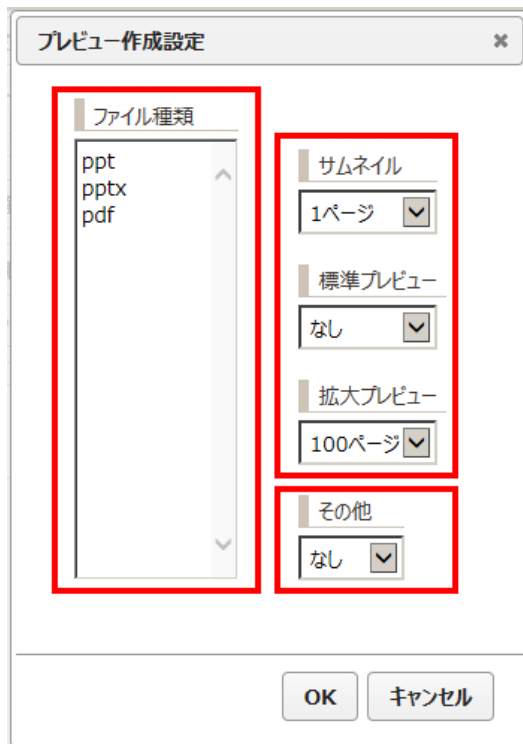


- 設定名を任意の名称に編集します。
- 「追加」ボタンを選択すると、新規に対象フォルダと対象拡張子を設定できます。
- 既存設定フォルダ「 / 」を選択すると内容を編集できます。（「 / 」は、全てのドキュメントルート（バーチャルドキュメントルート）を表します。）
- 対象フォルダを複数追加して、それぞれに異なる設定ができます。

3. 対象フォルダを選択し、対象ファイル種類（拡張子）を設定します。



- 「参照」ボタンを選択して、対象をフォルダを設定します。
  - 「追加」ボタンを選択して、対象ファイル種類（拡張子）とプレビューページ数を設定します。
4. ファイル種類（拡張子）ごとにプレビューページ数を設定します。



- ファイル種類の設定  
ファイル種類に、拡張子を改行区切りで入力します。（ピリオドは不要です。）
- サムネイル・標準プレビュー・拡大プレビューの設定
  - それぞれに作成ページ数を指定します
  - サムネイルは、ファイル一覧のサムネイル表示や、ファイルプレビュー時のサムネイル一覧で表示されます。（標準・拡大プレビューと同数をおすすめします。）
  - 標準プレビューは、画像容量を抑えられます。（閲覧時に拡大表示すると粗くなります）
  - 拡大プレビューは、画像品質を高くなります。（品質とは再現性ではなく解像度のことです。）
    - 標準・拡大プレビューの両方が作成されている場合は、拡大プレビューが優先的に表示されます。

- 標準プレビューの作成数より拡大プレビューの作成数が多い場合は、標準プレビューの作成は不要です。
  - 画像、CAD、DTPファイルなど単数ページのファイルは、複数ページ作成を指定しても1ページしか作成されません。
- その他の設定
    - PDFは、ファイル全体をAdobe PDF形式に変換してプレビューできるようにします。
      - Microsoft Word・Excel・PowerPointのファイルのみに設定できます。
    - HTMLは、ファイル全体をHTML形式に変換してプレビューできるようにします。
      - Microsoft Word・Excelのファイルのみに設定できます。
      - サムネイル、標準、拡大プレビューが作成されていてもHTMLプレビューが優先されます。
5. 「OK」ボタンで設定を保存し、必要に応じて条件を追加作成してください。  
設定ダイアログを閉じていき、最初の「プレビュー作成設定」まで戻ります。
  6. 設定したプレビュー作成条件を選択します。

システム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > プレビュー作成設定

保存する キャンセル

事前作成設定: カスタム\_先頭100ページ

以下のタイミングで使用するプレビュー作成設定です

☒ フォルダスキャンによるプレビュー再構築時 (選択必須)

☒ ファイルの変更検知時

☒ ファイル一覧の表示時

随時作成設定: カスタム\_先頭100ページ

以下のタイミングで使用するプレビュー作成設定です

☒ プレビュー再作成メニューの実行時 (選択必須)

☒ ファイル閲覧時

保存期限: 90

インデックス・プレビュー掃除の際に、保存期限を過ぎたプレビュー・サムネイルのうち事前作成設定の対象以外を削除します。

保存期限を無期限にしたい (削除したくない場合)、-1 を設定してください。

保存期限は最後にファイルを表示してから経過日数で判定します。

プレビュー作成設定を編集する

- 事前作成設定、随時作成設定に作成条件を指定します。
  - 保存期限に日数を入力します。
    - 「-1」を入力すると無期限になります。
7. 保存ボタンを押すとサービス再起動のダイアログが表示されるので、インデクサーにチェックを入れて再起動を行ってください。

## プレビューの再作成

- プレビュー作成設定を保存するだけでは、プレビューの作成は行われません。
- 新しい設定に従ってプレビューの作成を行うには、設定後に「プレビューの再作成」を行ってください。
- プレビューの再作成を行うと、新しいプレビュー作成設定に従ってプレビューが再作成（作成 削除）されます。
- 設定を行った後に追加もしくは更新されたファイルについては、変更検地により自動的にプレビューが作成されます。

### プレビュー再作成の方法

プレビュー再作成の方法は、全体的と部分的に実行する方法があります。

- 全体的に実行（手順は複数あります）
  - 「トップ」フォルダを右クリック > 管理者メニュー > インデックス・プレビュー再構築 > プレビュー抽出を行う
  - 「トップ」フォルダを表示する > 「ファイル」メニュー > 管理者メニュー > インデックス・プレビュー再構築 > プレビュー抽出を行う
  - 画面下部のシステム設定 > メンテナンス操作 > インデックス再構築 > プレビュー抽出を行う
  - 画面下部のシステム設定 > システム状態 > インデックス構築状況 > インデックス再構築 > プレビュー抽出を行う
- 部分的に実行（手順は複数あります）
  - フォルダを右クリック > 管理者メニュー > インデックス・プレビュー再構築 > プレビュー抽出を行う
  - フォルダを表示する > 「ファイル」メニュー > 管理者メニュー > インデックス・プレビュー再構築 > プレビュー抽出を行う
  - ファイルを右クリック > プレビュー操作 > プレビュー再作成
  - ファイルプレビュー画面を表示 > 「ファイルメニュー」 > プレビュー操作 > プレビュー再作成

## ファイル選択時の動作設定

ファイルを選択したときの動作を設定できます。標準ではファイルを選択するとプレビュー画面が表示されます。

ダウンロードして端末のアプリケーションで開くようにすることもできます。

1. 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > その他前設定項目（config.ini）を開きます。
2. テキストボックスに「gridview」と入力します。
3. 「gridview\_pathlink\_type」を選択します。
4. 「showview」という値を「downloadopen」に変更します。
8. 「保存する」ボタンを押すとサービス再起動のダイアログが表示されるので、インデクサーとWEBサーバーにチェックを入れて再起動を行ってください。

### パラメータ値

- showview      ファイルを選択するとプレビュー画面が表示されます。
- downloadopen      ファイルを選択するとファイルが端末にダウンロードされ、アプリケーションでファイルが開かれます。（プレビュー画面は表示されません。）

### 3.1.6.1 動画プレビュー作成

動画ファイル \* ( flv, mp4, avi, mov, asf, rm, wmv, ogv, mpeg, mpg) のプレビューの作成設定をします。

画像プレビューに対応した動画形式であることをあらかじめ確認してください。

対応フォーマットは「FFmpegがデコード可能な動画コーデックで構成されたファイルフォーマット」になります。

列挙されたファイル以外で対応可能なファイルフォーマットもあれば、特殊なコーデックを使用しているファイルは、対応フォーマット一覧に記載されていても非対応となる場合があります。

#### 動画プレビュー作成に関するおことわり

ExaPadの動画プレビュー画像生成機能は、オープンソースの動画コンバーターFFmpegに依存して実現します。

FFmpegおよび組み込まれる各種コーデックについては、それぞれ知的所有権の権利者が存在するため、配布や利用の許諾条件についてはお客様ご自身でご確認のうえ、自らの責任においてFFmpegの導入および使用してください。

弊社では、ExaPadがFFmpegを適切に呼出すための設定方法についてサポートいたしますが、動画ファイルのプレビュー作成を含むFFmpeg自体の動作については保証しかねます。またFFmpegおよび各種コーデックの使用許諾についても、弊社は関知いたしません。

#### 設定方法

##### FFmpeg.exeをインストールする

[ インストールフォルダ ] \Bin\Toolsにffmpeg.exe を配置してください。

ffmpeg.exe はインストーラーに含まれていないため、別途用意していただく必要があります。

##### [ FFmpeg の入手方法 ]

- FFmpeg 公式ページ<http://www.ffmpeg.org/>
- 次の配布ページから入手できます。最新版「32bit Static」ビルドの利用を推奨します。  
<http://ffmpeg.zeranoe.com/>

##### [ FFmpegの使用とライセンスに関して ]

- FFmpeg がデコードやエンコードするコーデックは一部を除いてライセンスフリーではありません。
- 詳しくは FFmpeg の [license and legal considerations](#) ( 英語ページ ) を確認してください。  
FFmpegのライセンスについては、弊社ではサポートできません。あらかじめご了承ください。

##### [ 注意事項 ]

- 拡張子が同じでも、特殊な形式の動画ファイルではプレビューが作成できない場合があります。
- FFmpegのバージョンによってはうまく動作しない場合があります。その場合には弊社までご連絡ください。

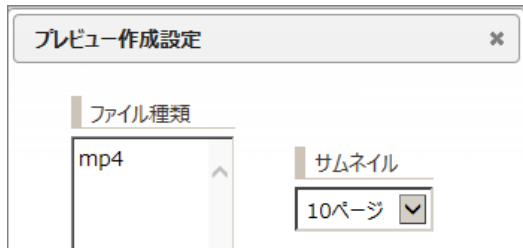
## ExaPadでプレビュー作成を設定する

### 1. 動画 プレビューを作成するための設定

プレビュー作成設定画面を確認して、動画ファイルの拡張子を追加登録してください。

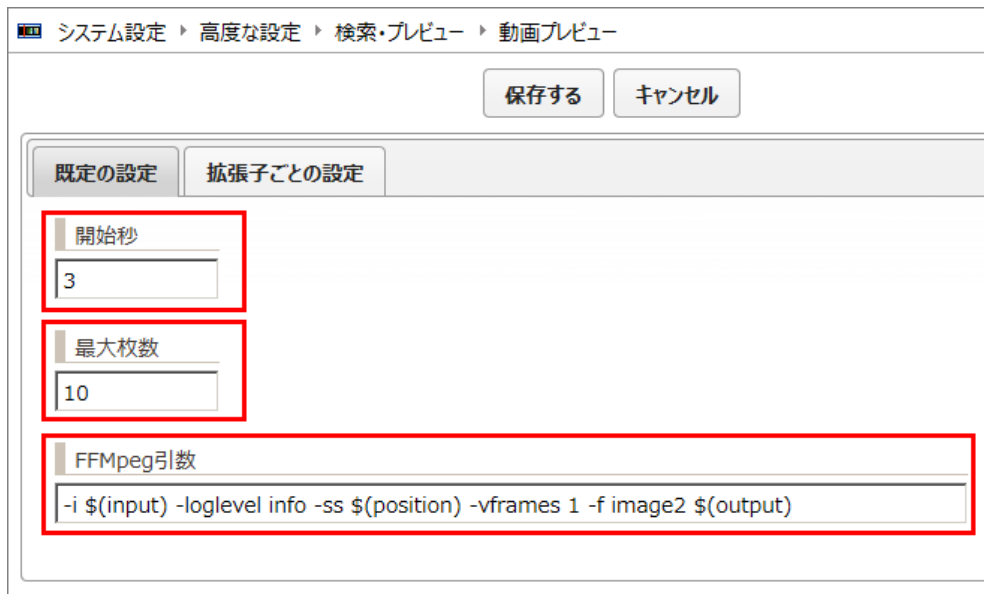
画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > プレビュー作成設定 で追加する。

標準設定では動画ファイルのプレビューは作成しません。



### 2. プレビュー作成の詳細設定

画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > 動画プレビュー を開きます。



- 開始秒

サムネイルの先頭1枚目を再生開始からの秒数で設定します。

- 最大枚数

作成するサムネイル枚数を設定します。再生時間を設定値で分割して作成します。

1. で設定したプレビュー作成設定のページ数の方が多い場合、最大枚数を超えるサムネイルは作成されません。

- FFMpeg引数

ffmpeg.exe を実行する時のパラメーターを変更できます。

ファイル種類によってはパラメーター順番を入れ替えるとプレビュー作成速度が速くなる場合があります。

- mpeg も抽出できるが遅い( i を前は持つてくる) デフォルト

- ```
-i $(input) -loglevel info -ss $(position) -vframes 1 -f image2 $(output)
```
- mpegが抽出できないが早い( i を後に持つてくる)
- ```
-ss $(position) -vframes 1 -i $(input) -loglevel info -f image2 $(output)
```

loglevelパラメーターを変更しないでください。プレビュー抽出できなくなる場合があります。

3. 「OK」ボタンで設定を保存し、インデクサーにチェックを入れてサービスを再起動してください。

4. ファイル種類（拡張子）ごとに設定する。

サムネイルをファイル種類（拡張子）ごとに設定できます。

- 1) 「拡張子ごとの設定」タブを選択してください。
- 2) 「追加」ボタンを選択すると設定ダイアログが表示されます。

動画プレビュー

ファイルタイプ (拡張子)

flv

開始秒

5

最大枚数

15

FFMpeg引数

-i \$(input) -loglevel info -f image2 \$(output)

OK キャンセル

### 最大プレビュー抽出ファイルサイズを設定する

プレビュー作成できるファイルサイズには上限があり、標準では32000（約32Mbyte）に設定されています。

上限値を超えたファイルのプレビューは作成されません。

1. 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > その他設定項目（config.ini）を開きます。
2. テキストボックスに max\_extract と入力します。



システム設定 ▶ 高度な設定 ▶ その他全設定項目(config.ini)

保存する キャンセル

絞り込み max\_extract

パラメータ名	設定値	説明	状態
max_extract_page_file_size_kb	32000	この値（単位：KB）より大きなサイズのファイルはプレビュー画像が抽出されません。-1を指定すると、無制限になります。	初期値
max_extract_page_file_size_kb_extlist		max_extract_page_file_size_kbを拡張子毎に設定します。拡張子,拡張子:サイズ(kb);拡張子,拡張子:サイズ(kb)のように指定できます。例.flv,avi,mp4:200000;mov:300000 ※max_extract_page_file_size_kbよりも優先されます。	初期値

3. max\_extract\_page\_file\_size\_kb を選択します。

max\_extract\_page\_file\_size\_kbの設定

値

32000

OK キャンセル

4. 設定値を変更します。単位はKBです。

max\_extract\_page\_file\_size\_kb の値を大きくすると、動画ファイル以外の上限値も変更されます。

これを防ぐには max\_extract\_page\_file\_size\_kb\_extlist を設定してファイル拡張子毎にプレビュー作成の上限値を設定します。

- max\_extract\_page\_file\_size\_kb\_extlist の設定方法

拡張子 (カンマ) 拡張子: (コロン) サイズ: (セミコロン) 拡張子 (カンマ) 拡張子: (コロン) サイズ: (セミコロン) 形式で指定してください。

例) flv,mp4: 320000;avi: 640000;mov: 720000

5. 「保存する」ボタンを押すとサービス再起動のダイアログが表示され、インデクサーにチェックを入れてサービスを再起動します。

### 3.1.7 インデックス構築

#### 検索 インデックス・プレビューの初期構築

ExaPadの導入 設定後、文書を検索できるように各文書のインデックスを検索エンジンに登録する必要があります。

あらかじめ、サムネイルやプレビュー画像を作成しておく、ユーザーがフォルダやファイルを開くと直ぐにプレビューの閲覧ができるようになります。

この検索インデックスおよびプレビューの初期構築は、文書量や文書種類、サーバー性能により長時間を要することがあります。

初期構築をスムーズに完了させるために、インデックスの初期構築期間はユーザーにExaPadの利用を公開せず、初期構築に専念させることをお勧めします。

### ファイル変更検知を一時停止

ExaPadは、ドキュメントルートフォルダの変更をリアルタイムで監視し、変更を検知すると検索インデックスを更新します。

ExaPadのインデックス初期構築期間中もファイルサーバーは通常通りに利用されると考えられ、ファイルの変更が頻繁に行われる可能性があります。

ExaPadは、検出されたファイル変更の更新処理を随時行うため、インデックスの初期構築・プレビューの初期作成の処理に影響があり、処理時間が滞るおそれがあります。

ファイル変更が頻繁に発生する環境でのインデックス初期構築の場合には、ファイル変更監視を一時停止することでファイル変更の影響を受けないようになります。平日で初期構築実行や文書量が多い環境での実行時にお勧めです。

#### 【ドキュメントルートに対してファイル変更検知を無効する方法】

- 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > その他全設定項目 ( config.ini ) を開きます。
- テキストボックスに、directory と入力します。
- directory\_change\_notifier\_disabled を選択し、「ON」に設定します。
- 「保存する」ボタンを選択して、インデクサーにチェックを入れてサービスを再起動すると反映されます。

### インデックス構築（初回）の実行

- 画面下部のシステム設定 > メンテナンス操作 > インデックス再構築 を選択します。
- 「検索インデックス登録を行う」と「プレビュー抽出」にチェック入れて実行します。

### 初回インデックス構築状況の確認

インデックス構築は次のように進行していきます。

画面下部のシステム設定 > システム状態 > インデックス構築状況 で状況を確認できます。

### フォルダスキャン

ドキュメントルートの全フォルダと全ファイルをスキャンして、ファイル一覧を作成します。

この処理は単純にスキャンするだけなので高速に処理が完了します。

スキャンが完了すると、文書数の項目にドキュメントルートごとのカウント数（フォルダとファイルの総数）が表示されます。

文書数			
ドキュメントルート	最終スキャン日時	カウント	検索インデックス登録数
DocRoot	2013/11/22 18:13:42	2,613	0
<a href="#">インデックス再構築</a>			

## 検索インデックス構築

スキャンが完了すると、テキスト抽出および検索インデックス登録の処理がスタートします。

この処理では、フォルダとファイルを読み取ってテキストを抽出し、抽出したテキストを検索エンジンに登録します。

文書数に応じて数時間～数十時間を要します。

サーバーの性能により、パフォーマンスのチューニングを行うことで処理時間を大幅に短縮できます。

処理中			
構築	ドキュメントルート	ステータス	
		検索インデックス登録	残 734 件
		検索インデックス掃除	残 878 件
	DocRoot	テキスト抽出	残 878 件
		プレビュー抽出	残 2,224 件

検索インデックス構築、プレビュー抽出処理の進捗状況は、処理中のステータスで確認できます。

検索インデックス登録の残件数は、テキスト抽出した後にキュー（待ち行列）に登録されるので、一様に減っていくわけではありません。

## インデックス登録数が増えない？

処理が始まっているのに、検索インデックス登録数が増えていないように見えます。

検索エンジンは、メモリにキャッシュしたインデックスを2000件に1回のタイミングでディスクへ書き込むため遅延しているように見えてしまいます。

## 処理完了まで待ちきれない場合は？

インデックス構築処理の実行中でも、検索エンジンを停止することができます。

検索エンジンを再起動すると、中断地点からインデックス構築処理を自動的に再開します。

処理の途中で中断し、パフォーマンスのチューニングを行うこともできます。

また、サーバー（OS）を再起動した場合も、中断した地点からインデックス構築処理を自動的に再開します。

## サーバーのコンソールがフリーズして困ったら

インデックスの初期構築は、大変負荷の重い処理です。

検索サーバーが「バックグラウンドタスク優先」に構成された環境だと、インデックス構築処理がCPUを100%近く占有した場合、マウスカーソルが動かななくなったり、キーボード入力が受け付けられなくなったりすることがあります。

このような症状を予防するには次の方法が有効です。

- ExaPadにログインするためのWebブラウザは、サーバーマシンとは別の端末から行う方が安全です。

- サーバーのコンソールでは、不要なアプリケーションを起動しないようにしてください。

万一、コンソールが入力を受けなくなった場合には、リモートマシンからサーバーで稼動する、検索エンジン（インデクサーサービス）を停止することで、サーバーの負荷を落ち着かせることができます。

- コマンドプロンプトから下記のコマンドをご利用下さい。

```
> sc \\ServerName stop Fb3Idxr
```

「sc」コマンドで、サーバー（ServerName）のFb3Idxrサービス（インデクサー）に停止要求を投げるができます。

ServerName の部分は実際のコンピュータ名に合わせてください。

- 停止要求の受け付けの可否は次のコマンドで確認できます。

```
> sc \\ServerName query Fb3Idxr
```

- STATUS: RUNNING                      停止要求をまだ受付けていません。
- STATUS: STOP\_PENDING                停止中。STOPPEDは停止状態です。

## プレビュー抽出

プレビュー抽出処理は、負荷の大きな処理ですので、特に初回構築時には長時間を要します。

印刷処理と同等のため、1ページあたり1秒程度を要します。

## ファイル変更検知の再開

プレビュー作成まで完了したら、ファイルの変更検知を再開します。

この設定以降に変更、追加されたフォルダとファイルは、検索インデックスとプレビューが自動的に更新されます。

- 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > その他全設定項目（config.ini）を開きます。
- テキストボックスに directory と入力します。
- directory\_change\_notifier\_disabled を選択し、OFFに設定します。
- 「保存する」ボタンを選択して、インデクサーにチェックを入れてサービスを再起動すると反映されます。

## インデックス再構築（2回目）の実行

ファイル変更検知を有効化した後に、もう一度インデックス再構築を実行します。

これにより、1回目のインデックス構築期間中にユーザーが変更したファイルを含め、完全な検索インデックスを構築することができます。

文書の更新日時をチェックして登録済みインデックスとの差分のみを更新するため、処理時間は初期構築と比べて大幅に短縮されます。

再構築の操作は初回と同じです。

- 画面下部のシステム設定 > メンテナンス操作 > インデックス再構築 を選択します。
- 「検索インデックス登録を行う」と「プレビュー抽出」にチェック入れて実行します。

### 3.1.8 定期実行タスクの設定

ExaPadは、Windows ファイルシステム ( NTFS ) のフォルダを監視しているので、新しく追加・変更されたファイルは、自動的に検索インデックスに登録され、検索ができるようになります。

しかし、ネットワークの状況や操作のタイミングによっては、まれに取りこぼしが発生する場合があります。

この問題に対応するために、全てのフォルダをスキャンして取りこぼしたファイルをインデックス登録し、ファイルシステムから削除されたファイルをインデックスから掃除する処理を定期的に行うことをお勧めします。

#### 定期実行タスクについて

ExaPadの運用に必要な、定期実行タスクは次の3種類です。

- インデックス・プレビュー再構築 ( クロール処理 )

ドキュメントルートフォルダをスキャンし、検索エンジンに登録されているインデックス更新日時と比較して新しい更新日時のファイルがあれば、インデックスに最新情報を登録します。

クロール処理の実行間隔が長いと、インデックスが古くなり検索漏れが発生する場合があります。

毎日あるいは毎週に実行することをお勧めします。

- インデックス掃除 ( パージ処理 )

検索エンジンに登録されているファイル一覧をスキャンして、ドキュメントルート ( ファイルサーバー ) から削除された文書があれば、インデックスデータを削除します。

パージ処理の実行間隔が長期になっても検索漏れが起こることはありませんが、不要なインデックスが溜まるため検索性能が低下することもあります。

2ヶ月に1回程度の実行をお勧めします。

- プレビュー掃除 ( パージ処理 )

ドキュメントルートから削除されたファイルがあれば、該当するファイルのプレビュー画像を削除します。

プレビュー保存フォルダ ( 抽出テキスト・プレビュー画像の保存フォルダ ) のあるドライブの空き容量に余裕がある場合は、頻繁に実行する必要はありません。

2ヶ月に1回程度の実行をお勧めします。

#### 設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > タスクスケジューラを開きます。



## 2. 標準で3種類のタスクが登録されています。

Ver.3.3以降にそれより前のバージョンからバージョンアップした場合は登録されていません。

ExaPadの利用状況や環境に応じて、実行時刻や頻度の設定を変更してください。



- インデックス・プレビュー再構築
- インデックス掃除
- プレビュー掃除

## 〔注意〕

- 1 回の処理にかかる時間が、タスクの周期より大きいと無限に処理し続けてしまいます

実行した翌日などに、画面下部のシステム設定 > システム状態 > インデックス構築状況 を開いて確認し、残りの処理数が増え続けているようであれば、タスクの周期が短いと考えられます。

- 実行中はサーバーに負荷がかかり、パフォーマンスが落ちることが想定されるため、利用者の少ない時間帯や日時に設定することをお勧めします。

## 3. 「追加」ボタンを選択して「タスクの設定」画面を開きます。

既存タスクを編集する場合には、編集したいタスクを選択します。

標準設定のタスクは編集できません。

タスクの設定

アクション スケジュール

名前  
新しいタスク

アクション  
任意のコマンド

コマンド

有効にする  
☒

OK キャンセル

- 「名前」と「アクション」を決定します。
- 「有効にする」にチェックが入っていないなど設定がONになりません

4. 「スケジュール」タブを開いて日時を設定します。

タスクの設定

アクション スケジュール

タスクのスケジュール 開始時刻

毎週 2016/05/30 16:15:56

タスクのスケジュール

月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土 ☐ 日 ☐

OK キャンセル

- 「タスクのスケジュール」で周期を設定します。
- 「開始時刻」でタスクが最初に開始される時刻を設定します。

5. 設定後に「OK」ボタンでダイアログを閉じ、「保存する」ボタンを選択し、インデクサーにチェックを入れてサービスを再起動すると反映されます。

### 3.1.9 管理者パスワードの設定

管理者向けメニューを管理権限者ではないユーザーから操作できないようにするため、管理者パスワードを設定することができます。

標準（インストールしたばかりの状態）では、管理者パスワードが設定されていません。この場合、誰でも管理者向けメニューを操作できるようになっています。

管理者パスワードを設定してから運用することをお勧めします。

#### 管理者パスワードの設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > 管理者パスワードの設定 を選択します。



2. パスワードを入力して設定します。

3. 設定されたパスワードを確認します。

設定した直後は管理者としてログインした状態になっていますので、一度ログアウトしてください。

画面下部の「システム設定」を選択すると、パスワード入力画面が表示されます。

設定したパスワードを入力して管理者メニューの画面が表示されれば完了です。

誤ったパスワードが設定されている場合には、本ページの「管理者パスワードの初期化」の欄を参考にして再設定してください。



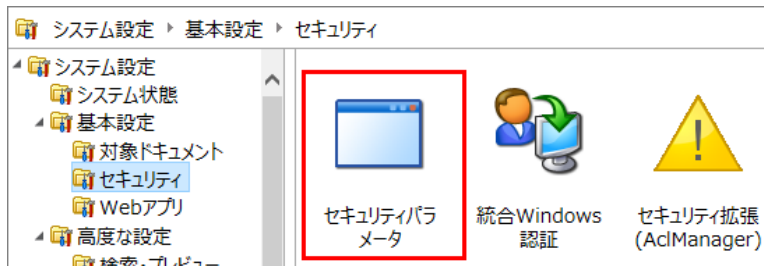
## 管理者グループ・ユーザーの設定

adminusers または admingroups に指定されたユーザーは、ログインすると管理者ログインなしに管理者向けメニューにアクセスできます。

ExaPadVer3.5.1.\*以降、管理者以外のユーザーに管理者向けメニューをアクセスさせない場合は、管理者パスワードを設定しないでください。

### 設定方法

- 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > セキュリティ > セキュリティパラメーターを開きます。



- adminusers または admingroups を設定します。

どちらかを選択すると設定ダイアログが表示されます。

パラメータ名	設定値	説明	状態
admingroups		adminusersのグループ名です。詳しくは、adminusersの説明を参照してください。	初期値
adminnetlist	127.0.0.0/8,::1/128	"システム管理"ページにアクセスできるクライアントのIPアドレスの範囲を改行区切りで指定します。	初期値
adminusers		管理者となる方のログインIDを改行区切りで指定します。指定されたユーザーはログインすると、管理者となり、管理者向けメニューに管理者ログインなしにアクセスできます。一方で、adminusersに指定されていないユーザーは、管理者向けメニューが非表示になります。なお、adminusersに指定がない場合には、全員に管理者向けメニューが表示されます。管理者パスワードが設定されている場合にのみ有効です。3.2以降からドメイン名を含められるようになりました（例：DOMAIN\userid, userid@domain）。	初期値

- adminusers（管理者）、admingroups（管理者グループ）は、Windowsで設定されているユーザーとグループのことで、
- 両方を設定することはできず、両方を設定した場合には、adminusers（管理者）の設定が優先されます。

- 改行区切りでユーザー名・グループ名を入力します。

ドメイン名を含めて入力することも可能です。

例）DOMAIN\userid, userid@domain

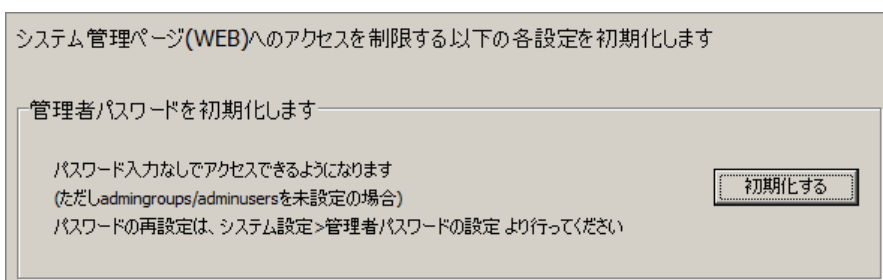
## 管理者パスワードの初期化

万が一パスワードを忘れてしまった場合は、ExaPadVer3.5.1.\*以降は管理ツールから初期化することができます。

1. ExaPad管理ツール > 高度な設定 > システム管理アクセス許可 を開きます。



2. 管理者パスワード初期化の欄の「初期化」ボタンを選択すると初期化されます。



## 3.2 導入時の留意事項

ここでは管理者向けに導入時の留意事項について説明します。

### 3.2.1 インストールできない

#### 現象

インストーラーが実行できない、止まってしまう

#### 原因と対処

- ユーザーにインストール権限がない

Administrator権限を持ったユーザーで実行してください。

- 管理者権限で実行していない

Windows Vista以降では、UAC(ユーザーアカウント制御)が有効でAdministratorグループに所属していても、標準ユーザーと同じ権限しかもってない場合があります。この場合には、インストール時に管理者へ昇格するか、UACを無効にする必要があります。

- セキュリティソフトが妨害している (Temp、プロセス、レジストリ)

セキュリティソフトによっては「一時フォルダへの書き込みを禁止する」「レジストリへの書き込みを禁止する」「プロセスの起動を制限する」「TCP/IPポートを塞ぐ」などの機能を持つため、ExaPadの内部的な処理が阻害される場合があります。インストーラーやExaPadサーバーを例外に追加するか、セキュリティソフトを無効化してください。

- インストーラーが壊れている  
インストールプログラムが壊れている場合があります。実行できないような場合は再入手してください。

## 原因がわからない場合

弊社のサポート窓口までご連絡ください。

その時に次のファイルを送付していただくと、迅速な問題解決に役立ちます。（ファイルが存在しない場合はその旨もお知らせください。）

- ExaPad Version3.3.2以降

1. installer.log

C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\ExaPad3.0\installer.log

2. ExaPadSetup Log.txt

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temp\ExaPad Setup Log.txt

または

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temp\[数字]\ExaPad Setup Log.txt

- ExaPad Version3.3.1以前

1. FbInstaller.log

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temp\ExaPad\FbInstaller.log

または

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temp\[数字]\ExaPad\FbInstaller.log

2. ExaPadSetup Log.txt

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temp\ExaPad Setup Log.txt

または

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temp\[数字]\ExaPad Setup Log.txt

ユーザー名にはインストーラーを実行したユーザー名が入ります。

[数字]の箇所はインストールするバージョンによって異なる場合があります。

Windows Vista、Server 2008 以降は

C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temp

C:\Documents and Settings\All Users\Application Data

を、それぞれ次のように読み替えてください。

C:\Users\ユーザー名\AppData\Local\Temp

C:\ProgramData

### 3.2.2 Fb3Indxer サービスの起動に失敗する

#### 現象

- Fb3Indxer サービスの起動に失敗する。
- Fb3Indxer サービスが起動していない。

#### 原因

次の原因が考えられます。

- Windows の設定が不完全である。
- ExaPad の設定が間違っている。
- サービスの実行アカウントに設定されているユーザーの Administrator 権限（必要な権限・特権のいずれか）が不足している。

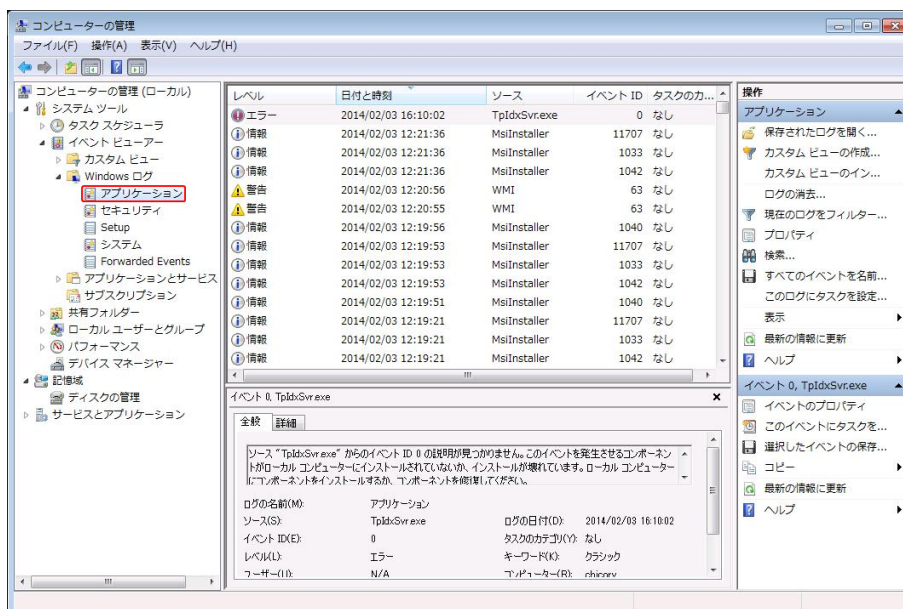
#### 解決方法

サービスが起動に失敗した場合に、起動しない原因を b3Indxer がログとして残している場合があります。

Fb3Indxer サービスが残したエラーログを参照する方法を説明します。

1. Windows のイベントビューアを表示します。

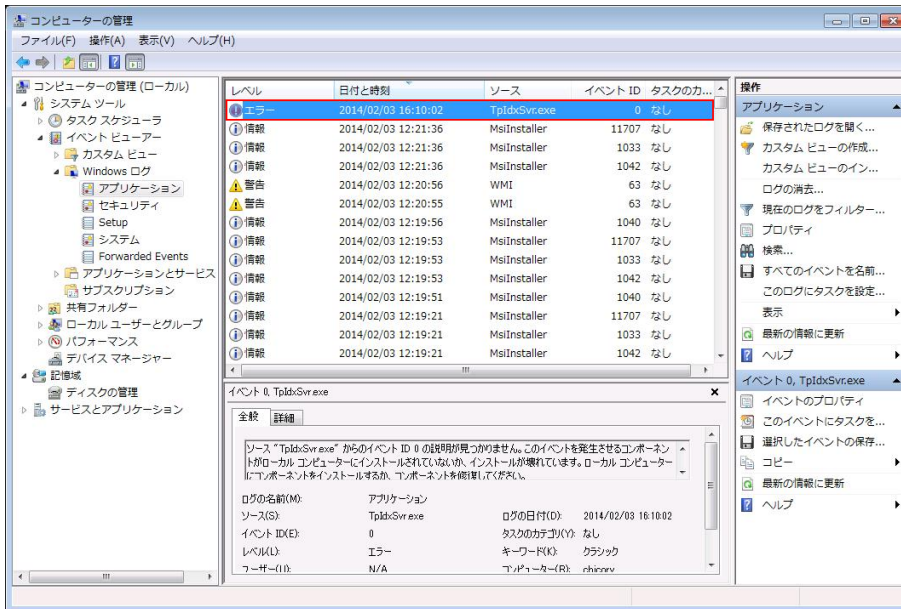
コントロールパネル > 管理ツール > コンピューターの管理を開きます。



2. システムツール > イベントビューア > Windows ログ > アプリケーションをクリックします。

3. 該当するエラー行を探します。

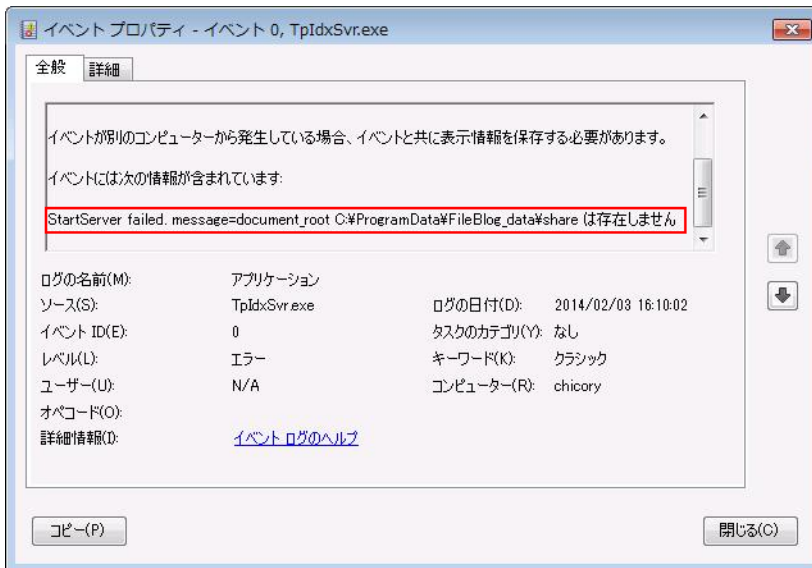
起動に失敗した時刻などをヒントに [× エラー \*\*\*\*] という行を探してダブルクリックします。



#### 4. エラー原因を特定します。

最下行はFb3Indxerが出力したエラーログが表示されました。

例では、ドキュメントルート ( document\_root ) の設定が間違っているようです。



### 3.2.2.1 Fb3Indxerサービスの回復

#### 現象

ExaPadサーバーとファイルサーバーを同時に再起動した場合に、ファイルサーバーの起動に時間が掛かって、ドキュメントルートフォルダにFb3Indxerがアクセスできない状況であると、Fb3Indxerの起動に失敗します。

前項の「Fb3Indexerサービスに失敗する」では主にExaPadやWindowsの設定ミスによるものを対象に説明しましたが、ここではExaPadサーバーとドキュメントレイトフォルダが存在するファイルサーバーが別々の場合に起こがちな現象の回避策について解説します。

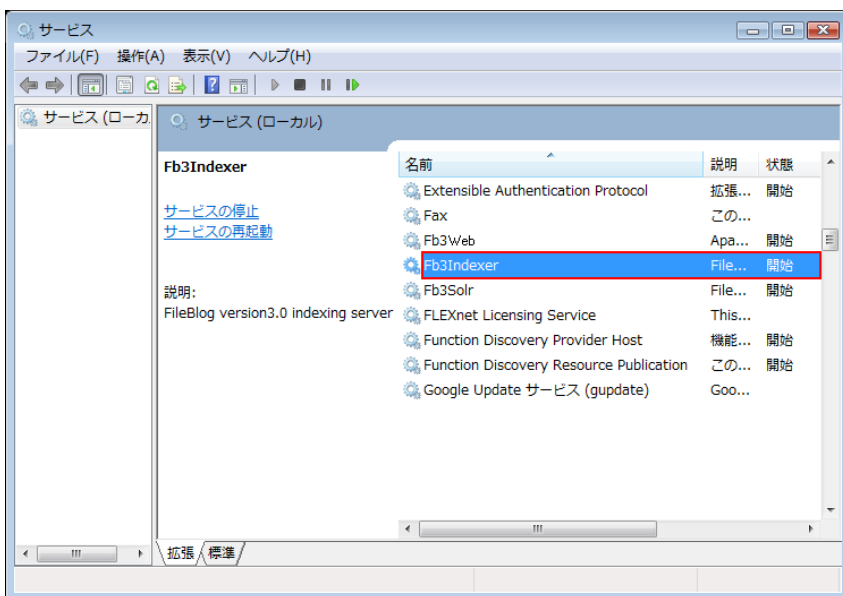
## 原因

Fb3Indexerサービスの起動時に、ドキュメントレイトのあるファイルサーバーのサービスが完全に立ち上がっておらず、ExaPadサーバーのサービスFb3Indexerがドキュメントレイトにアクセスできない。

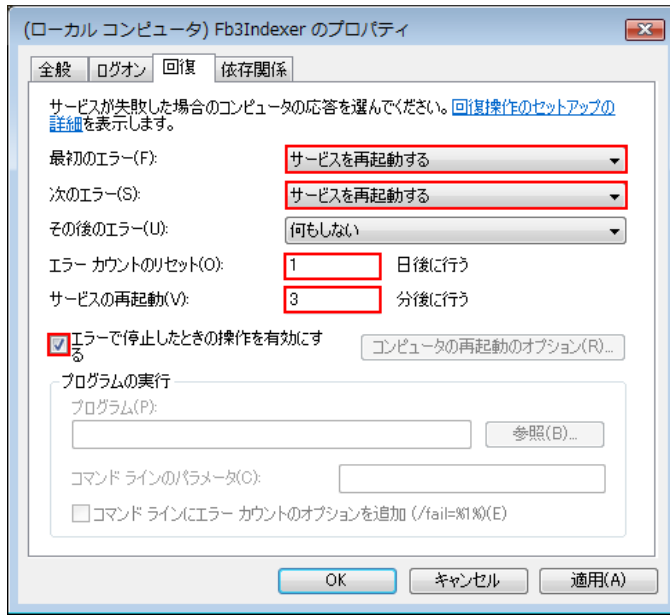
## 解決方法

Fb3Indexerサービスの起動に失敗した場合に自動的に回復させる設定を行います。

1. スタートメニュー > 管理ツール > サービスを開きます。  
(または スタートメニュー > コントロールパネル > 管理ツール > サービス)



2. Fb3Indexerのプロパティを開きます。



- 「回復」タブを選択します。
- 「最初のエラー」と「次のエラー」の項目を「サービスを再起動する」に設定します。
- 「エラーカウン트의リセット」を設定します。設定値は1日にすることを推奨します。  
ゼロに設定するとカウン트의リセットが行われなため、累積で何回かエラーが発生すると、二度と回復が行われなくなってしまう。
- 「サービスの再起動」の項目で再起動までの時間を設定します。ここでは3分に設定したので、サービスの起動の失敗から3分後と6分後の2度、再起動を行います。
- 「エラーで停止したときの操作を有効にする」にチェックを入れます。(Windows Vista、Windows Server 2008以降)

3. 念のためFb3Webについても同様の設定を行ってください。

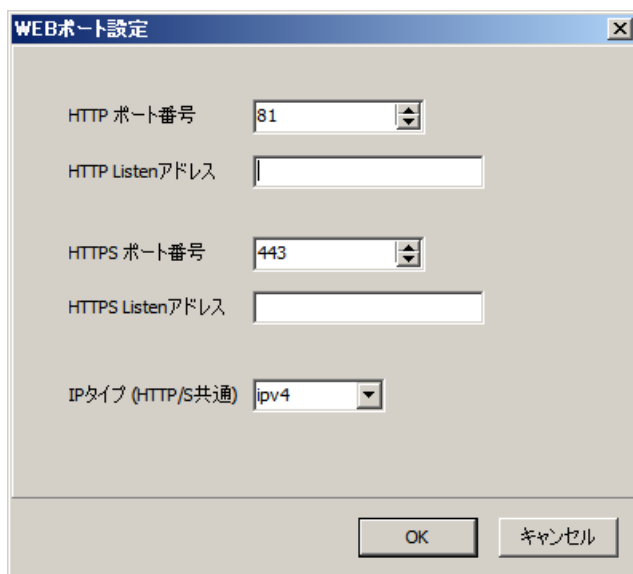
### 3.2.3 ポート番号をずらすには？

#### ケース1

現在Fb3Webを80番ポートで使用しているが、別のWebサーバーアプリケーションと併用しない。

#### 解決方法

1. ExaPad管理ツール > 高度な設定 > WEBポート設定 を開きます



HTTP ポート番号を81に変更し、OKをクリックします

2. Fb3Webサービスを再起動します。

ExaPad管理ツール > 通常運用ツール > サービス確認 起動 終了 を開いて再起動します。

3. ExaPadに接続します

今後、ExaPadへアクセスする時のアドレスが変更されます。(サーバー名の後に:81 を付ける必要があります)

例) `http://localhost:81/ExaPad/`

## ケース2

他のアプリケーションがTCP80番ポートを使用しているためインストールを続行できません」と表示されインストールが続行できない。

### 原因

次の原因が考えられます。

- 他のWebサーバーアプリケーションなどがTCP80番ポートを使用している。
  - インターネットセキュリティソフトなどがTCP80番ポートを監視している。
  - TCP80番ポートを使用しているアプリケーションが存在しないにもかかわらず、このメッセージが表示された場合は、Skype や、セキュリティソフトなどが使用している場合があります。
- ❖ どうしても原因がわからない場合はお問い合わせください。

### 解決方法

1. 80番ではないポートを使用する。

他のアプリケーションがTCP80番ポートを使用している場合、インストール時にポート番号を変更可能です。空いているポートを指定してください。

2. TCP80番ポートを使用している他のアプリケーションを停止してから ExaPadをインストールします。



### 3.2.4 シャットダウン・スクリプトの登録

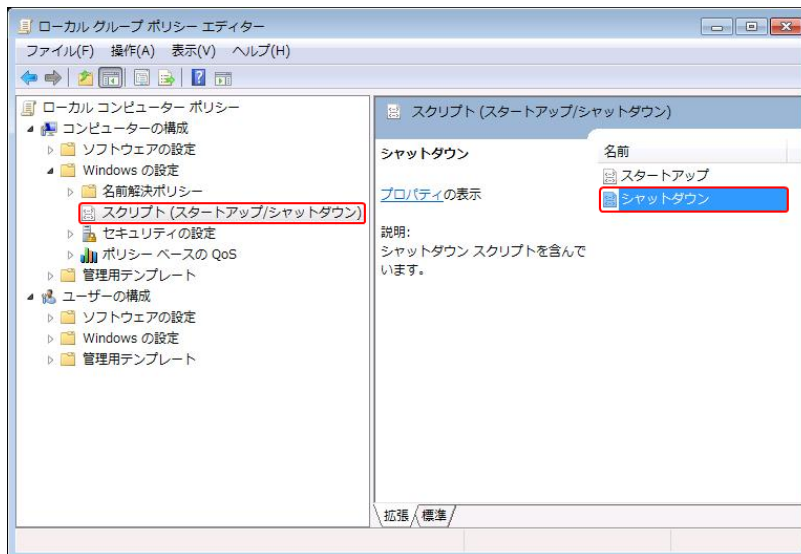
#### OSのシャットダウン時に 全文検索サービス(Fb3Indexer)を停止する

インデックス構築処理が頻繁に行われているときにOSがシャットダウンされると、インデクサーなどのサービスが正常に30秒以内で終了せず、イベントログにエラーが記録されることがあります。

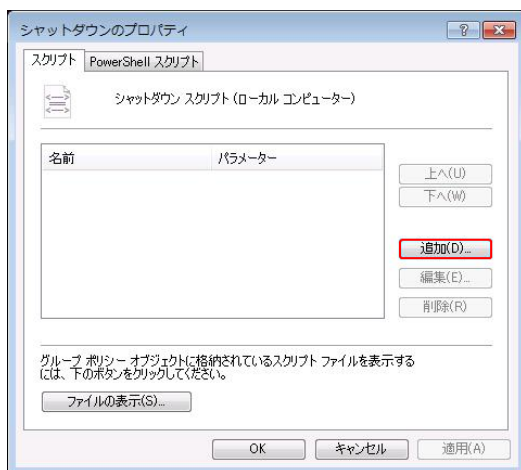
30秒以内にサービスが終了しない場合でも、検索インデックスが破損するなどのトラブルの心配はほとんどなく放置してもかまいませんが、次のようにシャットダウン・スクリプトを定義することでエラーの発生を回避できます。

#### シャットダウン・スクリプトの登録

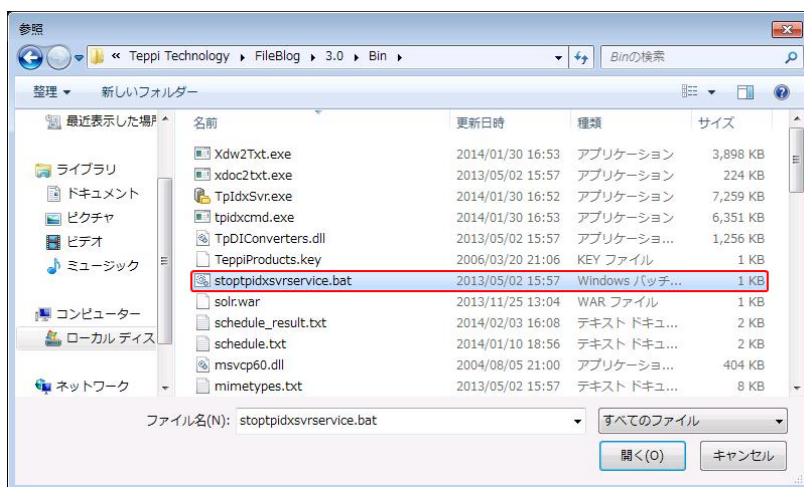
1. Windowsスタート> プログラムとファイルの検索 に「gpedit.msc」と入力します。
2. 表示された「gpedit.msc」を選択します。
3. 「スクリプト (スタートアップ/シャットダウン)」を選択し、「シャットダウン」をダブルクリックします。



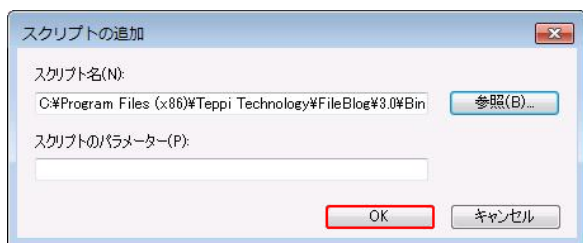
4. 「追加」をクリックします。



5. 参照 ..」をクリックし、スクリプトを選択します。

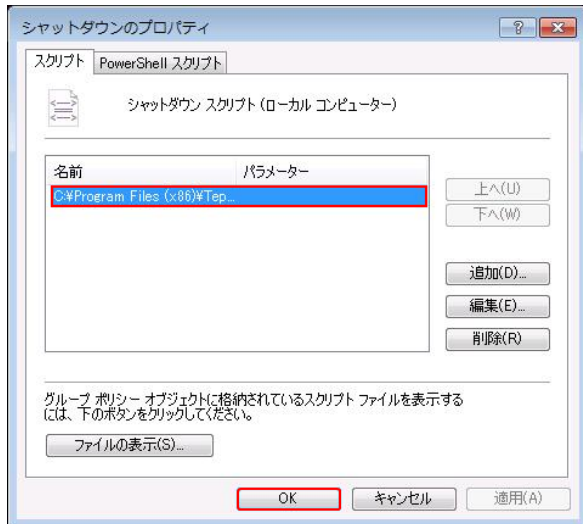


6. [ExaPadインストールフォルダ] \bin\stoptpidxsrvservice.batを選択し、'OK'をクリックします。



ExaPadのインストールフォルダにはサンプルとして 'stoptpidxsrvservice.bat' が含まれています。サービスを停止するだけのバッチファイルですが、そのまま利用もしくは修正して利用することができます。

7. シャットダウン・スクリプトが登録されているのを確認して 'OK' をクリックします。



8. OS 環境によっては、設定が反映されないことがあるため、次のコマンドを実行してグループポリシーの設定を最新化してください。

Windows スタート > プログラムとファイルの検索 > GPUupdate と入力するとコマンドプロンプトが起動し、グループポリシーが最新化されます。

### 登録の確認方法

次の手順で、シャットダウン・スクリプトの設定が反映されているかどうかを確認してください。

1. Fb3Indexer サービスが起動している状態で、OS を再起動してください。
2. OS の起動後、Fb3Indexer の終了ログを確認してください。終了ログは次のファイルに出力されます。

[APPDATA]\idxsvrlog\idxsvr.log

[APPDATA] は通常、C:\ProgramData\ExaPad3.0 にあります。

3. ログファイルをテキストエディタなどで開いて、出力された内容を確認します。

- 成功している場合

最終行近くに、以下のように終了ログが記述されていれば、正常に終了しています。(シャットダウン・スクリプトが機能しています。)

time: 2012/10/31 18:48:41.900 pt: 1040.2464 lv: INFO msg: normal end

- 失敗している場合

シャットダウン・スクリプトが機能せず、強制的に Fb3Indexer が停止されると、上記の成功時のログが出力されません。

## 3.2.5 検索インデックス設定

### 検索エンジンの設定

#### 全文検索対象ファイル種類

画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > ファイル種類 を開きます。



- 全文検索対象

全文検索対象となるファイル形式を指定します。

- IFilter利用

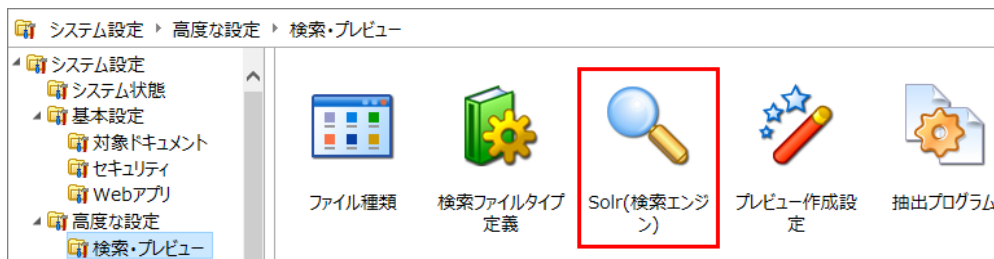
全文検索対象のファイルのうち、IFilterを使ってテキスト抽出するファイル形式を指定します。

- テキスト形式 (ascii) :

全文検索対象のファイルのうち、ここで指定されたファイル形式については、%doc2txt.exe"を使ったテキスト抽出処理をせずに、ファイルの内容をそのまま検索インデックスに登録します。該当するファイルが多い場合、検索インデックスの構築処理スピードが速くなります。

## 検索インデックスの設定

1. 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > Solr (検索エンジン) を開きます。



2. インデックス保存フォルダなどを設定します。

システム管理 ▸ 高度な設定 ▸ 検索・プレビュー ▸ Solr(検索エンジン)

保存する キャンセル

設定 インデックスの初期化

インデックス保存フォルダ  
  
 インデクサーサーバーから参照可能なWindowsパスを指定してください。変更しても既存インデックスはコピーされません

IPアドレス ポート番号 ポート番号 (停止用)

初期ヒープメモリサイズ (Mb) 最大ヒープメモリサイズ (Mb)

インデックステンプレート (zip)

同期のタイミング  
 時間:  秒経過後、またはファイル数:  件更新毎に、同期します (更新ファイルが検索結果に反映されます)

セキュリティ情報を埋め込む (aclsearch)  
☒

### インデックス保存フォルダの変更

インデックス保存フォルダを変更するケースとして2つあります。

1. フォルダの空き容量が少なくなり、別のドライブに再配置する

フォルダの変更後、インデクサーサービスを停止し、既設フォルダをコピーしてからインデクサーサービスを再開してください。

2. 新規インストール後、インデックス構築を実行する前に標準設定のフォルダから別のフォルダに変更する

フォルダの変更後、インデクサーサービスを停止し、インデックスを初期化してからインデクサーサービスを再開します。それからインデックス再構築を行ってください。

### 検索インデックス同期間隔の変更

- 検索インデックス同期間隔とは、ExaPadがファイルの変更を検知してからインデックス登録処理が完了するまでの間隔です。
- 検索結果への反映（インデックス同期）のタイミングは、時間とファイル数の設定により決まります。
- 標準では、変更を検知して次のファイルの変更が検知されずに60秒経過したタイミング、または連続して2000件以上のファイルの変更を検知した場合に同期が実行されます。
- 時間やファイル数の変更した場合には、インデクサーサービスの再起動が必要です。

### 検索が可能になるまでの流れ

1. ドキュメントレイトにあるファイルが変更され、ExaPadがその変更を検知します。
2. 変更されたファイルから全文テキストを抽出し、検索エンジンに登録します。

登録された文書はまたキャッシュされているだけで検索可能な状態にはなっていません。

3. 検索エンジンは、定期的に登録された文書（キャッシュ）をファイルシステムに書き出します。

このファイルシステムへの書き出しが「インデックス同期」のことです。

4. 検索可能ができるようになります。

### 3.2.5.1 インデックス除外設定

#### 除外設定

除外設定では、以下の設定をすることが出来ます。

- 除外パス： 特定のフォルダ以下 / ファイルパスを、インデックス登録対象外にする。
- 除外 テキスト抽出パス： 特定のフォルダ以下 / ファイルパスを、テキスト抽出対象外にする。
- 除外 検索対象パス： 特定のフォルダ以下 / ファイルパスを、検索対象外にする。(Version3.8.0以降で使用可能です)

除外しないファイルパスのルールは正規表現で記述し、適合するフォルダ/ファイルだけが対象となります。

またファイルパスのルールは、拡張子ごとにも設定することができるため、指定したフォルダ以下では、特定の拡張子だけインデックス登録対象外にする」といった設定も可能です。

#### 除外パスと除外 テキスト抽出パス、除外 検索対象パスの違い

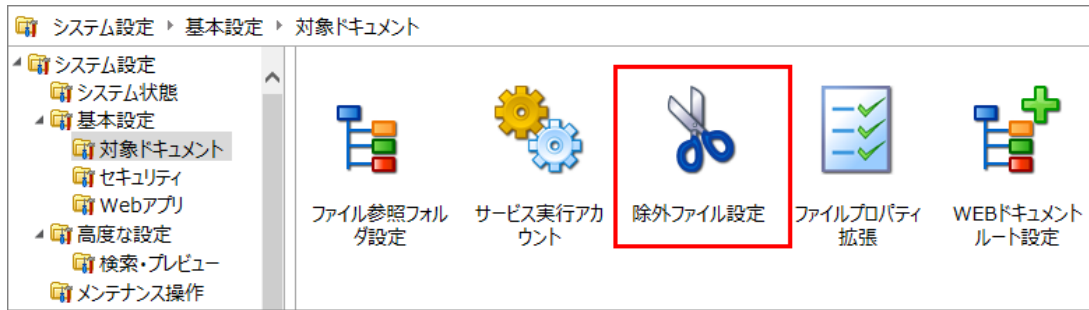
処理対象	除外パス	除外 テキスト抽出パス	除外 検索対象パス
ファイル名検索	ヒットしない	ヒットする	ヒットしない
全文検索時のファイル本文	ヒットしない	ヒットしない	ヒットしない
プレビュー・サムネイル	作成しない	作成する	作成する
ライセンス文書数のカウント	しない	する	しない

ご利用状況に合わせて次のように設定してください。

- インデックス登録（検索）とプレビュー作成の両方をしないようにする  
除外パスに設定してください。（ライセンスの文書数にはカウントされません。）
- ファイルのテキスト抽出（ファイルの本文で検索）だけしないようにする  
除外 テキスト抽出パスに設定してください。（ライセンスの文書数にはカウントされます。）
- インデックス登録（検索）だけしないようにする  
除外 検索対象パスに設定してください。（ライセンスの文書数にはカウントされません。）

#### 除外パス

1. 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > 対象ドキュメント > 除外ファイル設定 を開きます。



2. テキストエリアに、改行区切りで条件を指定します。

頻出する一時ファイルの条件が標準で設定されています。



3. '保存する'ボタンを選択して、インデクサーにチェックを入れて再起動します。

### 行の仕様

- タブ区切りで、2列で構成されます。

[ 1列目 ] タブ [ 2列目 ]

- 1列目には、除外させたいファイル種類を指定します。  
ファイル種類を特定しない場合や、フォルダを指定する場合には半角 \* を指定してください。
- 2列目には、除外させたいファイルパスを正規表現ルールで指定してください。(Perl5.8互換の正規表現を使用できます。)
- 1つのファイル種類について複数の条件を設定できます。(1つでも条件に当てはまれば除外されます。)

## 除外パスの設定例

ドキュメントルートが C:\docroot で、エイリアスが DocRoot に設定されている場合

```
.jpg      .*\.jpg$
.html     .*\.html$
.gif      ^/DocRoot/.*/images/.*/.*.gif$
*         ^/DocRoot/.*/temp/.*
```

- |       |                            |                        |
|-------|----------------------------|------------------------|
| 1 行目： | 「すべてのドキュメントルートに存在する」       | 拡張子が jpg のファイルを除外します。」 |
| 2 行目： | 「すべてのドキュメントルートに存在する」       | 拡張子が html ファイルを除外します。」 |
| 3 行目： | C:\docroot\images 以下に存在する」 | 拡張子が gif ファイルを除外します。」  |
| 4 行目： | C:\docroot\temp 以下に存在する」   | 全てのファイル・フォルダを除外します。」   |

## 除外 テキスト抽出パス (除外 検索対象パス)

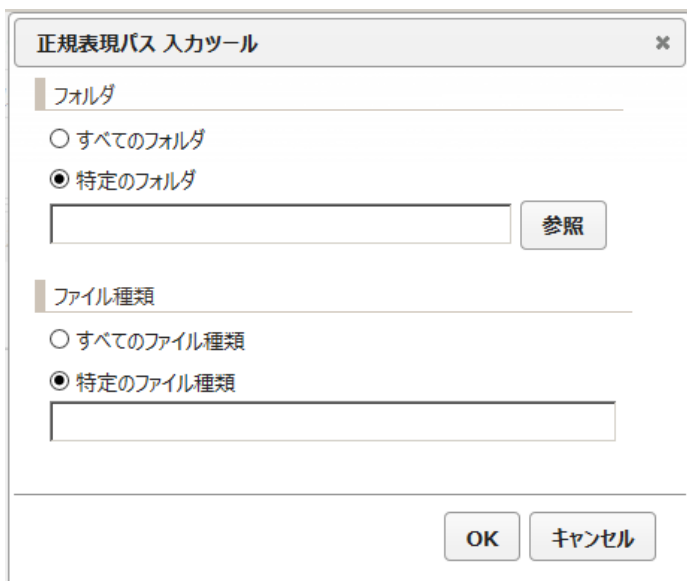
1. 除外 抽出テキストパス」 ( 除外 検索対象パス) タブを選択します。
2. テキスト抽出を行わないフォルダやファイル種類を指定します。( 指定方法は 除外パス」と同じです。)
 

規定値では空になっており、全てのパスがテキスト抽出パスに設定されています。
3. 設定の変更後、インデクサーサービスの再起動をします。

## 入力ツール

入力ツールを使うことで、パスの正規表現を簡単に記述することができます。

1. 「入力ツール」ボタンをクリックします。
2. フォルダとファイル種類を指定します。



The dialog box titled "正規表現パス 入力ツール" (Regular Expression Path Input Tool) contains two sections: "フォルダ" (Folder) and "ファイル種類" (File Type). Each section has radio buttons for "すべてのフォルダ" (All folders) and "特定のフォルダ" (Specific folders), with the latter being selected. Below each section is a text input field and a "参照" (Reference) button. At the bottom of the dialog are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.



3. 自動で正規表現が作成され、セットされます。

## パスのテスト

設定した条件をテストすることができます。

1. 「パスの判定ツール」タブを選択します。
2. テストしたいファイルパスを入力します。
3. 「判定する」ボタンを選択します。
4. 結果が表示されます。

### 3.2.5.2 テキスト抽出エンジン IFilter の使用について

#### IFilter について

ExaPadは、検索インデックスのテキスト抽出に xdoc2txt または IFilter プログラムを使用しています。

標準のテキスト抽出エンジンは xdoc2txt ですが、ファイル種類によっては Microsoft が提供する IFilter を用いることができます。

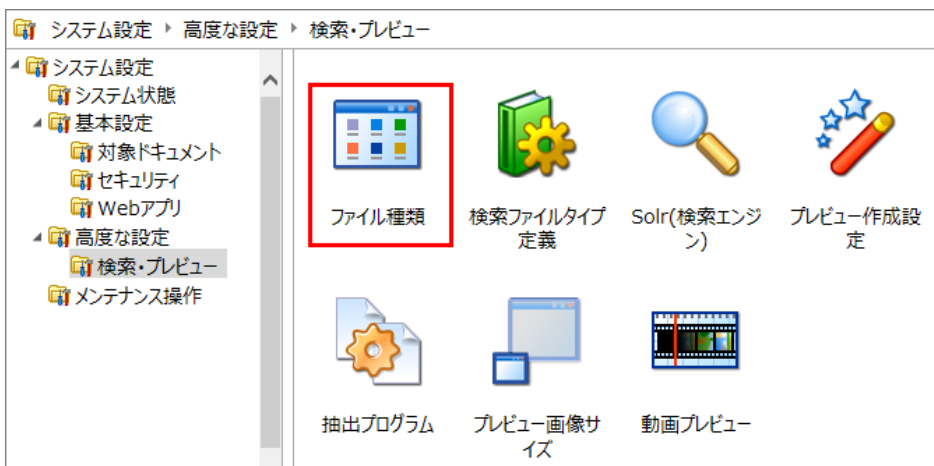
IFilter は、Microsoft が提供するテキスト抽出エンジンで、Word、Excel、PowerPointなどのファイルのテキスト抽出に向いていて、xdoc2txt に比べて高速に処理することができます。(当社テストにおいて)

Microsoft Outlookメッセージ形式ファイル( msg )や、Microsoft Visio の全文検索を行う場合には、IFilter のインストールが必須です。

- .msg用IFilterは2014年1月現在、下記のURLからダウンロードできます。  
<http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=1111>
- Visioフィルターを含む『Microsoft Office 2010 フィルタパック』は2014年1月現在、下記のURLからダウンロードできます。  
<http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=17062>  
microsoft フィルタパックは、Microsoft Searchサービスが必要です。

## 使用方法

1. 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > ファイル種類 を開きます。



2. IFilter を使用するファイル種類を指定します。

標準では、Microsoft Office、Adobe PDF が、IFilter を使用するように設定されています。



3. 例として、Wordファイル( doc ) をIFilter 使用に指定します。
  - a. 「全文検索対象」に、doc を指定します。  
この項目に指定がないファイル種類は全文検索の対象になりません。
  - b. 「IFilter 利用」に、doc を指定します。  
この項目に指定がない場合、標準の xdoc2txt が使用されます。  
対応する IFilter がインストールされていない場合も xdoc2txt が使用されます。  
✓ doc に対応するFilter用のライブラリをインストールしてください。( doc については、Windowsに標準でインストールされています。)
4. 「保存する」ボタンを選択して、インデクサーサービスを再起動してください。

### 3.2.6 排他的ロックへの対応

#### 概要

ExaPadサーバーがインデックス構築するとき、他のアプリケーションによってファイルが排他的にロックされていると、テキスト、プレビュー、属性の抽出に失敗してしまう場合があります。

排他ロックするアプリケーションの典型的な例は、Microsoft Office関連や、コンパイラ、バックアップツール、ソース管理ツール、セキュリティソフトなどです。

基本的に、これらの現象に関してはExaPadにおける解決策はありませんが、次の対応策を取ることで抽出成功率を上げることができま

す。

- 変更検知後の抽出・登録処理を遅延させる
- ファイルがロックされている場合に抽出を遅延させる

## 対策

### 変更検知後の抽出・登録処理を遅延させる

Fb3Indexerサービスがファイルの変更を検知した場合に、インデックスを抽出・登録する処理を一定時間遅延させます。

ただし、ユーザーが明示的に抽出・登録を実行するようなアクション（プレビュー再作成やファイルのアップロード時など）は遅延されません。

数秒から数分間の遅延をはさむことで、他のアプリケーションがロックしているファイルが開放されるのを待ちます。

- 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 性能チューニングを開きます。
- onlinequeue\_delaytime\_minutes を選択して分単位で遅延時間を設定します。
- 「保存する」ボタンを選択し、インデクサーにチェックを入れて再起動します。

### ファイルがロックされている場合に、抽出を遅延させる

Fb3Indexerサービスが、ファイルの変更を検知した場合に、ファイルの排他ロックの有無をチェックして、インデックスを抽出・登録するのを遅延します。

ファイルが排他ロックされている間は定期的にチェックを繰り返し、ファイルが開放された後に抽出を開始します。

- 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > その他全設定項目（config.ini）> を開きます。
- filelockcheck\_extlist を選択してファイルロックのチェックをする拡張子を改行区切りで指定します。

例）doc

ppt

- 「保存する」ボタンを選択し、インデクサーにチェックを入れて再起動します。

## 3.2.7 フォルダアクセスのセキュリティ

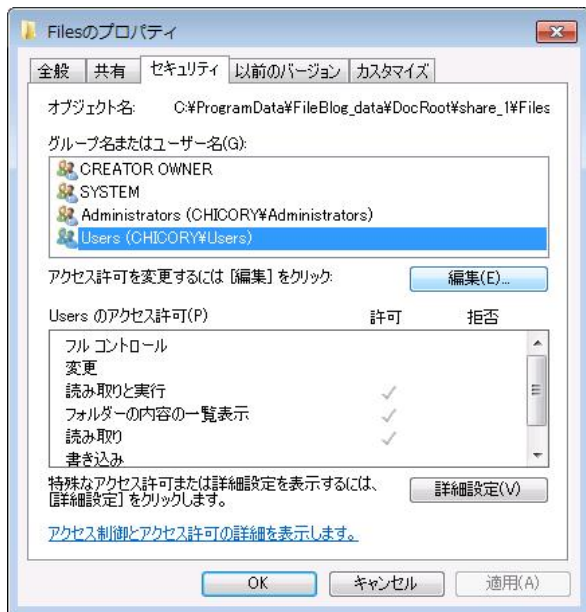
### フォルダアクセスのセキュリティ

- ExaPadは、Windows OSに設定されたセキュリティ設定を利用します。
- ExaPadでの操作は、Windows OSのファイルシステムに設定されたセキュリティがそのまま適用されます。
- セキュリティの変更は、Windowsのエクスプローラーを利用して行います。
- ExaPadでは、Windowsセキュリティを設定することはできません。

## セキュリティの設定方法

WindowsOS上でセキュリティを設定する方法とまったく同じです。

1. Windowsエクスプローラーを起動します。
2. セキュリティを設定するフォルダを開きます。
3. フォルダの右クリックメニューで共有とセキュリティをクリックします。
4. 各グループ ユーザーアカウントごとに、権限を設定します。



## パスワード変更機能

ExaPadでは、Windows アカウントのパスワードを変更することができます。

ユーザー自身によるパスワード変更や、パスワード期限切れ時のパスワード変更などをExaPadで行うことができます。

パスワード変更はアクセスログに出力されます。

### パスワード変更機能を有効にする

1. 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > その他設定項目 (config.ini) を開きます。
2. テキストボックスに change と入力します。

システム設定 ▶ 高度な設定 ▶ その他全設定項目(config.ini)

保存する キャンセル

絞り込み

パラメータ名	設定値	説明	状態
aspchangepassword_enabled	ON	ASPログイン時のパスワード変更を行えるようにします。	初期値
changepassword_enabled	OFF	パスワード変更を行えるようにします。初回ログイン時のパスワード変更やパスワード期限切れ時にも、ログインの直後にパスワードを変更することができるようになります。	初期値

3. changepassword\_enabled を開いて値にチェックを入れます。（標準ではチェックなしのOFF に設定されています。）

changepassword\_enabledの設定

値 ☐

OK キャンセル

4. 「保存する」ボタンを選択し、WEBサーバーにチェックを入れてサービスを再起動します。

## パスワードを変更する

ログイン済みのユーザーは任意のタイミングでパスワードを変更できます。

- 画面下部の「オプション」を選択します。
- パスワード変更リンクをクリックします。

オプション

言語  
日本語 (Japanese)

パスワード  
変更

設定する 閉じる

3. 古いパスワードと新しいパスワードを入力して「変更」ボタンを選択します。

パスワードの変更

ユーザー名	test1
古いパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード(確認)	<input type="password"/>
変更	キャンセル

### ログイン時にパスワードを変更する

Windowsのセキュリティポリシーによって、ログイン時にパスワードの変更が必要になった場合、次の画面が自動的に表示され、ユーザーにパスワード変更を促します。

古いパスワードと新しいパスワードを入力して変更ボタンを選択してください。

パスワードの変更

ユーザーは最初にログオンする前にパスワードを変更しなければなりません。

ユーザー名	test1
古いパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード	<input type="password"/>
新しいパスワード(確認)	<input type="password"/>
変更	キャンセル

### パスワードが変更できない場合

ExaPadでは、パスワード変更に失敗した時にWindowsが返すエラーメッセージをそのまま表示するため、原因がわかりにくい場合があります。

- エラーメッセージ例

パスワードはパスワードポリシーの要件を満たしていません。パスワードの最短の長さ、パスワードの複雑性、およびパスワード履歴の要件を確認してください。」

このようなエラーメッセージが表示された場合、次の原因が考えられます。

- パスワードが必要な長さより短い
- パスワードが長すぎる
- パスワードの更新直後である
- 一意の文字が不足している
- その他、パスワードポリシーの要件を満たしていない

参考：<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/cc447014.aspx>

### 3.2.8 ExaPadのセキュリティ設定

ExaPadでは、Windowsのセキュリティ設定に従って、ファイルやフォルダに対する権限が決定されます。

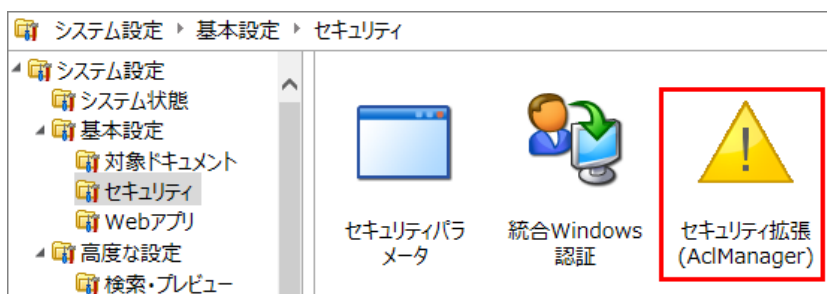
運用上それだけでは不便な場合もあり、Windowsのセキュリティに加えて、ExaPad独自のセキュリティ機能で制御することができます。

ExaPadセキュリティ機能では、インデックス再構築やプレビュー作成設定などの管理者が行う操作でも実行権限を制御することができます。

インストール後の標準のセキュリティ設定は、全ユーザーはWindowsで設定されたセキュリティに準じたアクセス権限で操作できます。

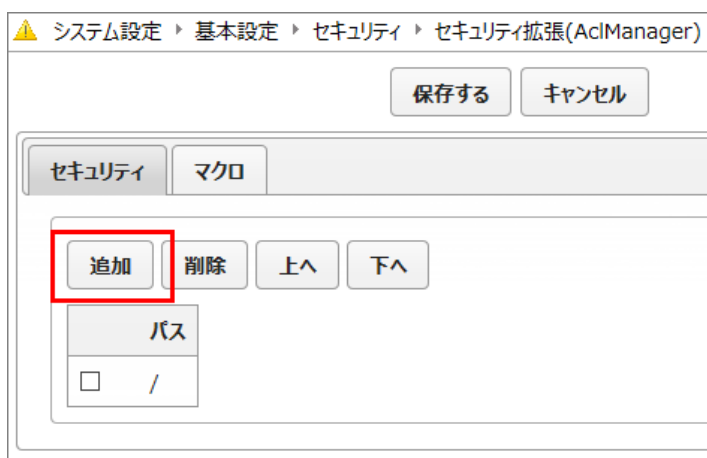
#### 設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > セキュリティ > セキュリティ拡張 (AclManager) を開きます。



2. アクセス権設定を追加します

追加 ボタンを選択して、新しいアクセス権の設定を編集します。



1. 「フォルダパス」にアクセス権を設定しないフォルダをワイルド指定します。



4. 「追加」ボタンを選択すると、アクセス権を指定します。

- フォルダのセキュリティは、対象フォルダから最も近い親（もしくは先祖）フォルダのセキュリティ設定が使用されます。
- ExaPadVer3.5.0以降は、トップフォルダ「/」に対して必ずセキュリティを設定する必要があります。
- 本機能を設定する場合、全ユーザー・グループの全フォルダに対する権限が「拒否」された状態からの設定となります。

したがって、全ユーザー・グループの全フォルダに対する「許可」のセキュリティを必ず設定してください。

各ドキュメントレートの設定は必須です。

- 例えば、ドキュメントレートが \\share と \\share2 のときに、\\share2\projects にのみセキュリティを設定する場合は、次の2行の設定が必要です。

❖ トップフォルダ「/」 全ユーザーに対して「許可」の設定

❖ /share/projects → 任意のアクセス権の設定

Windowsで拒否されている操作は、本機能で許可の設定を行っても拒否対象のままです。

Windowsで許可された操作を本機能で拒否することはできません。

設定を間違えると、全ユーザーがアクセスできなくなる場合があるため、ご不明な点はサポートにお問い合わせください。

5. 「保存する」ボタンを選択して、2つのサービスにチェックを入れて再起動します。



## 対象

### タイプ (許可/拒否)

- チェックを入れたアクションに対して、許可もしくは拒否を選択します。
- 拒否が優先です。許可されていないアクションは「拒否」とみなします。
- ユーザーにとって該当する設定が存在しない場合、アクセス許可がないと判断します。

### ユーザー名もしくはグループ名

- アクセス権を設定する、ユーザー名もしくはグループ名を指定します。
- 半角カンマ区切りで複数のユーザーやグループを指定できます。
- ドメインに所属するユーザー、グループを指定する場合は、「ドメイン名\ユーザー (グループ) 名」のように指定します。
- ドメイン名はセキュリティ・ドメイン一覧で指定されている表記に従ってください。

### IPアドレス

- 172.19.109.0/24 のようにCIDR表記でIPアドレスの範囲を指定します。
- 半角カンマ区切りで複数のIPアドレスの範囲を指定できます。
- CIDR表記とは、IPアドレスとサブネットマスクを「/スラッシュ」で繋げて表記します。
  - 192.168.0.0/24 とは、IPアドレス 192.168.0.0、サブネットマスク 255.255.255.0 を表現します。

192.168.0.0 ~ 192.168.0.255 の範囲のIPアドレスを指定したことになります。

- ユーザー名とIPアドレスの両方を指定した場合は、同時に満たすユーザーのみが対象となります。
- いずれも未入力の場合は、全ユーザーが対象になります。

## アクション

それぞれのアクションでExaPadの操作権限を設定します。

操作権限がなくなったり、メニューが非表示になったり、実行してもエラーになったりします。

- 読み取り

ファイルの一覧、閲覧、検索、プロパティ編集（表示）、概要とコメント（表示）、一覧出力、直接開く

- 書き込み

ファイルの上書き、削除、名前の変更、アップロード、プロパティ編集（書き込み）、メモフォルダの新規作成

- コメント

概要とコメント（書き込み）

- ダウンロード

ファイル、フォルダのダウンロード

- 管理者向け機能

インデックスの再構築、インデックスの掃除、プレビュー作成設定

コピーは、コピー先のフォルダに書き込みの許可が必要です。

移動は、移動元と移動先のフォルダに書き込みの許可が必要です。

## マクロ機能

マクロ機能を使うことによって、複数のフォルダに対して同じ設定をする手間を軽減させることができます。

例えば \$(USERS) というマクロに、複数のユーザー名を定義おけば、あとで制限したいフォルダに \$(USERS) と記入するだけですみます。

1. 「マクロ」タブを選択して定義を追加します。

The screenshot shows a web-based configuration interface for 'Security' settings. The breadcrumb path is 'システム設定 > 基本設定 > セキュリティ > セキュリティ拡張(AclManager)'. At the top right are '保存する' (Save) and 'キャンセル' (Cancel) buttons. Below them are two tabs: 'セキュリティ' (Security) and 'マクロ' (Macro). The 'マクロ' tab is selected. Under this tab, there are four buttons: '追加' (Add), '削除' (Delete), '上へ' (Up), and '下へ' (Down). The '追加' button is highlighted with a red rectangular box. Below these buttons is a table with two columns: '名前' (Name) and '値' (Value). The table currently contains one row with the text 'データがありません' (No data).

## 2. 名前と値を設定します

3. 例として「AdminGr」という名前に「admin1, admin2」というユーザー名と「admin\_gr1」というグループ名を割り当てました。マクロが1つ登録されました。

## 4. マクロを使う

- ユーザー名にマクロを指定します。\$(マクロ名) と入力します。
- 実行時に \$(AdminGr) が admin1, admin2, admin\_gr1 に展開されます。
- IPアドレスも同様にマクロを使用することができます。

設定

×

タイプ

☒ 許可 ☐ 拒否

ユーザー名もしくはグループ名

\$(AdminGr)

IPアドレス

アクション

☒ 読み取り

☒ 書き込み

☒ コメント

☒ ダウンロード

☒ 管理者向け機能

OK

キャンセル

5. 「保存する」ボタンを選択して、2つのサービスにチェックを入れて再起動します。

操作毎に必要なアクション

ここでは操作毎に必要なアクションの一覧をご説明します。  
以下の表ではExaPadの上での操作ごとに、最低限必要なアクションに が付いています。

分類	操作		読み取り	書き込み	コメント	ダウンロード	管理者向け機能
ファイル	閲覧			-	-	- 1	-
	コピー	移動元フォルダ		-	-	-	-
		移動先フォルダ			-	-	-
	移動	移動元フォルダ			-	-	-
		移動先フォルダ			-	-	-
	削除				-	-	-
	リネーム			-	-	-	-
	上書き更新				-	-	-
	ダウンロード			-	-		-
	概要・コメン	表示		-	-	-	-

	ト	更新		-		-	-
	プロパティ	表示		-	-	-	-
		更新			-	-	-
	直接開く			-	-	-	-
	THTML (メモ) 更新				-	-	-
	アップロード				-	-	-
	プレビュー再作成			-	-	-	-
	CSV出力			-	-	-	-
	新規メモ				-	-	-
	新規フォルダ				-	-	-
管理者 向け機 能 2	インデックス再構築			-	-	-	
	インデックス削除			-	-	-	
	プレビュー作成設定			-	-	-	

1 gif ファイルは閲覧時にダウンロード権限が必要です。

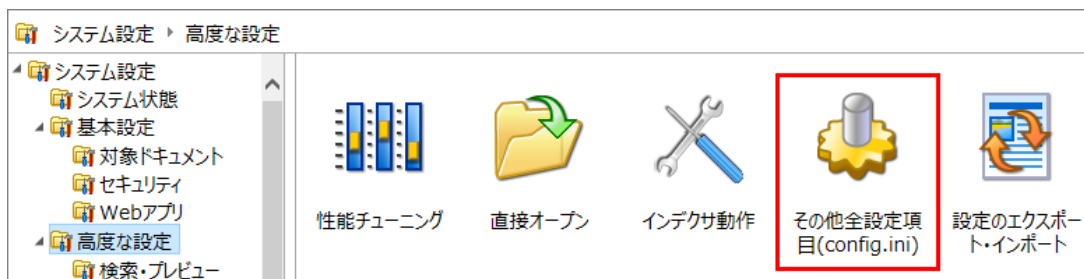
2 システム管理者メニューからは、管理者向け機能権限に関係なく実行できます。

### 3.2.9 詳細環境設定

#### 詳細環境設定

全ての環境設定の項目を編集できる設定メニューです。

画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > その他全設定項目 (config.ini) を開きます。



システム設定での設定内容は、全て config.ini ファイルとして保存されます。

config.ini ファイルは、[インストールフォルダ] \Bin に保存されています。

config.ini ファイルは、直接編集しないでください。

#### パラメーターの検索

- 絞り込み機能は、パラメーター名にある文字をキーワードとして入力することで候補を絞り込んで表示します。

- キーワードは部分一致が可能で、例えば user と入力すると、パラメーター名のどこかに user が含まれる、パラメーターで絞り込まれます。

絞込

user

パラメータ名	設定値	説明	状態
accesslog_exclude_ <u>user</u> _domain	OFF	ドメインを使用していない場合はこのパラメータは使用されません。	初期値
admin <u>users</u>		管理者となる方のログインIDを改行区切りで指定します。指定されたユーザーはログインすると、管理	初期値

### 設定値の変更

- 各パラメーターの内容については、説明欄を参照してください。
- パラメーターの行をクリックして選択することで、設定値を編集するダイアログが開きます。
  - 真偽型は、チェックをいれると「ON」になります。
  - 入力型は、数値や指定する値（例えばユーザー名など）を入力します。
- 設定後にサービスを再起動することで、変更した設定値が有効になります。

サービスは2 つあり、パラメーターによって再起動が必要なサービスが異なります。

- インデクサーは、Fb3Indexer サービスのことで、検索エンジンに関わる設定を行ったときに再起動します。
- WEBサーバーは、Fb3Web サービスのことで、WEBサービスに関わる設定を行ったときに再起動します。

各パラメーターが対応するサービスを覚える必要はなく、設定の変更後は2つのサービスを再起動することで間違いなく変更が有効になります。

### 3.2.1 ロードバランサーや、プロキシサーバーを使用する場合

0

#### 概要

ロードバランサーやプロキシサーバー（以下まとめてプロキシサーバーと表記）を経由のアクセスでは、ExaPadはプロキシサーバーからアクセスされたものとして動作します。

この状態では、アクセスログに出力されるIPアドレスや、ネットワークアドレス判定（直接ファイルを開くネットワーク判定など）が期待しない動作となる場合があります。

ExaPadVer3.5.0.7以降では、プロキシサーバーではなく、接続元クライアントからのアクセスとして動作させることができます。

## 設定方法

- 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > WEBアプリ > その他 を開きます。
- trusted-proxy を選択してプロキシサーバーのIPアドレスを指定します。
- 「保存する」ボタンを選択して、WEBサーバーにチェックを入れてサービスを再起動します。

## 仕組み

HTTPヘッダの X-Forwarded-For を利用しています。

trusted-proxy で指定されたIPアドレスからアクセスされた場合に、X-Forwarded-For の一番左のIPアドレスを接続元クライアントのアドレスとして取得します。

### 3.2.1 IPv6接続を有効にする

1

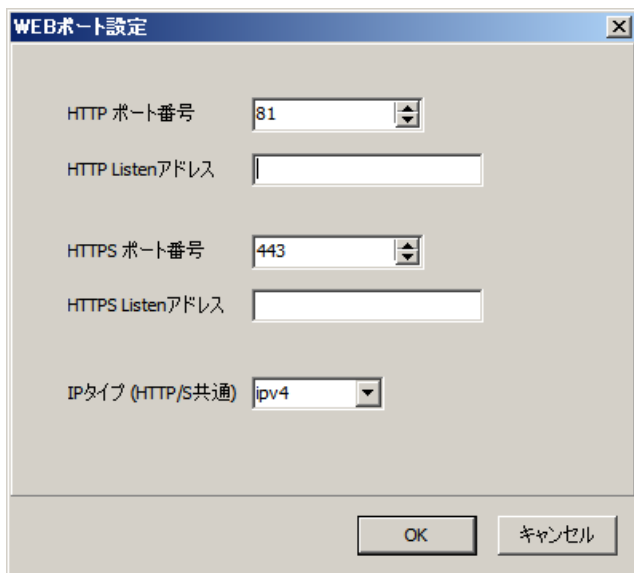
#### 概要

デフォルトではIPv4接続のみが有効になっています。

設定を変更することでIPv6接続を有効にできます

## 設定方法

ExaPad管理ツール > 高度な設定 > WEBポート設定 を開きます。



IPタイプ(HTTP/S共通)を変更します

ipv4・・・IPv4接続のみ有効にします

ipv6・・・IPv4接続のみ有効にします

ipboth・・・IPv4とIPv6接続を有効にします



[OK]をクリックし、WEBサービスを再起動します。

### 3.3 導入後の運用について

管理者は、インデックス・プレビューの初期構築が完了して運用が開始された後は、次の事項について問題がないか確認するようにしてください。

#### 定常的に確認していただきたいこと

##### インデックス構築状況を確認し、処理の残り件数が大きく増えていないことを確認してください。

画面下部のシステム設定 > システム状態 > インデックス構築状況 を開いて確認してください。

全ての処理が完了している状態が一番安心ですが、処理残数がある場合、マシン性能によっては残り1,000件から10,000万件程度であれば一晩で終わる可能性があり、翌朝に残数がゼロ件あるいは大きく減少していれば問題ありません。

10万件など大量の残数がある場合は、インデクサーがハングアップしている可能性があります。

放置すると検索結果に表示されるべき文書が表示されない、またはプレビューが作成されないなどの症状が発生する可能性があります。

そのような状況の時はサポートまでご連絡ください。

##### 総文書数をチェックし、ライセンス文書数の余裕を維持してください。

インデックス構築状況の上部に表示される、各ドキュメントレートのカウント数（文書・フォルダ数）の増減を時々確認してください。

総文書数がライセンスされた文書数を超過すると、それ以降は、ファイルのインデックス登録処理が滞ります。

50万文書を超える場合には、検索エンジンのヒープメモリ割当てを増やす必要があります。

（詳細は「[ヒープメモリ割当てを増やす](#)」を確認してください。）

##### ディスクの容量があふれていないか定期的にチェックしてください。

検索インデックスやプレビューデータの容量は、利用するにつれて肥大化する傾向があります。

大量ファイルのアップロード・ダウンロード実行時は一時ファイル領域に大きな容量が必要です。

ディスク容量が不足する前に余裕のあるドライブへの再配置や移動を行なってください。

#### 運用上想定される主なトラブル・設定変更

- ログインできない
- 検索できない
- プレビューできない

このような症状については「[あれっ?と思ったら](#)」の項目で解決できる可能性があります。

ExaPad画面で現在のログイン状況などの稼働状況を確認することができます。

また一部の管理機能（インデックスの再構築、掃除など）の操作や、運用ログを閲覧することができます。

## 運用状況確認の方法

画面下部の「システム設定」にて運用状況を確認することができます。

- お問い合わせ - ヘルプ - オプション - **システム設定**

### 3.3.1 サービスの実行と停止

#### サービス

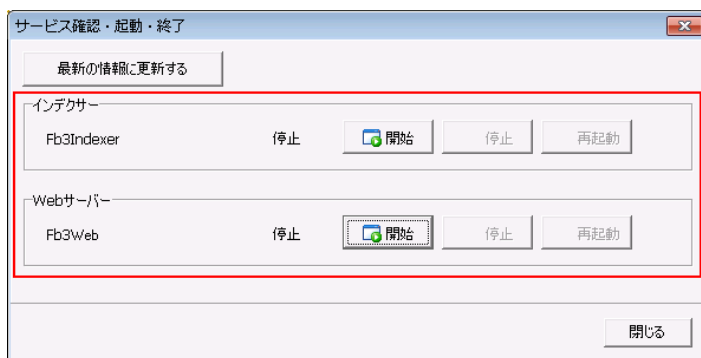
インデクサーとWebサーバーのサービスの開始、停止、再起動を行います。

実行方法は2通りあります。

- 画面下部のシステム設定 > メンテナンス操作 > サービス確認 起動 終了

システム設定 > メンテナンス操作 > サービス確認・起動・終了			
サービス	状態	操作	アカウント
インデクサー	開始	停止 開始/再起動	設定
Webサーバー	開始	- 再起動	

- 管理ツール > 通常運用ツール > サービス確認 起動 終了 で操作できます。



- 最新の情報に更新する  
サービスの現在の状態を問い合わせます。
- 開始  
サービスを開始します。

- 停止  
サービスを停止します。
- 再起動  
サービスを停止後、開始します。
- 設定  
インデクサーサービスの実行アカウントを設定します。

### 3.3.2 作業ファイルの再配置

ExaPadが、使用するフォルダを再配置できます。

#### 再配置の目的

目的	説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスク容量不足の回避</li> </ul>	<p>たとえば C : ドライブの残り容量がわずかである場合、ExaPadが作業ファイルやログファイルをC : ドライブに書き出すと、ディスク容量不足によりシステムダウンが発生するおそれも考えられます。</p> <p>このような時に、作業ファイルの書き出し場所を別ドライブに移動する必要があります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスクアクセス性能の向上</li> </ul>	<p>単一のハードディスクドライブにおいて、複数のフォルダ・ファイルへのアクセスが同時に発生することは、アクセス性能を悪化させる原因になります。</p> <p>サーバーマシンに複数のハードディスクドライブが接続されている場合、たとえばプレビューファイルの保存場所と全文検索インデックスの保存場所と作業フォルダを、それぞれ別々の物理ディスクに配置することで、ディスクアクセスの競合を回避できることが期待できます。</p>

#### 再配置の方法

環境設定を編集して、次の各フォルダを再配置することを推奨します。

エントリ名	説明
tpi_root (プレビュー保存フォルダ)	<p>ファイルから抽出されたテキストやサムネイル画像などを保存するフォルダです。</p> <p>画面下部のシステム設定 &gt; 基本設定 &gt; 対象ドキュメント &gt; ファイル参照フォルダ設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• プレビュー画像は、容量が大きくなる場合もあるため、独立ドライブに配置することをお勧めします。</li> <li>• ドキュメントトレイが複数ある場合、ドキュメントトレイごとに異なるフォルダを指定する必要があります。</li> <li>• 全てのユーザーが読み取り可能なフォルダを指定してください。</li> </ul>
accesslog_dir	<p>ExaPadで操作されたログの保存先です。</p> <p>画面下部のシステム設定 &gt; 基本設定 &gt; Webアプリ &gt; アクセスログ</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>出力されるファイルは、容量が大きくなる場合があります。</li> <li>指定なし(空白)にしておくと、ログファイルは出力されません。</li> </ul>
batch_work_dir	<p>Fb3Indexerのバッチ処理の作業ファイルの保存フォルダです。</p> <p>画面下部のシステム設定 &gt; 高度な設定 &gt; その他全設定項目 (config.ini)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一時的なデータの書き出しに使用される領域です。文書数が非常に多い場合には、数百MB以上の容量を必要とします。</li> <li>指定なし(空白)にしておくと、APPDATA( 1) + batch_work が設定されます。</li> </ul>
webtempdir	<p>一括ファイルダウンロードを行ったときに一時的に作成されるzipファイルの保存フォルダです。</p> <p>画面下部のシステム設定 &gt; 高度な設定 &gt; その他全設定項目 (config.ini)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>24時間経過した一時ファイルは自動的に削除されますが、ある程度の容量が必要です。</li> <li>指定なし(空白)にしておくと、APPDATA( 1) + temp が設定されます。</li> </ul>
actionqueue_savepath	<p>Fb3Indexerのアクションキューを保存するフォルダです。</p> <p>画面下部のシステム設定 &gt; 高度な設定 &gt; その他全設定項目 (config.ini)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>検知されたファイルの変更を、一時的に記憶するために利用される領域です。</li> <li>指定なし(空白)にしておくと、APPDATA( 1) + action が設定されます。</li> </ul>
idxserverlog_savepath	<p>Fb3Indexerの全体の実行ログを保存するフォルダです。</p> <p>画面下部のシステム設定 &gt; 高度な設定 &gt; その他全設定項目 (config.ini)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1日に1ファイルずつ作成され、起動・終了などのイベントを記録します。</li> <li>指定なし(空白)にしておくと、APPDATA( 1) + log が設定されます。</li> </ul>

1 APPDATA は Windows のアプリケーションデータフォルダのことで、通常は次のフォルダのことです。

- Windows 7,Vista / Windows Server 2008, 2012

C:\ProgramData\ExaPad\3.0

### 3.3.2.1 検索インデックスの設定変更

#### 検索インデックスの設定

画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > Solr (検索エンジン) で設定できます。

システム管理 ▸ 高度な設定 ▸ 検索・プレビュー ▸ Solr(検索エンジン)

保存する キャンセル

設定 インデックスの初期化

インデックス保存フォルダ

C:\ProgramData\Fb3SearchIndex

インデクサーサーバーから参照可能なWindowsパスを指定してください。変更しても既存インデックスはコピーされません

IPアドレス ポート番号 ポート番号 (停止用)

127.0.0.1 8181 8282

初期ヒープメモリサイズ (Mb) 最大ヒープメモリサイズ (Mb)

512 512

インデックステンプレート (zip)

init\_solr\_uni.zip

同期のタイミング

時間: 60 秒経過後、またはファイル数: 2000 件更新毎に、同期します (更新ファイルが検索結果に反映されます)

セキュリティ情報を埋め込む (aclsearch)

☒

### インデックス保存フォルダの変更

インデックス保存フォルダの変更を行うケースとして二つのケースがあります。

1. インデックス保存フォルダの空き容量が少なくなるなどの理由により、他のドライブに再配置した場合。
  - インデクサー (Fb3Indexer) を停止します。
  - 既存のインデックスフォルダを変更場所のフォルダにコピーします。
  - インデックス保存フォルダに指定するフォルダパスを変更します。
  - インデクサー (Fb3Indexer) を再開します。
2. 新規インストール直後、インデックス構築が完了しないうちに、インデックスフォルダを他のフォルダに移動した場合。
  - インデクサー (Fb3Indexer) を停止します。
  - インデックスを初期化します。
  - インデックス保存フォルダに指定するフォルダパスを変更します。
  - インデクサー (Fb3Indexer) を再開します。
  - インデックス再構築を行います。

### 検索インデックス同期間隔の変更

- ExaPadはファイルサーバーの変更を監視し、自動で検索インデックスに登録しますが、即座に検索できるようになるわけではありません。

- 検索結果への反映のタイミングは、時間とファイル数の設定により決まります。
- 標準では、2 ツールールのどちらかにより検索結果に反映されます。
  - 変更を検知して次のファイルの変更が検知されずに60秒が経過したとき
  - 連続して2000件以上のファイルの変更を検知したとき
- 時間やファイル数の変更を反映するにはインデクサー（Fb3Indexer）の再起動が必要です。

#### 検索が可能になるまでの流れ

1. ファイルサーバーのファイルが更新され、ExaPadサーバーが変更を検知します。
2. 当該ファイルから全文テキストを抽出し、検索エンジンに登録します。（まだキャッシュされているだけで検索可能な状態にはなっていません。）
3. 検索エンジンは、定期的に登録された文書（キャッシュ）をファイルシステムに書き出します。
4. 書き出しが完了すると検索できるようになります。

### 3.3.3 運用ログについて

#### 運用ログの種類

運用ログはアクセスログとは違い、インデクサー（Fb3Indexer）の稼動中に自動で出力されます。

各運用ログの出力フォルダは [APPDATA]\idxsvrlog となります。

ファイル名	説明	プログラム
crawler.log	インデックス構築処理のために、ドキュメントルート以下のすべてのフォルダ・ファイルをスキャンします。ログファイルには、スキャンした結果のファイル数およびフォルダ数が出力されます。この数は除外設定が考慮されています。	FbCrawler.exe
housekeeper.log	古いログファイルや一時作成ファイルを削除します。ログファイルには、特に重要なログは出力されません。	FbHouseKeeper.exe
idxsevr.log	ExaPad本体のログファイルです。5分おきに稼働状況（各ジョブの残数と最終実行日時）が出力されます。	TpIdxSvr.exe
monitor.log	ドキュメントルートのファイルの変更を監視しています。ドキュメントルートフォルダが見えなくなった場合にエラーメッセージが出力されます。	FbDirMonitor.exe
preview.log	ファイルからプレビューを抽出します。ログファイルには、抽出に失敗したファイルパスが出力されます。	FbPreviewExtractor.exe
solr.log	検索エンジン（Solr）への登録・削除を行います。ログファイルには、検索エンジン(jetty)のメモリ不足が発生したときに、エラーメッセージが出力されます。	FbSolrProxy.exe
text.log	ファイルから本文テキストを抽出します。ログファイルには、抽出に失敗したファイルパスが出力されます。	FbTextExtractor.exe
tpi.log	抽出したテキストやプレビューファイルをプレビュー保存フォルダに配置します。ログファイルには、特に重要なログは出力されません。	FbTpiProxy.exe

運用ログの出力フォルダ先の変更

- 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > その他全設定項目（config.ini）を開きます。
- idxserver とテキストボックスに入力してパラメータ絞り込みます。
- idxserverlog\_savepath を開いて、出力するフォルダのフルパスを指定します。  
TpidxSvr.exeを実行するユーザー（通常はローカルシステムアカウント）が書き込み可能なフォルダを指定 ください。
- 「保存する」ボタンを選択して、インデクサーにチェックを入れてサービスを再起動します。

3.3.4      アクセスログの読み方

アクセスログの形式

ExaPadVer3.4.0以降、ファイルのパス形式が「ファイルシステムパス」へ変更されました。  
「ファイルシステムパス」については[こちら](#)をご覧ください。（ExaPadVer3.4.0以前のバージョンをご利用の場合は[こちら](#)。）

アクセスログの読み方

操作につき1行が出力されます。各行は、カンマ区切りで以下に示す項目から構成されます。

例）"127.0.0.1","title.jpg","/share/img","fileblog.dll","", "ファイル参照 ", "User1", "2015/01/01 12:00:00", "", "MSIE 10.0..."

- ドキュメントルート      C:\share
- エイリアス                share

列位置	説明
1 列目	クライアントのIPアドレス
2 列目	アクセスしたファイル名もしくはフォルダ名
3 列目	2 列目のファイルもしくはフォルダの親 フォルダ
4 列目	使用プログラム
5 列目	備考欄（現在の仕様では何も出力されません）
6 列目	操作名 （操作一覧については後述しています）
7 列目	ユーザーID
8 列目	操作日付
9 列目	任意フィールド（ファイル移動時の移動元フォルダなどが記述されます）
1 0 列目	クライアントのユーザーエージェント

アクセスログが出力される操作一覧

検索

- 検索（キーワード）

```
"192.168.0.105","あいえお","share","fileblog.dll","","検索","User1","2015/01/01 12:00:00","55
T","MSIE 10.0..."
```

C:\share フォルダにて、キーワード「あいえお」で全文検索を行い、55件の検索結果となった場合。

2 列目          検索キーワード

3 列目          検索対象のフォルダ

9 列目          [検索ヒット数] [TAB] [T: 全文検索 or F: ファイル名検索]

- 検索（キーワード以外の検索条件）

```
"192.168.0.105","...","share","fileblog.dll","","検索","User1","2015/01/01 12:00:00","15
T","MSIE 10.0..."
```

C:\share フォルダにて、検索ファイルタイプを「Word」で検索を行い、15件の検索結果となった場合。

2 列目          「...」（半角ピリオド3 つ）が出力されます。キーワード以外の検索パラメータは1 つの「...」にまとめられて出力します。

- 検索（キーワードとその他の検索条件）

```
"192.168.0.105","あいえお ...","share","fileblog.dll","","検索","User1","2015/01/01 12:00:00","3
F","MSIE 10.0..."
```

C:\share フォルダにて、更新日時を「今日まで1 週間」、キーワード「あいえお」でファイル名検索を行い、3件の検索結果となった場合。

2 列目          検索キーワード + （半角スペース） + 「...」が出力されます。

- 検索（仮想トキュメントレート）

```
"192.168.0.105","あいえお","","fileblog.dll","","検索","User1","2015/01/01 12:00:00","112
F","MSIE 10.0..."
```

仮想トキュメントレートにて、キーワード「あいえお」でファイル名検索を行い、112件の検索結果となった場合。

3 列目          検索対象のフォルダが空になります。

仮想トキュメントレートとは、複数のトキュメントレートが設定されている場合に表示される仮想の親フォルダ「トップ」のことです。

## ファイル

- ファイルの閲覧（単ページもの）

```
"192.168.0.105","test.doc","share","fileblog.dll","","ファイル参照","User1","2015/01/01 12:00:00","","MSIE
10.0..."
```

- ファイルの閲覧（複数ページもの）

```
"192.168.0.105","test.doc","share","fileblog.dll","","ファイル参照","User1","2015/01/01 12:00:00","2","MSIE
10.0..."
```

複数ページのプレビューが作成されているファイルで、2 ページ目以降を閲覧した場合は、9 列目にページ番号も出力されます。



- 名前の変更

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","", "ファイル名変更 ","User1","2015/01/01 12:00:00","/share/test2.doc","MSIE 10.0..."
```

C:\share\test.doc を C:\share\test2.doc へファイル名の変更を行った。

9列目 変更後のファイルパスが出力されます。

- コピー

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","", "ファイルコピー ","User1","2015/01/01 12:00:00","/share/hoge/test.doc","MSIE 10.0..."
```

C:\share\test.doc を C:\share\hoge のフォルダへコピー。

9列目 コピー後のファイルパスが出力されます。

- 移動

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","", "ファイル移動 ","User1","2015/01/01 12:00:00","/share/hoge/test.doc","MSIE 10.0..."
```

C:\share\test.doc を C:\share\hoge のフォルダへ移動。

9列目 移動後のファイルパスが出力されます。

- 削除

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","", "ファイル削除 ","User1","2015/01/01 12:00:00","", "MSIE 10.0..."
```

C:\share\test.doc を削除。

- アップロード

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","", "アップロード","User1","2015/01/01 12:00:00","", "MSIE 10.0..."
```

C:\share へ test.doc をアップロード。

- ダウンロード

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","", "ダウンロード","User1","2015/01/01 12:00:00","", "MSIE 10.0..."
```

C:\share\test.doc をダウンロード。

- 更新 (メモの保存、上書き更新)

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","", "ファイル更新 ","User1","2015/01/01 12:00:00","", "MSIE 10.0..."
```

C:\share\test.doc を上書き更新。

- プロパティ (概要、コメント、Office文書プロパティ) の変更

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","", "拡張属性変更 ","User1","2015/01/01
```

```
12:00:00","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\test.doc のプロパティを変更。

## 新規メモ

```
"192.168.0.105","新しいドキュメント.html","/share","fileblog.dll","","ファイル作成","User1","2015/01/01 12:00:00","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\新しいドキュメント.html という名前でメモ作成。

## フォルダ

### • 新規作成

```
"192.168.0.105","新しいフォルダ","/share","fileblog.dll","","ディレクトリ作成","User1","2015/01/01 12:00:00","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\ 新しいフォルダ という名前でフォルダ作成。

### • 名前の変更

```
"192.168.0.105","NewFolder","/share","fileblog.dll","","ファイル名変更","User1","2015/01/01 12:00:00","/share/NewFolder2","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\NewFolder というフォルダ名をNewFolder2へ名前の変更。

9列目 変更後のフォルダパスが出力されます。

### • コピー

```
"192.168.0.105","NewFolder","/share","fileblog.dll","","ファイルコピー","User1","2015/01/01 12:00:00","/share/target/NewFolder","MSIE 10.0..."
```

C:\share\NewFolder を C:\share\target へコピー。

9列目 変更後のフォルダパスが出力されます。

ExaPadVer3.4.0以降、フォルダのコピー時は親フォルダのコピーログのみ出力されるようになりました。

### • 移動

```
"192.168.0.105","NewFolder","/share","fileblog.dll","","ファイル移動","User1","2015/01/01 12:00:00","/share/hoge/NewFolder","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\NewFolder を C:\share\hoge\NewFolder へ移動。

9列目 変更後のフォルダパスが出力されます。

移動されたフォルダの中のファイルについてはログ出力されません。

### • 削除

```
"192.168.0.105","NewFolder","/share","fileblog.dll","","ディレクトリ削除","User1","2015/01/01 12:00:00","","MSIE 10.0..."
```

C:\share\NewFolder を削除。

フォルダの中のファイルについても削除ログが出力されます。

- プロパティ( 概要、コメント、Office文書 プロパティ) の変更

```
"192.168.0.105","NewFolder","/share","fileblog.dll","", "拡張属性変更 ", "User1", "2015/01/01 12:00:00", "", "MSIE 10.0..."
```

C:\share\NewFolder のプロパティを変更。

## ログイン・ログアウト

- ログイン

```
"192.168.0.105","", "", "fileblog.dll", "", "ログイン", "User1", "2015/01/01 12:00:00", "", "MSIE 10.0..."
```

- ログアウト

```
"192.168.0.105","", "", "fileblog.dll", "", "ログアウト", "User1", "2015/01/01 12:00:00", "", "MSIE 10.0..."
```

- セッションタイムアウトによるログアウト

```
"192.168.0.105","", "", "fileblog.dll", "", "セッションタイムアウト", "User1", "2015/01/01 12:00:00", "", "MSIE 10.0..."
```

セッションが切れた場合に出力されます。

## その他

- パスワード変更

```
"192.168.0.105","", "", "fileblog.dll", "", "パスワード変更 ", "User1", "2015/01/01 12:00:00", "", "MSIE 10.0..."
```

- 拒否

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","", "拒否 -ファイル削除 ", "User1", "2015/01/01 12:00:00", "", "MSIE 10.0..."
```

```
"192.168.0.105","test.doc","/share","fileblog.dll","", "拒否 -ファイルコピー ", "User1", "2015/01/01 12:00:00", "/share/hoge/test.doc", "", "MSIE 10.0..."
```

それぞれの操作に対して、権限のないユーザーが行った場合にも 拒否 - 』という操作名でログが出力されます。

## アクセスログが出力されない操作

ファイルの一覧表示や、システム設定の操作などはアクセスログに出力されません。

## 古いアクセスログの削除

一定の期間が過ぎたログファイルはExaPadサーバーによって定期的に自動削除されます。

画面下部のシステム設置 > Webアプリ> アクセスログ > accesslog\_duration で期間(日数)を変更できます。

標準では150日間の保存です。

## アクセスログ形式のカスタマイズ

アクセスログの出力フォーマットを変更できます。

- 画面下部のシステム設定管理ツール > 基本設定 > Webアプリ > アクセスログを開きます。
- accesslog\_format を修正します。
- 標準は次のよう設定されています。

```
$ (ip), $(name), $(parent), $(program), $(desc), $(event), $(user), $(date), $(some), $(ua)
```

- \$(ip) クライアントのIPアドレス
- \$(name) アクセスしたファイル名もしくはフォルダ名
- \$(parent) 2 列目のファイルもしくはフォルダの親 フォルダ
- \$(program) 使用プログラム ( 常にfileblog.dllです )
- \$(desc) 説明
- \$(event) 作名 ( 操作一覧については後述しています )
- \$(user) ユーザーID
- \$(date) 操作日付
- \$(some) 任意フィールド ( ファイル移動時の移動元フォルダなどが記述されます )
- \$(ua) クライアントのユーザーエージェント

アクセスログ形式をカスタマイズすると アクセスログ集計ツール ( レポートやランキング ) が動かなくなります。  
独自の集計ツールを使用する場合以外は変更しないでください。

## ファイルシステムパスとは？

ExaPad内で使用される独自のファイルパスの形式を「ファイルシステムパス」形式と呼んでいます。  
ファイルシステムパスは以下のルールに従って表記されます

```
'/' + [エイリアス名] + '/' + [ドキュメントルートからの相対パス]
```

相対パスの区切り記号は半角スラッシュ

ExaPadver3.5.0までは、 '/' + [\_root\_] が使用されていました

例えば、ドキュメントルートが C:\Share、エイリアスが SH1 に設定されている場合、C:\Share\hoge.txt は次のように表記されます。

```
/SH1/hoge.txt
```

ファイルシステムパスを使用すると、ドキュメントルートの実際のパスが変更された場合にもExaPadは同じパスのまま使用できるというメリットがあります。

### 3.3.4.1 (旧) アクセスログの読み方

こちらはExaPadVer3.4.0以前のバージョンの説明になります

## アクセスログの形式

1 操作につき1行が出力されます。各行は、カンマ区切りで次に示す項目から構成されます。

例) "127.0.0.1","title.jpg","c:\prj\mb2\web\img","fileblog.dll","", "ファイル参照 ", "User1", "2011/01/01 12:00:00", "", "MSIE 6.0..."

列位置	説明
1 列目	クライアントのIPアドレス
2 列目	アクセスしたファイル名もしくはフォルダ名
3 列目	2 列目のファイルもしくはフォルダの親 フォルダ
4 列目	使用 プログラム ( 常にfileblog.dllです)
5 列目	備考欄 ( 現在の仕様では何も出力されません)
6 列目	操作名 ( 操作一覧については後述しています)
7 列目	ユーザーID
8 列目	操作日付
9 列目	任意フィールド ( ファイル移動時の移動元 フォルダなどが記述されます)
10 列目	クライアントのユーザーエージェント

## アクセスログが出力される操作一覧

### 検索

#### • 検索 ( キーワード)

"192.168.0.105","あいえお","C:\share","fileblog.dll","", "検索 ", "User1", "2011/01/01 12:00:00", "55 T", "MSIE 6.0..."

C:\share にて、キーワード「あいえお」で全文検索を行い、55件の検索結果となった場合。

2 列目            検索キーワードが出力されます。

3 列目            検索対象のフォルダを出力します。

9 列目            [検索ヒット数] [TAB] [T: 全文検索 or F: ファイル名検索]

#### • 検索 ( キーワード以外の検索条件)

"192.168.0.105","...", "C:\share","fileblog.dll","", "検索 ", "User1", "2011/01/01 12:00:00", "15 T", "MSIE

6.0..."

C:\share にて、検索ファイルタイプを「Word」で検索を行い、15件の検索結果となった場合。

2 列目 「...」(半角ピリオド3 つ) が出力されます。キーワード以外の検索パラメータは1 つの「...」にまとめられて出力します。

- 検索 (キーワードとその他の検索条件)

"192.168.0.105","あいえお ...","C:\share","fileblog.dll","", "検索 ","User1","2011/01/01 12:00:00", "3 F","MSIE 6.0..."

C:\share にて、更新日時を「今日まで1 週間」、キーワード「あいえお」でファイル名検索を行い、3件の検索結果となった場合。

2 列目 検索キーワード + (半角スペース) + 「...」が出力されます。

- 検索 (バーチャルキュメントレート)

"192.168.0.105","あいえお ","", "fileblog.dll","", "検索 ","User1","2011/01/01 12:00:00","112 F","MSIE 6.0..."

仮想ドキュメントレートにて、キーワード「あいえお」でファイル名検索を行い、112件の検索結果となった場合。

3 列目 検索対象のフォルダが空になります。

仮想ドキュメントレートとは、複数のドキュメントレートが設定されている場合の仮想の親フォルダ「トップ」のことです。

## ファイル

- ファイルの閲覧 (単ページもの)

"192.168.0.105","test.doc","C:\share","fileblog.dll","", "ファイル参照 ","User1","2011/01/01 12:00:00","", "MSIE 6.0..."

- ファイルの閲覧 (複数ページもの)

"192.168.0.105","test.doc","C:\share","fileblog.dll","", "ファイル参照 ","User1","2011/01/01 12:00:00","2", "MSIE 6.0..."

複数ページのプレビューが作成されているファイルの2 ページ目以降を閲覧した場合は、9 列目にページ番号も出力されます。

- 名前の変更

"192.168.0.105","test.doc","C:\share","fileblog.dll","", "ファイル名変更 ","User1","2011/01/01 12:00:00","c:\share\test2.doc", "MSIE 6.0..."

C:\share\test.doc を C:\share\test2.doc へファイル名を変更。

- コピー

"192.168.0.105","test.doc","C:\share","fileblog.dll","", "ファイルコピー ","User1","2011/01/01 12:00:00","C:\share\hoge\test.doc", "MSIE 6.0..."

C:\share\test.doc を C:\share\hoge のフォルダへコピー。

- 移動

```
"192.168.0.105","test.doc","C:\share","fileblog.dll","", "ファイル移動 ", "User1", "2011/01/01 12:00:00", "c:\share\hoge\test.doc", "MSIE 6.0..."
```

C:\share\test.doc を C:\share\hoge のフォルダへ移動。

- 削除

```
"192.168.0.105","test.doc","C:\share","fileblog.dll","", "ファイル削除 ", "User1", "2011/01/01 12:00:00", "", "MSIE 6.0..."
```

- アップロード

```
"192.168.0.105","test.doc","C:\share2","fileblog.dll","", "アップロード", "User1", "2011/01/01 12:00:00", "", "MSIE 6.0..."
```

- ダウンロード

```
"192.168.0.105","test.doc","C:\share","fileblog.dll","", "ダウンロード", "User1", "2011/01/01 12:00:00", "", "MSIE 6.0..."
```

- 更新 (メモの保存、上書き更新)

```
"192.168.0.105","test.doc","C:\share2","fileblog.dll","", "ファイル更新 ", "User1", "2011/01/01 12:00:00", "", "MSIE 6.0..."
```

- プロパティ (概要、コメント、Office文書プロパティ) の変更

```
"192.168.0.105","test.doc","C:\share","fileblog.dll","", "拡張属性変更 ", "User1", "2011/01/01 12:00:00", "", "MSIE 6.0..."
```

- 新規メモ

```
"192.168.0.105","新しいドキュメント.html","C:\share","fileblog.dll","", "ファイル作成 ", "User1", "2011/01/01 12:00:00", "", "MSIE 6.0..."
```

## フォルダ

- 新規作成

```
"192.168.0.105","新しいフォルダ","C:\share","fileblog.dll","", "ディレクトリ作成 ", "User1", "2011/01/01 12:00:00", "", "MSIE 6.0..."
```

フォルダ作成時に概要を指定した場合は、「拡張属性変更」のログも出力されます。

- 名前の変更

```
"192.168.0.105","NewFolder","C:\share","fileblog.dll","", "ファイル名変更 ", "User1", "2011/01/01 12:00:00", "C:\share\NewFolder2", "", "MSIE 6.0..."
```

- コピー

```
"192.168.0.105","NewFolder","C:\share","fileblog.dll","", "ディレクトリ作成 ", "User1", "2011/01/01
```

12:00:00","","MSIE 6.0..."

フォルダのコピーは厳密にはディレクトリの作成を行っています。また、コピーされたフォルダの中のファイル毎に「ファイルコピー」ログが出力されます。

- 移動

"192.168.0.105","NewFolder","C:\share","fileblog.dll","","ファイル移動 ","User1","2011/01/01 12:00:00","C:\share\hoge\NewFolder","","MSIE 6.0..."

移動されたフォルダの中のファイルについてはログ出力されません。

- 削除

"192.168.0.105","NewFolder","C:\share","fileblog.dll","","ディレクトリ削除 ","User1","2011/01/01 12:00:00","","MSIE 6.0..."

フォルダの中身のファイルについても削除ログが出力されます。

- プロパティ( 概要、コメント、Office文書プロパティ) の変更

"192.168.0.105","NewFolder","C:\share","fileblog.dll","","拡張属性変更 ","User1","2011/01/01 12:00:00","","MSIE 6.0..."

## ログイン・ログアウト

- ログイン

"192.168.0.105","","","fileblog.dll","","ログイン ","User1","2011/01/01 12:00:00","","MSIE 6.0..."

- ログアウト

"192.168.0.105","","","fileblog.dll","","ログアウト ","User1","2011/01/01 12:00:00","","MSIE 6.0..."

- セッションタイムアウトによるログアウト

"192.168.0.105","","","fileblog.dll","","セッションタイムアウト ","User1","2011/01/01 12:00:00","","MSIE 6.0..."

セッションが切れた場合に出力されます。

## その他

- パスワード変更

"192.168.0.105","","","fileblog.dll","","パスワード変更 ","User1","2011/09/01 12:00:00","","MSIE 6.0..."

- 拒否

"192.168.0.105","test.doc","C:\share","fileblog.dll","","拒否 -ファイル削除 ","User1","2011/01/01 12:00:00","","MSIE 6.0..."

"192.168.0.105","test.doc","C:\share","fileblog.dll","","拒否 -ファイルコピー ","User1","2011/01/01 12:00:00","C:\share\hoge\test.doc","","MSIE 6.0..."



それぞれの操作に対して、権限のないユーザーが行った場合にも「拒否 - 」という操作名でログが出力されます。

## アクセスログが出力されない操作

ファイルの一覧表示や、システム設定の操作などはアクセスログに出力されません。

## 古いアクセスログの削除

一定の期間が過ぎたログファイルはExaPadサーバーによって定期的に自動削除されます。

管理ツール > 高度な設定 > アクセスログの[accesslog\_duration]で期間（日数）を変更できます。

## アクセスログ形式のカスタマイズ

アクセスログの出力フォーマットを変更できます。

- 管理ツール > 高度な設定 > アクセスログを開きます。
- accesslog\_format を修正します。
- 標準は次のように設定されています。

```
$ (ip), $(name), $(parent), $(program), $(desc), $(event), $(user), $(date), $(some), $(ua)
```

\$(ip)	クライアントのIPアドレス
\$(name)	アクセスしたファイル名もしくはフォルダ名
\$(parent)	2 列目のファイルもしくはフォルダの親 フォルダ
\$(program)	使用プログラム（常にfileblog.dllです）
\$(desc)	説明
\$(event)	操作名（操作一覧については後述しています）
\$(user)	ユーザーID
\$(date)	操作日付
\$(some)	任意フィールド（ファイル移動時の移動元フォルダなどが記述されます）
\$(ua)	クライアントのユーザーエージェント

アクセスログ形式をカスタマイズすると、アクセスログ集計ツール（レポートやランキング）が動かなくなります。独自の集計ツールを使用する場合以外は変更しないでください。

### 3.3.5 インデックス再構築

キーワード検索の結果に表示されないファイルがあることが疑われる場合、そのファイルが保存されているフォルダに対してインデックス再構築を行ってください。

インデックス再構築を行うと、そのフォルダ以下の全文検索インデックスに登録されていないファイルやフォルダのインデックスが登録されます。

## インデックスの再構築により行われる処理

- インデックス再構築はフォルダを指定して行うことができます。

- 対象となるフォルダのインデックスが未登録、あるいは登録済みインデックスが古いファイルのインデックスを登録します。
- 対象となるフォルダのプレビューが未作成、あるいは作成済みプレビューが古いファイルのプレビュー画像を作成設定に従い作成します。

## インデックスの掃除により行なわれる処理

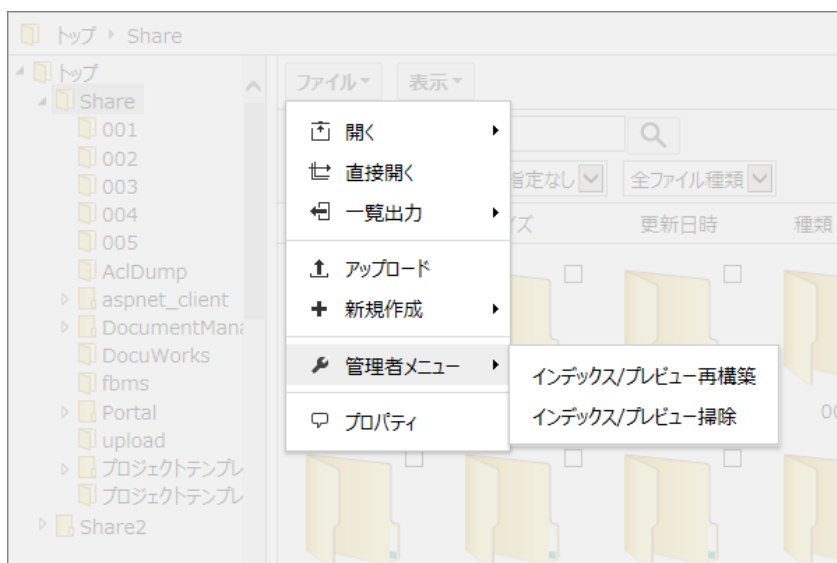
- インデックスの掃除はフォルダを指定して行うことができます。
- 対象となるフォルダに対して、ファイルがドキュメントレーンに存在しないのは検索されてしまう(全文検索エンジンに登録されている)インデックスデータを削除します。
- 対象となるフォルダに対して、ファイルがドキュメントレーンに残っているプレビューデータをプレビュー保存フォルダから削除します。

## インデックスの再構築および掃除の方法

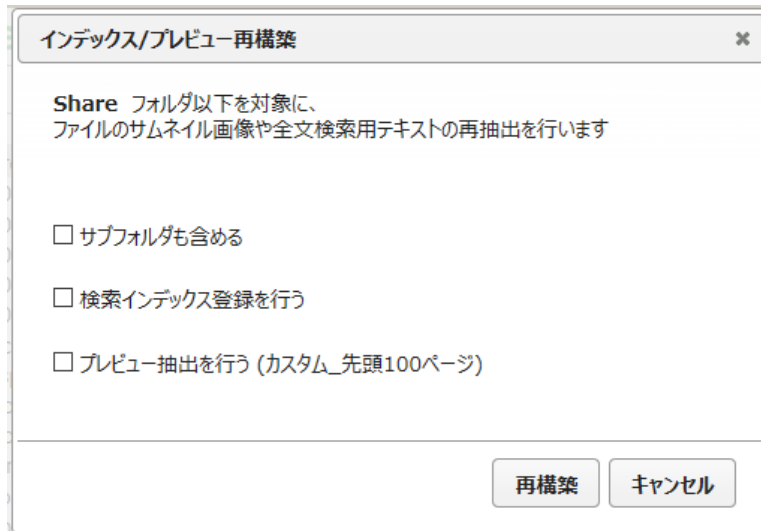
インデックスの再構築と掃除は同様の手順で実行することができます。

1. 再構築したいフォルダに移動して「ファイル」メニューの「インデックス/プレビュー再構築」を選択します。

または、フォルダツリー・パンくずリスト・フォルダー一覧の右クリックでもメニューを選択します。



2. 実行したい項目にチェックを入れて「再構築」ボタンを選択すると、インデックス再構築が始まります。



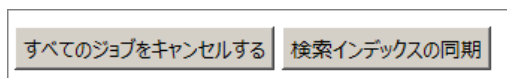
- サブフォルダも含める  
再構築する対象にサブフォルダも含める場合にチェックを入れます。
- 検索インデックスを登録を行う  
検索インデックス登録を行う場合にチェックを入れます。
- プレビュー抽出を行う  
プレビュー抽出を行う場合にチェックを入れます。

## インデックスの構築状況の確認

1. 画面下部のシステム設定 > システム状態 > インデックス構築状況 を開きます。



- インデックスの同期が行われるまでは検索結果に反映されません。
- 同期は検索エンジンの設定に従い自動で行われますが、手動でも行うことができます。
- 検索インデックスの同期」ボタンを選択すると同期が行われます。



## オンライン処理とバッチ処理

- オンライン処理

ファイル・フォルダの変更を検知して始まるインデックス構築の処理です。

- バッチ処理

スケジュール登録のタスクや手動により実行されたインデックス構築の処理です。

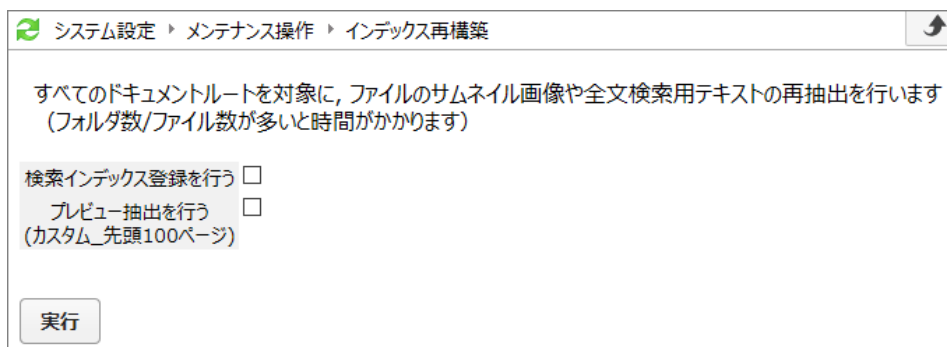
## すべてのフォルダを対象にインデックスの再構築・掃除を行う

1. 画面下部のシステム設定 > メンテナンス操作 > インデックス再構築 を開きます。

掃除の場合は、「インデックスの掃除」を選択してください。



2. 実行する処理にチェックを入れて、「実行」ボタンを選択します。



ファイル一覧画面のトップフォルダを選択し、「ファイル」メニューで選択する「管理者メニュー」の実行でも、ドキュメントルート全体（全フォルダ）に対してインデックス再構築や掃除の処理を行うことができます。

## インデックスを初期化する

1. 画面下部のシステム設定 > メンテナンス操作 > サービス確認・起動・終了 を開く



2. インデクサー ( Fb3Indexer ) を停止します。

システム設定 ▶ メンテナンス操作 ▶ サービス確認・起動・終了

サービス	状態	操作	アカウント
インデクサー ( Fb3Indexer )	開始	<b>停止</b> 開始/再起動	設定
Webサーバー ( Fb3Apache )	開始	- 再起動	

3. 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > Solr ( 検索エンジン ) を選択します。

システム設定 ▶ 高度な設定 ▶ 検索・プレビュー

システム設定

- システム状態
- 基本設定
  - 対象ドキュメント
  - セキュリティ
  - Webアプリ
- 高度な設定
  - 検索・プレビュー**

ファイル種類

検索ファイルタイプ定義

**Solr(検索エンジン)**

プレビュー作成設定

抽出プログラム

4. 「インデックス初期化」タブを選択します。

システム設定 ▶ 高度な設定 ▶ 検索・プレビュー ▶ Solr(検索エンジン)

保存する キャンセル

**設定** **インデックスの初期化**

初期化を行う前に、保存されていない設定があれば先に保存してください

**インデックスの初期化**

5. 「インデックスの初期化」ボタンを選択して初期化します。
6. 初期化の完了後、2. の「サービス確認・起動・終了」の画面で、インデクサー ( Fb3Indexer ) を再開します。

システム設定 ▶ メンテナンス操作 ▶ サービス確認・起動・終了

サービス	状態	操作	アカウント
インデクサー ( Fb3Indexer )	停止	停止 <b>開始/再起動</b>	設定
Webサーバー ( Fb3Apache )	開始	- 再起動	

## 7. インデックス再構築を行なってください

**Part**

---

**IV**

## 4 あれっ？と思ったら

よくあるトラブルの解決のためのヒントです。

### 4.1 ログインできない

#### 現象

ExaPadにログインできない。

#### 原因

次の原因が考えられます。

1. ユーザーID・パスワードが間違っている。
2. ログイン先のドメイン（もしくはWorkGroup）の設定が間違っている。
3. パスワードが127文字を超えている。

#### 解決方法

##### 1. ユーザーID・パスワードが間違っている

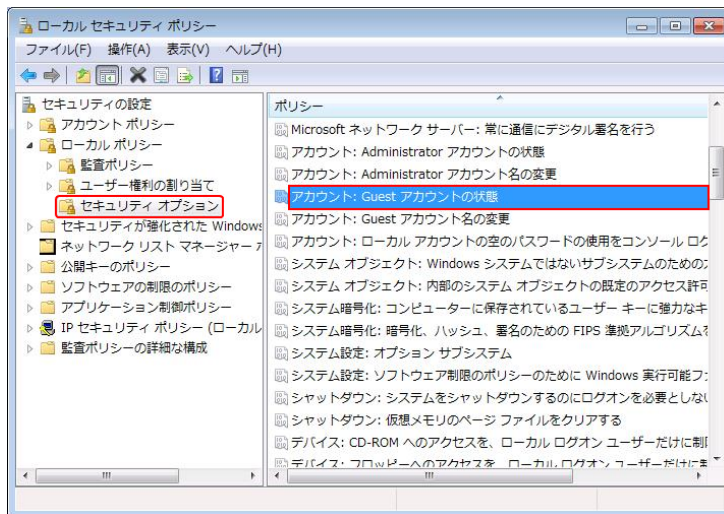
- ExaPadは Windows に登録されているユーザーアカウントでログインすることができます。
- ログイン先のドメインを確認してください。  
ログイン画面のユーザーID・パスワードの入力ボックスの下に表示されます。  
表示されていない場合は、WORKGROUP（ローカルユーザー）が該当します。
- ログインに使用するユーザーIDがドメインに登録されていることを確認してください。  
ログイン先がWORKGROUP の場合は、ローカルユーザーのユーザーIDであることを確認してください。
- Caps Lock キーが有効になっていないことを確認してください。

##### 2. ログイン先のドメイン（もしくはWorkGroup）の設定が間違っているケース

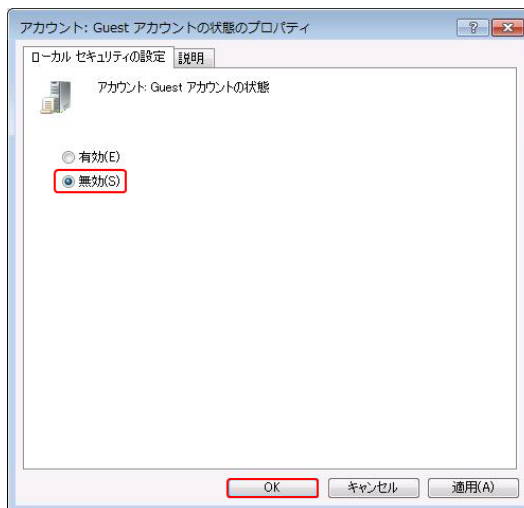
- ログイン先のドメインを確認してください。  
ログイン画面のユーザーID・パスワードの入力ボックスの下に表示されます。  
表示されていない場合は、WORKGROUP（ローカルユーザー）が該当します。
- ユーザーアカウントの設定で Guest アカウントを無効にしてください。
- ローカルセキュリティポリシーの Guest アカウントを無効に設定してください。
  - スタート > コントロールパネル > 管理ツール > ローカルセキュリティポリシー を開きます。
  - ローカルポリシー > セキュリティオプション を開きます。



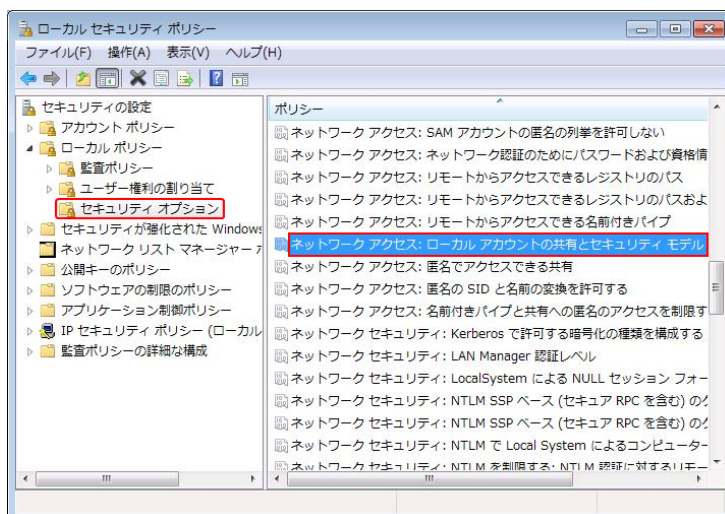
- 「アカウント：Guest アカウントの状態」を開きます。



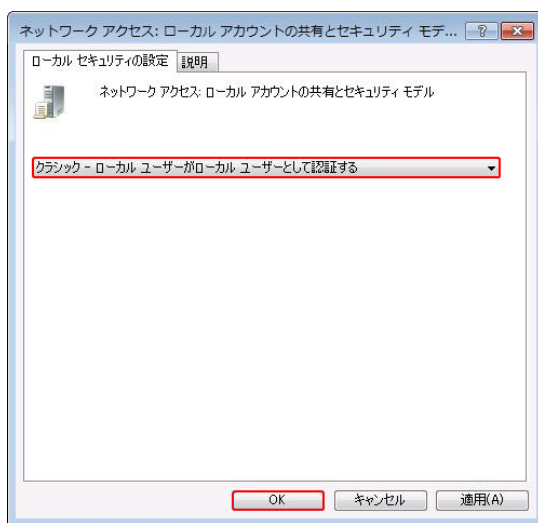
- 「無効(S)」にチェックを入れOKをクリックします。



- 続いて、「ネットワークアクセス：ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル」を開きます。



- 「クラシック - ローカルユーザーがローカルユーザーとして認証する」を選択します。



- 念のためPCの再起動をお勧めします。

### 3. パスワードが127文字を超えているケース

ExaPadでは127文字を超えるパスワードを使用できません。

パスワードを127文字以下に設定してください。

#### 4.1.1 ローカルログオンを許可する

##### 概要

「ログオン失敗: 要求された種類のログオンは、このコンピュータではユーザーに許可されていません。」というエラーが表示される場合があります。これは、ログインしようとしているユーザーが、ExaPadがインストールされたWindowsサーバーにて、「ローカルログオン」を許可され

ていない」ことが原因です。

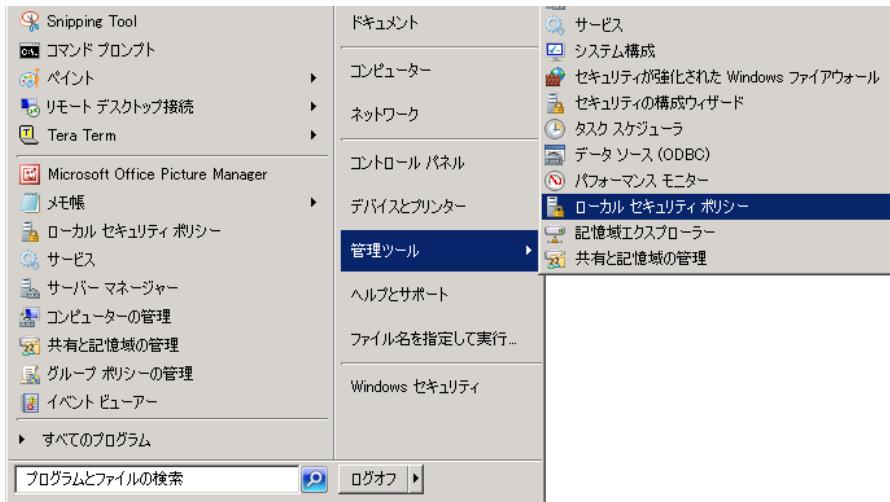
通常、Windowsサーバー（ワークグループおよびドメインメンバーのサーバー）においては、ローカルログオンの許可は「ローカルセキュリティポリシー」で設定されます。

ドメインコントローラーの役割を務めるWindowsサーバーにおいては、「ドメインコントローラーポリシー」を編集する必要があります。ローカルセキュリティポリシーより、ドメインコントローラーポリシーの設定が優先されるためです。

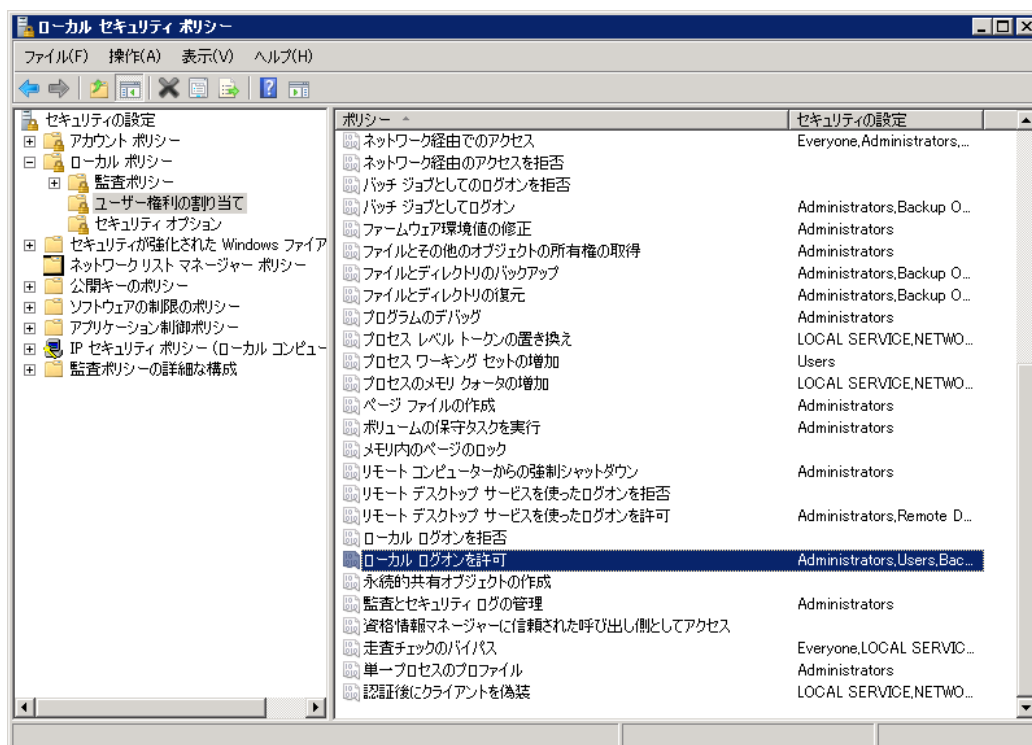
## 設定方法

### Windows Server 2008 の場合

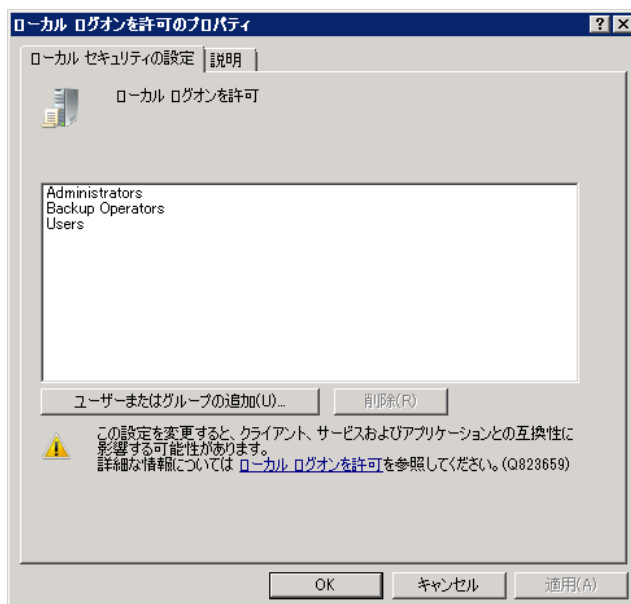
1. スタートメニュー > 管理ツール > ローカルセキュリティポリシー を開きます。



2. ローカルポリシー > ユーザー権利の割り当てを開きます。
3. 「ローカルログオンを許可」を開きます。



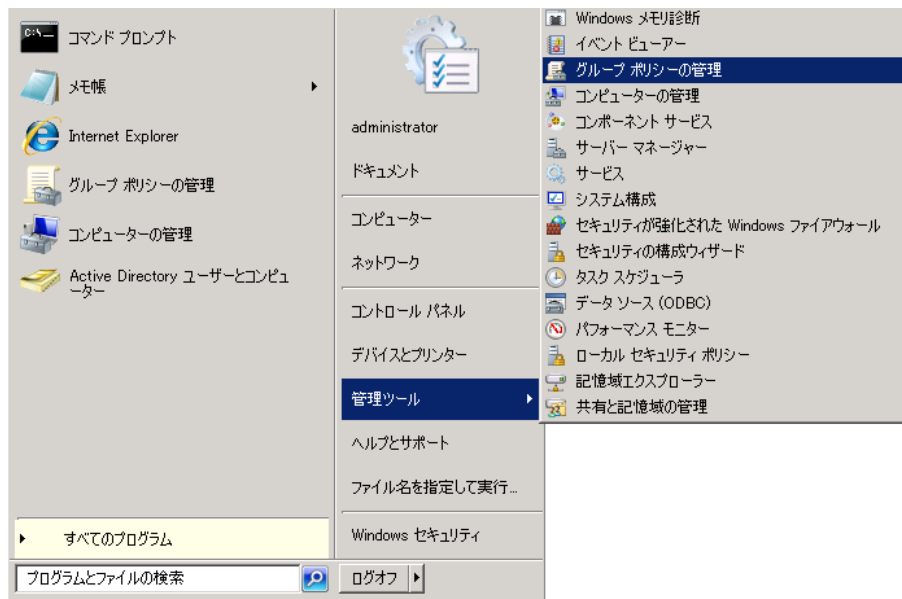
3. ログオンを許可したいユーザーもしくはグループを追加します。



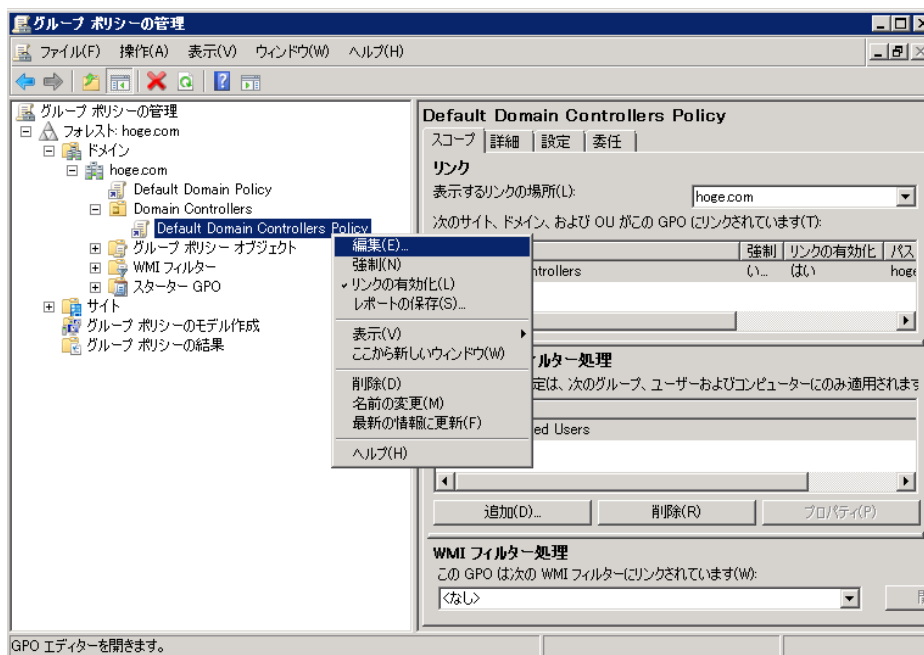
- ユーザー単位、グループ単位で追加することができます。

## Windows Server 2008 ドメインコントローラーの場合

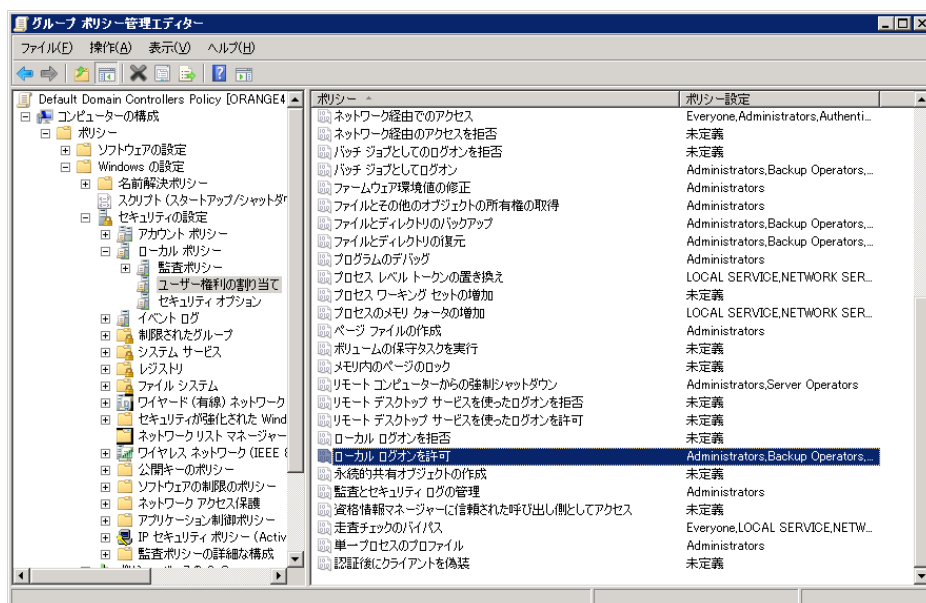
1. スタートメニュー > 管理ツール > グループポリシーの管理 を開きます。



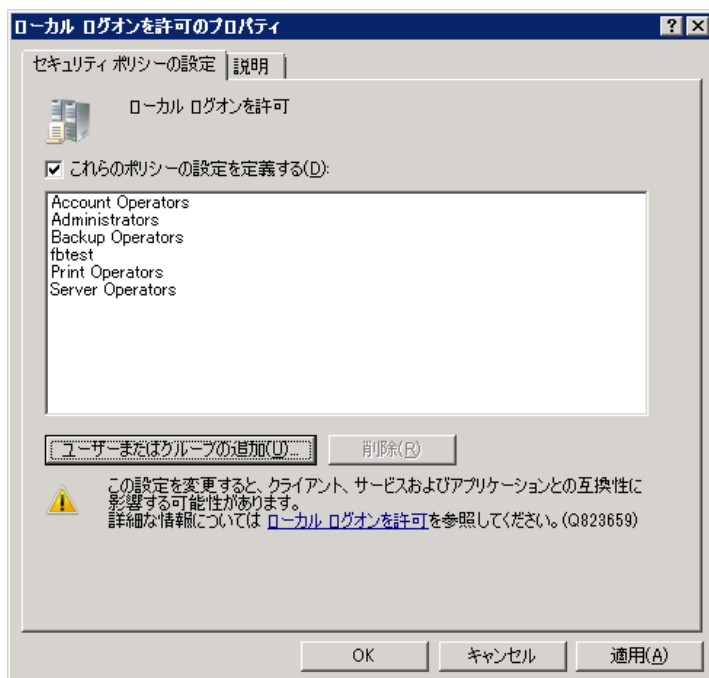
4. Default Domain Controllerを右クリック > 編集 を選択します。



3. コンピューターの構成 > ポリシー > Windowsの設定 > セキュリティの設定 > ユーザー権利の割り当てを開きます。
4. 「ローカルログオンを許可する」を開きます。



##### 5. ログオンを許可したユーザーもしくはグループを追加します。



- ユーザー単位、グループ単位で追加することができます。
- ActiveDirectory環境の場合には、グローバルグループを追加できないので注意してください。追加可能なのはローカルグループです。

既存のグループがグローバルグループの場合には、ExaPad用にローカルグループを作成し、そのメンバーとしてグローバルグループを所属させ、作成したExaPad用ローカルグループをローカルセキュリティポリシーの「ローカルログオンを許可する」に追加するようにします。

#### 4.1.2 LANのPCからログインできない

##### 現象

LANで接続されているローカルエリアネットワーク内の端末からExaPadにログインできない。  
インストールしたサーバーのローカル環境からは正常に接続できる。

##### 原因

次の原因が考えられます。

1. IPアドレスが間違っている。
2. サーバー名が間違っている。
3. IPアドレス、端末名のいずれも正しい場合は、Windowsファイアウォールにより遮断されている。

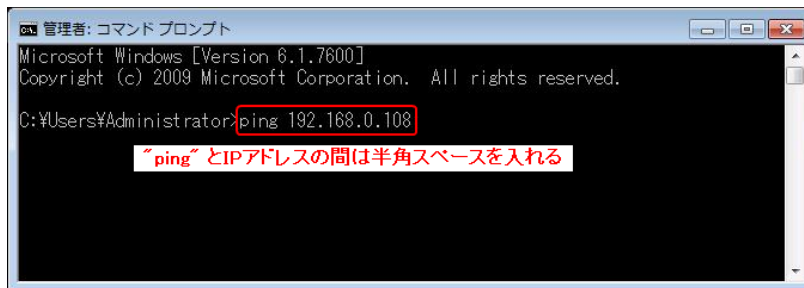
##### 解決方法

###### 1. IPアドレスが間違っている

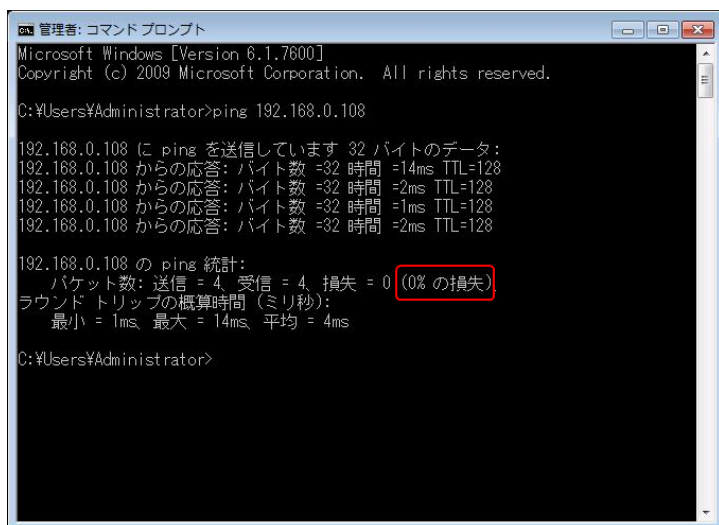
ping コマンドを用いて、ExaPadサーバーから応答があるかどうかを確認してください。

- スタート> プログラムとファイルの検索 に「cmd」と入力して コマンドプロンプトを起動します。
- ping コマンドを入力し、Enterキーを押します。

例) ping 192.168.0.12



- 次のように (0% の損失) と表示されれば、サーバーマシンは稼働しています。



```
管理者: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7600]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Administrator>ping 192.168.0.108

192.168.0.108 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.0.108 からの応答: バイト数 =32 時間 =14ms TTL=128
192.168.0.108 からの応答: バイト数 =32 時間 =2ms TTL=128
192.168.0.108 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=128
192.168.0.108 からの応答: バイト数 =32 時間 =2ms TTL=128

192.168.0.108 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)
    ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
        最小 = 1ms、最大 = 14ms、平均 = 4ms

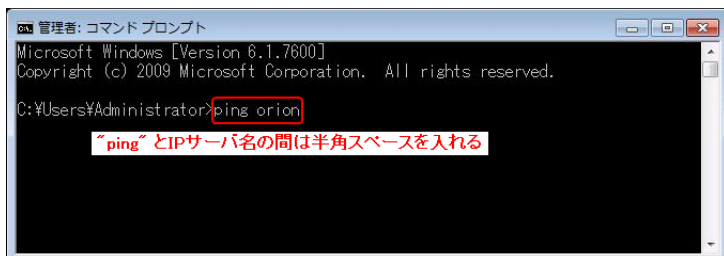
C:\Users\Administrator>
```

(100% の損失) と表示された場合はサーバーマシンとの間のネットワークが遮断されています。ネットワーク管理者に問い合わせてください。

## 2. サーバー名が間違っている

pingコマンドを用いて、ExaPadサーバーから応答があるかどうかを確認して下さい。

1. スタート> プログラムとファイルの検索に "cmd" と入力すると cmd.exeが表示されます。クリックして起動して下さい。
2. Windowsのコマンドプロンプトが表示されますので、"ping サーバー名"を入力して、Enterキーを押します。

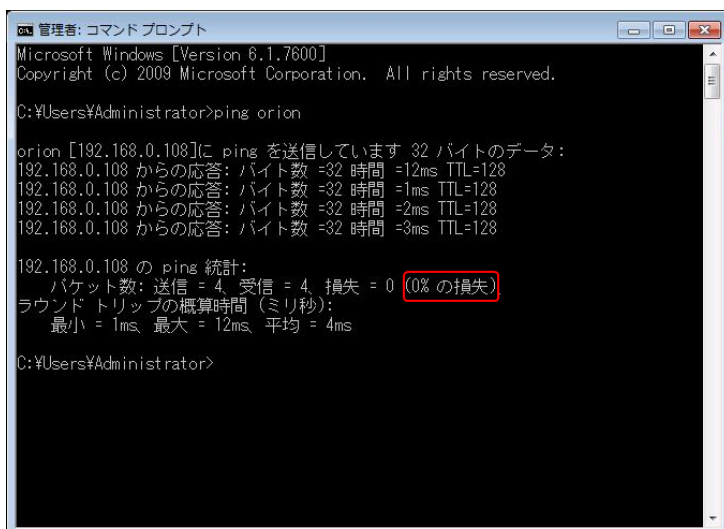


```
管理者: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7600]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Administrator>ping orion

"ping" とIPサーバー名の間は半角スペースを入れる
```

3. 以下のように (0% loss) と表示されれば、サーバーマシンは稼働しています。



```
管理者: コマンド プロンプト
Microsoft Windows [Version 6.1.7600]
Copyright (c) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\Users\Administrator>ping orion

orion [192.168.0.108]に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.0.108 からの応答: バイト数 =32 時間 =12ms TTL=128
192.168.0.108 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=128
192.168.0.108 からの応答: バイト数 =32 時間 =2ms TTL=128
192.168.0.108 からの応答: バイト数 =32 時間 =3ms TTL=128

192.168.0.108 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)
    ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
        最小 = 1ms、最大 = 12ms、平均 = 4ms

C:\Users\Administrator>
```



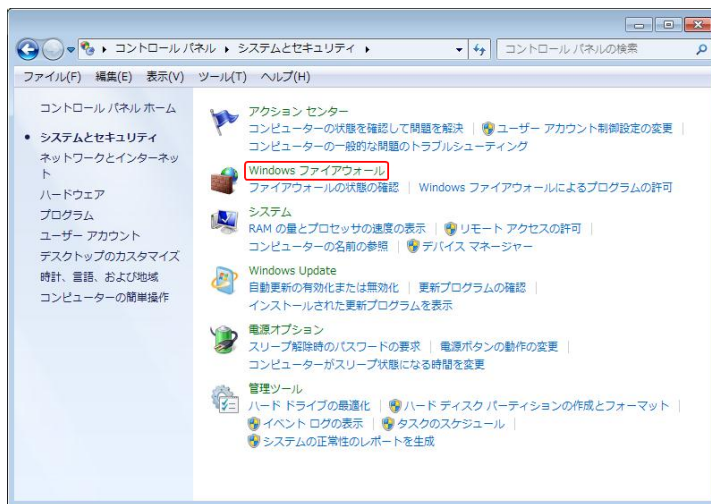
"100% loss"と表示された場合は、サーバーマシンとの間のネットワークが遮断されています。ネットワーク管理者に問い合わせてください。

### 3. Windowsファイアーウォールによって遮断されている

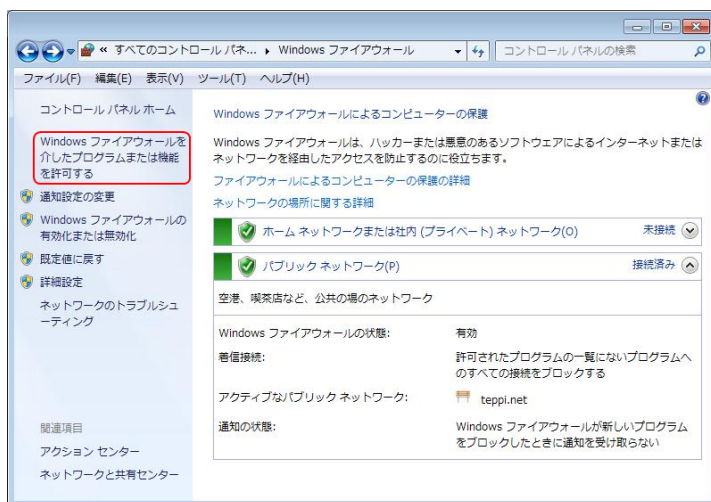
WindowsファイアーウォールでHTTPやFb3Indexerの通信が遮断されていると、外部の端末からExaPadに接続できません。

Windowsファイアーウォールに通信を許可する設定をしてください。

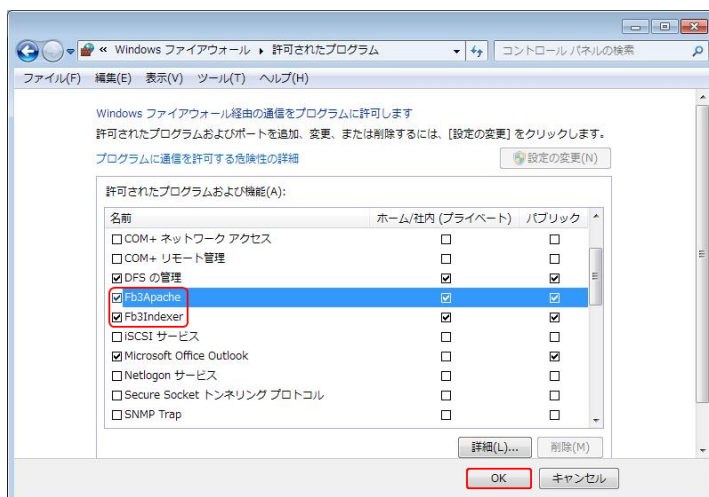
- スタート > コントロールパネル > システムとセキュリティ > Windows ファイアーウォール を開きます。



- 「Windows ファイアーウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」を開きます。



- Fb3Web (Webサーバー) および Fb3Indexer (インデクサー) の両方にチェックを入れてOKをクリックします。



- 設定完了後に、ログインテストを行ってください。

## 4.2 フォルダが「存在しません」と表示される

### 現象

ログイン直後や、ログイン後にフォルダ/ファイルを選択すると「[ / / ] は存在しないか、読み取り権限がありません」と表示される。

### 原因

- フォルダ/ファイルに対して、ログインユーザーにアクセス権限がない。
- Windowsの共有設定のアクセス許可に、ログインユーザーが含まれていない。
- ExaPadのセキュリティ拡張 (AclManager) の設定で、フォルダ/ファイルに対してログインユーザーの読み取りが許可されていない。
- フォルダ/ファイルが存在しない。

### 解決方法

- Windowsエクスプローラーでフォルダ/ファイルに対するユーザーのアクセス権を確認し、権限が不足している場合は適切な権限を与えてください。
- Windowsのフォルダの共有設定では、通常のアクセス権設定とは別に「共有のアクセス権設定」が必要です。
- 共有のアクセス権設定で、適切なユーザー/グループに許可を与えてください。
- 管理ツール > 高度な設定 > セキュリティ拡張 (AclManager) を開いてアクセス権設定を確認してください。  
不要なアクセス権が設定されている場合は、適切なアクセス権設定に変更してください。
- ドキュメントルート(ファイルサーバー)にフォルダ/ファイルが存在するか確認してください。

## 4.3 検索にヒットしない・ヒットしすぎる

### インデックス構築状況の問題

この項では全文検索インデックスの問題について解説しています。

#### 現象

キーワード検索に、目的のファイルが検索結果に表示されない。

#### 原因

次の原因が考えられます。

- 目的のファイルが全文検索インデックスに、まだ登録されていない。（登録待ちの状態）
- 目的のファイルが全文検索インデックスに、登録されていない。（登録もれの状態）

#### 解決方法

- 検索インデックスの登録処理状況は、画面下部のシステム設定 > システム状態 > インデックス構築状況」で確認できます。処理中のステータスの各項目で処理状況を確認してください。完了していない場合は、全ての処理が完了してから再度検索を行ってください。
- 検索インデックスの登録処理が完了しているのに検索結果に表示されない場合は、目的のファイルが保存されているフォルダをExaPadで開いて、「ファイルボタン > 管理者メニュー > インデックス/プレビュー再構築」で、インデックスの再構築を行ってください。
- インデックス登録にもれてしまったファイルの場合は、インデックスの再構築で改善されます。

### 検索キーワードの問題

#### 現象

「あれ、なんで見つからないの？」「なんでこんなファイルが検索されるの？」など、全文検索の結果に違和感を覚えるケースです。

#### 原因

ExaPadが採用している検索方法の特性により、検索結果が予想したものと異なってしまう場合があります。

#### 解説

- 全文検索の特性
  1. 全角文字列と半角英数文字列は区別して扱われます。  
例文） 英語で「おはよう」はGood morningになります。  
これは、英数文字列「Good morning」部分と、その他に分けて扱われます。
  2. 半角文字列は、原則として単語全体の一致で検索します。

例文では「Good」や「morning」で検索できますが、「Goo」や「ng」などの部分的な文字列では検索できません。

このため、ID番号や日付などの数字の文字列では、部分一致の検索はできません。

例えば、「20100615」は、「2010」では検索できません。

ただし、アンダースコア（ \_ ）やハイフン（ - ）などの記号で区切られた文字列の場合は、記号を区切りとして検索ができます。

例えば、「2010\_0615」は、「2010」で検索できます。

3. 半角英数の前方一致、後方一致検索はワイルドカードを使用すると検索できます。

たとえば「20100615」は「2010\*」や「\*0615」でヒットします。

- ファイル名検索の特性

ファイル名検索では、文字が半角全角にかかわらず部分的な文字列で検索できます。

全文検索では検索できない半角の文字列も検索できるように、ファイル名検索用の検索インデックスを構築しています。

ファイル名検索用のインデックスでは、ファイル名の単語分割に文字列長 1～15 のNグラム方式にしています。

15文字を越えるキーワードで検索する場合、キーワードが一つであれば検索できます。

- 全文検索・ファイル名検索の共通特性

英数・カタカナについては、全角・半角の区別なく検索することができます。

例文）『Good morning』はグッド モーニング、「123」はワンツースリーになります。』

「g o o d」「MORNING」「グッド」「1 2 3」「ワンツ-」などで検索できます。

## 4.4 検索できなくなった

### 現象

検索ができなくなりました。「全文検索サービスからの応答がありません」と表示されます。

### 原因

次の原因が考えられます。

- たまたま検索サービスが起動しなかった。
- 検索インデックスが壊れている。

### 検索インデックスが壊れている場合の解決方法

検索インデックスが壊れている場合は、インデックスの初期化が必要です。

[こちら](#)を参考にインデックスを初期化してください。

- インデクサー（Fb3Indexer）サービスを停止します。
- 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > Solr（検索エンジン）を開きます。
- 「インデックスの初期化」タブを選択して、「インデックスの初期化」ボタンを選択します。
- インデクサー（Fb3Indexer）サービスを起動します。
- インデックス再構築を行って、あらたにインデックスを登録します。

## 4.5 プレビューが見えない

### プレビューが閲覧できない原因

プレビューが閲覧できない（作成されない）原因として考えられることです。

- 機能が不足している
- ファイル種類が対応していない
- プレビュー画像が作成されていない
- アクセス権限が不足している
- ファイルに原因がある
- 設定が不足している
- 他のアプリケーションが影響している

#### 機能が不足している

- ライセンスが不足している

オプションであるAutoCAD ファイルプレビュー、DTP ファイルプレビューのライセンスが不足しています。

オプションライセンスの購入が必要です。

- .NET Framework がインストールされていない

.NET Framework がインストールされていない環境では、DOC・XLS・PPTなどのファイルはプレビューできません。

.NET Framework を有効化してください。

1. Word, Excel, PowerPoint, Visioから画像を抽出する場合には、.NET Framework 2.0（3.0, 3.5も可 / 4.0, 4.5は不可）が必要です。

他フォーマットのプレビューにつきましてはお問い合わせください。

- .NET Frameworkのインストール状況は、「画面下部システム設定 > システム状態 > 稼働状況の確認」で確認できます。
- Windows Server 2012 でプレビュー画像を抽出するには、.NET Framework 3.5 を有効化する必要があります。標準では有効になっている .NET Framework 4.5 ではプレビュー画像の抽出ができません。

2. 設定完了後にプレビュー再作成を行ってください。

- 必要なプログラムがインストールされていない

DocuWorks ファイルのプレビューには、DocuWorks プログラムのインストールが必要です。

動画ファイルのサムネイル作成には、オープンソースプログラム [FFmpeg](#) のインストールが必要です。

#### ファイル種類が対応していない

- 拡張子のないファイルは対応していません。（Macで作成したファイルなど）
- [プレビュー仕様](#)に対応していないファイル種類（拡張子）である
- ファイルが古いバージョンのアプリケーションで書かれている。（Microsoft Office 95以前のファイルなど）

#### プレビュー画像が作成されていない

- プレビュー作成のプログラムが実行されていない
- プレビューが作成中である

ExaPadサーバーの性能によってはプレビュー作成に時間を要する場合があります。

インストール後の初期構築や一度に大量のファイルを移動 / コピーした場合などは、プレビュー作成に時間を要する場合があります。

#### アクセス権限が不足している

- ユーザーのアクセス権が不足している。
  - ファイルに対するアクセス権限が不足している。  
ファイルに対する一覧権限はあるが読み取り権限を持っていないなど場合があります。
  - プレビュー保存フォルダに対するアクセス権限が不足している。
    - フォルダのスキャン / ファイルの実行
    - フォルダの一覧 / データの読み取り
    - 属性の読み取り
    - 拡張属性の読み取り
- インデクサー（Fb3Indexre）サービスの実行アカウントのアクセス権が不足している。  
実行アカウントは、プレビュー保存フォルダに対して読み取り権と書き込み権が必要です。

#### ファイルに原因がある

- ファイルが壊れている。
- ファイルにパスワードが設定されている。
- ファイルが暗号化されている。
- ファイル内容の一部にプレビューコンバーターで読み込めない文字やオブジェクトがある。
- 動画ファイルにおいて拡張子は対応しているがコーデック方法が対応していない

#### 設定が不足している

- プレビュー作成の設定が行われていない

- ファイルサイズ上限により制限されている。
- コンバータプログラムへの割り当てメモリが不足している。
- コンバータプログラムへの割り当て時間が不足している。
- erroru.txt ファイルが未削除である。

プレビュー作成に一度失敗するとerroru.txt が作成され、次回からプレビュー作成がスキップされます。

[こちら](#)をご覧ください。

#### 他のアプリケーションに原因がある

- 他のアプリケーションによりファイルが暗号化されている。
- ウィルス検知等のセキュリティ対策ソフトによりファイルの読み取りが阻害されている。

### 4.5.1 プレビューが作成されない

#### 現象

- 「このファイルはプレビューを作成できませんでした。 - 原因を表示」と表示されファイルをプレビューできない。
- プレビューが作成されない原因を取り除いた後、インデックス再構築をしてもプレビューが作成されない。

#### 原因

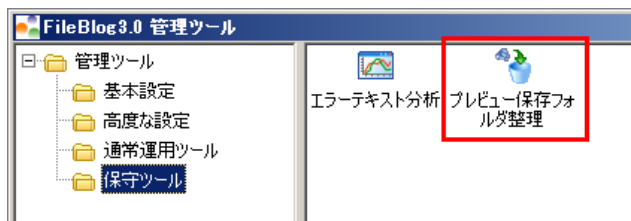
- ファイルのプレビュー作成に失敗すると、ファイルごとに失敗した原因をerroru.txt というファイルに保存します。  
erroru.txt は、プレビュー保存フォルダの当該ファイルの場所に保存されます。
- erroru.txt が存在するファイルは、プレビュー再作成を行ってもプレビュー抽出をスキップされます。  
プレビューが作成されない原因を取り除いただけでは、インデックス再構築のときにプレビューが再作成されません。

#### 解決方法

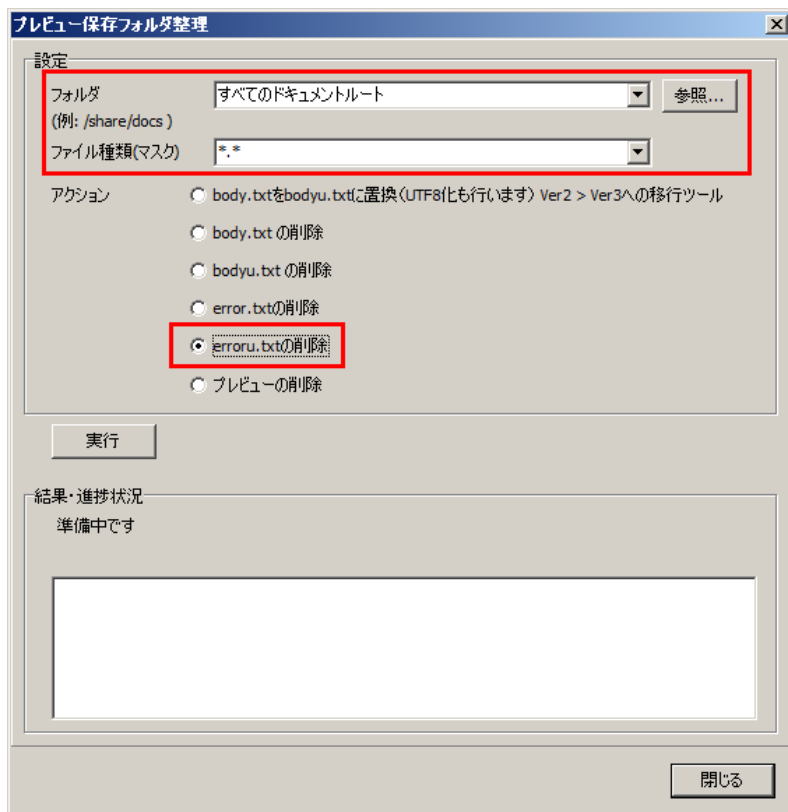
原因を取り除いたあとに、プレビュー保存フォルダの当該ファイルの場所からerroru.txt を削除してから、プレビュー作成を実行してください。

プレビュー作成に失敗したファイルが複数ある場合は、次の方法でerroru.txt を一括削除することができます。

1. 管理ツール > 保守ツール > プレビュー保存フォルダ整理 を開きます。



2. erroru.txt を削除します。

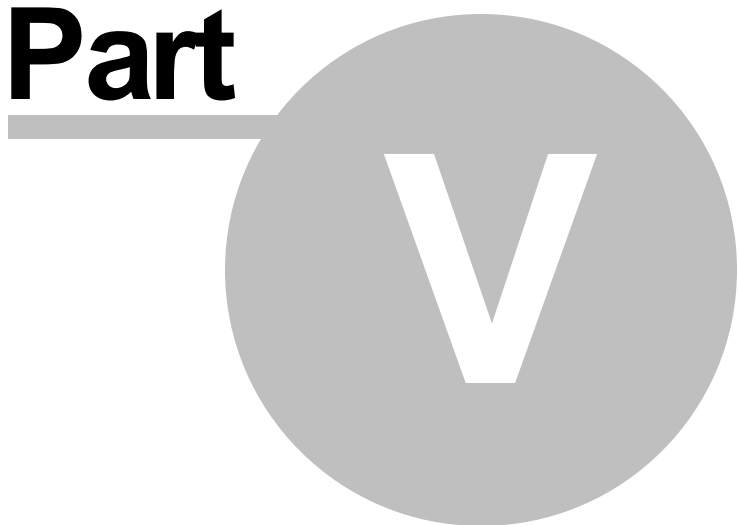


- 「すべてのドキュメントルート」を選択します。
- ファイル種類「\*. \*」を選択します。
- 「erroru.txtの削除」をチェックします。
- 「実行」ボタンを選択します。

3. 削除完了後に、プレビュー作成を行ってください。



**Part**



## 5 こんな機能もあります

ExaPadの様々な機能について解説します。

### 5.1 メニューや機能のカスタマイズ

#### ファイル操作メニューの有効・無効の設定

##### 有効・無効の切替えが可能な機能一覧

ファイル操作のメニューをExaPad全体で有効・無効の設定ができます。

ExaPadをプレビュー専用のツールとして用いた場合や、属性変更専用のツールとして用いた場合などには、不要な機能を無効にすることで対応できます。

- 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > Webアプリを開きます。
- パラメーター名を選択して設定値を変更します。
- OFF（チェックを外す）にすると機能が無効になり ON（チェック）にすると有効になります。
- 設定変更後に、「保存する」ボタンを選択してWEBサーバーにチェックを入れてサービスを再起動します。

システム設定 > 基本設定 > Webアプリ > メニュー項目

保存する キャンセル

絞り込み

パラメータ名	設定値	説明	状態
menu_addcomment	ON	「コメントを追加」メニューの表示・非表示を切り替えます。	初期値
menu_backup	ON	現在使われていません。	初期値
menu_copy	ON	「コピー」メニューの表示・非表示を切り替えます。	初期値
menu_delete	ON	「削除」メニューの表示・非表示を切り替えます。	初期値
menu_deletecomment	ON	「コメントを削除」メニューの表示・非表示を切り替えます。	初期値
menu_directopen	ON	「直接開く」メニューの表示・非表示を切り替えます。	初期値
menu_download	ON	「ダウンロード」メニューの表示・非表示を切り替えます。	初期値

##### ダウンロードの禁止について

ダウンロードを禁止するためにmenu\_download を無効にすると、ファイルのダウンロードだけでなく、次の動作も禁止されます。

- PDFファイルの表示（ブラウザのPDFプラグインを利用する表示のことです。）
- GIF、PNGファイルの閲覧

- SWF（Flash）ファイル閲覧
- プレビューの作られていないJPEGファイル閲覧

これらの動作は、ブラウザの動作としてファイル自体を表示するためのダウンロードとなるからです。

単純にダウンロードメニューを非表示にした場合は、menu\_download は有効のままで、代わりに menu\_downloadbutton を無効にしてください。

こうすることでメニューからダウンロードを非表示にするだけでなく、上記の動作は禁止されません。

ただし menu\_downloadbutton はメニュー（ボタン）を非表示にするだけなので、直接URL入力してダウンロードを実行することは禁止できないため、セキュリティホールになる可能性があります。

## 5.1.1 ファイル一覧でのクリック動作

### ファイル一覧画面でのクリック時の動作

ファイル一覧画面でファイルをクリックしたときの動作を変更することができます。

標準では、クリック後にファイルの閲覧ページが開きますが、ファイルのダウンロードやファイルを直接開く動作に変更することができます。



### 設定の変更方法

1. 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > WEBアプリ > その他 を開きます。
2. テキストボックスに gridview を入力します。
3. gridview\_pathlink\_type を開きます。

システム設定 ▶ 基本設定 ▶ Webアプリ ▶ その他

保存する キャンセル

絞り込み

パラメータ名	設定値	説明	状態
gridview_pathlink_type	showview	ファイル一覧の各ファイルのパスのクリック時の動作を指定します。	初期値

4. 標準では showview に設定されています。

showviewの他に指定可能な、動作の一覧です。

ID	意味
showview	ファイルの閲覧ページ (デフォルト) にジャンプします。
download	ファイルをダウンロードします。
download open	ファイルを一時フォルダにダウンロードしてブラウザ内で表示します。ただしブラウザ内で直接開ける形式の場合のみ。
directopen	ファイルを直接開きます。ファイル直接オープンオプションが必要
shownew view	ファイルの閲覧ページを別のウィンドウで開きます。Ver3.4.0以降で設定可能です
file	fileスキーム(file:///**)でファイルを開きます。fileスキームについては <a href="#">こちら</a> をご覧ください

5. IDを変更することで、ファイル一覧のクリック動作を変更することができます。

gridview\_pathlink\_typeの設定

値

OK キャンセル

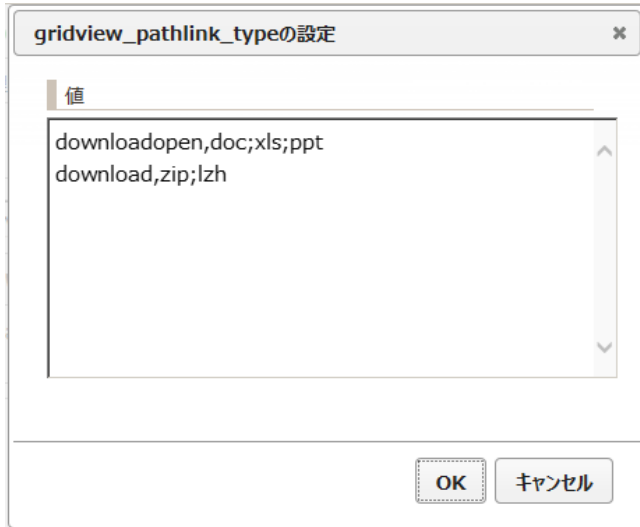
6. ファイル種類ごとに gridview\_pathlink\_type を指定することができます。

[ 動作ID ] [ カンマ ] [ ファイル種類 ] [ セミicolon ] [ ファイル種類 ] ... の形式で記述します。

例1) doc、xls、ppt についてはdownloadopen、zip とlzh についてはdownload を指定する場合は次のように記述します。

```
downloadopen,doc;xls;ppt
```

```
download,zip;lzh
```

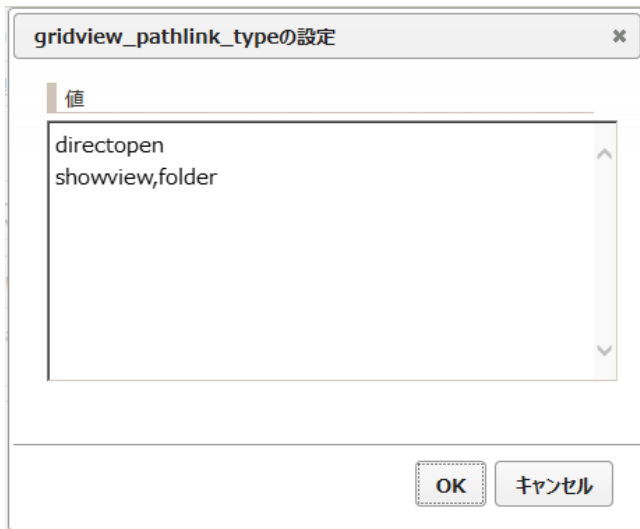


例2) フォルダの動作も指定することができます。

フォルダ ( folder ) は showview、それ以外は directopen とする場合は次のように記述します。

```
directopen
```

```
showview,folder
```



カンマやセミicolonの前後に半角スペースを入れないで下さい。

- モバイル端末の場合は、directopen など使えない 機能があり、その場合は showview で動作します。
- ダウンロードできないファイル形式などでは、エラーメッセージが表示される場合があります。

## fileスキームについて

Version 3.6.1からgridview\_pathlink\_typefileを指定することでfileスキーム(file://)でファイルを直接開くことができるようになりました。

例えば以下のように設定することでファイルのみ直接開くことができます

file

showview,folder

現状ではいくつかの制限があります。

- Internet Explorer9(Microsoft Edgeは未対応)以上であること。他のブラウザでは開くことができません
- Internet Explorerのインターネットオプションにてアクセスするサイトを信頼済みサイトに登録すること
- DocumentRootをネットワークフォルダにするか、DocumentRootPatternにネットワークフォルダパスを登録すること
- アクセスログは出力されません

## 5.1.2 拡張プロパティ

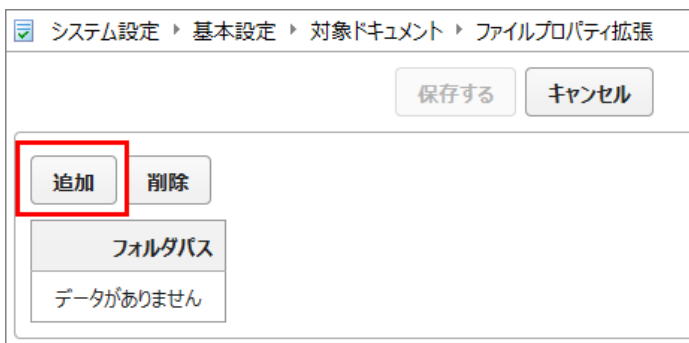
ExaPadでは、概要・コメント・プロパティの表示・非表示、キャプションの変更をフォルダごとに設定できます。

### プロパティの変更方法

1. 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > 対象ドキュメント > ファイルプロパティ拡張 を開きます。



2. 追加ボタン、または既定の設定「/」などを選択して設定ダイアログを開きます。



3. 対象のフォルダを選択し、変更するプロパティ名称を選択して設定ダイアログを開きます。

ファイルプロパティ拡張

フォルダパス / 参照

プロパティ定義 拡張プロパティ

上へ 下へ

	名称	キャプション	表示する(ファイルメニュー)	表示する(詳細一覧)
<input type="checkbox"/>	PID_TITLE	タイトル	○	○
<input type="checkbox"/>	PID_SUBJECT	表題	○	○
<input type="checkbox"/>	PID_AUTHOR	作成者	○	○
<input type="checkbox"/>	PID_CATEGORY	カテゴリ	○	○
<input type="checkbox"/>	PID_KEYWORDS	キーワード	○	×
<input type="checkbox"/>	PID_COMMENTS	コメント	○	×

OK キャンセル

- ドキュメントルート以下のフォルダを設定してください。
- 指定したフォルダ以下全てのサブフォルダで有効になります。
- フォルダパスはドキュメントルートに指定してある表記にしてください。

ドキュメントルートに \\MyServer\Share と指定されている場合、同じフォルダを意味していても E:\Share とすることはできません。

4. キャプションなど変更します。

- キャプション 画面に表示される項目名称です。
- 表示する (ファイルメニュー) プロパティ画面での表示・非表示を指定します。
- 表示する (詳細一覧) フォルダの一覧出力において出力の有無を指定します。

5. プロパティ項目の表示の並び順を変更することができます。

	名称	キャプション	表示する(ファイルメニュー)	表示する(詳細一覧)
<input type="checkbox"/>	PID_TITLE	タイトル	○	○
<input type="checkbox"/>	PID_SUBJECT	表題	○	○
<input type="checkbox"/>	PID_AUTHOR	作成者	○	○
<input type="checkbox"/>	PID_CATEGORY	カテゴリ	○	○
<input type="checkbox"/>	PID_KEYWORDS	キーワード	○	×
<input type="checkbox"/>	PID_COMMENTS	コメント	○	×

- プロパティにチェックを入れて、「上へ」「下へ」ボタンで順番を入れて変えてください。
- ExaPadでプロパティ画面を表示すると設定の並び順になります。



6. 設定完了後に、「保存する」ボタンを選択しWEBサーバーにチェックを入れてサービスを再起動してください。

## 拡張プロパティの変更方法

1. 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > 対象ドキュメント > ファイルプロパティ拡張 を開きます。
2. 「追加」ボタン、または既定の設定「 / 」などを選択して設定ダイアログを開きます。
3. 「拡張プロパティ」タブを選択します。

名称	キャプション	表示する(ファイルメニュー)	表示する(詳細一覧)
FB_DESCRIPTION	概要	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
FB_COMMENTS	コメント	<input type="radio"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

4. プロパティ変更の方法と同様に、フォルダを指定してプロパティ名称を選択します。
5. キャプションなどを変更します。
6. 設定完了後に、「保存する」ボタンを選択しWEBサーバーにチェックを入れてサービスを再起動してください。

### 5.1.3 タグの設定

#### 概要

Ver3.7.0以降、ファイルやフォルダにタグ（メタ情報）を付加できるようになりました。

各情報は、文字列型、日付型、論理型が指定できます。（文字列型は全文検索の対象になります）

#### 設定方法

システム設定 > 基本設定 > 対象ドキュメント > タグ定義 からタグ定義画面を開きます。

追加ボタンを選択します。

値を入力しOKをクリックします。

各パラメータの意味は以下のとおりです。

名前	説明
フィールド名	システム内で使用されるフィールド名を指定します。半角英数のみ入力できます。ほかのフィールド名と重複しないようにしてください。
表示名	画面に表示されるフィールド名です。
データ型	文字列 / 日付 / 真偽値 のいずれかを指定します。 文字列は、text_ngram / text_cjk_uni / string を選択できます。通常の使用時はどれを選択しても違いはありませんが、カスタマイズ時に適宜使用されます。詳しくは弊社サポートまでお問合せください。
編集方式	テキストボックス (標準) は、ユーザーに直接入力させた場合に指定します。

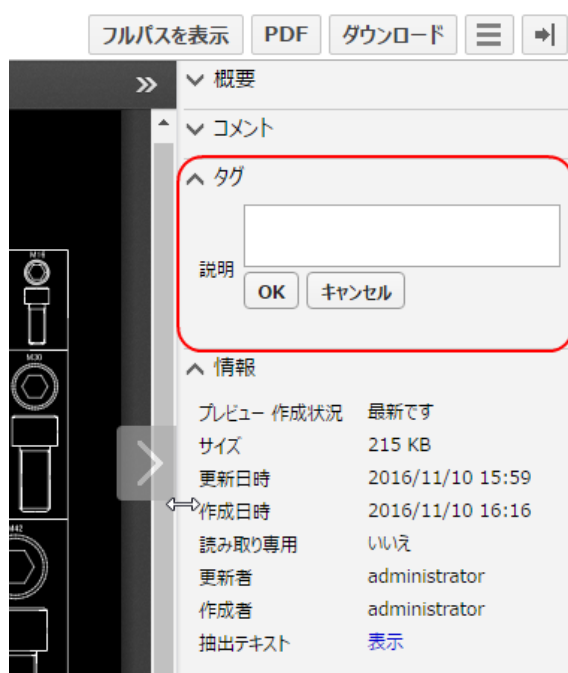
	<p>データ型を文字列(string)に指定した場合に「選択式」を指定できます。ユーザーに選択させた文字列の候補を複数指定します。</p> <p>選択式はテキスト編集も可能にすることができ、通常は選択させるが例外的な場合は入力させる」といった使い方ができます。</p>
読み取り専用	ユーザーによる変更を禁止します。

文字列の説明は以下のとおりです。

文字列	説明
text_ngram	<p>インデックス登録はファイル名検索と同じ方式です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全文検索（全角文字）：部分一致検索</li> <li>全文検索（半角文字）：部分一致検索（要ワイルドカード）</li> <li>型番やIDなどの1行テキストの入力に向いています</li> <li>文字量が増えるとインデックスサイズも大きくなります</li> </ul>
text_cjk_uni	<p>インデックス登録はの全文検索と同じ方式です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全文検索（全角文字）：部分一致検索</li> <li>全文検索（半角文字）：単語や文字列の塊</li> <li>コメントやフリーテキストの入力に向いていて長文テキストも可能</li> </ul>
string	<p>インデックスの登録は完全一致の方式です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全文検索（全角文字）：部分一致検索（要ワイルドカード）</li> <li>全文検索（半角文字）：完全一致</li> <li>自由入力を禁止し、選択肢で「分類」を入力するものに向いています</li> <li>インデックスサイズは小さいです</li> </ul>

[保存する]をクリックし、サービスを再起動します。

タグを追加したいファイルを開きます。



閲覧画面の右側の情報パネルに「タグ」が表示され、編集ができるようになりました。  
データ型を文字列にした場合は全文検索で検索できるようになります。

## エクスポート

複数ファイルのタグの値をCSV形式で一括してエクスポートすることができます

エクスポートしないフォルダのメニューから

一覧出力 > タグエクスポート (CSV形式) を実行します

## インポート

複数ファイルのタグの値をCSV形式で一括してインポートすることができます。

フォルダのメニューから、一覧出力 > タグインポート (CSV形式) を実行します。

### 備考

- タグエクスポート (CSV形式) で出力したCSVファイルのフォーマットがそのまま使えます。
- CSVファイルのエンコーディングは ShiftJIS, UTF8 のいずれも可能です。
- システム管理のタグ定義に設定のないフィールドは取り込むことができません。
- CSVファイルには必ず「PATH列」が必要で、/から始まる相対パスを指定する必要があります。
- 「PATH列」以外は、タグ定義にて定義された「表示名」を列名として使用します。
- 途中の行で取り込みに失敗した場合、その行以降の取り込みはキャンセルされます。

- 途中の行で取り込みに失敗した場合、その行より前の行の取り込み結果を元に戻すことはできません。
- 途中の行で取り込みに失敗する原因の例です。
  - ファイルに対してプロパティのアクセス権 書き込み権がない場合
  - 型変換に失敗した場合（Boolean型に"ABC"などを設定）
  - PATH列の値が 不正な形式の場合
  - 存在しないファイルのパスを指定した場合
- BOOL型はエクスポートすると "TRUE"・"FALSE" に変換されます。画面表示では "はい"・"いいえ" です。
- DATE型は エクスポートするとシステム日付形式 (jaならyyyy/mm/dd) で出力されます。インポート時には同じ形式もしくはUTC形式（例：2016-10-23T15:00:00Z）を指定できます。
- 空白値を指定した場合、そのプロパティはファイルから削除されます（文字列型以外の場合に限ります）
- インポートが正常に完了した場合、メッセージを表示することなくダイアログが閉じられます。
- インポートに失敗するか中断された場合、エラーメッセージを表示した後にダイアログが閉じられます。CSVファイルを修正して、再度CSVファイルをアップロードしてください。

## 5.2 画面カスタマイズ

ExaPadでは、ロゴ画像や文言をカスタマイズすることができます。

### カスタマイズ可能な範囲

1. ヘッダー
2. ロゴ画像
3. フッターメニュー



## 4. ログイン画面

ユーザー名

パスワード

ログイン

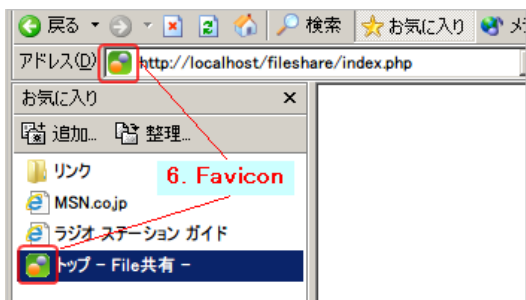
4. ログイン画面      ゲストログインはこちら

Windows OSに登録されているユーザーアカウントでログインできます  
 例) ユーザー名 : administrator パスワード : \*\*\*\*\*

## 5. iPhone / iPad / Android のホーム画面用アイコン



## 6. Favicon (ブラウザのURLやお気に入りに表示されます)



7. 文言のカスタマイズ ( 企業名や製品名など)
8. スタイルシートのカスタマイズ ( ExaPadで使われているスタイルシートを上書きできます。)

カスタマイズ内容は ExaPadのバージョンアップ後もそのまま反映されます。

カスタマイズしたファイルや設定は、バージョンアップ時に削除・上書きされることはありません。

## ホスト名ごとのカスタマイズ

Web サーバーに複数のホスト名が割り当てられている場合に、各ホストごとに異なるカスタマイズができます。

### 5.2.1 ヘッダーのカスタマイズ

#### ヘッダーのカスタマイズ

1. [ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに header.php という名前のテキストファイルを作成します。( custom フォルダが存在していない場合は作成してください。)
2. 内容はHTML形式で自由に記述できます。

```
<h1>共有フォルダ</h1>
```

```
<span style="color:red;">
```

HTMLタグを使用できます。

3. ファイルのエンコーディングをUTF-8 (BOMなし) 形式で保存してください。

Windows の「メモ帳」では、UTF-8で保存するとBOM付になってしまうため、他のエディターソフトを使用する必要があります。

#### ヘッダー画像のカスタマイズ

1. [ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに logo.png という名前の画像ファイルを作成します。( custom フォルダが存在していない場合は作成してください。)
2. 標準のヘッダー画像は、ブラウザに次のURLを入力すると確認ができます。画像サイズの参考にしてください。

logo.png の標準 : [トップページのURL]/img/logo.png

例) http://localhost/ExaPad/img/logo.png

画像サイズが標準と極端に違う場合は、レイアウトが正常に表示されない場合があります。

3. ロゴ画像はGIF形式にも対応しています。ファイル名、ファイル形式の優先順位は下記の通りです。

1) custom / logo.png

2) custom / logo.gif

- 3) custom / fblogo.gif
- 4) ExaPad 標準の logo.png

## 5.2.2 フッターのカスタマイズ

### フッターのカスタマイズ

1. [ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに footer.php という名前でテキストファイルを作成します。( custom フォルダが存在していない場合には作成してください )
2. 内容は 次の例を参考にして記述してください。

```
<div class="footer-body">  
  <a href="http://www.broadleaf.co.jp/">BroadLeaf</a>  
  - <a href="http://www.broadleaf.co.jp/ExaPad/contact.php">お問い合わせ</a>  
  - <a href="about.php">ExaPadについて</a>  
  - <a href="http://www.broadleaf.co.jp/helpfb/">ヘルプ  
  - <a class="menu" href="javascript:(function(){$.fb.openOptionDialog();})();">オプション</a>  
  - <a href="adminindex.php">システム設定  
</div>  
<div class="footer-bottom">  
  Copyright 2000-2017 BroadLeaf Co.Ltd.  
</div>
```

3. ファイルのエンコーディングを UTF-8 (BOMなし) 形式で保存してください。  
Windows の「メモ帳」では、UTF-8で保存するとBOM付になってしまうため、他のエディターソフトを使用する必要があります。

### ログイン画面のカスタマイズ

1. [ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに loginfooter.php という名前のテキストファイルを作成します。( custom フォルダが存在していない場合には作成してください )
2. 内容は 次のテンプレートをベースに記述してください。( PHP スクリプトや HTML タグが使用できます。 )

```
<p>Windows OSに登録されているユーザーアカウントでログインできます</p>
```

4. ファイルのエンコーディングを UTF-8 (BOMなし) 形式で保存してください。  
Windows の「メモ帳」では、UTF-8で保存するとBOM付になってしまうため、他のエディターソフトを使用する必要があります。

## 5.2.3 iPhone/iPadのホーム画面用アイコンなど

### iPhone / iPad のホーム画面用アイコンのカスタマイズ

1. [ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに apple-touch.jpg と



- いう名前のJPEG ファイルを作成します。( custom フォルダが存在しない 場合には作成してください )
2. 標準のアイコン画像はブラウザに次のURLを入力すると確認ができます。画像サイズの参考にしてください
- logom.gif の標準 : [ トップページURL ]/img/apple-touch.jpg
- 例 ) http://localhost/ExaPad/img/apple-touch.jpg

## Faviconのカスタマイズ

[ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに favicon.ico の名前の画像ファイルを作成します。( custom フォルダが存在しない 場合には作成してください )

### 5.2.4 直接ファイルオープンツール インストール画面

## ヘッダー・フッターのカスタマイズ

ExaPad3.5.1.\*から直接 ファイルオープンツールのインストール画面をカスタマイズできるようになりました

カスタマイズできる部分は、ヘッダーとフッターです。

## ヘッダー (fbclient\_install\_header.html)

## 直接ファイルオープンツールのインストール・設定をお願いします

【STEP1】以下の手順によってインストールして下さい。

1. 「ダウンロード」ボタンからインストーラプログラム(zipファイル) を適当なフォルダにダウンロードして、展開します。
2. 開いている全てのブラウザを終了して下さい。ブラウザが開いていると、インストールが正常に行われない可能性があります。
3. exeファイル のアイコンをダブルクリックします。
4. 画面指示に従って 直接ファイルオープンツール のインストールを行います。
5. ブラウザを改めて起動し、ファイルを選択して「直接開く」で、もう一度この画面まで来て下さい。

ダウンロード

キャンセル

【STEP2】二度目にこの画面に来たら

先ほどの手順で、直接ファイルオープンツールのインストールは成功しましたか？  
エラーなく終了していたら「はい」を押してください。元の画面に戻りますが、これ以降はファイルが直接開かれるようになります。

はい

キャンセル

【注】新しいブラウザを導入したら

新しいブラウザを導入する都度、本画面の手順を再度実行してください。また将来、ブラウザがバージョンアップしたり、早まって「はい」を押してしまったりで、直接ファイルオープンツールの再インストールが必要になる可能性もありますが、そのような時は、「オプション」画面から本画面を呼び出せます。

【注】動作環境

Macintoshでは直接オープン機能は使用できません

## フッター (fbclient\_install\_footer.html)

1. [ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに次のファイルを作成します。

- ヘッダーのカスタマイズ: fbclient\_install\_header.html
- フッターのカスタマイズ: fbclient\_install\_footer.html

custom フォルダが存在しない場合には作成してください。

2. 内容はHTML形式で自由に記述できます。

```
<h1>直接ファイルオープンツール</h1>
```

```
<span style="color:red;">
```

HTML タグを使用できます。

3. ファイルのエンコーディングを UTF-8 (BOMなし) 形式で保存してください。

Windows の「メモ帳」では UTF-8で保存するとBOM付になってしまうため、他のエディターソフトを使用する必要があります。

## 5.2.5 その他カスタマイズ

### 文言のカスタマイズ

1. [ProgramDataフォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに const.php という名前のテキストファイルを作成します。( custom フォルダが存在しない 場合には作成してください )
2. 内容は 次のテンプレートをベースに適宜記述してください

```
<?php
define("PRODUCT_NAME",          "ExaPad");
define("PRODUCT_MANUFACTURER",  "BroadLeaf");
define("COPYRIGHT_STRING",      "Copyright 2000-2017 BroadLeaf Co.Ltd.");
define("URL_MANUFACTURER",      "http://www.broadleaf.co.jp/");
define("URL_MANUAL",            "http://www.broadleaf.co.jp/helpfb/");
define("URL_MANUAL_LOGIN",      "http://www.broadleaf.co.jp/helpfb/fbmanlogin.htm");
define("URL_LICENSE",           "http://www.broadleaf.co.jp/ExaPad/contact.php");
define("URL_TRIAEXT",            "http://www.broadleaf.co.jp/ExaPad/
trialextension.php");
?>
```

例えば PRODUCT\_NAME (製品名) と PRODUCT\_MANUFACTURER (組織名) を変更する場合には

```
define("PRODUCT_NAME",          "ExaPad");
define("PRODUCT_MANUFACTURER",  "BroadLeaf");
```

の ExaPad と BroadLeaf の部分を編集します。他の項目についても同様です。

3. ファイルのエンコーディングは UTF-8 (BOMなし) 形式で保存してください
  - <?php ~ ?> の外には空白 改行を入れないで作成してください
  - Windows の「メモ帳」では UTF-8で保存するとBOM付になってしまうため、他のエディターソフトを使用する必要があります。

### スタイルシートのカスタマイズ

1. [ProgramDataフォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom フォルダに custom.css という名前のテキストファイルを作成します。( custom フォルダが存在しない 場合には作成してください )
2. 標準のスタイルシートはブラウザに次のURLを入力すると確認できます。

[トップページのURL]/main.css

例) http://localhost/ExaPad/main.css

### ホスト名ごとのカスタマイズ

Web サーバーに複数のホスト名が割り当てられている場合に、各ホストごとに異なるカスタマイズができます。

例えば、http://hoge/ExaPad/ でアクセスするユーザーと http://foo/ExaPad/ でアクセスするユーザーとで異なるカスタマイズ画面を表示させることができます。

- 画面カスタマイズにて作成するファイルの保存場所を変更します。

[ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs\custom\ホスト名

そのホスト名でアクセスした場合に、custom\ホスト名 フォルダは、custom フォルダの設定より優先して表示されます。

- ホスト名だけでなく IPアドレスや、ゲストメイン名も指定可能です。
- 文言のカスタマイズ const.php はホスト名ごとカスタマイズできません。

## 5.3 直接ファイルオープン

### 直接ファイルオープン機能について

ファイルメニューの「直接開く」を選択すると、サーバーからファイルをダウンロードすることなく、ファイルを直接開くことができます。

Windowsエクスプローラーでファイルを開くのと同じで、開いたファイルは編集後に上書き保存ができます。

この機能はオプションのため、別途ライセンスが必要になります。

#### 注意事項

- この機能はローカルエリア内でのみ使用できます。
- Windowsエクスプローラーで対象ファイルの参照ができない場合は、本機能の使用ができません。
- タブレットやスマートフォンなどのモバイル端末では、本機能は使用できません。
- Mac OSのPCでは本機能を使用できません。
- 64bit版のブラウザでは、本機能は動作しません。(64bit OSで使用されているブラウザは、32bit版が大多数を占めています。)

#### クライアントPCの準備

PCに専用のアプリケーション( fbclient.exe )をインストールする必要があります。

fbclient.exe は、次の手順でインストールできます。

1. ExaPadにおいて任意のファイルで、メニューの「直接開く」を選択します。



2. ブラウザで「直接開く」を初回に実行した時に、ExaPadクライアントインストーラのダウンロード案内が表示されます。

**直接ファイルオープンツールのインストール・設定をお願いします**

【STEP1】以下の手順によってインストールして下さい。

1. 「ダウンロード」ボタンからインストーラプログラム(zipファイル) を適当なフォルダにダウンロードして、展開します。
2. 開いている全てのブラウザを終了して下さい。ブラウザが開いていると、インストールが正常に行われない可能性があります。
3. exeファイル のアイコンをダブルクリックします。
4. 画面指示に従って 直接ファイルオープンツール のインストールを行います。
5. ブラウザを改めて起動し、ファイルを選択して「直接開く」で、もう一度この画面まで来て下さい。

ダウンロード

キャンセル

【STEP2】二度目にこの画面に来たら

先ほどの手順で、直接ファイルオープンツールのインストールは成功しましたか？  
エラーなく終了していたら「はい」を押してください。元の画面に戻りますが、これ以降はファイルが直接開かれるようになります。

はい

キャンセル

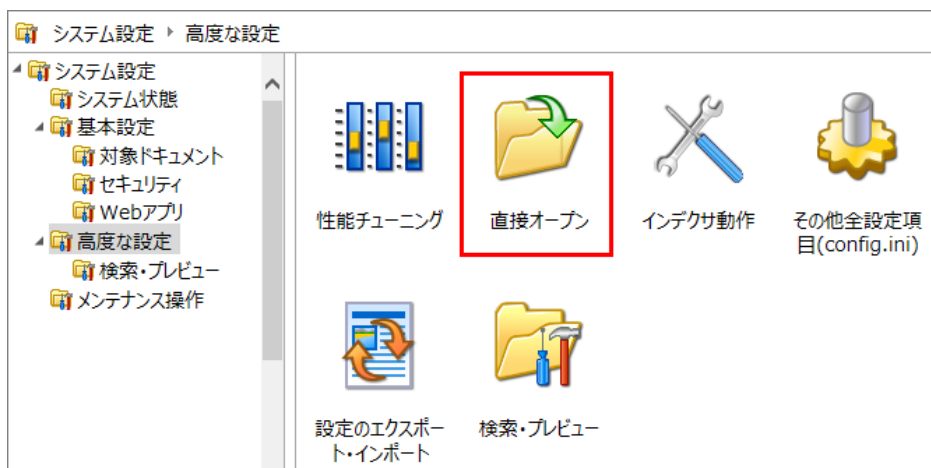
3. STEP1の操作方法に沿って、ExaPadClientInstaller.zip をダウンロードします。  
ダウンロード後にはブラウザを終了してください。
4. ExaPadClientInstaller.exeを実行し、fbclient.exeをインストールします。  
fbclient.exeをインストールするためには管理者権限が必要です。
5. ブラウザを起動してExaPadにログインし、任意のファイルで「直接開く」を実行します。  
再び、ExaPadクライアントインストーラのダウンロード案内が表示されます。
6. STEP2の「はい」をクリックします。  
以降に「直接開く」を選択した場合には、ファイルが直接開くようになります。

直接ファイルオープンツール（fbclient.exe）をアンインストールした場合の注意

- アンインストール後に直接ファイルオープンを選択しても、ツールのダウンロード画面が表示されない場合は、ブラウザのCookieを削除してから操作を行ってください。
- 画面右上に表示されているログインユーザーを選択しても、ダウンロード画面を開くことができます。

## サーバ側の準備

1. 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 直接オープン を開きます。



2. 直接ファイルオープンを許可するネットワークを、次のように改行区切りで指定します。

192.168.0.0/24

127.0.0.0/8



ネットワークアドレスを指定しておくことで、Webサーバー（Fb3Web）サービスに対するアクセスが、ローカルエリア内からのアクセスが判定します。

ローカルエリアに割り当てられたネットワークアドレス（IPアドレスのホスト部を0にしたもの）と、ビットマスクをスラッシュ（/）で繋げたものを指定します。カンマ区切りで複数の指定が可能です。

ローカルループバック「127.0.0.0/8」を必ず設定してください。

例1）ローカルエリアにグローバルIPアドレス（例：134.56.xxx.xxx）が割り当てられている場合

134.56.0.0/16

127.0.0.0/8

例2）LANをプライベートアドレス（192.168.0.xxx）で管理している場合

192.168.0.0/24

127.0.0.0/8

3. ネットワークアドレスの設定後、許可・不許可のIPアドレスをチェックします。

- 「ネットワーク判定ツール」タブを開きます。
  - IPアドレスを入力し、「判定」ボタンを選択します。
    - 「マッチしました」の結果 IPアドレスは許可されています。
    - 「マッチしません」の結果 IPアドレスは許可されていません。
4. 設定完了後、「保存する」ボタンを選択し、WEBサーバーにチェックを入れてサービスを再起動します。

#### ドキュメントルートがローカルドライブの場合

ドキュメントルートが C:\share のようにサーバーのローカルドライブを指定している場合、クライアントPCからはWindowsエクスプローラーでアクセスできないためファイルを直接開くことができません。

本機能はクライアントPCがファイルサーバーにあるファイルをWindowsエクスプローラーで参照できるパスで公開されている必要があります。

このような場合には、ドキュメントルートをフォルダ共有で公開してください。

(フォルダの共有化により外部からWindowsエクスプローラーのみでアクセスが可能になる場合があるため、適切にセキュリティを設定してください。)

Windowsのフォルダ共有を設定後に、ドキュメントルートフォルダを変更する必要があります。

\\serverxxx\share のように変更し、サービスを再起動してください。

ドキュメントルートを変更するとインデックスの再構築が必要です。

(大規模環境で既にインデックスを構築済みの場合にはおすすめでできません。)

ドキュメントルートの変更が難しい場合には、ドキュメントルートフォルダは変更しないで、公開フォルダのパスパターンだけを追加する方法があります。

ドキュメントルートの設定において、Patterns に共有フォルダのパス (ここでは\\serverxxx\share)を追加します。

ここで指定するパスは、ドキュメントルートで指定しているローカルフォルダと同一の場所が指定されるようにしてください。

設定完了後、インデクサーサービスを再起動して直接ファイルを開けるか確認してください。

## 5.4 ポータルオプション

### 概要

ポータルページを作成する機能です。

本機能はオプション機能のため、別途ライセンスが必要です。

index.thtml という名前のテキストファイルをドキュメントレートの任意の場所に作成することで、そのフォルダにアクセスした時にポータルページが表示できるようになります。

index.thtml は、HTML や JavaScript で編集します。


サンプルコードをご希望のお客様は、弊社までお問い合わせください。

最近更新されたPDF			最近更新されたWord		
	1-2-6.pdf PDF	2013/04/16 17:06:04		会議開催通知.doc demo	2013/04/17 11:15:08
	1-2-5.pdf PDF	2013/04/16 17:05:52		1997-05-21_土地売買契約書.doc...	2013/04/17 11:14:22
	1-2-4.pdf PDF	2013/04/16 17:05:27		O14_ふりがな.docx demo	2013/04/17 11:12:37
	1-2-3.pdf PDF	2013/04/16 17:05:06		請負契約書.doc demo	2013/04/17 11:11:29
	1-2-2.pdf PDF	2013/04/16 17:04:51		お客様各位.doc demo	2013/04/17 11:11:17
<a href="#">結果をさらに表示</a>			<a href="#">結果をさらに表示</a>		

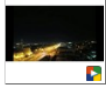
最新の写真/PDF				
				
IM01OLYM-P2 130021.jpg	IM01OLYM-P2 110009.jpg	IM01OLYM-P2 110006.jpg	IM01OLYM-P2 130024.jpg	1-2-6.pdf PDF
USA視察	USA視察	USA視察	USA視察	
				
1-2-5.pdf PDF	1-2-4.pdf PDF	1-2-3.pdf PDF	1-2-2.pdf PDF	1-2-1.pdf PDF
<a href="#">結果をさらに表示</a>				




**新着Movie**




**Clouds, snow and the mountain.flv**  
更新日時:2010/07/06 18:14:14 サイズ:7,600 KB  
[/demo/FileFormats/Movie/Flv形式](#)



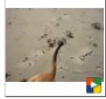
**Mount Timpanogos - 010809.flv**  
更新日時:2010/07/06 17:52:38 サイズ:5,950 KB  
[/demo/FileFormats/Movie/Flv形式](#)



**Sulphur Mountain, Banff.flv**  
更新日時:2010/07/06 17:43:30 サイズ:1,883 KB  
[/demo/FileFormats/Movie/Flv形式](#)



**Ninja at Six Flags Magic Mountain.flv**  
更新日時:2010/07/06 17:41:22 サイズ:5,693 KB  
[/demo/FileFormats/Movie/Flv形式](#)



**rob-jen-baird-dog-buddy.flv**  
更新日時:2010/07/06 17:39:32 サイズ:840 KB  
[/demo/FileFormats/Movie/Flv形式](#)

[結果をさらに表示](#)

**最新のCADデータ**



**visualization\_-\_aerial.dwg**  
更新日時:2012/11/06 15:51:03 サイズ:716 KB  
CAD



**blocks\_and\_tables\_-\_metric.dwg**  
更新日時:2012/11/06 15:50:58 サイズ:253 KB  
CAD



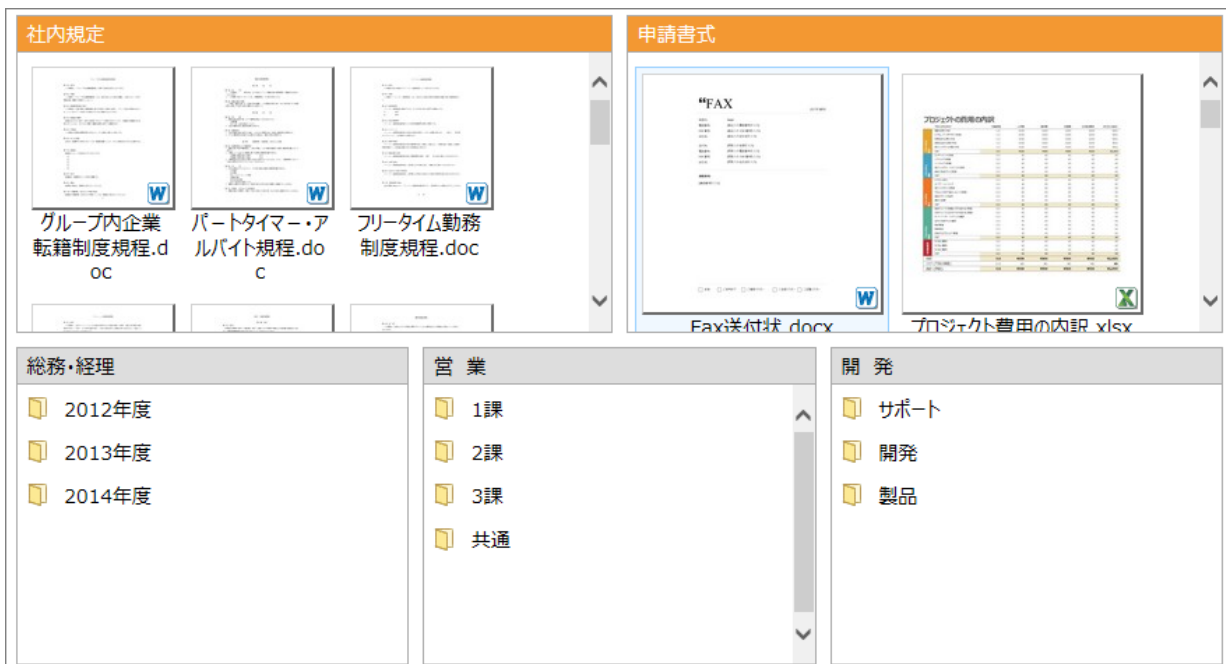
**blocks\_and\_tables\_-\_imperial.dwg**  
更新日時:2012/11/06 15:50:55 サイズ:222 KB  
CAD



**architectural\_-\_annotation\_scaling\_and\_multileaders.dwg**  
更新日時:2012/11/06 15:50:38 サイズ:185 KB  
CAD



**visualization\_-\_sun\_and\_sky\_demo.dwg**  
更新日時:2012/11/06 15:50:35 サイズ:541 KB  
CAD



## ファイルの配置

### ドキュメントレートの各フォルダ

index.html という名前のファイルを作成して、ドキュメントレートの任意のフォルダに保存します。

index.html ファイルがあるフォルダを開くとポータルページ（index.html の内容）が表示されます。

（index.html 自体をファイル一覧に表示させない場合は、Windowsエクスプローラーで「隠しファイル」属性に設定してください。）

### その他のフォルダ

表示される場所	パス
トップフォルダ	[WEBAPP_ROOT]\custom\top.html
1 つ目のドキュメントレート	[WEBAPP_ROOT]\custom\portal_root\1 つ目のドキュメントレートのエイリアス名\index.html Ver3.5.1以降で対応
2 つ目のドキュメントレート	[WEBAPP_ROOT]\custom\portal_root\2 つ目のドキュメントレートのエイリアス名\index.html Ver3.5.1以降で対応

- [WEBAPP\_ROOT] = [ProgramData フォルダ(デフォルトでC:\ProgramData)]\ExaPad3.0\htdocs
- 上記3つのファイルは、ホスト名ごとのカスタマイズに対応しています。
- エイリアス名については[こちら](#)をご覧ください。

## ファイルの形式

HTML形式です。

拡張タグを使用することで、ExaPad 独自機能を扱えます。

外部 Javascript や CSS の読み込み、<script>タグの実行などは、レイアウトの崩れ、ファイル一覧や他の機能が不具合を引き起こす可能性があります。

## ランキング

検索キーワードランキング、閲覧ランキング、ダウンロードランキングを表示できます。

ポータル機能でランキングを表示させるには、あらかじめアクセスログ集計を行う必要があります。

ランキングのデータは、アクセスログ集計時の順位です。（ポータルを表示した時点での順位ではありません。）

アクセスログ集計機能はオプションのため、別途ライセンスが必要です。

キーワードランキング	閲覧ランキング	ダウンロードランキング
2011/09/07～2011/09/13	2011/09/07～2011/09/13	2011/09/07～2011/09/13
1 @ext.jpg	1 A001_導入確認の手... /Support	1 index.html /
2 @ext.pdf	2 A001_導入確認の手... /Support	2 環境構築の手... /Support
3 doc	3 e0064.doc /SandBc	3 複数ページLiteDO... /各種ファ
4 RAW画像形式	4 事例集 /営業文	4 初期コスト計算.xls /社内連
5 スマートフォン	5 A011_環境構築の手... /Support	5 ドメイン環境へのインス... /その他
6 会議	6 変換テスト用エクセル... /SandBc	6 e0064.doc /SandBc
7 プレゼン	7 ドメイン環境へのインス... /その他	7 変換テスト用エクセル... /SandBc
8 特長	8 A002_V3_Ver... /Support	8 A001_導入確認の手... /Support
9 報告	9 複数ページLiteDO... /各種ファ	9 fb23http.zi... /その他
10 jpg	10 A011_環境構築の手... /Support	10 fb25help.zi... /その他

## 5.5 プレビューの大きさを変更する

### 概要

標準プレビューと拡大プレビューのサイズを変更することができます。

ファイル一覧の画像形式で表示されるサムネイルの大きさ（大170px, 小100px）は変更できません。

標準ではファイルのプレビュー最大サイズは、縦横で長い方が次のように制限されています。

- 標準プレビュー 640ピクセル
- 拡大（全画面）プレビュー 1440ピクセル

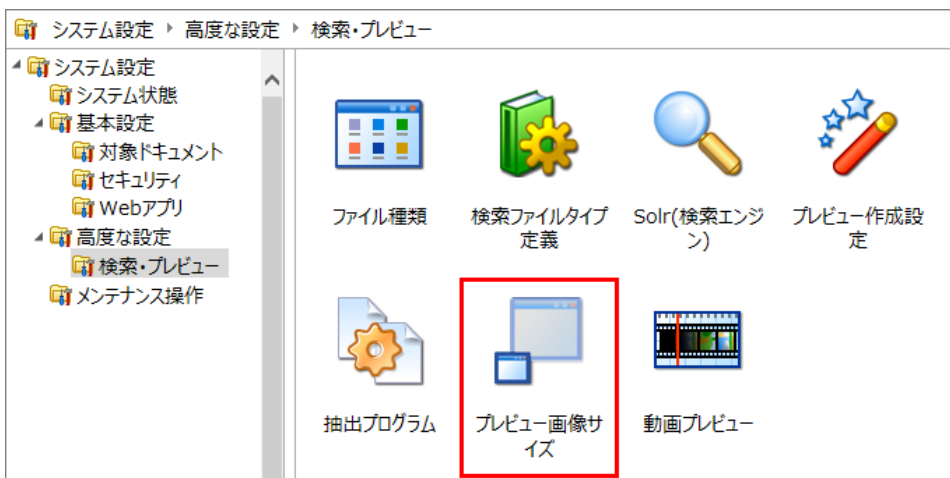
ただし、標準設定で問題ありませんが、解像度の高いファイルが多い環境や、Office文書をA4より大きいサイズで印刷している環境

などでは、文字が小さく読み取れなかったりすることがあります。

実際にファイルを開かないと読めなかったファイルが、プレビューだけで判読できるようことができます。

## 設定方法

- 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > プレビュー画像サイズを開きます。



- 各パラメーターを変更してプレビュー画像のサイズを変更します。

システム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > プレビュー画像サイズ

保存する キャンセル

繰込

パラメータ名	設定値	説明	状態
preview_l_size	640	標準プレビューのサイズ(px)を指定します。	初期値
preview_l_size_ext		標準プレビューのサイズ(px)を拡張子別に指定します。設定は拡張子1:サイズ1,拡張子2:サイズ2,...のように指定します。例)doc:2000,dwg:2880,dxf:2880。指定されていない拡張子のサイズはpreview_l_sizeになります。	初期値
preview_p_size	1440	拡大プレビューのサイズ(px)を指定します。	初期値
preview_p_size_ext		拡大プレビューのサイズ(px)を拡張子別に指定します。設定は拡張子1:サイズ1,拡張子2:サイズ2,...のように指定します。例)doc:2000,dwg:2880,dxf:2880。指定されていない拡張子のサイズはpreview_p_sizeになります。	初期値

- preview\_l\_size 標準プレビューのサイズ (px) を指定します。(初期値 640px)
- preview\_p\_size 拡大プレビューのサイズ (px) を指定します。(初期値 1440PX)
- preview\_l\_size\_ext 標準プレビューのサイズ (px) を拡張子別に指定します。

設定は、拡張子1: サイズ1, 拡張子2: サイズ2, ... のように指定します。

例) doc: 2000, dwg: 2880, dxf: 2880

指定されていない拡張子のサイズは、preview\_l\_size が適用されます。

- preview\_p\_size\_ext 拡大プレビューのサイズ (px) を拡張子別に指定します。

設定は、拡張子1: サイズ1, 拡張子2: サイズ2, ... のように指定します。

例) doc: 2000, dwg: 2880, dxf: 2880

指定されていない拡張子のサイズは、preview\_p\_size になります。

- DXF、DWG、SVGなどのCAD ベクターファイルは、preview\_p\_size が標準で 2560px に変更されています。  
拡大プレビューのサイズを変更した場合は、preview\_p\_size\_ext で個別に設定する必要があります。

3. 設定完了後、「保存する」ボタンを選択しインデクサーにチェックを入れてサービスを再起動します。
4. プレビュー作成を行ってください。（作成済みプレビューは、削除後に再作成する必要があります。）

❖ 初期値から大幅に設定値を大きくすると、プレビュー画像の容量が増えてディスク領域を圧迫する原因になります。

❖ ネットワーク環境や端末の仕様によっては、プレビューの表示に時間がかかる場合があります。

❖ 旧型の iPod など システムメモリが少ない 端末の場合、画素数(縦×横px)が3MPixelsを超えるプレビューの表示に失敗します。

❖ 既に作成済みのプレビューファイルは自動では再作成されないため、既存プレビューデータを削除してからプレビューを再作成してください。

## 5.6 もしかして検索

### 概要

次の画面のように検索結果ページの上部に、もしかして・・・を表示し、検索ワードの候補を提示します。

The screenshot shows a search interface. At the top, there are two buttons: 'ファイル' (File) and '表示' (Display). Below them is a search bar with a red box around the input 'グリフ'. To the right of the search bar are buttons for '全文' (Full Text) and '期間指定なし' (No Period Specified). Below the search bar, a dropdown list is open, showing a red box around the suggestion 'もしかして GlyFX 20040919 GlyFX'.

- もしかして・・・に表示される検索ワードは、あらかじめ辞書を作成しておく必要があります。
- 表示されたもしかして・・・のリンクを選択すると、選択したワードをキーワードに指定して検索が行われます。
- 設定ファイル (synonym.txt) が存在しない場合や、紐づくキーワードが未登録の場合には、もしかして・・・は表示されません。
- synonym.txt への変更は、サービスを再起動しなくても適用されます。

## 設定方法

1. [InstallFolder]\bin\synonym.txt のファイルを作成します。

synonym.txt は UTF-8形式で保存してください。

2. 1行につき1設定をタブ区切りで入力します。

一番左側の列に、'もしかして...'に表示するキーワードを指定します。

2列目以降に、ユーザーが入力する検索キーワードを指定します。

```
GlyFX      glyph   グリフ   glyphx   icon
```

\$(もしかして)TAB\$(ユーザー検索ワード) TAB\$(ユーザー検索ワード)...

この場合、「グリフ」や「glyph」をキーワードに検索すると、「GlyFX」が「もしかして...」に表示されます。

3. 複数の「もしかして...」を表示させたい場合、次のように設定します。

```
GlyFX      glyph   グリフ   glyphx   icon
```

```
20040919_GlyFX  glyph   グリフ   glyphx   icon
```

この場合、「グリフ」や「glyph」をキーワードに検索すると、「GlyFX」と「20040919\_GlyFX」の2つが「もしかして...」に表示されます。

検索ワードの一致判定において、大文字小文字、半角全角は区別されません。

## 5.7 ACLサーチ(アクセス権高度検索)の適用

### 概要

#### ACLサーチとは

- 検索インデックスを構築するときに、アクセス権情報を含めたインデックス構築を行うことができます。
- 検索を実行するログインユーザーの権限でアクセス可能なファイルのみを検索結果として表示します。

#### ACLサーチのメリット

- 検索インデックスにアクセス権情報を含めることで、検索実行時にアクセス権のあるファイルだけを高速に抽出することができます。
- ACLサーチを使用しない場合、権限の小さいユーザーが広範囲を対象に検索すると、検索結果のほとんどがアクセス権不足で表示できないため、アクセス可能な検索結果を表示する最初の1ページ分を取得するだけで時間が掛かります。

#### ACLサーチの適用範囲

- Version 3.3以降、ACLサーチは標準で適用されています。
- Version 3.3より前のバージョンからバージョンアップした際には、既存の検索インデックスにアクセス権情報は負荷されません。  
検索インデックスを初期化して再構築する必要があります。

## ACLサーチの適用方法

検索インデックスを初期化して再構築します。

1. 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > その他全設定項目 (config.ini) を開きます。
2. テキストボックスにacl を入力します。

パラメータ名	設定値	説明	状態
aclsearch	ON	検索エンジンに、ACL（フォルダのセキュリティ情報）を埋め込むことで高速に検索できるようになります。※ACLサーチを利用するには、ドメイン環境下、もしくはローカルフォルダをドキュメントルートにしている必要があります。※検索エンジン登録後にアクセス権がなくなった場合でも、検索後の権限チェック機構より検索にはヒットしません。ただし、検索エンジン登録後にアクセス権が付与された場合は検索にヒットしません。	初期値

3. aclsearch を選択して、設定ダイアログで値にチェックを入れます。
4. 設定完了後、「保存する」ボタンを選択し、インデクサーとWEBサーバーのチェックを外して「OK」で閉じます。
5. インデクサーを停止します。方法は[こちら](#)をご覧ください。
6. 検索インデックスの初期化します。方法は[こちら](#)をご覧ください。
7. 初期化後にサービスを再起動します。
8. 検索インデックスを再構築します。方法は[こちら](#)をご覧ください。

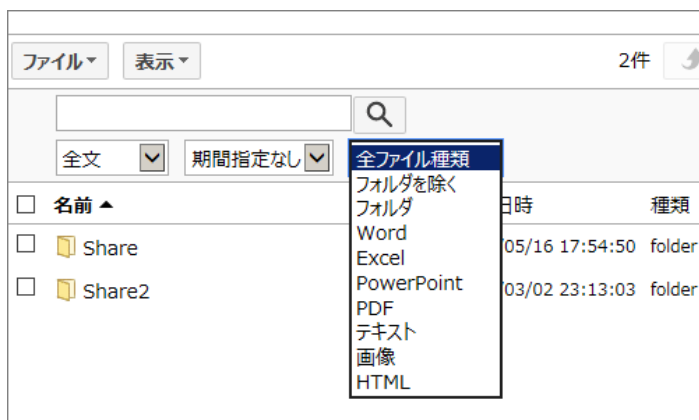
## 5.8 検索ファイルタイプの追加

### 検索ファイルタイプ

ExaPadでは、ファイル種類手を指定して検索することができます。

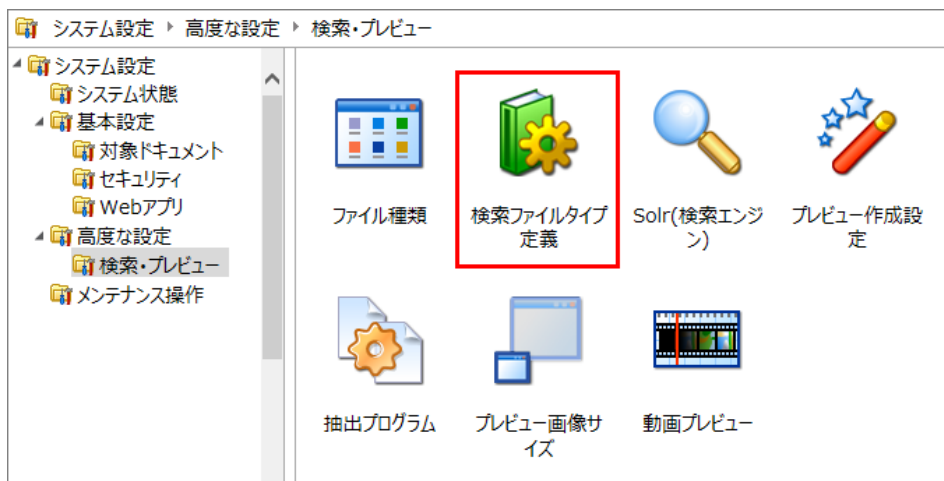
ファイル種類の指定はリストから選択して行ない、指定されたファイル種類のみ検索結果に表示されます。

標準のリストにファイル種類を追加することができます。

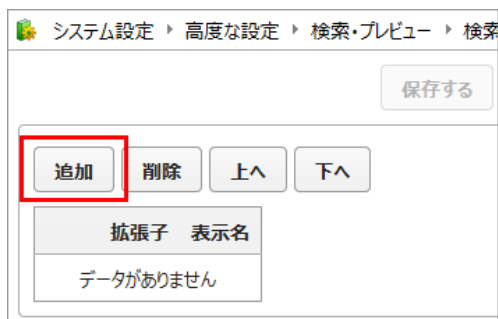


## 検索ファイルタイプの追加方法

- 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > 検索ファイルタイプ定義 を開きます。



- 「追加」ボタンを選択して設定ダイアログを開きます。



- 追加するファイル種類を指定します。



検索ファイルタイプ定義

拡張子  
ai,psd,indd

表示名  
DTPファイル

OK キャンセル

- ファイル拡張子（「.」は不要です）と表示名を入力します。
  - 複数の拡張子を指定する場合は、カンマ区切りで入力します。
- 追加」ボタンで複数の定義を設定できます。
  - 「上へ」「下へ」ボタンで表示順を変更できます。

追加 削除 上へ 下へ

	拡張子	表示名
<input checked="" type="checkbox"/>	doc,docx,xls.xlsx,ppt.pptx	オフィス文書
<input type="checkbox"/>	ai,psd,indd	DTPファイル

- 設定完了後、「保存する」ボタンを選択しWEBサーバーにチェックを入れてサービスを再起動します。
- サービス再起動後にログインし、追加したファイル種類が有効になっているか確認してください。

全文 期間指定なし

全ファイル種類

- フォルダを除く
- フォルダ
- Word
- Excel
- PowerPoint
- PDF
- テキスト
- 画像
- HTML
- オフィス文書
- DTPファイル

## 5.9 \*.dat, \*.bin, \*.hogeファイルをテキストファイルとして扱う

### 概要

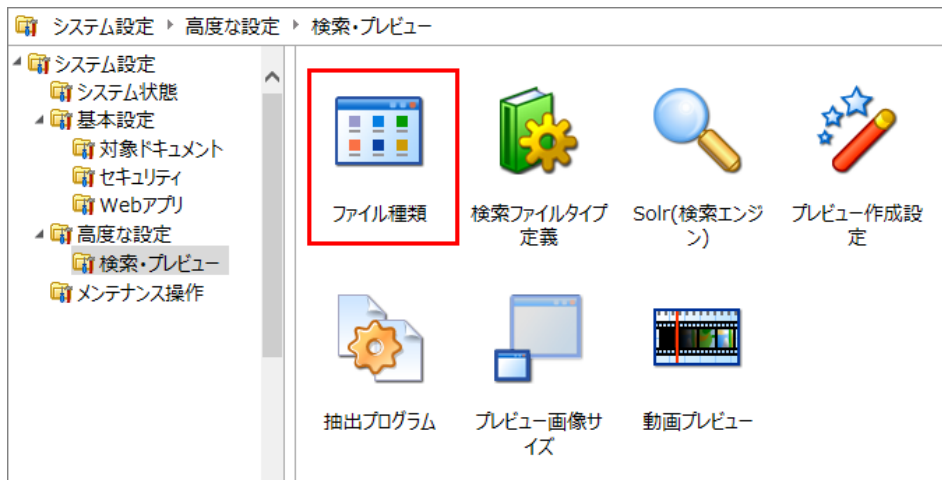
ファイル内容はASCII形式であるが、拡張子が一般的なテキストファイル（\*.dat, \*.bin, \*.hoge など）を、「\*.txt」ファイル同

様に検索 閲覧できるようします。

## 設定方法

例として、「\* hoge」ファイルをテキストファイルに指定しています。

1. 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > ファイル種類 を開きます



2. 全文検索対象」に hoge を追加します。



3. テキスト形式 (ascii)」に HOGE を追加します。

4. 設定完了後に、「保存する」ボタンを選択しインデクサーとWEBサーバーにチェックを入れてサービスを再起動します。

## 5.1 セッションタイムアウト時間の変更(ブラウザ再起動時に自動でログインする)

0

### セッションタイムアウト時間の変更

ExaPadにログイン状態でブラウザを終了すると自動的にログアウト状態になります。

その後、ブラウザを起動してExaPadにアクセスするとログイン操作が再び必要になります。

ブラウザを終了するたびに毎回ログイン操作を必要とする設定を、一定時間内であればブラウザを再起動してもセッションを保持することにより、ログイン操作を省略させることができます。

セッション情報はブラウザのCookieに保存され、標準では有効期間がゼロに設定されておりブラウザを閉じるとCookieは削除されます。

1. 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > セキュリティ > セキュリティパラメーターを開きます。
2. 「stay\_logged\_in\_after\_closing\_browser」の値にチェックを入れ(ONにして)、Cookieの保存を有効にします。

session_lifetime_seconds	7200	一定時間アクセスの無いSessionを無効化します。単位は秒です。	初期値
stay_logged_in_after_closing_browser	ON	ブラウザを閉じてもログインしたままの状態にします。	ユーザー設定

3. 「session\_lifetime\_seconds」の値を指定して、Cookieの有効期間を設定します。(単位：秒)
4. 設定完了後、「保存する」ボタンを選択しWEBサーバーにチェックを入れてサービスを再起動します。

## 5.1 アクセスログ集計(オプション)

1

アクセスログ集計機能はオプションです。別途ライセンスが必要です。

アクセスログ集計を使うと、出力済みのアクセスログを集計してシステムの利用状況・普及度合いを分析することができます。

ExaPad3.4.0からアクセスログに記録されるファイルパスが[システムファイルパス](#)へ変更されました。

集計ツールは旧バージョンのアクセスログに対応しているため、そのままご利用いただけます。

### アクセスログを集計する前に

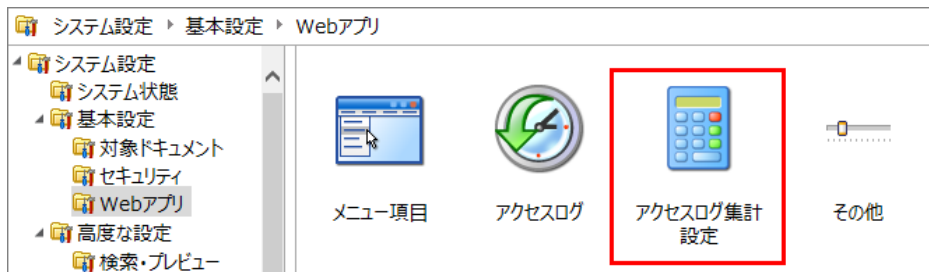
アクセスログを集計するためには、各ユーザーの操作を記録したアクセスログが必要です。

アクセスログは、標準では出力されない設定になっているため、集計する前にアクセスログを出力するように設定してください。

設定方法は[こちら](#)をご覧ください。(画面下部のシステム設定 > 基本設定 > Webアプリ > accesslog\_dir)

## アクセスログレポートの集計

- 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > Webアプリ > アクセスログ集計設定 を開きます。



- 出力したいレポートを選択してください。

システム設定 > 基本設定 > Webアプリ > アクセスログ集計設定

保存する キャンセル

月の初め 週の初め

1 月

集計 ランキング

☐ ユーザ別ログイン状況[日単位]  
☒ ユーザ別ログイン状況[週単位]  
☒ ユーザ別ログイン状況[月単位]  
☐ 端末別ログイン状況[日単位]  
☒ 端末別ログイン状況[週単位]  
☒ 端末別ログイン状況[月単位]  
☒ ユーザ別利用状況[週単位]  
☒ ユーザ別利用状況[月単位]  
☐ 週別利用状況推移  
☐ 月別利用状況推移

- 月の初め 月単位のレポートで使用され、月の開始日を指定します。
- 週の初め 週単位のレポートで使用され、週の開始曜日を指定します。

種類	意味
ユーザー別ログイン状況 [日単位]	1 日間におけるユーザーのログイン回数のレポート
ユーザー別ログイン状況 [週単位]	1 週間におけるユーザーのログイン回数のレポート
ユーザー別ログイン状況 [月単位]	1 月間におけるユーザーのログイン回数のレポート
端末別ログイン状況[日]	1 日間における端末のログイン回数のレポート

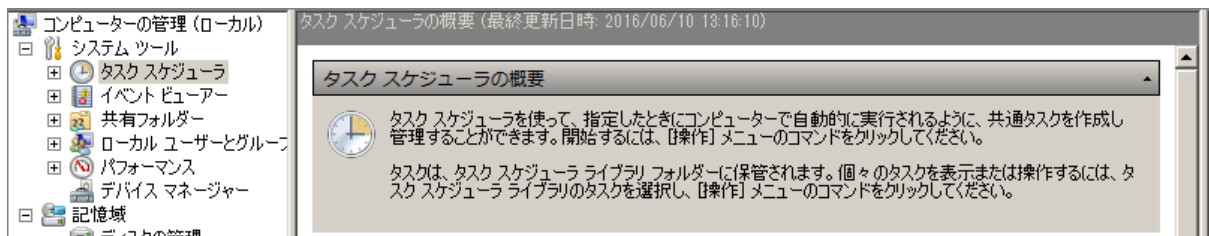
単位]	
端末別ログイン状況[週単位]	1週間における端末のログイン回数のレポート
端末別ログイン状況[月単位]	1月間における端末のログイン回数のレポート
ユーザー別利用状況[週単位]	1週間におけるユーザーのログイン/ファイル参照 検索の実行回数のレポート
ユーザー別利用状況[月単位]	1月間におけるユーザーのログイン/ファイル参照 検索の実行回数のレポート
週別利用状況推移	過去4週間における週別のログインユーザー、ログイン、参照、検索、ダウンロードの数のレポート
月別利用状況推移	過去3月間における月別のログインユーザー、ログイン、参照、検索、ダウンロードの数のレポート

### 3. アクセスログの出力先を確認してください。

画面下部のシステム設定 > 基本設定 > Webアプリ > accesslog\_dir で確認できます。

### 4. アクセスログ集計プログラムを Windows タスクスケジューラに登録します。

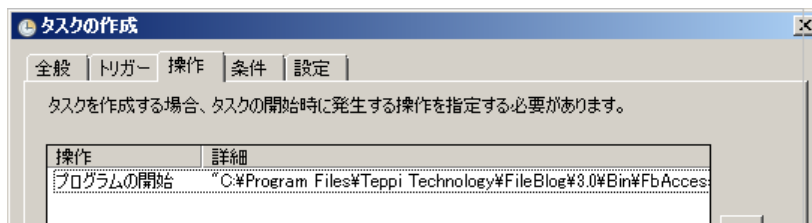
- Windows スタートメニュー > 管理ツール > タスクスケジューラ (Windows 2008以降の場合) を開きます。



- 新規タスクに FbAccessLogSummarizer.exe の実行を登録します。

FbAccessLogSummarizer.exe は

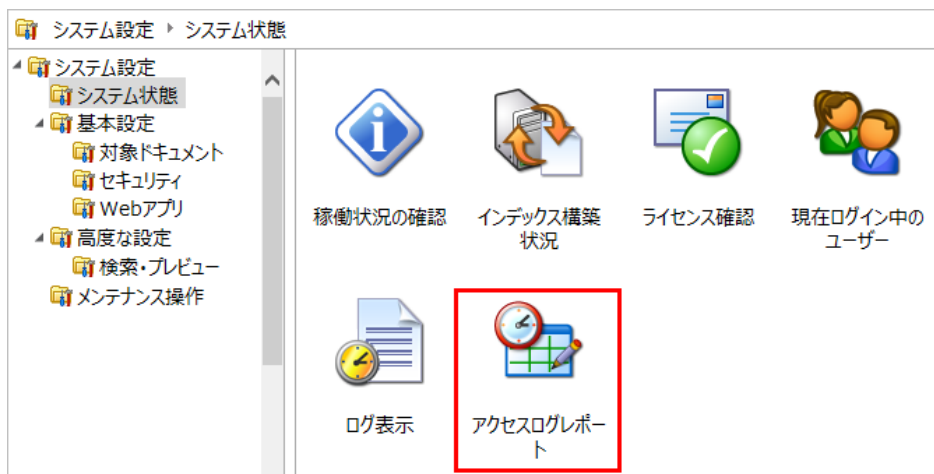
C:\Program Files (x86)\BroadLeaf\ExaPad\3.0\Bin にあります。



- 毎朝未明に実行するように設定します。
- タスクの実行ユーザーは、ローカルマシンの管理者権限を有するユーザーに設定してください。(通常は、Administrator ユーザーです。)

## アクセスログ集計（レポート）を閲覧する

- 画面下部のシステム設定 > システム状態 > アクセスログレポート開きます。



- レポート種別を選択すると集計種類を絞り込みます。

システム設定 > システム状態 > アクセスログレポート

アクセスログレポート一覧

レポート種別:

1 2 3 4 次へ

期間	レポート種別	出力日時
2016/05/30-2016/06/05	ユーザ別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:42:52
2016/05/30-2016/06/05	端末別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:40:49
2016/05/30-2016/06/05	ユーザ別利用状況[週単位]	2016/06/10 15:40:00
2016/05/23-2016/05/29	ユーザ別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:42:52
2016/05/23-2016/05/29	端末別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:40:58
2016/05/23-2016/05/29	ユーザ別利用状況[週単位]	2016/06/10 15:40:00
2016/05/16-2016/05/22	ユーザ別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:42:52
2016/05/16-2016/05/22	端末別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:41:17
2016/05/16-2016/05/22	ユーザ別利用状況[週単位]	2016/06/10 15:40:00
2016/05/09-2016/05/15	ユーザ別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:42:52
2016/05/09-2016/05/15	端末別ログイン状況[週単位]	2016/06/10 15:41:34
2016/05/09-2016/05/15	ユーザ別利用状況[週単位]	2016/06/10 15:40:00

- レポートを選択します。

システム設定 ▶ システム状態 ▶ アクセスログレポート

ユーザー別利用状況[月単位] [2016/05/01 - 2016/05/31]

[一覧に戻る](#)

ユーザーID	ログイン回数	ファイル参照回数	検索回数	ファイル参照 (先頭ページのみ)回数	ダウンロード回数
user1@hoge.co.jp	377	118	74	111	41
user2@hoge.co.jp	222	154	209	140	152
user3@hoge.co.jp	218	122	63	122	51
user4@hoge.co.jp	79	34	15	34	143
user5@hoge.co.jp	3	0	0	0	0

## アクセスログランキング

1. 「ランキング」タブを開きます。

システム設定 ▶ 基本設定 ▶ Webアプリ ▶ アクセスログ集計設定

[保存する](#) [キャンセル](#)

月の初め 週の初め

1 月

集計 **ランキング**

**追加** 削除

ユニークID	ランキング種類	ランキング数	期間(日数)
データがありません			

2. 「追加」を選択してクリックし、集計するランキングを設定します。

基本設定   ファイル/フォルダ絞込   ネットワークアドレス絞込   ユーザー名/ドメイン名絞込

ユニークID  
summary

ランキング種類  
☒ ファイル参照   ☐ 検索   ☐ ダウンロード

上位N件を取得する  
1

期間日  
1

- ユニークID                      ユニークなIDを指定します。この値がポータル機能で使用するID属性です。
- ランキング種類                出力するランキングの種類を選択します。
- 上位のN件を取得する        上位何番目までをランキングするか指定します。（上位50位など）
- 期間日                          集計日から何日間前までを集計対象とするか指定します。（過去180日間など）
- 絞り込み設定：正規表現を使って集計「対象」「対象外」を設定できます。

### 3. ランキングに出力する対象を絞り込むことができます。

- 絞り込みの設定には、システムファイルパスの正規表現を使用して指定します。
- 入力ツールを利用すると便利です。

基本設定   ファイル/フォルダ絞込   ネットワークアドレス絞込   ユーザー名/ドメイン名絞込

対象ファイル/フォルダ   除外ファイル/フォルダ

集計対象のファイルやフォルダを正規表現で記述します

入力ツール

#### ○ ファイル/フォルダ絞り込み

対象ファイル/フォルダ、または 除外ファイル/フォルダを指定します。

対象ファイル/フォルダが指定されていない場合は、全ての「ファイル/フォルダ」が集計対象となります。

▪ /share2/Projects/.\*\$

「Projects」フォルダ以下、全ファイルの指定です。



▪ /share2/Projects/2016年度 /.\*\.(doc|docx)\$

「2016年度」フォルダ配下、doc と docx ファイルの指定です。

検索・ランキングの集計では、絞り込み対象が「対象ファイル/フォルダ」+「検索キーワード」という形式になります。

▪ /share2/Projects/いろいろ

「Projects」フォルダ以下、キーワード「いろいろ」の指定です。

#### ○ ネットワークアドレス絞り込み

対象ネットワークアドレス、または 除外ネットワークアドレスを指定します。

対象ネットワークアドレスが指定されていない場合は、全ての「ネットワークアドレス」が集計対象となります。

▪ 192\..168\..0\..\*\$

192.168.0.0～192.168.0.255 の指定です。

#### ○ ユーザー名 /ドメイン名絞り込み

対象ユーザー名 /ドメイン名、または 除外ユーザー名 /ドメイン名を指定します。

対象ユーザー名 /ドメイン名が指定されていない場合は、全ての「ユーザー名 /ドメイン名」が集計対象となります。

▪ .\*@company.co.jp

ドメイン「company.co.jp」の全ユーザーを指定です。

ドメイン名は、パラメーター「windows\_domain」で指定した値を使用してください。

## 5.1 Windowsのショートカットファイルへの対応

### 2

#### Windowsショートカットファイル

ExaPadでは、Windowsのショートカットファイル（\*.lnk）に対応しています。

リンクファイルにアクセスすると、リンク先ファイルのページにジャンプします。

ショートカットが機能するのは、リンク先がドキュメントルート配下の場合に限定されます。

ドキュメントルート= C:\docroot の場合

- ショートカットファイルは、リンク先のファイルのページにジャンプします。

ショートカットファイルのリンク先 = C:\docroot\sample.doc

- ドキュメントルート外にリンク先が指定されているショートカットファイルは、ジャンプすることができません。

ショートカットファイルのリンク先 = C:\share\test.xls

#### 共有フォルダをドキュメントルートにしている場合

ドキュメントルートである C:\docroot を共有フォルダとして公開しているとき、ショートカットのリンク先が \\ServerA\C\$\docroot や \\ServerA\docroot など表記される場合があります。

この場合、ドキュメントルート外と判定されてしまい、適切なリンク先にジャンプすることはできませんが、「ドキュメントルートパターン」を設定することで解決できます。

### ドキュメントルートパターンの設定

- ドキュメントルート設定の「pattern」でパターンを指定します。

画面下部のシステム設定 > 基本設定 > 対象ドキュメント > ファイル参照フォルダ設定 を開きます。



- パターンを指定します。

ドキュメントルート C:\docroot

ショートカットのリンク先 \\ServerA\docroot\sample.doc

Patterns \\ServerA\docroot

ExaPadサーバーは \\ServerA\docroot\sample.docのショートカットを、C:\docroot\sample.doc として扱うようになります。

- 複数のドキュメントルートパターンを指定することができます。

\\ServerA\docroot

\\ServerA\C\$\docroot

T:\

- 改行区切りで指定します。

- T:\ は、ネットワークドライブの例です。TドライブにドキュメントルートのマッピングしているPCでショートカットを作成した場合です。

## 5.1 パスワードオートコンプリートの有効化、無効化

3

### 概要

ブラウザのオートコンプリート機能を使うと、ログイン時のユーザーIDやパスワードを省略できます。

しかし、セキュリティについては問題となる場合もあります。

ExaPadでは、パスワードのオートコンプリート機能を制御する設定ができます。

### 注意事項

- 標準では、パスワードのオートコンプリートは無効に設定されています。

- オートコンプリートが有効な状態の時に保存されたパスワードが、本機能を無効にしても自動入力されるブラウザがあります。(FireFoxなど)
- 有効から無効の設定に変更する場合は、ブラウザの履歴やCookie情報を全て消去してから利用してください。
- ExaPadで推奨していないブラウザでは、本機能を利用できない場合があります。(Operaなど)

## 設定方法

1. 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > セキュリティ > セキュリティパラメータを開きます。
2. テキストボックスに auto を入力します。

パラメータ名	設定値	説明	状態
autocomplete_login_password	ON	ログインフォームのパスワードボックスのautocompleteをOn/OFFします	ユーザー設定
autocomplete_login_userid	ON	ログインフォームのユーザーIDボックスのautocompleteをOn/OFFします	初期値

3. 「autocomplete\_login\_password」を開いてチェックを入れ、ONにするとパスワードが保存されるようになります。
4. 「autocomplete\_login\_userid」を開いてチェックを入れ、ONにするとユーザーIDが保存されるようになります。
  - オートコンプリートを有効にする場合は、両方とも「ON」にしてください。
  - 片方が「OFF」になっていると、ブラウザの仕様によりID・パスワードともに保存されない場合が多いようです。
  - 設定前に、ユーザーID、パスワードが保存されている場合は、ユーザーIDのみ「自動入力」を利用できる場合もあります。
5. 設定完了後に、「保存する」ボタンを選択しWEBサーバーにチェックを入れてサービスを再起動します。

## 5.1 CADファイルのプレビュー（オプション）

4

### 背景

ExaPadのVersion 3.3.2以降、CADプレビューには以下の変更が加えられています。

- SHXフォントに対応しました。
- 拡大プレビューサイズを大きく( 2560px ) しました。
- 拡大プレビューの背景色を透過にしました。

ExaPadのVersion 3.7.0以降、CADプレビューには以下の変更が加えられています。

- PDF プレビューに対応しました

## 概要

### SHXフォントに対応しました

以前は、CADファイルで使用されているフォントが存在しない場合、システムのフォントに置き換わっていました。

Version 3.3.2以降は、フォントを所定の場所に置くことでプレビューファイル作成時にそのフォントを使用するようになり、プレビューの再現性が向上します。

- [インストールフォルダ] \bin\tools\shx\_font に、SHXフォントをコピーしてください。
- shx\_font フォルダは新規に作成してください。

### 拡大プレビューサイズを大きく(2560px)しました

一般的にCADファイルは、Officeファイルなど比べて解像度が高く設定されています。

そのためExaPad標準の1440pxでは、見づらさという問題があり、またプレビューサイズを過度に大きなサイズに変更してしまうと、ブラウザによっては表示できない問題があるため、標準の拡大プレビューサイズを2560pxに設定しました。

プレビューサイズを変更方法は[こちら](#)をご覧ください。

### 拡大プレビューにおいて、背景色を透過にしました

以前は、CADプレビューの背景色は白色で出力されていました。

しかし、CADファイルの背景色の設定はCADアプリケーション側で設定されているため、背景色が黒で作成されたCADファイルは、ExaPadのプレビューでは図形が消えてしまったり、見えにくくなってしまっていました。

Version 3.3.2以降、プレビューの背景色を透過にしてビューワーの背景色を変更できるようにしました。

背景色を変更方法は[こちら](#)をご覧ください。

### PDFプレビューに対応しました

Version 3.7.0以降、CADファイルのPDFプレビューに対応しました。これによりプレビューを拡大しても綺麗に表示できるようになります。

CADファイル内のテキストは全文検索対象ですが、PDFプレビュー内での検索には対応していません。

### 背景色の変更

PDFプレビューのデフォルト背景色は黒、文字色は白に設定されていますが、設定で変更することが可能です。

ブラウザでログイン後、システム設定 > 高度な設定 > その他全設定項目(config.ini) から以下のパラメーターを変更してください。

cad\_background\_color .. 背景色を#000000のようRGBで指定します

cad\_default\_color .. 既定色(文字、線色など)を#ffffffのようRGBで指定します

### Ver3.6.1以前のバージョンをご利用中のお客様

Ver3.6.1以前のバージョンをご利用中のお客様は設定を変更しない限り、CADファイルのPDFプレビューは作成されない設定に

なっています

CAD ファイルのPDF プレビューを作成する場合は、設定を変更し、その後一旦すべてのプレビューファイルを削除する必要があります

詳しくは以下の手順にしたがってください

- 1 . Ver3.7.0へアップデートします。
- 2 . ブラウザからログインし、システム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > プレビュー作成設定 にて、"随時作成設定"を [PDF\_HTML] にするか個別にCAD ファイルでPDF プレビューが作成されるよう設定してください  
[PDF\_HTML]はWord, PowerPoint, CAD ファイルはPDFで、Excel ファイルはHTML形式でプレビューする設定です
- 3 . サービスを再起動します。
- 4 . 管理ツールを起動し、保守ツール > プレビュー保存フォルダ整理 画面から "ファイル種類(マスク)"をcadファイルに変更し、"プレビュー削除"にチェックを入れ実行ボタンをクリックします。これにより既存のCAD ファイルのプレビュー画像が全て削除されます  
デフォルトでは全てのドキュメントに対してプレビューの削除を行いますので注意してください！！
- 5 . ブラウザからログインし、各ファイルの閲覧ページに移動してください

プレビュー作成処理が開始され、しばらくするとPDF形式でプレビューが表示されます

## 5.1 統合Windows認証

### 5

#### 概要

ExaPadVersion 3.4.1.1から 統合Windows認証に対応しました。

この機能をActive Directory ドメイン環境内で利用すると、Internet Explorer ブラウザを使用してExaPadにアクセスした場合、ExaPadへのログイン認証が自動的に行われ、ID/パスワードの入力なしでExaPadを利用できるようになります。

Ver3.7.0.12では使用できません。Ver3.8.0以上にアップグレードしてください

#### 要件

- Version 3.4.1.1 以降を使用していること
- Active Directory ドメイン環境を使用していること
- Active Directory がケルベロス認証をサポートしていること
- ファイルサーバーがケルベロス認証および委任をサポートしていること
- 対象のクライアントとサーバーがActive Directory ドメインに参加していること
- ログインするユーザーがActive Directory ユーザーであること
- サーバーとクライアントの時刻が同期されていること

認証Ticketには使用期限が設定されており、クライアント時刻とサーバー時刻に大きなずれがあると認証に失敗する可能性があります。

- Windows Server (2008 / 2008 R2 / 2012 / 2012 R2) を使用していること
- Internet Explorer (9 / 10 / 11) を使用すること。(Microsoft Edge は 統合Windows認証に対応していません。)

- HTTPプロキシサーバーを経由しないこと

## システム構成

以下では下記のようなシステム構成を例に、ご説明しています。

サーバー種類	説明	マシン名
ExaPadサーバー	ExaPadをインストールしたマシン	CARROT
ActiveDirectoryサーバー	ActiveDirectoryサービスが稼働しているマシン	BROCCOLI
ファイルサーバー	ドキュメントルートフォルダが置いてあるサーバー	KIWI

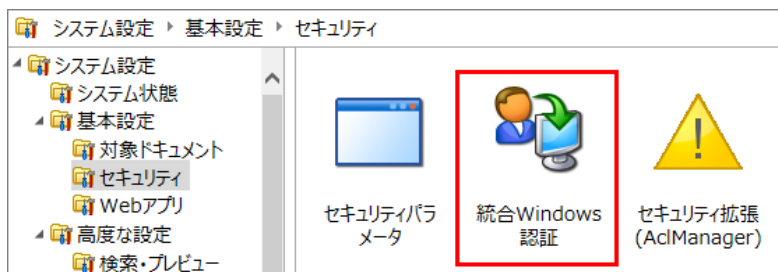
BROCCOLI、KIWI、CARROT の全てが、同一ドメインに所属しています。

## サーバー設定

### ExaPadサーバーの設定

ExaPadをインストールしたマシン（CARROT）で次の設定が必要です。

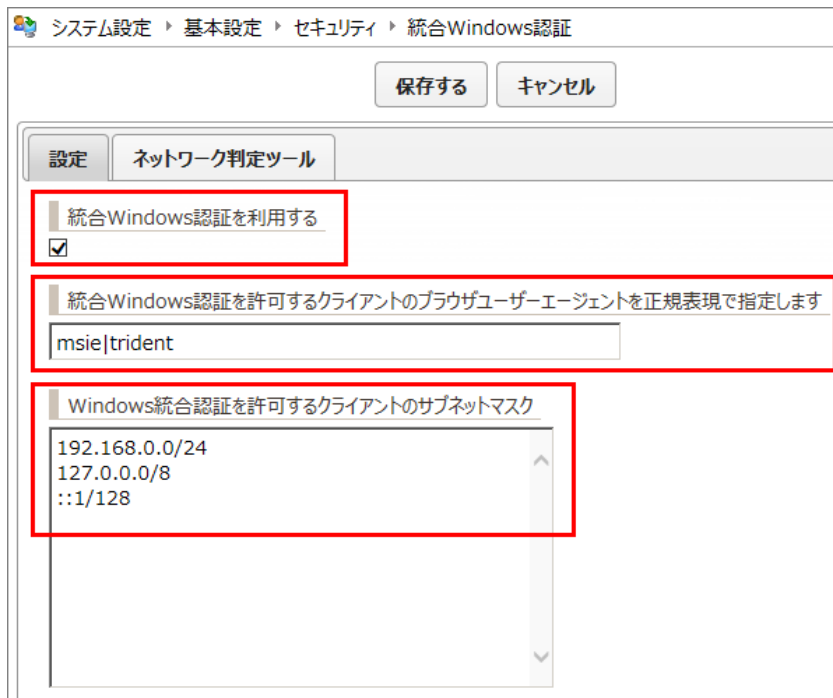
1. Fb3Web（Webサーバー）サービスの実行アカウントは、LocalSystemアカウントにします。
  - 標準の設定で、LocalSystemアカウントになっています。
  - LocalSystemアカウントには統合認証を行うための権限が与えられています。
2. 管理ツールでドメインの設定を行います（設定は[こちら](#)をご覧ください）。
  - 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > セキュリティ > セキュリティパラメーター > windows\_domain を開きます。
  - ドメイン名は必ず NetBios 形式で指定してください。アクセスログなどで FQDN 形式と混在してしまいます。
3. 管理ツールで統合認証の設定を行います。
  - 画面下部のシステム設定 > 基本設定 > セキュリティ > 統合Windows認証 を開きます。



- 統合Windows認証を利用する」にチェックを入れます
- 統合認証するブラウザのユーザーエージェントを正規表現で指定します。

通常はデフォルト値の msie|trident を変更する必要はありません。

- 統合認証を許可するクライアントのサブネットマスクを指定します。



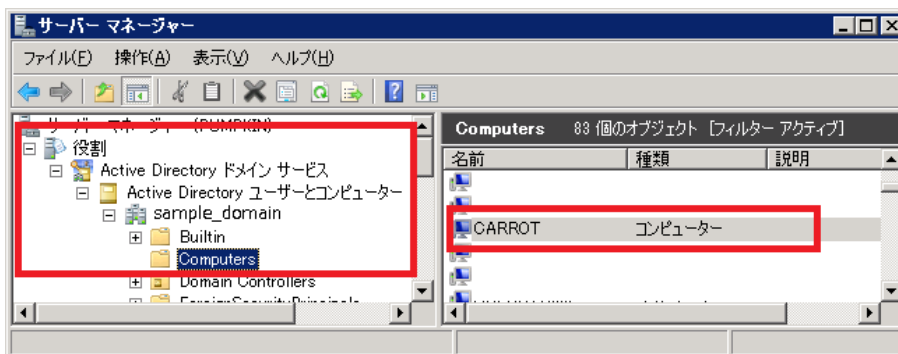
- 設定完了後に、「保存する」ボタンを選択してWEBサーバーにチェックを入れてサービスを再起動します。

### ActiveDirectoryサーバーの設定

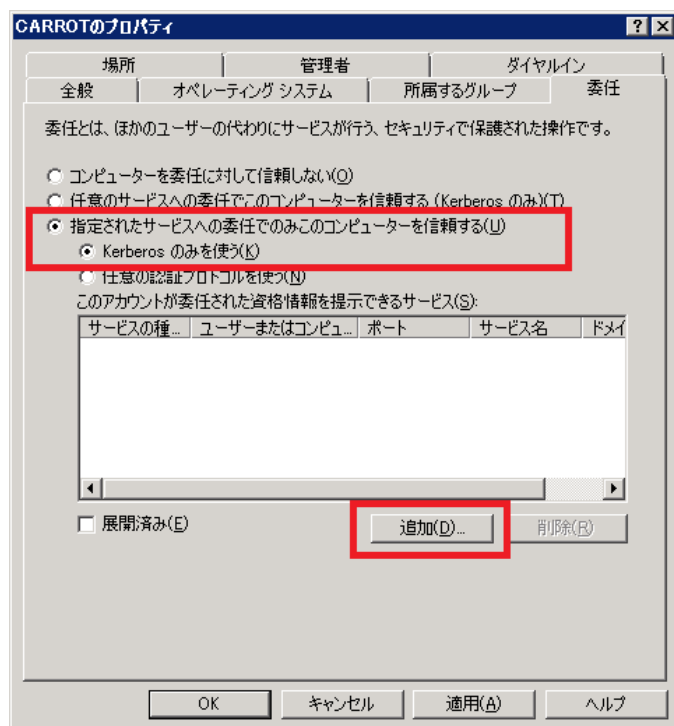
ドキュメントルートが ExaPadサーバー (CARROT) ではなく リモートのファイルサーバー (KIWI) にある場合、ログインユーザーの代理で CIFS サービスを利用するための委任設定が必要になります。

ドキュメントルートが CARROT のローカルドライブにある場合は、委任設定は不要のためスキップしてください。

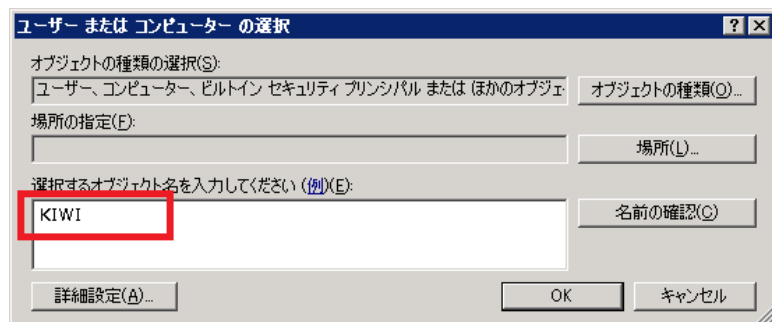
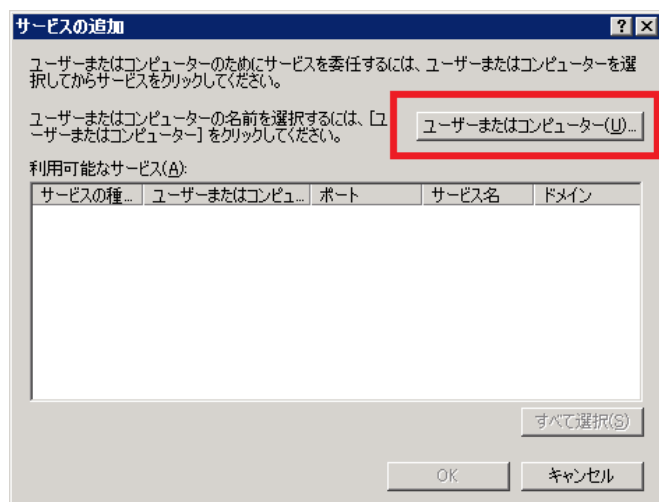
1. Active Directory サーバー (BROCCOLI) に、Windowsログインします。
2. サーバーマネージャー > Active Directoryユーザーとコンピューター > ドメイン > Computers > CARROT のプロパティを表示します。



3. 委任タブの「指定されたサービスへの委任でのみこのコンピューターを信頼する」と「Kerberosのみを使う」にチェックを入れて、追加ボタンを選択します。

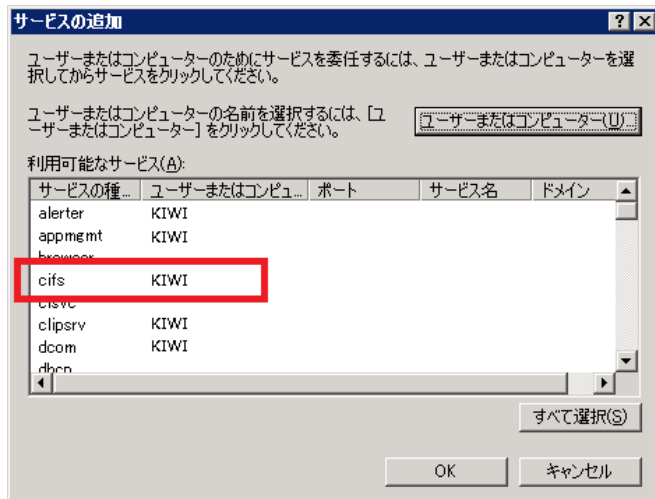


4. 「ユーザーまたはコンピューター」でファイルサーバー (KIWI) を選択します。



5. 列挙されるサービスの「cifs」を指定しOKボタンを選択します。





6. ExaPadサーバーのOSを再起動します。

#### 注意点

- トキュメントレートが複数あり接続先ホストが異なる場合、それぞれのホストに設定が必要です
- トキュメントレートの設定時にホスト名で指定する
- トキュメントレートは必ず、委任で設定したコンピューター名と合わせる必要があります。

特にIPアドレスで設定されていないか確認下さい

- × \\192.168.0.100\share
- × \\KIWI\share

## クライアント設定

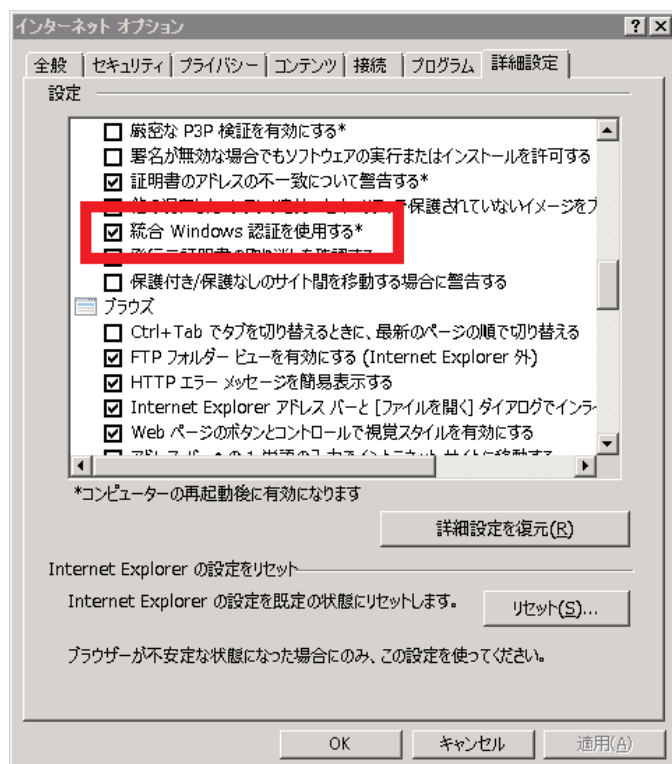
### 対象ブラウザ

Internet Explorer (9 / 10 / 11) のみに対応しています。

統合認証の設定を行っても、Internet Explorer とは別のブラウザでも使用できます。その場合、通常のログイン操作が必要です。

### Internet Explorerの設定

1. Internet Explorerの「統合Windows認証を利用する」を有効にします。
  - インターネットオプション > 詳細設定 > 統合Windows認証を利用するを確認して下さい。



## 2. ExaPadサーバー（CARROT）のURLをローカルイントラネットのサイトに追加します。

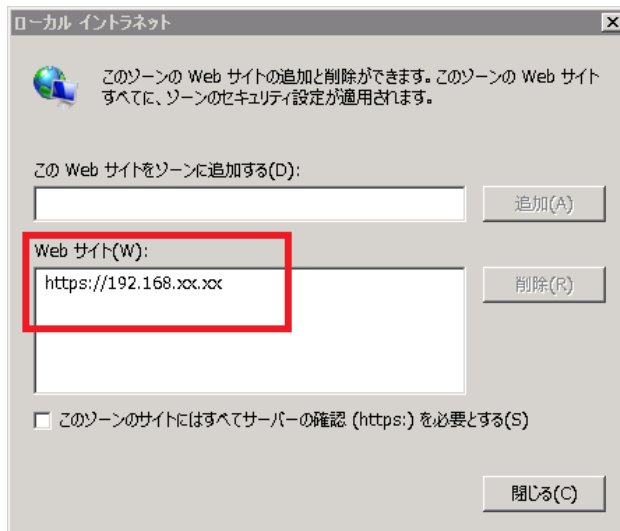
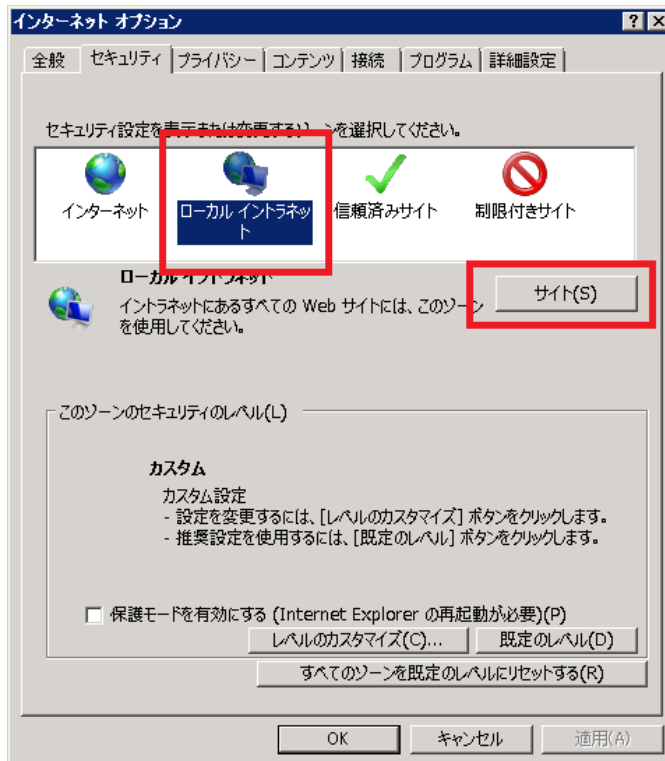
- 指定がホスト名であれば標準でローカルイントラネットに含まれます。

例) `http://CARROT/ExaPad/`

- ホスト名ではなくIPアドレスやドメイン名で指定している場合、標準ではローカルイントラネットには含まれていないため、サイトに追加してください。

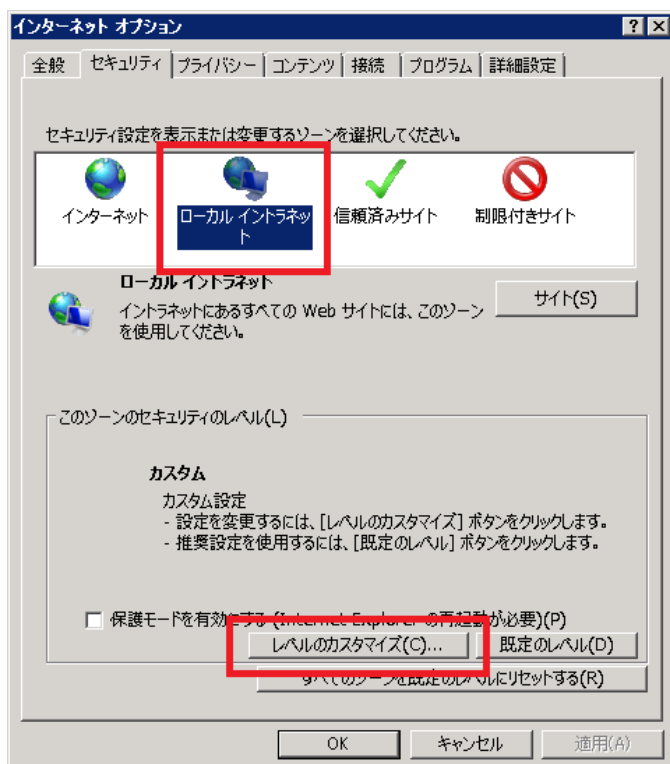
例) `http://192.168.xx.xx/ExaPad/` | `http://Domain.net/ExaPad/`

- インターネットオプション > セキュリティ > ローカルイントラネット > サイト > 詳細設定

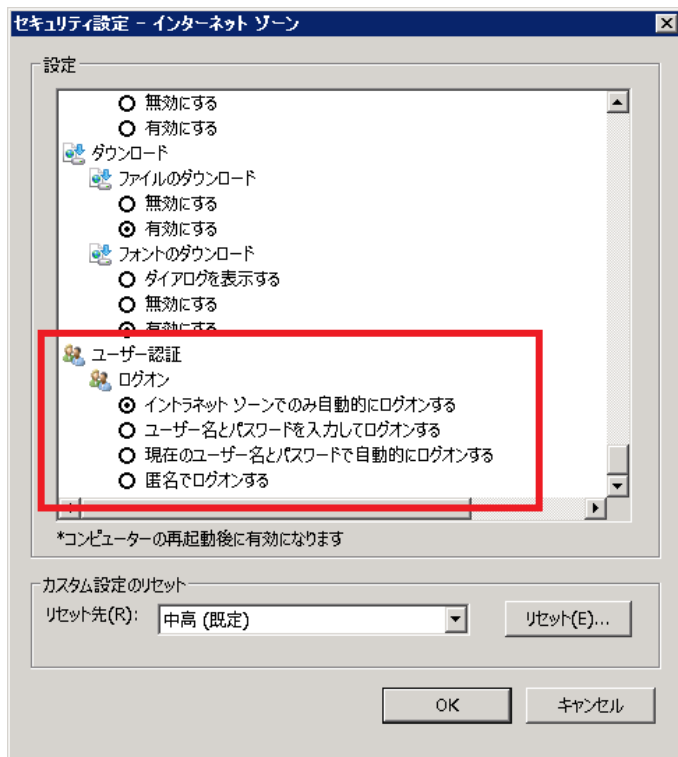


3. ローカルイントラネットのセキュリティレベルにおいてユーザー認証を設定します。

- インターネットオプション > セキュリティ > ローカルイントラネット > レベルのカスタマイズ > ユーザー認証



- ログオン設定において、「イントラネットゾーンでのみ自動的にログオンする」(イントラネットで利用している場合)、または現在のユーザー名とパスワードで自動的にログオンする」にチェックを入れます。



注意点

- ExaPadサーバーへアクセスするときに HTTP プロキシサーバーを経由させないようにしてください。
- ショートカットやブックマークに使用するURLは `http://CARROT/ExaPad/` としてください。
  - `http://CARROT/ExaPad/login.php` の場合は、必ずログイン画面が表示されてしまいます。
  - `/index.php`、`/adminindex.php`、`/index.php?path=***` などであれば自動的に統合認証されます。

## トラブルシューティング

### 統合認証できない、ログイン画面が表示されてしまう

- システム設定において、「統合Windows認証を利用する」にチェックが入っていますか？
- ExaPadサーバーは再起動しましたか？
- ブラウザは Internet Explorer ですか？
- HTTP プロキシサーバーを使用していませんか？

### ドキュメントレートが表示されない・ドキュメントレートが1つもありません

- 委任設定は正しく設定されていますか？  
特にドキュメントレートのホスト名と委任設定のコンピュータ名はそろえていますか？
- 委任設定後にExaPadサーバーのOSを再起動しましたか？

### ファイルの書き込み系の操作だけができない

ExaPadサーバーのユーザーアカウント制御（UAC）がONの場合に、ドキュメントレートがローカルドライブにあると ExaPadサーバーの Internet Explorer からアクセスすると、アップロードやファイル更新などの書き込み系の操作が行えません。

## 5.1 SSL 設定

### 6

#### 概要

ExaPadへの接続は、HTTPまたはHTTPSで行います。よりセキュアな通信方式であるHTTPSを利用するためには、WebサーバーにSSLサーバー証明書をインストールする必要があります。

SSLサーバー証明書を入手してインストールする手段としては、大きく下記の二つがあります。

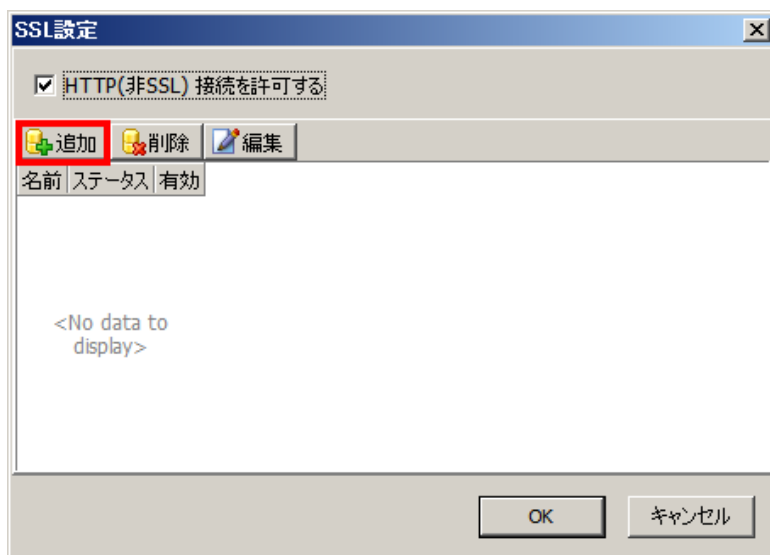
1. 証明書発行業者（認証局）に SSLサーバー証明書の発行を申請し、クレジットカードなどで費用を払って購入する
2. 自己署名証明書を、自分で勝手に作成し、各端末に配布して使う  
（費用はかかりませんが、端末への証明書配布の手間がかかります。）

## 設定（認証局の発行した証明書を使用する場合）

### 1. サーバー証明書の申請

- 1) 管理ツール > 高度な設定 > SSL設定 を開きます。

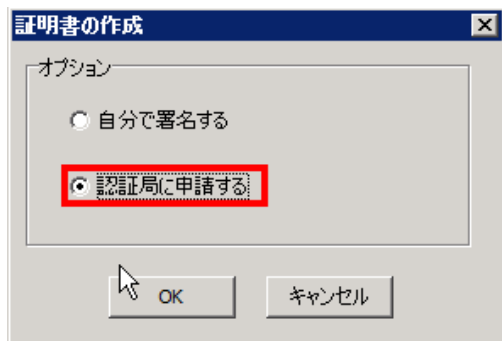
「追加」を選択します。



- 2) 証明書を自分で署名する(自己署名証明書)か、認証局に申請するか選択します。

ここでは「認証局に申請する」が選択された場合の説明です。

自己署名証明書の場合はこちらをご覧ください。



- 3) 項目にサーバー証明書の申請内容を入力します。

既存の秘密鍵をインポートする場合は、「秘密鍵を自動生成する」のチェックを外してください。

証明書の申請

一般名 (Common Name)

組織 (Organization Name)

組織単位 (Organizational Unit Name)

市区町村 (Locality Name)

都道府県 (State or Province Name)

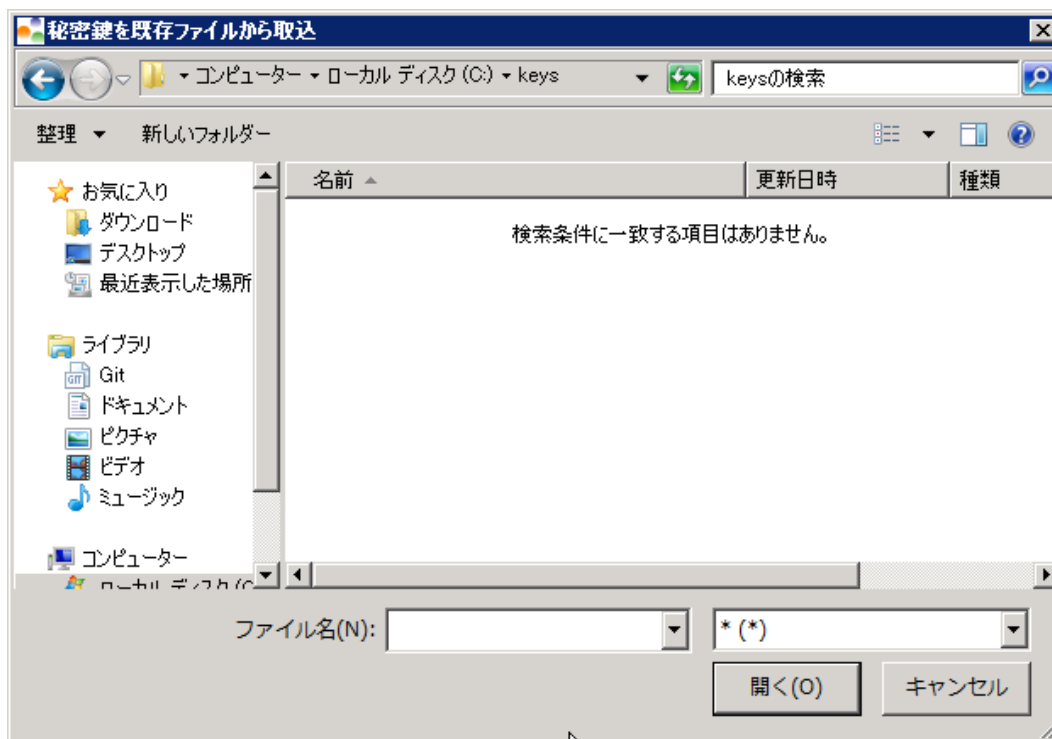
国 (Country Name)

期限日数

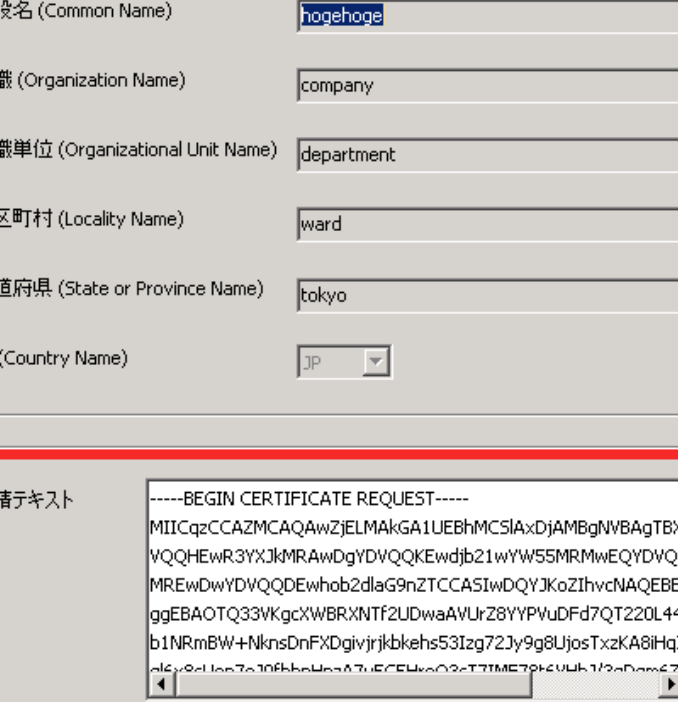
☒ 秘密鍵を自動生成する

作成 閉じる

- 4) 既存の秘密鍵をインポートする場合はここで、秘密鍵を指定してください。



- 5) SSL証明書発行ベンダー（レジストラ）への証明書発行の申し込みのときに、この申請テキストが必要です。
- 申請テキストは、あとから管理ツールで再表示できます。
- RSA秘密鍵は2048bitで作成されます。



証明書申請

一般名 (Common Name)

組織 (Organization Name)

組織単位 (Organizational Unit Name)

市区町村 (Locality Name)

都道府県 (State or Province Name)

国 (Country Name)

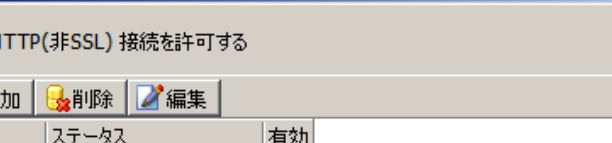
申請テキスト

```
-----BEGIN CERTIFICATE REQUEST-----
MIIQcQZCCAZMCAQAwZjELMAkGA1UEBhMCIAxDjAMBgNVBAgTBX
VQhEwR3YXJkMRAwDgYDVQQKEwdjb21wYW55MRMwEQYDVQK
MREwDwYDVQQDEwhob2dlaG9nZTCCASIwDQYJKoZIhvcNAQEB
ggEBAOTQ33VKgcXWBRXNTf2UDwaAVUrZ8YYPVuDFd7QT220L44
b1NRmBW+NknsDnFXDgivrjkbkehs53Izg72Jy9g8UjosTxzKA8iHqI
d6y8dJen3e30f6b6HaaA7u5CEHuoQ2eT7IME7pt6VUk1/3eDm6Z
-----
```

閉じる

## 2. サーバー証明書の登録

- 1) レジストラから証明書を受け取り後、登録されたサーバー証明書を選択して証明書内容の登録画面を開きます。



SSL設定

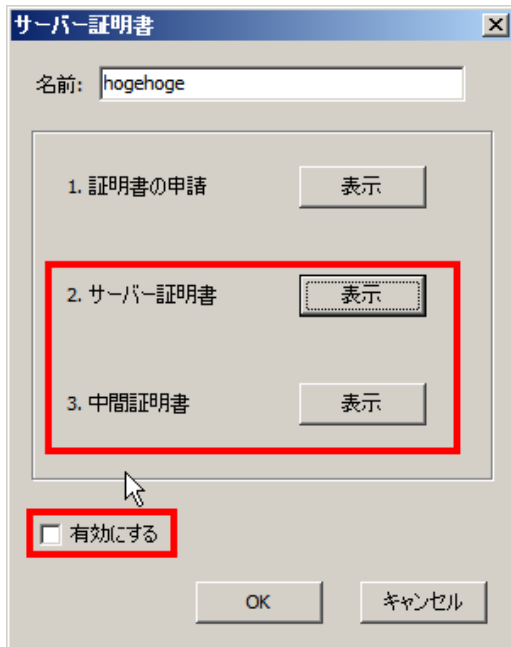
☒ HTTP(非SSL) 接続を許可する

追加 削除 編集

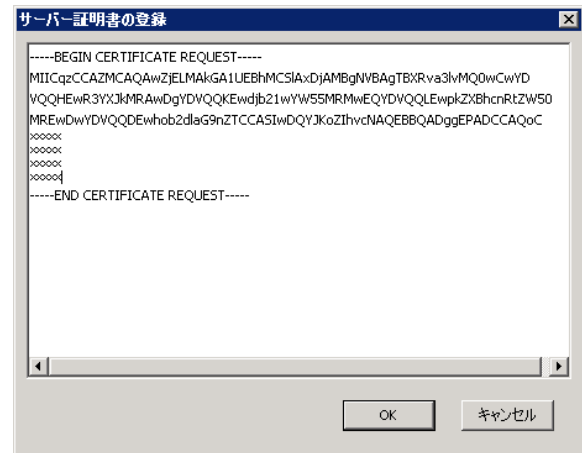
名前	ステータス	有効
hoge	サーバー証明書が未登録	

- 2) 「サーバー証明書」中間証明書」の登録ボタンを選択して証明書内容を入力します。





有効にする」にチェックを入れます



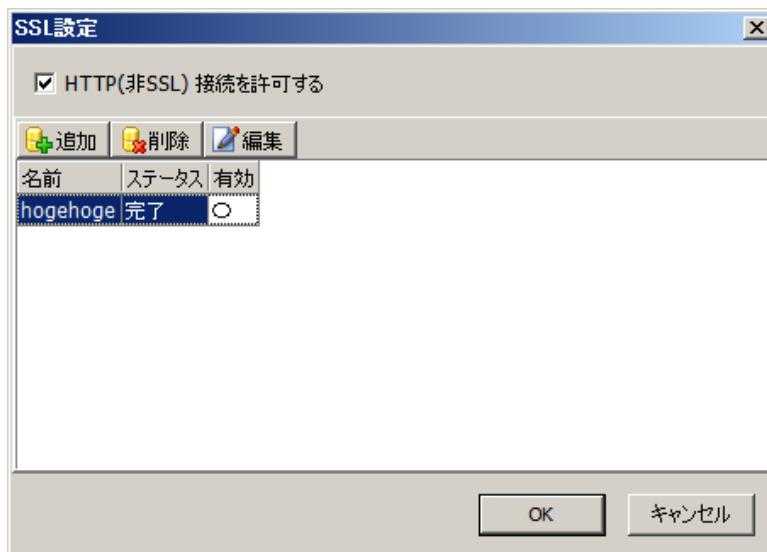
### 3. サービスを再起動する

- 1) HTTP接続の許可 拒否を選択します。

「HTTP(非SSL)接続を許可する」のチェックを外すことで、https接続のみを許可することができます。

通常は、http://SeverName/ExaPad での接続をできないようにするためチェックを外しておきます。

- 2) OKをクリックし、WEBサービスを再起動します



#### 4. 接続確認

- 1) Webブラウザで、https://SeverName/ExaPad にアクセスして接続できるか確認します。
- 2) HTTP接続を拒否にした場合は念のため、http:// が接続不可になっているか確認してください。

### 備考

管理ツールで設定した情報は、C:\ProgramData\ExaPad3.0\ssl に保存されています。

## 5.16. 自己署名証明書の作成

1

### 概要

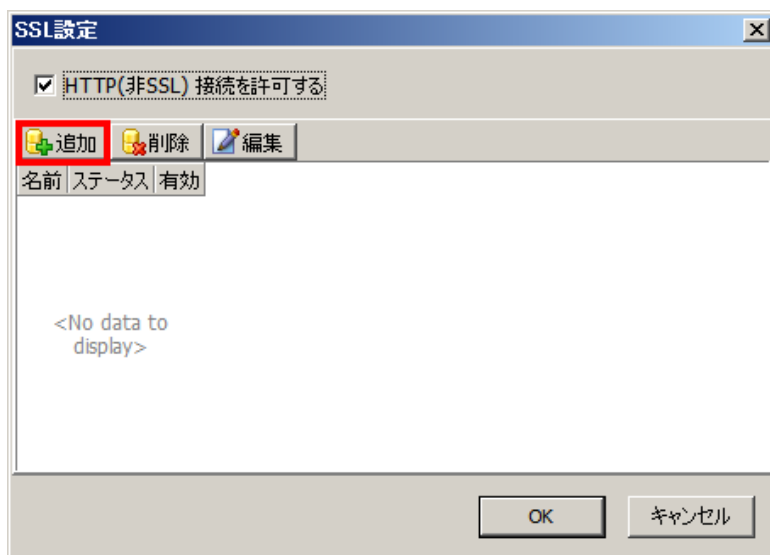
SSL自己署名証明書の作成方法の説明です。

本機能は、ExaPad3.5.1.\*より追加されました。

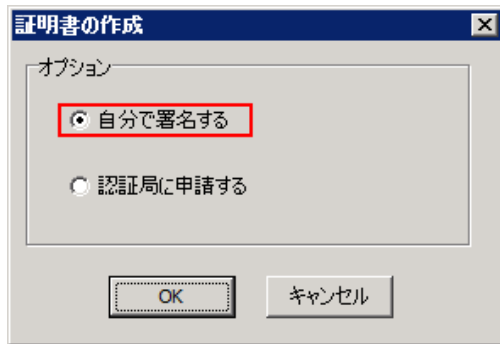
### 設定

#### サーバー証明書の申請

1. 管理ツール > 高度な設定 > サーバー証明書 を開きます。  
追加」を選択します。



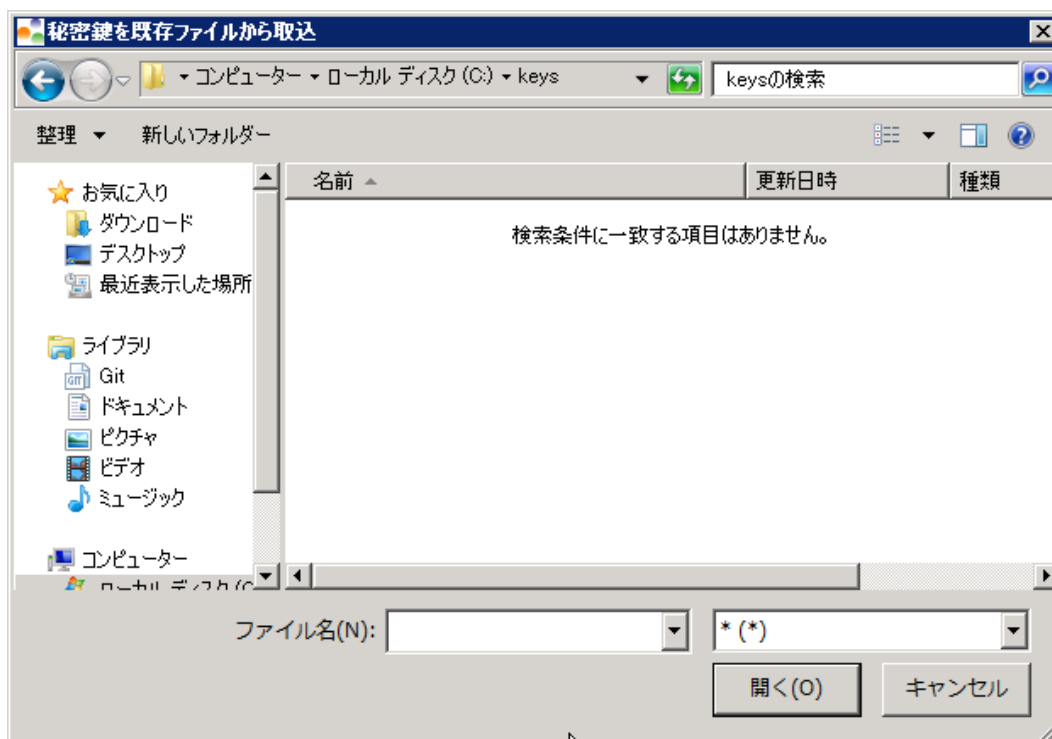
2. 自分で署名するにチェックを入れます。



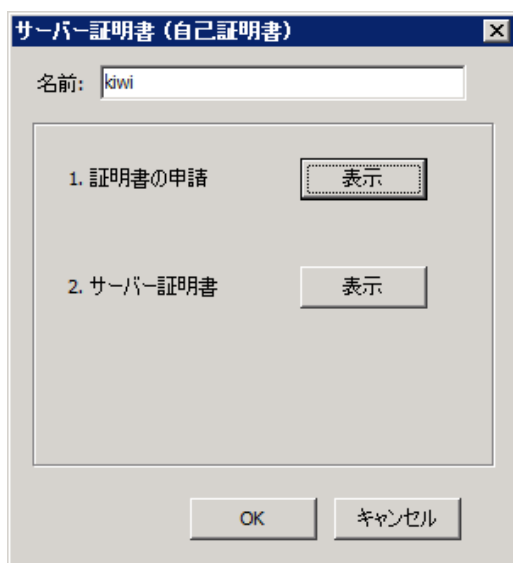
3. 項目にサーバー証明書の申請内容を入力します。

既存の秘密鍵をインポートする場合は、秘密鍵を自動生成するのチェックを外し、作成を選択します。

4. 既存の秘密鍵をインポートする場合はここで、秘密鍵を指定してください。



5. 以上で証明書が作成されます。



作成された証明書を使ってSSL通信する場合は、クライアント側のブラウザに証明書をインポートする必要があります。

## 5.1 ファイル一覧の並び順を固定する

7

### 概要

ExaPadVersion 3.7.0から、ファイルの一覧画面における並び順を固定する機能が追加されました。

## 設定方法

- システム設定 > 基本設定 > Webアプリ > その他 を開きます。
- 各パラメータを設定します。
- 「保存する」ボタンを選択し、サービスを再起動すると設定が反映されます。

## パラメータの説明

パラメータ名	意味
filelist_scan_sortdescending	ファイル一覧(検索結果でない)における標準並び順の昇降順の設定。OFF = 昇順
filelist_scan_sortfield	ファイル一覧(検索結果でない)における標準並び順フィールドの設定。 name,size,date,typeのいずれかを指定します。
filelist_scan_sortfix	ファイル一覧(検索結果でない)における標準並び順を固定する設定。OFF = 非固定
filelist_search_sortdescending	ファイル一覧(検索結果)における標準並び順の昇降順の設定。OFF = 昇順
filelist_search_sortfield	ファイル一覧(検索結果)における標準並び順フィールドの設定。name,size,date,typeの いずれかを指定します。
filelist_search_sortfix	ファイル一覧(検索結果)における標準並び順を固定する設定。OFF = 非固定

## 設定例：一覧画面の並び順を更新日時の新しい順に固定する

- filelist\_scan\_sortdescending: ON
- filelist\_scan\_sortfield: date
- filelist\_scan\_sortfix: ON
- filelist\_search\_sortdescending: ON
- filelist\_search\_sortfield: date
- filelist\_search\_sortfix: ON

## 5.1 デフォルトの表示形式を変更する

8

### 概要

ExaPadVersion 3.8.0から ファイルの一覧画面におけるデフォルトの表示形式を変更する機能が追加されました。

表示形式をユーザーが変更した場合はブラウザのCookieに状態が保存されそちらが優先されます

## 設定方法

- システム設定 > 基本設定 > Webアプリ > その他 を開きます。
- 各パラメータを設定します。
- 「保存する」ボタンを選択し、サービスを再起動すると設定が反映されます。

## パラメータの説明

パラメータ名	意味
filelist_scan_viewwid	ファイル一覧(検索時でない)のデフォルトの表示形式フィールド。thumbnails,card,detailsのいずれかを選択できます。ブラウザ上で最初に表示形式を変更するまでのデフォルトの表示形式です
filelist_scan_viewwid_mobile	モバイル端末におけるファイル一覧(検索時でない)のデフォルトの表示形式フィールド
filelist_search_viewwid	ファイル一覧(検索時)のデフォルトの表示形式フィールド。thumbnails,card,detailsのいずれかを選択できます。ブラウザ上で最初に表示形式を変更するまでのデフォルトの表示形式です
filelist_search_viewwid_mobile	モバイル端末におけるファイル一覧(検索時)のデフォルトの表示形式フィールド
filelist_searchname_viewid	ファイル一覧(ファイル名検索時)のデフォルトの表示形式フィールド。thumbnails,card,detailsのいずれかを選択できます。ブラウザ上で最初に表示形式を変更するまでのデフォルトの表示形式です
filelist_searchname_viewid_mobile	モバイル端末におけるファイル一覧(ファイル名検索時)のデフォルトの表示形式フィールド

**Part**

---

**VI**

## 6 仕様

### ExaPad使用上の注意

#### 有効なファイル名について

- ExaPadは、ファイルやフォルダをWindowsのファイルシステムに保存しています。
- ExaPadを使うにあたり次の制限があります。
  - ファイル名、パス名の長さ制限はありません。
  - ただし、長いファイル名（文字数259文字、文字長512バイトを超えるファイルパス）を持つファイルの場合、プロパティ変更などの一部機能が制限されます。
  - ファイル名が長すぎる場合、全文検索やサムネイル表示を行えない場合があります。

ファイルから抽出した検索用テキストや、プレビュー画像を保存に使用されるファイル名にも同様の制限があり、元のファイル名が長すぎるとプレビュー保存フォルダ（拡張領域フォルダ）に保存することができません。この場合、プレビュー保存フォルダの場所を短いパス名のフォルダに変更するなどの措置が必要です。

#### ユーザー数の制限

- ExaPadにログインできるユーザー数には制限があります。
- ユーザー数は、「同時アクセスユーザー数」ではなく「累積ユニークユーザー数」を基準に制限されます。
- ユーザーライセンスが10ユーザーの場合、ExaPadサーバーを起動してから、新しいユーザーが1人ログインするごとに、ログインできるユーザー数の残数が1ずつ消費され、11人目のユーザーのログインが拒絶されます。ただし、同じログイン名のユーザーによる繰り返しログインは「新しいユーザーのログイン」として扱われません。

#### ExaPadサービス起動中の電源操作

- ExaPadサービス起動中は、サーバーの電源をスタンバイや休止状態にしないでください。
- ExaPadは、原則として24時間稼働のサーバー機で動作することを前提に設計されています。
- Fb3Indexerサービスを稼働しているマシンではファイルやフォルダの変更を常時監視しているため、インデックス更新中にスタンバイや休止状態になると、インデックス更新に漏れが生じたり、インデックスが壊れたりする場合があります。（マシンによって休止状態の動作が異なり問題ない場合もあります。）
- 評価目的などで一時的にノートPCや個人PCにインストールされる場合には、スタンバイや休止状態にする前にFb3Indexerを停止してください。（Fb3Indexerを停止すると、全文検索エンジンのプロセスも自動的に停止され、検索インデックスのディスク同期が安全に行われます。）

### 6.1 動作環境

#### サーバー

- OS : Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2
  - 32bit / 64bit に対応しています。



- ユーザー数分のWindows CALが必要です。
- 評価利用環境として、Windows Vista / 7 / 8.1 / 10 でも稼働します。
- CPU : Core i3 / XEON の最新世代マルチコアCPUを推奨します。(詳細はお問い合わせください。)
- メモリ : 4GB 以上
- ハードディスク容量 :
  - プログラム容量は600MBの空き容量を必要とします。
  - 運用には1GB 以上の空き容量を必要とします。
  - 空きディスク容量は対象のデータ件数およびファイルサイズにより大きくなります。(詳細はお問い合わせください。)
- ❖ ファイル登録時のプレビュー画像作成は、印刷処理と同じくらい重い処理のため、快適な利用にはマルチコア CPU と大容量メモリの搭載を推奨します。
- ❖ Windows OS 以外に、SQL データベースや全文検索エンジン他のプログラムのインストールは必要ありません。必要な次のアプリケーションは、ExaPadのインストール時に一緒にインストールされます。
  - Java ランタイム
  - Jetty
  - .Net Framework2.0 (Version 3.3.2以降 Net Framework2.0がインストールされていない環境には導入できません。)
  - 全文検索エンジン : Apache Solr
    - ✓ Word、Excel、PowerPoint のプレビュー画像作成には、Net Framework 3.5 (2.0を包含するバージョン) が必要です。
    - ✓ Windows Server 2012 では、NET Framework 3.5 が標準で無効になっているため有効化する必要があります。( NET Framework 4, 4.5 は不可。)
    - ✓ Excel形式の一覧出力を行うには、NET Framework 3.5のインストールが必要です。
    - ✓ サーバーの画面の色数は、16ビット以上を設定してください。ExaPadで表示されるサムネイルやプレビュー画像の色数に影響します。
- ❖ Windowsドメイン環境で運用する場合には、あらかじめインストール先のサーバーをドメインに参加させておいてください。

## クライアント

### PC

- ブラウザ : InternetExplorer 10以降、Microsoft Edge、Safari、Firefox、Chromeの最近のバージョン。
  - InternetExplorer 6, 7, 8 はサポート対象外です。(IE9は2017年4月に対象外になります。)
  - 64bit版の"ブラウザ"では、直接ファイルオープン機能は動作しません。(ブラウザは、64bit OSでも32bit版が大多数を占めています。)
- 本体 : 上記ブラウザが動作可能な機器
  - Firefox、Chromeは、なるべく最新のものを推奨します。
  - Firefoxは、Windows版のみ対応しています。Mac版では一部の機能が動作しない可能性があります。
  - Safariでは、一部の機能が制限されます。(ファイルのアップロード時に同時に選択できるファイル数に制限があるなど。)
  - 直接ファイルオープン機能用のExaPad Clientは、Windows OS の PC のみに対応します。

## モバイル

- ブラウザ : Safari / Android標準ブラウザ /Chrome
- 本体 : iPhone / iPad / Android端末各種

## Internet Explorerのサポート

ExaPadのInternet Explorerへのサポート対応は、基本的にMicrosoft社のサポート期限に準じます。

Window OS	IEバージョン	サポート期限
Vista	IE 9	2017年4月12日
7	IE 11	2020年1月15日
8.1	IE 11	2023年1月23日
10	IE 11	2025年1月15日
Server 2008 R2	IE 11	2020年1月15日
Server 2012	IE 10	2023年1月11日
Server 2012 R2	IE 11	2023年1月11日

### 6.1.1 推奨ハード構成

#### 必要ハードウェア

- 上段 : CPU / 下段 : メモリ ( Disk容量は、おおよその目安ですが、ファイルサーバー容量の10%~30%が必要となります。 )
- 文書の更新頻度が低 (参照中心に使う場合は、1~2ランク下げても良いかもしれません。)

	文書数	20万 文書	30万 文書	50万 文書	100万 文書	200万 文書	300万 文書	400万 文書	500万 文書	700万 文書	1000万 文書	2000万 文書	3000万 文書	5000万 文書
	Disk容 量	250GB	250GB	250GB	300GB	300GB	500GB	500GB	500GB	1TB	1TB	2TB	2TB	2TB
ユーザー数														
10 ユーザー		2core×1 4GB	4core×1 4GB	4core×1 4GB	4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB
30 ユーザー		4core×1 4GB	4core×1 4GB	4core×1 4GB	4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB
50 ユーザー		4core×1 4GB	4core×1 4GB	4core×1 4GB	4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB
80 ユーザー		4core×1 4GB	4core×1 4GB	4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB
100 ユーザー		4core×1 4GB	4core×1 4GB	4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB
150 ユーザー		4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB

200 ユーザー		4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB
300 ユーザー		4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB
500 ユーザー		4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB
700 ユーザー		4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×1 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB
1000 ユーザー		4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB
1500 ユーザー		4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB
2000 ユーザー		4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB
3000 ユーザー		4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB
5000 ユーザー		4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 8GB	4core×2 12GB	4core×2 12GB	4core×2 16GB	4core×2 16GB	6core×2 24GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB	6core×2 32GB

## 6.2 全文検索対応形式

ExaPadの全文検索エンジンはUnicodeに対応しています。

Microsoft OfficeなどUnicode対応ドキュメントについては日本語・英語に限らず、世界中の言語・文字コードの文書を検索可能です。

ただし、各国別文字コードで記入されたテキストファイルなどについては、正しく検索されないことがあります。

### 全文検索対応およびテキストビューワが対応するファイル形式

拡張子	説明
.rtf	リッチテキスト
.docx, docm	Microsoft Word 2007/2010/2013
.xlsx/.xlsm/.xlsb	Microsoft Excel 2007/2010/2013
.pptx/.pptm	Microsoft PowerPoint 2007/2010/2013
.doc	Microsoft Word ver5.0/95/97/2000/XP/2003
.xls	Microsoft Excel ver5.0/95/97/2000/XP/2003
.ppt	Microsoft PowerPoint 97/2000/XP/2003
.vsd	Microsoft Visio 2003/2007/2010
.sxw/.sxc/.sxi/.sxd	OpenOffice.org
.odt/.ods/.odp/.odg	Open Document
.jaw/.jtw	一太郎 ver5
.jbw/.juw	一太郎 ver6
.jfw/.jvw	一太郎 ver7
.jtd/jtt	一太郎 ver8/9/10/11/12
.oas/.oa2/.oa3	OASYS/Win
.bun	新松 松5/松6

.wj2/.wj3/.wk3/.wk4/.123	Lotus 123
.wri	Windows3.1 Write
.pdf	Adobe PDF
.ai	Adobe Illustrator
.mht	Webアーカイブ
.html	HTML
.eml	OutlookExpress のエクスポート形式
.txt	テキストファイルなどの ASCII 形式ファイル
.dxf/.dwg/.dwf	AutoCAD 図面
.svg	SVG(Scalable Vector Graphics) ファイル
.msg	Microsoft Outlook メッセージ形式ファイル
.ibooks	電子書籍 iBooks
.md	Markdown

- 旧バージョンからバージョンアップする場合、ExaPadの新しいバージョンで全文検索対象に追加されたファイル形式は、バージョンアップ後に手動で検索対象ファイル種類に追加しないと検索できません。

画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > ファイル種類 > 全文検索対象 に拡張子を追加してください。

- 全てWindows OSのマシンで作成されたファイルが前提です。
- 一部のPDF ファイルや表に記載されているファイル形式でも、全文検索できないファイルが存在する可能性があります。
- 暗号化されたファイルはテキスト抽出できません。
- TXT形式以外でも、ASCII形式のファイルは全文検索できます。

画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > ファイル種類 > テキスト形式 (ascii) を参照してください。

- Microsoft Outlookメッセージ形式ファイル (msg) のテキスト抽出には、IFilter のインストールが必要です。
- Ver 3.3.2以降から Microsoft Visio の全文検索を行うFilter のインストールが不要になりました。

## オプションで対応可能なファイル形式

拡張子	説明
.xdw .xbd	XEROX Docuworks 文書 1
.jww .jwc	Jw_cadファイル 2

1 XEROX DocuWorks 6.1 以降の製品版を、ExaPadサーバ環境にインストールする必要があります。

アプリケーション (テキスト、付箋) の全文検索には、Ver 3.4.0以降で対応しています。

2 Ver 3.4.0以降で対応しています。

JacConvert のライセンスが別途必須です。詳しくは弊社までお問い合わせください。

## 6.3 画像プレビュー対応フォーマット

ExaPadでは次のファイル種類のサムネイル表示やプレビュー表示に対応しています。専用のビューワーなどは必要ありません。

### プレビュー画像作成に対応するファイル形式

種類	拡張子	説明
単ページ画像	BMP GIF JPEG JPG PNG	一般的なラスター画像 (Web・デジタルカメラ)
	ICO	アイコン
単ページ図形	EMF WMF	Windows メタファイル
複数ページ画像	TIF TIFF	TIFF 画像 ( スキャナ FAX 形式 )
デジタルカメラ RAW画像形式	ARW SR2	ソニー
	CRW CR2	キヤノン
	DCR	コダック
	DNG	Adobe
	MRW	ミルタ
	NEF	ニコン
	ORF	オリンパス
	PEF	ペンタックス
	RAF	富士フイルム
複数ページ PDF	PDF	Adobe Acrobat
オフィス文書 (Office97以降)	PPT PPTX	Microsoft PowerPoint

	PPTM PPS PPSX PPSM	
	DOC DOCX DOCM	Microsoft Word
	XLS XLSX XLSM XLSB	Microsoft Excel
図面	VSD	Microsoft Visio
	M3D	3D オフィスデザイナー , 3D マイホームデザイナーファイル
テキストファイル	TXT XML HTML MHT	テキストファイル、WEB ページ、Web アーカイブファイル
電子書籍	IBOOKS	Apple iBooks サムネイルがあるもの
動画ファイル	FLV MP4 AVI MOV ASF RM WMV OGV MPEG MPG	別途 ffmpeg.exe が必要です。  対応フォーマットは「Ffmpegがデコード可能な動画コーデックで構成されたファイルフォーマット」になります。列挙されたファイル以外で対応可能なファイルフォーマットもあれば、特殊なコーデックを使った動画の場合は、対応フォーマット一覧にあっても対応できないケースもあります。

### オプションで対応可能なファイル形式

種類	拡張子	説明
DocuWorksファイル	XDW	富士ゼロックス DocuWorks 文書。 XEROX DocuWorks 6.1

	XBD	以降の製品版を、ExaPad サーバ環境にインストールする必要があります。
CAD 図面	DXF DWG DWF SVG HPGL CGM PLT	AutoCAD、プロッタファイル  Ver.3.3以降、AutoCAD 2013に対応しました Ver3.3.2以降、SHXフォントに対応しました
DTP関連ファイル	PSD AI INDD EPS	Adobe PhotoShop Adobe Illustrator Adobe InDesign (TIFF プレビューが必要など一部制限あり)
Jw_cadファイル	JWW JWC	Jw_cad図面ファイル (JacConvert のライセンスが別途必要)

## オフィス文書（パワーポイント、ワード、エクセル）のプレビューに関する注意

- ファイル中に埋め込まれたOLEオブジェクト、たとえばPowerPoint ファイルに埋め込まれたExcelワークシートなどは、正確にプレビューできない場合があります。
- Wordアートなどはプレビューできない可能性があります。
- Word、Excelファイルのプレビュー画像・サムネイル画像の生成には、文書の全ページを印刷するのと同等の処理時間が必要です。
- 対象のファイル数が膨大な場合、全ファイル・全ページのプレビュー作成には長期の時間が必要です。
- プレビューの作成は、フォルダ毎・ファイル種類ごとに、作成の有無を選択できます。

## 動画プレビュー作成に関するおことわり

- ExaPadの動画プレビュー画像生成機能は、オープンソースの動画コンバーター FFmpeg に依存して実現します。
- FFmpeg および組み込まれる各種コーデックについては、それぞれに知的所有権の権利者が存在します。
- 配布や利用の許諾条件についてはお客様ご自身でご了承のうえ、自らの責任においてFFmpeg をご導入・ご利用してください。
- 弊社では、ExaPadがFFmpeg を適切に呼出するための設定方法についてサポートいたしますが、動画ファイルのプレビュー作成を含むFFmpeg自体の動作については、一切の保証をいたしかねます。
- FFmpeg および各種コーデックの使用許諾についても弊社は関知いたしません。

## CADファイルのプレビューについて

- CADファイルの拡大プレビューは背景が透過されるため、[こちら](#)をご参考に、お使いのCAD環境に合わせてビューワーの背景色を変更してください。

- ExaPadのVer 3.3.2以降、SHXフォントに対応しました。そのままでは有効にならないため、[こちら](#)を参考に設定してください。
- ExaPadのVer 3.7.0以降、PDFプレビューに対応しました。そのままでは有効にならないため、[こちら](#)を参考に設定してください。

### その他の注意

- プレビュー作成は、ファイルの拡張子から判断して行われています。Windows以外で作成されたファイルで拡張子が与えられていないファイルなどはプレビューを作成できません。また、一部ファイルについては、サムネイルやプレビューの作成の失敗、レイアウトが元のファイルと一致しないなどの場合があります。
- Word, Excel, PowerPoint, Visio から画像を抽出する場合には、Net Framework3.5（2.0を包含するバージョン）が必要です。
- AI ファイルについては、PDF形式で保存されたAI ファイルのみプレビューが可能です。
- 暗号化されたOffice文書や、PDFなどは画像プレビューできません。

## 6.4 データ領域とバックアップ対象

### データ領域について

ExaPadでは大きく以下の3つのデータ領域を使用します。

- ドキュメント領域：                      管理対象の文書を格納する領域です。  
通常、Windows NTFS ファイルシステムで、ファイルサーバーの共有フォルダとしてそのまま併用することが可能です。
- 全文検索インデックス領域：                      検索を高速にするために使用する索引データ領域です。
- ファイル拡張データ領域：                      ファイルのサムネイル・プレビュー画像および、ファイルから抽出したテキストを保持する領域です。

### ドキュメント領域（ドキュメントルート）

ExaPadが管理するデータ本体です。

- バックアップの必要性：                      あり（ファイルサーバーのバックアップ）
- 保存場所：                                      DocumentRoot（ドキュメントルートフォルダ）

### 全文検索インデックス

高速にファイル名検索、全文検索を行うために生成されたデータです。

- バックアップの必要性：                      なし（ドキュメントルートのデータから再構成可能です。）
- 保存場所(標準値)：                              C:\ProgramData\ExaPad\_data\SearchIndex

### ファイル拡張データ



WordやExcelなどのバイナリファイルやHTMLなどのテキストファイルから 表示可能な文字列を抽出してこの領域に保存しています。  
プレビュー画像・サムネイル画像も、この領域に格納されます。

- バックアップの必要 : なし (ドキュメントレートのデータがあれば 再構成可能です。)
- 保存場所 (標準値) : C:\ProgramData\ExaPad\_data\Preview (プレビュー保存フォルダ)

**Part**

---

**VII**

## 7 バージョンアップに関する重要な情報

ExaPadのバージョンアップによって生じる、重要な変更点についてお知らせします。

### 7.1 バージョンアップに関する注意事項

#### バージョンアップについて

ExaPad のプログラムは、機能の改善および追加などにより随時更新され、最新版として公開されます。

重要な更新・変更のある場合には、お客様にEメールでお知らせしております。

#### バージョンアップの権利を保有するお客様

- ExaPad 売り切りライセンスをご購入され、年間保守サービスの期間内のお客様
- ExaPad 年間ライセンス（期限付きライセンス）をご利用中のお客様（年間契約ライセンスには、年間保守サービスが含まれています。）

#### バージョンアップに必要な、ライセンスおよびライセンスファイル

##### ライセンスファイルの入れ替えについて

- Ver.3.x から Ver.3.y にバージョンアップする場合は、ライセンスファイルの入れ替えが必須です。
- Ver.3.x.x から Ver.3.x.y にバージョンアップする場合は、ライセンスファイルの入れ替えは不要です。
- ライセンスファイルについての詳細は、[こちら](#)をご覧ください。
- ライセンスファイルについて、ご不明な点はサポート窓口までご連絡ください。

#### 現在稼働中の ExaPad バージョンの確認方法

1. 管理者として、ExaPad にログインします。
2. 画面下部のシステム設定 > システム状態 > 稼働状況の確認 を開きます。
3. ExaPad バージョン番号 を確認してください。

基本環境	サーバーOS	Windows Vista or Windows Server 2008
	バージョン番号	3.2.2.225
	CPU	ベンダ名 GenuineIntel

#### バージョンアップ後に設定の変更が必要になるケース

ExaPad Ver.3.3（2013/12/20リリース）より古いバージョンからバージョンアップを行った場合

- 全角1文字キーワードでの全文検索、半角文字列をアンダースコア(\_)で分割したキーワードでの検索
  - 画面下部のシステム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > Solr ( 検索エンジン ) を開きます。
  - 「インデックスプレート( zip ) 」を「nit\_solr\_uni\_zip」に変更します。
  - 検索インデックスの初期化と再構築を実行します。
- 定期実行タスク( クロール処理、パージ処理 ) を登録している場合
  - Windowsのタスクスケジューラの登録を削除するか、ExaPad管理ツールのタスクスケジューラを削除してください。
  - ExaPadに新しく実装されたスケジューラが、バージョンアップ時に「有効」になっています。

#### ExaPad Ver.3.2.2 (2013/04/09リリース) より古いバージョンからバージョンアップを行った場合

- 1文字キーワードでのファイル名検索に対応させるには、検索インデックスの初期化と再構築が必要です。
- 新ユーザーインターフェイスへ切り替えるには設定の変更が必要です。( 新規インストールの場合は不要です。 )  
設定方法は [Ver.3.2.2 - 新UIの実装と仕様変更](#) をご覧ください。

#### ExaPad Ver.3.0 (2010/09/29リリース) より古いバージョン( Ver.2.3.0など) をご利用中のお客様

新しいバージョンは、Unicode 対応により検索インデックスの形式が変わるため、インデックスの再構築が必要です。

#### ExaPad Ver.3.1.7.4 (2012/03/29リリース) より古いバージョンをご利用中のお客様で、Apache の環境を変更している場合

弊社サポートまでお問い合わせください。

## バージョンアップの手順

### ライセンスファイルの確認

バージョンアップ前に、ライセンスファイルの入れ替えの必要性について確認をしてください。

ライセンスファイルのバージョンが合わない場合は、インストーラ時に次のようなメッセージが表示されます。

-----  
無効なライセンス

新しいバージョンのライセンスファイルをご請求ください  
-----

この場合、新しいライセンスを適用するまでインストーラの実行を先に進めることができません。

新しいライセンスファイルを手入手して適用を行ってから、インストーラを実行してください。

新しいライセンスファイルは、インストール途中の「無効なライセンス」画面からも適用することができます。

### インストーラの実行

最新のインストーラを手入手して実行してください。

バージョンアップ時は、データのバックアップは必要ありません。

バージョンアップ時は、新規インストール時とは違い、各種設定項目はそのまま引き継がれます。

#### 3.5.1.1以降へのバージョンアップ時にアクティベーションが必要

アクティベーションが済んでいない場合は、インストール中にアクティベーションを促す画面が表示されます。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

## 7.2 追加・変更された機能一覧

### 各リリースで追加・変更された機能

ExaPad Ver.3.2.2以降に、各バージョンで追加・変更された機能の一覧です。

#### 2017/01/26 ver.3.8.0.2

- 新機能
  - 内部で使用しているWebサーバーがApache HTTP Serverからアプリケーションサーバー一体の独自Webサーバーへ変更されます。詳しくは[こちら](#)へ
  - デフォルトの表示形式を変更できるようになりました。詳しくは[こちら](#)へ
  - 特定のフォルダを検索対象外（検索対象除外パス）に設定できるようになりました。詳しくは[こちら](#)へ
  - Google Chromeにてフォルダのドラッグ&ドロップによりファイルのアップロードができるようになりました
  - MHTファイルの閲覧ができるようになりました。 javascriptが使用されているmhtファイルなど一部のファイルは表示できません
- 変更点
  - SSI設定にて複数の証明書を有効にすることができるようになりました。詳しくは[こちら](#)へ
  - Ver3.7.0にて無効化されていた統合Windows認証が使用可能になりました。詳しくは[こちら](#)へ
  - DWGファイルにおいて、コントロールコードの検索ができるようになりました
  - Microsoft Wordファイルのプレビューファイルに変更履歴が埋め込まれなくなりました
  - Microsoft Excelファイルのプレビューファイルに非表示タブが埋め込まれなくなりました

#### 2016/11/17 ver.3.7.0.12

- 新機能
  - ユーザーインターフェース(UI)を刷新して使い勝手をより良くしました
  - md(Markdown)ファイルの閲覧/編集に対応しました
  - Acrobat Readerを使わずにPDFファイルをプレビューできるようになりました
  - CADファイルをPDF形式でプレビューできるようになりました
  - ログイン画面のユーザー名入力ボックスのヒントを非表示にできるようになりました。システム設定 > 基本設定 > Webアプリ > その他 > [hide\_userid\_hint\_in\_login] をONに設定してください
  - ファイル一覧において並び順を固定できるようになりました
  - ファイルやフォルダにタグ(ExaPad独自のメタ情報)を付加できるようになりました
- 不具合修正

- 管理ツール > サーバー証明書 設定画面の幅が狭くならない不具合を修正しました
- フォルダパス(breadcrumbs) やフォルダツリーにて「一覧出力」右クリックメニューが表示されない不具合を修正しました
- 変更点
  - 統合Windows認証 機能を一時的に無効化します
  - 他の人が追加したコメントは削除できなくなりました
  - 「新しいテキスト」「新しいメモ」にてファイル作成時に、更新者と作成者を保存するようにしました

#### 2016/09/29 ver.3.6.1.6

- 新機能
  - ファイルのクリック時にfileスキーム(file:///\*\*\*\*) でファイルを開けるようになりました
- 不具合修正
  - インデクサーのクローल時に、アクセスできないフォルダがあるとクローल処理が停止してしまう不具合を修正しました。これはVer3.5.1.1から含まれる不具合です
  - ショートカットファイル(\*.lnk) が開けられない不具合を修正しました。これはVer3.6.0.1から含まれる不具合です
- 変更点
  - ポータルページにおいて検索ボックスのデフォルトの表示状態を変更できるようになりました。システム設定 > 基本設定 > Webアプリ > その他 > [show\_searchbar\_in\_portal] を設定してください

#### 2016/07/07 ver.3.6.0.1

- 新機能
  - 環境設定をWebブラウザから変更できるようになりました
  - ドラッグ&ドロップでファイルをアップロードできるようになりました
  - ExcelファイルをHTMLプレビューする時の最大行数を変更できるようになりました。システム管理 > 高度な設定 > その他全設定項目(config.ini) > [xls\_max\_rowcount] を設定してください
  - テキスト抽出するファイルのサイズ上限を拡張子毎に変更できるようになりました。システム管理 > 高度な設定 > その他全設定項目(config.ini) > [max\_extract\_text\_file\_size\_kb\_extlist] を設定してください
  - HTMLファイルプレビューにおいて電話番号リンク(href="tel:電話番号)を使用できるようになりました
- 不具合修正
  - ログイン時のパスワードをWebブラウザに記憶できない不具合を修正しました
  - ファイルのタイムスタンプを過去日付に戻した場合に、検索インデックスに反映されない不具合を修正しました
  - ドキュメントレートが一つの場合に、そのドキュメントレートの隠し属性を割り当てても中身を一覧できてしまう不具合を修正しました
- 変更点
  - ドキュメントレートのエイリアス名は省略できなくなりました
  - ドキュメントレートが1つの場合でも必ずトップが表示されるようになりました
  - 初回インストール時に使用していた初期化ウィザードが廃止されました

#### 2016/02/29 ver.3.5.1.1

- 新機能
  - ファイルのパスを直接入力できるようになりました

- ファイルリストとフォルダツリーにて、Windowsエクスプローラーと同様のキーボード操作でファイルが閲覧できるようになりました
- ExaPad管理者パスワードをクリアすることができるようになりました
- アップロード可能なファイルの拡張子を制限できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [uploadable\_extlist]に拡張子をカンマ区切りで指定してください
- 直接オープンインストール画面をカスタマイズできるようになりました
- SSLの自己署名証明書を作成することができるようになりました
- 不具合修正
  - ファイル名検索において半角スペースを含むファイルがヒットしない不具合を修正しました
  - iOS9 Safariにおいて画像の全画面表示時にソルバーが表示されない不具合を修正しました
  - ログイン時にWindowsアカウントのパスワード変更ができない不具合を修正しました
  - Internet Explorerにおいてファイル検索でヒットしたExcelファイルを開覧時にページを切り替えるとファイル検索条件がクリアされてしまう不具合を修正しました
  - webtempdirに設定されている一時フォルダのリフレッシュが実行されない場合がある不具合を修正しました
- 変更点
  - アクティベーション(ライセンス認証)が必要になりました
  - Internet Explorer8がサポート対象外ブラウザになりました
  - Microsoft Edgeがサポート対象ブラウザになりました
  - Windows8.0がサポート対象外OSになりました。Windows8.1は引き続きサポート対象となります
  - ExaPadが使用するApache, Java, Jettyのバージョンを最新化しました。(Apache=2.2.31, Java=8.0.740.2, jetty=9.3.6.v20151106)
  - adminusers/admingroupsが指定されてかつExaPad管理者パスワードが設定されていない場合に、管理者でないユーザーは管理者メニューが表示されなくなりました
  - Javaアップローダーの証明書を更新しました
  - Javaアップロード機能の非対応ブラウザにGoogle Chrome, Microsoft Edgeが追加されました

#### 2015/11/26 ver.3.5.0.7

- 新機能
  - ロードバランサーやプロキシサーバー経由でExaPadにアクセスした場合に、本来のクライアント端末のIPアドレスでネットワークアドレス判定ができるようになりました
  - 統合Windows認証ログイン後に、別ユーザーでもログインできるようになりました
- 変更点
  - 「ファイルを表示」にて表示されるファイルのパスを、ドキュメントレトリバパターンを考慮したパスで表示するように変更されました
- 不具合修正
  - 管理ツールにてSolr(検索エンジン)のヒープメモリサイズ(MB)を10000以上に設定できない不具合を修正しました
  - ExaPadと関係のないローカルディスクの残容量警告が出力される不具合を修正しました

#### 2015/11/12 ver.3.5.0.4

- 不具合修正

- Javaアップローダー画面やシステム設定画面において、custom/header.phpがロードされてしまう不具合を修正しました

#### 2015/11/03 ver.3.5.0.3

- 新機能
  - xdoc2txt(全文テキスト抽出コバーター)がUnicode文字を抽出できるようになりました
  - Office文書に定義されたユーザー定義プロパティを全文検索できるようになりました
  - ファイルアップロード時のチャンク(分割)サイズを変更できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [download\_chunksize]から設定できます
  - 変更点
    - URLおよび各種パスの形式が変更されました。バージョンアップの際には影響がありますので必ず事前にご確認 ください
    - ファイル/フォルダの削除を検知した際にその親フォルダをインデックス再構築する仕様が削除されました
- 不具合修正
  - 除外設定(exclude.txt)されているファイルが閲覧画面にて「プレビュー作成中です」と表示されてしまう不具合を修正しました。これはver.3.3.2.59から含まれる不具合です
  - 除外テキスト抽出パス(exclude\_extracttext.txt)に指定されたファイルが検索インデックスに載らない不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4から含まれる不具合です
  - htmlやthtmlファイル内のハイパーリンクがURLエンコードされている場合にリンク先を参照できない不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4から含まれる不具合です
  - リモートフォルダ上のショートカットファイルが開けない不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4から含まれる不具合です

#### 2015/10/19 ver.3.4.1.9

- 変更点
  - フォルダのコピーや移動時に、フォルダ内の一部のファイル・フォルダが原因で中断した場合、そのパスもアクセスログに出力されるようになりました
- 不具合修正
  - 読み取り権限のないドキュメントレートが表示されてしまう不具合を修正しました。これはver3.4.1.1からver3.4.1.5にのみ含まれる不具合です
  - ドキュメントレートまたはそのファイルのコピーや移動時に更新日が継承されない不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4から含まれる不具合です
  - Internet ExplorerにてJavaアップロード完了後にファイル一覧が更新されない場合がある不具合を修正しました

#### 2015/10/01 ver.3.4.1.5

- 不具合修正
  - ファイルやフォルダの削除を検知した際に、その親フォルダがクローलされてしまう不具合を修正しました。これはver.3.4.1.1からver.3.4.1.3にのみ含まれる不具合です

#### 2015/09/17 ver.3.4.1.3

- 変更点



- ツリービュー内のドキュメントレートの順番が五十音順から 管理ツール > 基本設定 > ドキュメントレートに変更されました。ver.3.4.0.4にて五十音順に変更されましたが、ver.3.3.4.19までと同様の表示順になるようにしました
- 不具合修正
  - 管理ツール タスクスケジューラの「インデックス・プレビュー再構築」アクションが実行されない 不具合を修正しました

#### 2015/08/31 ver.3.4.1.1

- 新機能
  - 統合Windows認証に対応しました。Internet Explorerでのアクセス時に自動でログインできるようになります
  - 管理ツールにSSL(https接続)導入支援機能を追加しました
- 変更点
  - Windows XP, 2003のサポートが終了しました。今バージョンから本体および直接オープンクライアントは左記OS上にはインストールできません
  - Webサーバーサービスはlocal system以外のアカウントでは起動できなくなりました
  - 同一ドキュメントレート内のファイルおよびフォルダの移動時に、移動先のWindowsセキュリティ権限が引き継がれるようになりました。従来は移動元のWindowsセキュリティが引き継がれていました
  - 直接オープンクライアントのインストール方法が変更されました
  - "新しいテキスト、新しいメモ、テキスト編集、メモ編集"のいずれかによって保存したファイルの改行コードがLFからCRLFに変更されました。Windowsのメモ帳で開いても改行として表示されるようになります
- 不具合修正
  - テキスト抽出上限サイズの設定値 ( max\_extract\_text\_size\_kb ) が設定値よりも小さいサイズしか抽出されない 不具合を修正しました
  - ドキュメントレートローカルドライブ(C:\やD:\などを指定できない 不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4からver.3.4.0.14にのみ含まれる不具合です

#### 2015/07/02 ver.3.4.0.14

- 新機能
  - ファイル名のソート順を単純な50音順に切り替えられるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [no\_strcmp\_logical]にチェックを入れてください
- 不具合修正
  - ドキュメントレートが1つのみ設定されている場合に、ポータル機能の検索キーワードランキングが表示されない 不具合を修正しました
  - システム設定において、インデックス構築状況、現在ログイン中のユーザー、アクセスログレポートの時刻が12時間形式で表示されてしまう不具合を修正しました
  - installer.logが読み取り専用である場合にバージョンアップインストールを開始できない問題を修正しました
  - ACLサーチが有効な場合に長いファイル名(260文字以上)のファイル、フォルダの検索ができない問題を修正しました

#### 2015/05/28 ver.3.4.0.7

- 不具合修正

- 設定パラメーター[filelist\_maxsize\_mb]の値を2048(2Gバイト)以上に設定できない不具合を修正しました
- 一括ダウンロードに失敗する場合がある不具合を修正しました。これはver.3.4.0.4にのみ含まれる不具合です

## 2015/05/11 ver.3.4.0.4

### • 変更点

- グラフィック表示機能が廃止されました。これによりInternet Explorer6,7はサポート対象外となります。
- ツリービュー内のドキュメントレートの順番が管理ツール > 基本設定 > ドキュメントレートの順番から、五十音順に変更されました
- アクセスログファイル内のファイルパス表記が変更されます
- /resへの参照が無くなりました
- フォルダコピー時のアクセスログが親フォルダのログのみになりました。旧バージョンではフォルダ内の全てのファイル・フォルダについて出力されていました
- FbStorage.exe, FbProperty.exe FbAclManager.exe のサポートを終了いたします
- ユーザー招待機能が廃止されました

### • 新機能

- ファイル一覧画面をクリック時に別ウィンドウで開く機能が追加されました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [gridview\_pathlink\_type]にshownewviewを指定してください
- ファイルアップロード時にプログレスバーが表示されるようになりました。(Google Chrome, Firefox, Internet Explorer10以降で対応しています)
- Jw\_cadファイルのプレビュー、テキスト抽出に対応しました。別途 JacConvert (<http://homepage3.nifty.com/jacconvert/>) のライセンスが必要です
- XDW(DocuWorks)ファイルのアノテーション(テキスト、付箋)の全文検索に対応しました。PDFプレビューにも対応しました
- Excelファイルのhtmlプレビューの最大ページ数を変更できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [xls\_max\_sheetcount]から設定できます
- プレビュー未作成のファイルを閲覧時にプレビューが作成されたかを問い合わせる間隔を変更できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [preview\_reload\_interval]から設定できます
- ダウンロードできるファイルの種類を制限できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > メニュー > [menu\_download\_extlist]から設定できます
- Javaアップロードメニューを非表示にできるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > メニュー > [menu\_javaupload]から設定できます
- Javaアップロード時の分割時サイズを変更できるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 > [javaupload\_chunksize]から設定できます
- 検索ボックスを非表示にできるようになりました。管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > メニュー > [menu\_search]から設定できます
- ファイルコピー処理の終了を待機できるようになりました。旧バージョンではコピー処理に時間がかかる場合にブラウザがタイムアウトしていました

### • 不具合修正

- 除外テキスト抽出パスに指定されているファイルのテキストが抽出されてしまう不具合が修正されました
- 管理ツールの数値エディットで2147483648(32bit整数)以上を設定できない不具合が修正されました
- 異なるドライブが指定されているドキュメントレート間でのファイルの移動に失敗する不具合を修正しました

- ファイルのリネーム時に大文字小文字のみの変更をした場合にファイルが削除されてしまう不具合を修正しました。（フォルダのリネーム時は発生しません）

#### 2015/02/24 ver.3.3.4.19

- ドキュメントレートのファイルサーバー上でバックアップサービス（WindowsServer DFSレプリケーション等）が稼働している場合で一定サイズ以上のファイルをJavaアップローダーでアップロードすると失敗する問題を修正しました

#### 2014/12/01 ver.3.3.4.10

- ファイルの画像プレビューの全画面閲覧中にブラウザの「戻る」ボタンを押すと、フリーズしてしまう不具合を修正しました
- Javaアップロードにおいて同名ファイルが存在するときに「スキップします」にチェックが入っているにもかかわらず、「アップロード」ボタンを2回押すことで上書きされてしまう不具合を修正しました

#### 2014/11/27 ver.3.3.4.8

- 管理ツールにてドキュメントレートを変更した場合に、ユーザーID/パスワード入力を促して読み取り権限のチェックを行えるようになりました
- プレビューが作成途中のファイルを閲覧時に、すでに作成されたプレビューを「すぐ見る」ボタンを押さずに自動で表示できるようになりました
- 検索時における詳細表示ビューの親フォルダへのリンク表示を見やすくしました
- 一覧出力メニューを非表示にできない不具合を修正しました。（管理ツール 基本設定 WEBアプリ メニュー menu\_getcsvlistから設定できます）
- フォルダに対して削除権限のないユーザーが新規アップロードできるようになりました。（ただし、上書きアップロードは従来通り失敗します）

#### 2014/08/28 ver.3.3.3.34

- 新機能
  - Microsoft Officeファイルの表示・編集に対応しました（別途ライセンスが必要）
  - 初期導入ウィザード機能が追加され、インストール作業が簡単になりました
- 変更点
  - 内包するWebサーバー(Apache)のバージョンが新しくなりました。これによりIPv6に対応されました  
HTTPポートを80番以外でご利用されているお客様は必ずご確認ください
  - 複数ファイルアップロードに対応しました
  - パスワード付きZipファイルの展開ができるようになりました
  - ファイル閲覧画面において、プレビュー作成が完了した場合に自動で再表示されるようになりました
  - システム設定 -稼働状況 から設定ファイルを一括でダウンロードできるようになりました
- 不具合修正
  - Google Chromeにてログアウトできない不具合を修正しました
  - ファイルパスが260文字を超えるファイルのアップロードに失敗する不具合を修正しました

2014/06/30 ver.3.3.2.71

- キーワード「\*」で検索を繰り返すとWebサーバーがフリーズしてしまう不具合を修正しました

2014/04/03 Ver.3.3.2.59

- 新機能
  - 一覧出力がEXCEL形式に対応しました
  - テキストファイルの編集ができるようになりました
  - Zipファイルの展開ができるようになりました
  - pps, ppsm, ppsx, docm, pptm, xlsb, xls m ファイルのプレビューに対応しました
  - docm, pptm, xlsb, xls m ファイルの全文検索に対応しました
- 変更点
  - プレビュー作成方法が変わりました
  - ブラウザ上でプレビュー作成設定はできなくなります。
  - .Net Framework2.0がシステム要件に追加されました
  - ファイルの閲覧画面が新しくなりました
  - ビューワーが使いやすくなりました
  - 背景色を変更できるようになりました
  - コメント、概要を置めるようになりました
  - Apple iPadでの操作レスポンスが向上しました
  - システム設定画面がInternet Explorer6,7はサポートされなくなりました
  - PCブラウザでは検索パネルが常時表示されるようになりました
- 不具合修正
  - Javaアップロードに失敗する不具合が修正されました
  - プロパティを空白で更新すると、それ以後更新できなくなる不具合が修正されました
  - 特定のPDFファイルにおいて、ICC profile エラーが出てプレビュー作成に失敗する不具合が修正されました
  - PHPモジュールがロードされたままになっていた不具合が修正されました
  - ExaPad3.1.8.0から3.3.1.10までのバージョンへアップグレードされたお客様は、本バージョンへアップデートすることでPHPモジュールがロードされなくなります

2014/01/27 Ver.3.3.1.5

- Javaアップローダーが、最新のJava (Version 7 Update 51) に対応しました。
- Javaアップローダーにおいて、ファイル選択のチェックボックスがなくなり、反転することによって選択状態を表すようになりました。(よりWindowsエクスプローラに近づきました。)
- バージョンアップ時に Solr (検索エンジン) のメモリ設定が引き継がれるようになりました。

2013/12/20 Ver.3.3.0.79

- 基本機能
  - CADプレビューが、AutoCAD 2013に対応しました。
  - DWFファイルに対応しました。
  - プレビュー品質が向上しました。
  - プレビューが最新でない場合、ファイル閲覧画面に、メッセージを表示するようになりました。
  - EXIFのOrientationに対応しました。写真のプレビュー作成時に、向きを正しく再現できます。
  - 一部のEPS形式のプレビューの背景が、黒になる事象について、プログラムの変更を行いました。
  - 非常用ライセンスが新たに追加されました。有効にする30日間、ログイン可能ユーザー数が無制限になります。
  - ACLサーチがデフォルトで有効になりました。（新規インストール時のみ）
  - 長いパス（255文字以上）に対応できるようになりました。ファイルの検索やプレビュー閲覧などの基本機能を使うことができます。
  - DocuWorksファイルの、Date型のプロパティが化けて検索できない現象を改善しました。
  - ワイルドカード検索で、大文字小文字を区別しなくなりました。
- ユーザーインターフェイス
  - 全画面プレビューにおいて、マウスホイールやダブルクリックで拡大操作をする際、ポインタ位置を中心に拡大されるようになりました。
  - iPadでログイン時に、パスワードを記憶することができるようになりました。（設定を変更することにより有効になります。）
  - スワイプ操作でのページ送り機能が、iOS 7にも対応しました。
  - セッションハイジャック対策で、直接開く場合にダウンロードして開く動作は行わなくなりました。
- インデックスサーバー
  - Java 64bitに対応しました。64bit版のWindows OSの場合は、自動的にインストールされます。
  - デフォルトの検索インデックスのスキーマがnit\_solr\_uni.zipに変更されました。これにより、全文検索において、アンダースコア（\_）で半角文字列キーワードを分割されるようになります。また、日本語の1文字検索が可能になります。（バージョンアップの場合は、自動的に変更されません。）
  - Apache TomcatがJettyに変更されました。
  - ログファイルの形式と、保存場所が変更されました。
  - インデクサーをAgent化し、負荷を分担させることで、安定性が向上しました。
- 管理ツール
  - 管理ツールのメニューがカテゴリ別に分類され、新しくなりました。
  - システム設定メニューの、インデックス構築状況画面を改良しました。
  - ライセンスファイルの形式が変わり、マシンキーのパラメーターが増えました。（ライセンスファイルの発行時は、マシンキーをお送りいただく必要があります。）
  - Tpldixサービスにスケジュール機能が付きまして、バージョンアップしたお客様は、デフォルトでは無効に設定されます。
  - FbAclManager.exe（拡張セキュリティツール）は管理ツールに統合されました。

2013/09/19 Ver.3.2.7.5

- ファイルのプレビューやインデックスの更新条件を、「更新日時が新しい場合」から「更新日時が不一致の場合」に変更しました。
- EPSファイルのプレビュー精度が向上しました。（EPSのプレビューには、DTPプレビューオプションが必要です。）

2013/08/30 Ver.3.2.6.18

- ファイル一覧画面の、ファイル表示件数を変更できるようになりました。
- xls, docファイルのhtmlプレビューがハイパーリンクに対応しました。
- フォルダを除外して検索ができるようになりました。
- ファイル属性の一括編集時の対象ファイル/フォルダ数の上限値を設定できるようになりました。既定では、100ファイルになっています。
- インデックス再構築の実行画面から、「登録済チェックをスキップする」が非表示になりました。常に登録済チェックをするようになります。

2013/08/08 Ver.3.2.5.21

- Apache, Java, Tomcatのバージョンが新しくなりました。  
Apache httpd : 2.2.25 / Java SE : 7u25 7.0.250.17 / Apache Tomcat : 6.0.37
- パスワードオートコンプリート機能の有効化、無効化を設定できるようになりました。
- DocuWorks 8に対応しました。DocuWorksファイル( .xdw, .xbd )の全文検索、プレビュー作成を行うには、ExaPad のサーバ環境にDocuWorksの製品版がインストールされている必要がありますが、ExaPad 動作環境のすべてにおいて、DocuWorksがインストールできるものではありません。DocuWorksの動作環境などにつきましては、事前に富士ゼロックス様へご確認 ください。

2013/06/28 Ver.3.2.4.20

- 全画面プレビューにおいて、マウススクロールでプレビュー画像を、拡大 縮小できるようになりました。
- ファイルプロパティの一括編集ができるようになりました。

2013/05/23 Ver.3.2.3.0

- Internet Explorer8では、ファイルプレビューを全画面表示しても、画面幅にフィットしたプレビュー表示しかできませんでした。この事象について、プレビューサイズが画面幅を超えている場合は、元の大きさを保持して表示するように改良を行いました。

2013/04/12 Ver.3.2.2.207

- XLS, PDFファイルのプレビュー生成の内部解像度が上がり、より細部まで明瞭になりました。

## 7.3 Ver.3.3.2 - プレビュー作成設定の仕様変更

対象： Ver.3.3.1までをご利用のお客様

### 概要

ExaPadはVersion3.3.2から、プレビューの作成方法が大きく変更されました。

### 背景

これまでのExaPadでは、全てのファイルのプレビューを予め作成しておく「事前作成方式」によって、高速にファイルの閲覧をすることができていました。

しかし、この方式には「導入に時間がかかる」「ファイルサーバーの容量を消費してしまう」といった弊害がありました。そのためにプレビューの上限ページ数を設定しなければならず、全てのページを閲覧できない、などの問題も発生していました。

## 変更点

ExaPad Ver.3.3.2からは、ファイルに初めて開いたタイミングで、プレビューを作成する「随時作成方式」も採用しました。

これにより、開いたファイルは全ページ（ページ数は設定で変更可能）が閲覧可能になり、閲覧されないファイルのプレビューは作成されない、ので時間と容量を削減できます。

また、フォルダを開いたタイミングで、そのフォルダにある全てのファイルの先頭ページサムネイルを作成します。

「随時作成方式」で作成されたプレビューには保存期限があり、プレビューの掃除を行うことで120日間（設定で変更可能）閲覧されていらないプレビューが削除されます。

バージョンアップされるお客様は、今まで通りの「事前作成方式」のままで動作します。「随時作成方式」を動作させるには設定の変更が必要です。

大きく以下の3点が変更されました

- プレビュー設定は管理ツールで設定します。
- プレビュー作成方法が「事前作成」と「随時作成」の2つの方式に分けられました。
- 「随時作成」で作成されたプレビューには保存期限が設けられ、掃除を行ったタイミングで期限の過ぎたプレビューは削除されます。

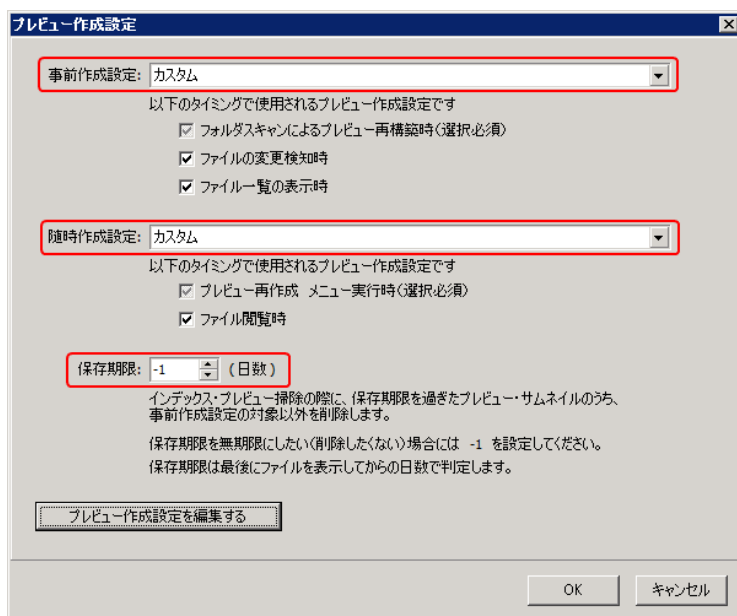
## 「随時作成方式」への変更方法

Ver.3.3.2へバージョンアップ後、「随時作成方式」を利用する場合は次の手順で設定してください。

- 事前作成設定：先頭サムネイルのみ
- 随時作成設定：先頭100ページ
- 保存期限：120日

1. 管理ツール > 高度な設定 > テキスト・プレビュー抽出 > プレビュー作成設定 を開きます。

- 以前のプレビュー作成設定が「カスタム」として移行されています。
- 保存期限が「-1」に設定されているため、プレビューに保存期限は全く削除されません。



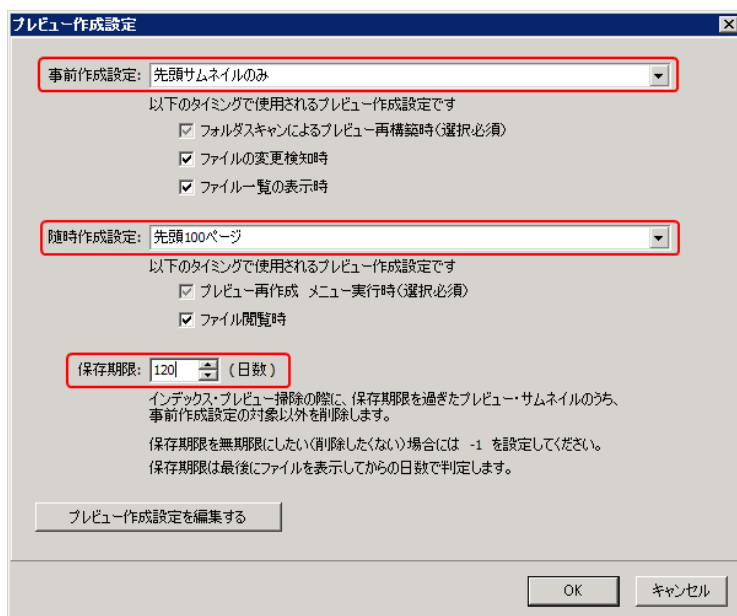
## 2. 事前作成設定を変更します

- プレビュー作成設定を「先頭サムネイルのみ」に変更します。
- 「ファイルの変更検知時」「ファイル一覧の表示時」にチェックを入れます。

## 3. 随時作成設定を変更します

- プレビュー作成設定を「先頭100ページ」に変更します。
- 「ファイル閲覧時」にチェックを入れます。

## 4. 保存期限を120に変更します



## 5. 「OK」ボタンを選択し、サービスを再起動します。



## 7.4 Ver.3.2.2 - 新UIの実装と仕様変更

ExaPad Ver.3.2.2のリリースに際しては、グラフィカルユーザインタフェース（以下GUI）を刷新して、使い勝手の向上を目指しました。一部機能においては仕様の変更点があり、バージョンアップされる場合は必ず確認してください。

### バージョンアップされるお客様へ

上書きインストール直後は、従来のGUIのままで表示されます。（アイコン等一部の表示は変更されます。）  
新しいインターフェイスでご利用になるには設定の変更が必要です。

#### 新UIで表示する方法

1. ExaPad管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 を開きます。
2. 「use\_classic\_ui」の行をダブルクリックで開き、「値」のチェックを外します。（設定値がOFFになります。）
3. 通常運用ツール > サービス確認 起動 終了 を開いて、Webサーバー(Apache) を再起動します。

### 新機能

- ファイルを全画面表示した場合に、ページの移動が楽にできる、スワイプ機能を搭載しました。
- プレビューが作成されていないファイルを表示した際に自動でプレビューを作成するようになりました。
- 「このページへのリンク」を廃止して、新たに「ワンプスを表示」機能を追加しました。
- モバイル端末からのアップロードやコピー・移動などの各種ファイル操作がPCと同様に可能となりました。  
（アップロードの可否については端末の機能にも依存します。）
- Adobe Illustrator形式 ".ai" ファイル（PDF互換のみ）が全文検索対象ファイルになりました。
- ファイル名検索が、全角・半角1文字キーワードでの検索に対応しました。  
（バージョンアップ後に本機能を有効にするには、検索インデックスの初期化と再構築が必要です。）
- 「フォルダを開く」に失敗した場合、アクセスログに、拒否・ファイル参照が出るようになりました。

### 廃止された機能

- PC画面とモバイル画面の切り替え機能はなくなりました。  
（モバイル端末からアクセスするとPCでは表示されるフォルダツリーが自動的に非表示になります。）
- フォルダのコメント機能は廃止されました。旧バージョンで使用していたコメントは、バージョンアップすると表示されなくなります。  
（各ファイルのコメント機能や、フォルダの概要については従来通り利用できます。）
- プロパティ一括更新機能、コメント一括削除機能は廃止されました。プロパティ一括更新機能は、Ver.3.2.4.20で再実装されました。
- Flashアップローダーは廃止されました。

## その他注意事項

- Internet Explorerの対応バージョンが8.0以降になりました。  
(Internet Explorer 6, 7 を使用した場合、新しいGUIでは表示されずに、旧GUIでの表示となります。)
- 管理者の設定により、モバイル端末を含むすべてのブラウザで、旧GUIを表示して使うこともできます。  
(廃止された機能を旧UIでは使用可能です。旧UIでは自動プレビュー作成機能のみ新機能が動作します。)

### 1文字キーワードでのファイル名検索を有効にする方法

この設定は、Ver.3.2.2 より古いバージョンからバージョンアップしたお客様が対象です。

新規にインストールした場合は必要ありません。

1. ExaPad管理ツール > 通常運用ツール > サービス確認 起動 終了 を開いて、インデクサー (Fb3Indexer) とWebサーバー (Apache) を停止してください。
2. ExaPad管理ツール > 通常運用ツール > 検索インデックス構築 を開きます。
3. 全文検索インデックスの項目の「初期化」ボタンを押します。
4. ダイアログに従って操作を進めてください。初期化したメッセージが表示されたら、「OK」ボタンを押してダイアログボックスを閉じます。  
これまでの操作で、検索インデックスの初期化が完了しました。続いて、検索インデックスの再構築をお願いします。
5. ExaPad管理ツール > 通常運用ツール > サービス確認 起動 終了 を開いて、インデクサー (Fb3Indexer) とWebサーバー (Apache) を開始してください。
6. ExaPad管理ツール > 通常運用ツール > 検索インデックス構築 を開きます。
7. インデックス再構築の項目の「検索インデックス登録を行う」と「登録済チェックをスキップする」の2か所にチェックを入れます。
8. 実行ボタンを押すと「それでは実行します」と表示されるので、「OK」を選択してください。
9. 検索インデックスの再構築が開始されました。完了するまでお待ちください。  
検索インデックスの再構築操作は、WEBブラウザでExaPadにアクセスして、システム設定 > メンテナンス操作 > インデックス再構築からでもできます。

### [補足：旧GUIで使用する]

- ExaPad3.2.2管理ツール > 基本設定 > WEBアプリ > その他 を開きます。
- use\_classic\_uiをダブルクリックして「値」にチェックを入れて「OK」を押します。(設定値がONになります。)
- 通常運用ツール > サービス確認 起動 終了 > Webサーバー(Apache) を再起動します。以上で設定は完了です。

## 7.5 Ver.3.2.1.0 - PHPの利用廃止

### 概要

ExaPadVer.3.2.1.0から、従来のプログラムで使用していたPHPの利用を廃止しました。

ExaPadVer.3.2.1.0より古い環境から、ExaPad最新版を上書きインストールすることが可能です。

旧バージョンのインデックスデータはそのまま引き継ぐことができますので、インデックスの初期化は必要ありません。

### 対象となるお客様

ExaPad Ver.3.1.8.0 を含む、それ以前のバージョンをご利用中で、Ver.3.2.1.0以降にバージョンアップされるお客様。

## 備考

PHPの廃止に伴い、旧ExaPadで設定されていたPHP関係のパラメータ値は、廃止もしくは新パラメータとして自動で移行されます。

### 自動移行される php.ini のパラメータ

移行元 php.ini パラメータ名	移行先パラメータ名	意味
session gc_maxlifetime	session_lifetime_seconds	ログインセッションを維持する時間(秒)
session cookie_lifetime	stay_logged_in_after_closing_browser	ブラウザを閉じて開いたときに、ログイン状態を維持するかどうか。session cookie_lifetime が 0 より大きい値に設定されていた場合に 1 に設定されます。
upload_max_filesize	upload_max_filesize_kb	ファイルアップロード時の最大ファイルサイズ (KB)

### 削除された php.ini のパラメータ

パラメータ名
phpmodules_timeout_seconds
max_phpmodules

- ❖ IISでPHPを運用していた場合、Ver.3.2以降では使用できなくなります。
- ❖ 統合Windows認証機能 ( windows\_authentication=1) は使用できなくなります。

## 7.6 Ver.3.1.8.0 - Solr3.6への自動バージョンアップ

### 概要

ExaPadVer.3.1.8.0 から Apache Solr のバージョンが 1.4 から3.6 へバージョンアップされました。

これにより、ワイルドカードによる後方一致検索に対応し、検索時のパフォーマンスが向上します。

ExaPad Ver.3.1.8.0より古い環境からも、ExaPad 最新版をインストールすることで自動で Apache Solr のバージョンアップが行われます。

旧バージョンのインデックスデータはそのまま引き継ぐことができるため、インデックスの初期化・再構築は必要ありません。

## 対象となるお客様

ExaPad Ver.3.1.7.5 を含む、それ以前のバージョンをご利用中で、Ver.3.1.8.0以降にバージョンアップされるお客様。

## 備考

インストール中に、Apache Solr のバージョンアップに失敗した場合は、旧バージョンのSolrを引き続き使用します。

失敗原因を取り除いた後、ExaPadを再度インストールことでバージョンアップできます。

Apache Solr のバージョンアップに失敗する原因は、他のアプリケーションによって [インストールフォルダ]\Fb3Solr のフォルダがロックされている場合です。

ロックするアプリケーションの代表例としては、Windowsエクスプローラーや、セキュリティソフトなどが考えられます。

## 7.7 Ver.3.1.7.4 - Apache2.2への自動バージョンアップ

### 概要

ExaPad Ver.3.1.7.4から Apache のバージョンが 2.0 から2.2 へバージョンアップされました。

ExaPad Ver.3.1.7.4より古い環境からも、最新版をインストールすることで自動的に Apache のバージョンアップも行われます。

Apache の自動アップグレードでは、既存 Apache の環境が移行されないため、Apache の環境を変更されている場合には再設定が必要です。

Ver.3.1.7.5からポート番号については旧環境から引き継がれるようになりました。

## 対象となるお客様

ExaPad Ver.3.1.7.4より以前のバージョンから、3.1.7.4 以降のバージョンへバージョンアップし、かつ Apache の環境を変更している場合。

例 ) SSL環境で使用している場合

## 再設定方法

自動で Apache がバージョンアップされた場合、古いバージョンのApacheは

<インストールフォルダ>\Apache

から

<インストールフォルダ>\Apache2\_0\_backup

へリネームされます。

必要に応じて設定ファイルを移行してください。

## 7.8 Ver3.3.3.34 - Apache2.2.27(IPv6対応版)への自動バージョンアップ

### 概要

ExaPad Ver.3.3.3.34から、使用するApache のバージョンが 2.2.25 から 2.2.27 へバージョンアップされました。

ExaPad Ver.3.3.3.34より古い環境からも、最新版をインストールすることで自動的にApacheのバージョンアップも行われます。

Apache の自動アップグレードは、既存 Apache の環境が移行されたため、そのままご利用できます。

このバージョンのApacheからIPv6 接続が可能になりますが、標準ではIPv4 でのみ接続するように設定されています。

Apache を 80 (SSL443) 番ポート以外でご利用中のお客様は、IPv4・IPv6 両方で接続できる状態になる可能性があります。アクセスログにIPv4・IPv6 のIPアドレスが混在してしまうなどの弊害がでるため、どちらか一方 (IPv4) での運用を推奨いたします。

### 対象となるお客様

Ver.3.3.3.34より以前のバージョンをApache を 80(SSL443)番ポート以外でご利用中で、かつIPv6 に対応したネットワーク環境で運用されているお客様。

### 設定方法

ここでは、IPv4固定の設定を行います。

<インストールフォルダ>\Apache\conf\httpd.conf

を開き、Listen で始まる行を探してください。

通常は以下のように

Listen 80

や

Listen 0.0.0.0:80

などのようになっています。

- 0.0.0.0:80 のようなポート番号の前に初めから0.0.0.0: がついている場合は、IPv4 接続で固定化されているため変更は不要です。
- 0.0.0.0: がついていない場合は、付与してください。
- SSL環境のお客様はhttpd-ssl.confもご確認ください。
- 設定後、WEBサーバーを再起動してください。

## 7.9 Ver3.4.0 - 旧UIの廃止と仕様変更

### 概要

ExaPad Ver.3.4.0から、旧UI(クラシック表示)が完全に廃止され、Ver.3.2.2から導入されている新UIで動作します。

Internet Explorer6・7 ではご利用できなくなります。

それに伴う仕様変更と、それ以外の重要な変更についてお知らせします。

## 旧UIの廃止（Internet Explorer 6・7のサポート終了）

これまで Internet Explorer 6・7 からアクセスした場合には、自動的に旧UIで表示されていましたが、本バージョン以降ではこの機能がなくなり、必ず新UIで表示されます。（旧UIは使用できません。）

そのため Internet Explorer 6・7 では、Javascript や CSS が動作しないなどの理由で正常にご利用いただけなくなります。

旧UIの廃止に伴い、次の設定項目が削除されます

- use\_classic\_ui
- breadcrumbs\_contextmenu\_enabled
- breadcrumbs\_pathlink\_enabled
- contextmenu\_file
- contextmenu\_folder
- dateselector\_yearrange
- filelist\_fixedfirst
- filelist\_fixedorder
- filelist\_fixedviewtype
- filelist\_hidesubdir
- filelist\_showsubdir\_ingrid
- filestorage\_disabled
- flatsubdir\_agents
- gridview\_contextmenu\_enabled
- gridview\_pathlink\_enabled
- gridview\_pathlink\_type\_dclick\_list
- menu\_advsearch
- menu\_list\_copy
- menu\_list\_delete
- menu\_list\_move
- menu\_list\_recreate
- menu\_m\_lang\_select
- menu\_m\_loginlogout
- menu\_m\_pc\_or\_mobile
- menu\_m\_propertylink
- menu\_m\_referer
- menu\_searchbody
- menu\_searchbutton
- menu\_searchname
- mobile\_android\_forcedownload
- mobile\_gridview\_pathlink\_type\_list
- mobile\_links\_in\_grid
- mobile\_pages\_maxcache
- prefer\_flash\_uploader
- showdownloadlinkdialog
- showfileselector
- subdir\_contextmenu\_enabled

subdir\_pathlink\_enabled  
textsearch\_enabled  
upload\_file\_dialog

## アクセスログファイルのパス形式の変更

本バージョンからアクセスログに記録されるファイルのパス形式が、ExaPad独自の「ファイルシステムパス」形式へ変更されました。

例えば、ドキュメントルートが C:\Share、エイリアスが SH1 に設定されている場合、C:\Share\SubDir フォルダは次のように出力されます。

- 旧バージョン

C:\Share\SubDir

- 新バージョン ( ファイルシステムパス )

/SH1/SubDir

アクセスログ集計ツールは旧バージョンのアクセスログファイルにも対応しているため、そのままご利用できます。

ランキング集計時に「ファイル/フォルダ絞込み」を指定している場合は、修正が必要になります。

ファイルシステムパスについて、詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

## 旧ツールのサポート終了

次のツールはExaPad Ver.3.4.0以降使用できません。

- FbProperty.exe

ファイル拡張属性設定ツール。今回のインストーラーから含まれません。今後はAPI[setfileproperty, getfileproperty] をご利用ください。

次のツールは既に使用できません。

- FbStorage.exe

旧ファイル拡張属性設定ツール。FbProperty.exeの前身。既にインストーラーには含まれていません。

- FbAclManager.exe

旧セキュリティ拡張設定ツール。既にインストーラーには含まれていません。

## 7.1 Ver3.4.1.1 - Windows XP, 2003のサポート終了と仕様変更

0

### 概要

1. Windows XP, 2003 がサポート対象外となりました。
2. Webサーバー(Fb3Apache)サービスは、Local System 以外のアカウントでは起動できなくなりました。

3. 同一ドキュメント内でのファイル・フォルダの移動時に、移動先のセキュリティ権限を継承するようになりました。
4. 直接ファイルオープンツールのインストール方法が変更されました。

## 変更点

1. Windows XP、2003 がサポート対象外となりました。
  - Ver.3.4.1.1以降、ExaPad本体および直接ファイルオープンツールはサポート対象外のOSにインストールできません。
  - 旧バージョンを上記OSで使用しているお客様のサポートは引き続き継続されます。
2. Webサーバー(Fb3Apache) サービスは Local System 以外のアカウントでは起動できなくなりました。
  - 旧バージョンでは、Webサーバーの実行アカウントを変更することが可能でしたが、今後はLocal Systemアカウント以外では使用できません。
  - Local System 以外のアカウントでもサービスは起動されますが、ExaPadにブラウザからアクセスしたときにエラー画面へ移動します。
3. 同一ドキュメント内でのファイル・フォルダの移動時に、移動先のセキュリティ権限を継承するようになりました。
  - 従来は移動元のWindowsセキュリティ権限が引き継がれていましたが、Ver.3.4.1.1以降は同一ドキュメント内でのファイルおよびフォルダの移動時に、移動先のWindowsセキュリティ権限が引き継がれるようになりました。
  - Windows 7 / 2008 など、新しいWindowsエクスプローラーの動きに合わせた仕様変更です。
  - 異なるドキュメント間での移動も従来どおり、移動先のWindowsセキュリティ権限が引き継がれます。
4. 直接ファイルオープンツールのインストール方法が変更されました。
  - 旧バージョンでは、直接ファイルオープンツール ( FbClient ) のインストール時に各ブラウザのプラグインもインストールすることで、FbClient がインストールされているかを判定していました。
  - 最新のブラウザやExaPadが対応していないブラウザでは判定に失敗する場合があります。Ver.3.4.1.1からはFbClientのインストール有無はユーザーの申告に基づいて判断するように変更されました。
  - 詳しいインストール方法は[こちら](#)をご覧ください。

## 7.1 Ver3.5.0 - パス形式の変更

1

### 概要

ExaPad Ver.3.5.0から、URLおよび各種パスの表記法がファイルシステムパス形式に変更されました。

Ver.3.4.1.9まで ( path + dra 方式 ) の例

- URL

<http://server/ExaPad/index.php#path=/sample&dra=DocRoot>



- 設定ファイルなどの表記法

C:\ProgramData\ExaPad\_data\DocRoot\sample

#### Ver 3.5.0以降（ファイルシステムパス形式）の例

- URL

http://server/ExaPad/index.php#path=/DocRoot/sample

- 設定ファイルなどの表記法

/DocRoot/sample

## 背景

従来のExaPadでは、ファイルのパスをC:\ProgramData\ExaPad\_data\DocRootのような実際のパスを指定していました。この方式ではドキュメントルート場所が変更された場合に、実際のパスが指定されている全ての設定箇所の修正が必要であり不便でした。

そこで実際のパスではなく、仮想のパス（ファイルシステムパス）で設定できるようにして、実際のパスはドキュメントルートの設定にのみ指定し、他の設定はファイルシステムパスで指定できるようにしました。

既にプレビュー設定や、アクセスログファイルなどご使用されていましたが、今回URLと設定ファイルなどの表記法もファイルシステムパスを使用するように統一しました。

## ファイルシステムパスの仕様

### エイリアスが指定されている場合

- ドキュメントルート: C:\ProgramData\ExaPad\_data\DocRoot

- エイリアス: Document

C:\ProgramData\ExaPad\_data\DocRoot\sample.txt は次の表記になります

/Document/sample.txt

### エイリアスが指定されていない場合

/エイリアスが省略され、ドキュメントルートからの相対パスで表記します。

- ドキュメントルート: C:\ProgramData\ExaPad\_data\DocRoot

- エイリアス: 指定なし

C:\ProgramData\ExaPad\_data\DocRoot\sample.txt は次の表記になります。

/sample.txt

## 注意点

## 1. URLの表記法

- 前述のようにURLはファイルシステムパスが適用されます。
- 下位互換のためにindex.php 経由のアクセスやポータル機能では、従来の path +dra 方式でも開くことができ、自動的にリダイレクトされます。
- ブラウザのブックマーク等はそのままだで使用できます。(今後サポートされない可能性もあるため、なるべくお早めに更新してください)

## 2. 設定ファイルの表記法

- 管理ツールの「除外設定」「アクセスログ集計」「ファイルプロパティ拡張」「セキュリティ拡張」で、ファイル・フォルダを指定している箇所はExaPadVer.3.5.0までは実際のパスで表記されていましたが、全てファイルシステムパスが適用されます。
- バージョンアップ時に自動で変換されるため修正は不要ですが、念のためバージョンアップ後に確認ください。

## 3. ユーザー招待機能のドメインフォルダ

- ユーザー招待機能の基本となるフォルダは、従来まで実際のパスで表記されていましたが、Ver.3.5.0からファイルシステムパスが適用されます。
- ユーザー招待機能をご利用中のお客様は、ドメインフォルダをファイルシステムパスへ手動で設定を変更してください。

## 4. tpidxcmd.exeのpathパラメーターの表記方法

- ExaPadに同封されている tpidxcmd.exe で path パラメーターを指定できるコマンドは、ファイルシステムパスが適用されます。
- 定期タスクなどで利用されているお客様は設定を変更してください。

## 5. ポータル機能の変更点

- [ポータル機能](#)で docroot \*.html を使用できなくなりました。各ドキュメントルートにindex.html を配置してください。
- html ファイルに書かれている dra パラメーターは引き続き対応されます。
- APIを直接呼び出している箇所は、dra パラメーターには対応されないため修正をしてください。

## 6. アクセスログにおける前バージョンのファイルシステムパスの違い

- アクセスログファイルはExaPadVer.3.4.0にて、パス形式がファイルシステムパスへ適用されています。
- エイリアス設定がない場合、Ver.3.4.1.9まではダミーのエイリアス \_\_root\_\_ が出力されていました。
  - Ver.3.4.1.9まで  
/\_\_root\_\_/sample.txt
  - Ver.3.5.0以降  
/sample.txt
- [アクセスログ集計ツール](#)では自動的に新しいパス形式へ変換しますが、お客様が独自にアクセスログ集計を行っている場合にはご注意ください。

## 7.1 Ver3.5.1.1 - アクティベーション(ライセンス認証)が必要になりました 2

### 概要

ExaPadVer.3.5.1.1からインターネット接続によるアクティベーション(ライセンス認証)作業が必要になりました。  
アクティベーションの実施がないとご利用いただけなくなります。  
一度アクティベーションを行ったマシンでは、その後のExaPadバージョンアップ時のアクティベーションは不要です。

### アクティベーション方法

- Ver.3.5.1.1より前のバージョンをご利用の場合
  - Ver.3.5.1.1より前のバージョンを引き続きご利用される場合は、アクティベーションの実施は不要です。
  - Ver.3.5.1.1以降にバージョンアップされる場合は、インストーラーに実行時にアクティベーションの実施が必要です。
- 評価利用中
  - アクティベーションの実施は不要です。
  - Ver.3.5.1.1以降へバージョンアップする場合にもアクティベーションの実施は不要です。
- 初めてライセンスを購入された場合  
Ver.3.5.1.1以降、初めてライセンスを導入する時にアクティベーションの実施が必要です。

アクティベーション操作については[ライセンスの適用](#)をご覧ください。

## 7.1 Ver3.6.0.1 - 管理ツールのWeb化、 3 ドキュメントルートエイリアスの省略禁止、 トップフォルダの表示

### 概要

ExaPadVer.3.6.0.1での大きな仕様変更は次の3点です。

#### 1. 管理ツールのWeb化

今までExaPad付属の管理ツールで行っていた作業をWebブラウザを通してレポートからも設定を変更できるようになります。(ライセンス適用などの一部機能は今まで通り管理ツールでのみ対応しています)

レポートから設定を変更するには後述の設定が必要です。

#### 2. ドキュメントルートエイリアスの省略禁止

ExaPadVer.3.5.1.1まではドキュメントルートが1つの場合に限りエイリアス名を省略(空)することが可能でしたが、今バージョンからは設定されていないと使用できなくなります。そのような環境でバージョンアップを行うと"default"というエイリアス名が自動でセットされ

ます。

### 3. トップフォルダの表示

ExaPadVer.3.5.1.1まではドキュメントルートが2つ以上ある場合、その仮定の親フォルダとして"トップ"と言うフォルダが存在していました。Ver3.6.0.1からは、ドキュメントルートが1つの場合でもトップが表示されるようになりました。

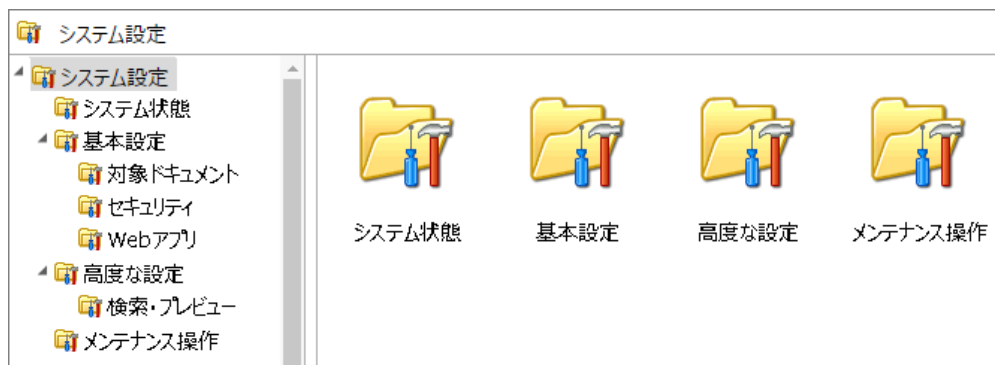
## 1. 管理ツールのWeb化

### 新しいシステム設定画面を開く

ExaPadにログイン後、フッタのシステム設定リンクを選択します。



システム設定画面が開き、機能や配置は概ね以前の管理ツールと同じになっています。



## リモートPCから設定を変更できるようにする

セキュリティの観点から、標準のままだとExaPadがインストールされたマシン以外からは設定変更ができないようになっていました。  
(システム設定画面を開くとAccess Denied (adminnetlist) (EWebFbAdminNetListError)と表示されます)

インストールマシン以外からも設定を変更できるようにするには、次の手順で設定してください。

1. Webブラウザでログインし、システム設定画面を開く
2. システム設定 > 高度な設定 > その他全設定項目(config.ini) の "adminnetlist" に接続を許可するIPアドレスの範囲を設定します。
3. 「保存する」を選択し、WEBサーバーを再起動してください。

## 2. ドキュメントルートエイリアスの省略禁止

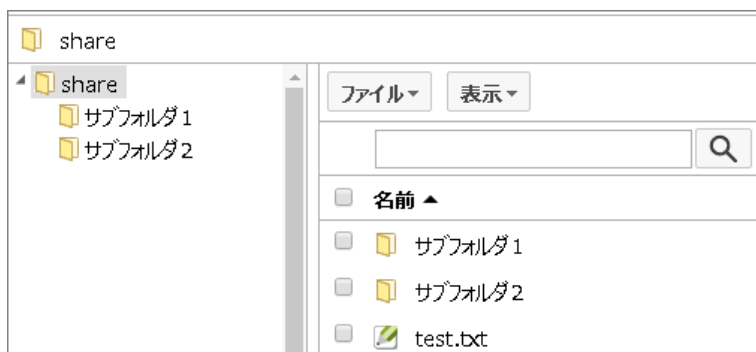
ExaPadVer.3.5.1.1まではドキュメントルートが1つの場合に限りエイリアス名を省略(空)することが可能でしたが、今バージョンからは設定されていないと使用できません。そのような環境でバージョンアップを行うとdefault"というエイリアス名が自動でセットされます。

### エイリアスが空からdefaultに変更した場合の影響

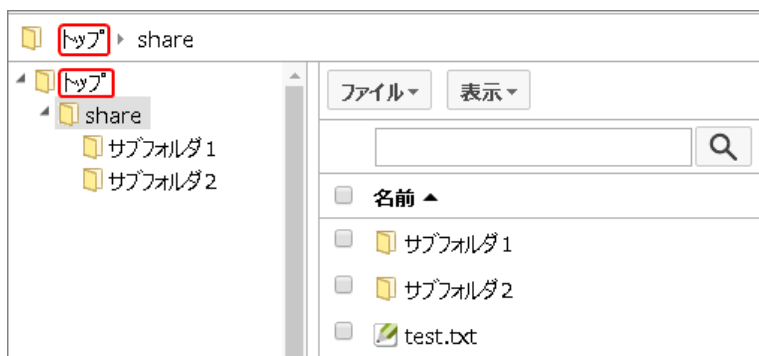
- ドキュメントルートがC:\shareに設定されている場合のC:\share\test.txtの[ファイルシステムパス](#)は以下のように変更されます  
`/test.txt      /default/test.txt`
- ブラウザのブックマークなど、エイリアスが含まれない古いパスでアクセスした場合には自動的にリダイレクトされるのでそのまま変更不要です
- 検索インデックスやプレビューファイルの再作成は不要です。そのままご利用いただけます

## 3. トップフォルダの表示

Ver3.5.1.1まではドキュメントルートが1つの場合には、以下のように一番上のフォルダはドキュメントルートエイリアス名、またはドキュメントルートが指定しているフォルダ名(ここではshare)になっていました。



Ver3.6.0.1からはドキュメントルートが1つの場合でも必ず、トップフォルダが表示されるようになります。



## 7.1 Ver3.7.0 -

### 4 ユーザ・インターフェース (UI) を刷新して使い勝手をより良くしました

#### 概要

ExaPadVer.3.7.0にてユーザーインターフェース (UI) を刷新して使い勝手をより良くしました。他にもいくつか修正点がありますので必ずご確認ください

#### 1. ユーザーインターフェースの刷新

タブレットなどのモバイル端末でも快適に操作できるように、操作メニューをシンプルに、閲覧画面を広くしました

#### 2. Acrobat Readerを使わずにPDFファイルをプレビューできるようになりました

Ver3.6.1まではPDFファイルの閲覧はAdobe Acrobat Readerを起動するか、画像でのプレビューで行っていました。Ver3.7.0からはPDFファイルを独自にレンダリングできるようになりました。これにより、Acrobat Readerがインストールされていない環境でもページ内での検索や、テキストの選択などができるようになりました

Office文書やCADファイルもPDFプレビューが可能です。後述の説明をご覧ください

#### 3. 統合Windows認証機能を一時的に無効化します

申し訳ございませんが、対応されるまでしばらくお待ちください。詳しくは後述の説明をご覧ください

#### 4. 他の人が投稿したコメントは削除できなくなりました

Ver3.6.1までは投稿されているコメントを誰でも削除することができましたが、今後は自分が投稿したコメントのみ削除できます  
ExaPad管理者はすべてのコメントを削除できます

## 1 . ユーザーインターフェースの刷新

### 一覧画面



ファイルメニューを右側に移動し ツールバーを1行にまとめました

[結果をさらに表示] ボタンを廃止し 自動で次の結果を表示するようにしました

#### 閲覧画面

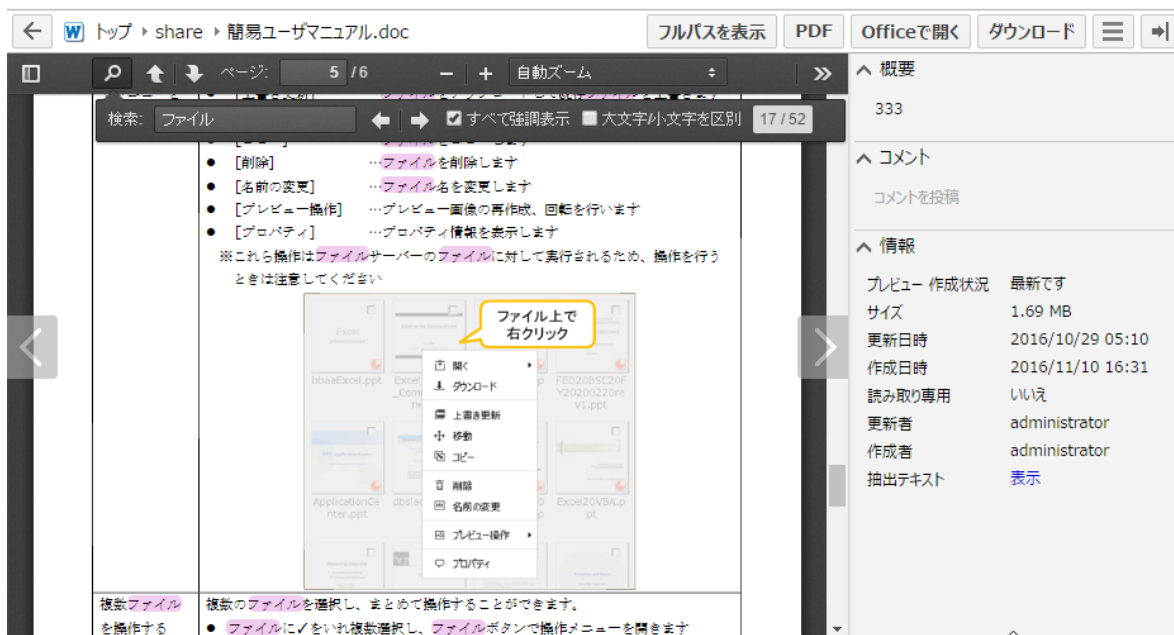


ヘッダーの製品ロゴを非表示にし ツールバーを1行にまとめました

概要、コメントを入力しやすく、ファイルの情報を表示するようにしました

次のファイル、前のファイルボタンを中央に移動し、大きくしました

## 2. Acrobat Reader を使わずにPDF ファイルをプレビューできるようになりました



Ver3.6.1まではPDFファイルの閲覧はAdobe Acrobat Readerを起動するか、画像でのプレビューで行っていました。  
Ver3.7.0からはPDFファイルを独自にレンダリングできるようになりました。

これによりAcrobat Readerがインストールされていない環境においても、PDFファイルやOffice文書(docx, pptx, xlsx)のPDFプレビューファイルの「ページ内での検索」や、「テキストの選択」などができるようになりました。

ファイル一覧画面から検索して閲覧画面を開いた場合は検索キーワードが引き継がれます。

Internet Explorer9, 10は、旧来通りAcrobat Readerでの表示となります。

### Ver3.6.1以前のバージョンをご利用中のお客様

Ver3.6.1以前のバージョンをご利用中のお客様は設定を変更しない限り、Office文書(docx, pptx, xlsx)のPDFプレビューは作成されない設定になっています。

Office文書のPDFプレビューを作成する場合は、設定を変更し、その後一旦すべてのプレビューファイルを削除する必要があります。

詳しくは以下の手順にしたがってください。

1. Ver3.7.0へアップデートします。
2. ブラウザからログインし、システム設定 > 高度な設定 > 検索・プレビュー > プレビュー作成設定にて、「随時作成設定」を[PDF] もしくは[PDF\_HTML] にします。  
 [PDF] : Word, PowerPoint, ExcelファイルをPDF形式でプレビューする場合  
 [PDF\_HTML] : Word, PowerPoint ファイルはPDFで、ExcelファイルはHTML形式でプレビューする場合
3. サービスを再起動します。
4. 管理ツールを起動し、保守ツール > プレビュー保存フォルダ整理 画面から「プレビュー削除」にチェックを入れ実行ボタンをクリックします。これにより既存のプレビュー画像が削除されます。

**デフォルトでは全てのドキュメントに対して、全てのプレビューファイルの削除を行いますので注意してください！！**

Office文書のプレビューだけを削除したい場合は、「ファイル種類(マスク)」にプレビューを作り直したいファイル種類を指定してください。



#### 5. ブラウザからログインし、各ファイルの閲覧ページに移動してください

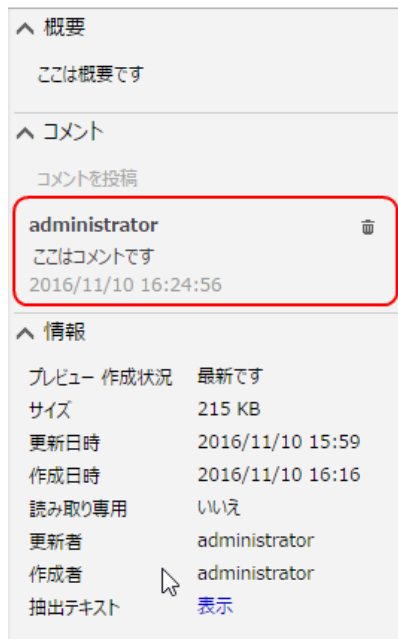
プレビュー作成処理が開始され、しばらくするとPDF形式でプレビューが表示されます

### 3. 統合Windows認証 機能を一時的に無効化します

統合Windows認証を使用している場合、環境によっては頻繁にセッションが途切れる不具合が見つっております。そのため今回のバージョンでは、統合Windows認証機能を無効化しております。申し訳ございませんが、対応されるまでしばらくお待ちください。

システム設定 > 基本設定 > セキュリティにて [統合Windows認証] が有効になっている場合であっても、機能は無効化されます

### 4. 他の人が投稿したコメントは削除できなくなりました



Ver3.6.1までは投稿されているコメントを誰でも削除することができましたが、今後は自分が投稿したコメントのみ削除できます

ExaPad管理者はすべてのコメントを削除できます

## 7.1 Ver3.8.0 - WebサーバーがApache HTTP

### 5 Serverからアプリケーションサーバー一体の独自Webサーバへ変更されます

#### 概要

Version3.8.0からExaPad内部で使用しているWEBサーバーを独自Webサーバへ変更しました

独自Webサーバへ変更することによるメリットは以下の通りです

#### 1. セキュリティの強化

主にSSL通信の安全性が強化されました。

現時点で安全であることはもちろん、一般的によく使われる ApacheやOpenSSLなどのプロダクトに将来脆弱性が発見されても、これらに依存しない点で同じ攻撃に対して堅牢である可能性が高いといえます。

#### 2. 統合 Windows認証機能の完成

従来は、Apache HTTPサーバを利用するアーキテクチャの限界により、環境によっては統合Windows認証機能によるシングルサインオンの動作に、セッションが頻繁に切れる不具合がありましたが、Ver.3.8.0で統合Windows認証の完全な実装が完了しました。

#### 3. 管理性の向上

原則として弊社提供の管理ツール/システム設定画面で設定変更を行うようになり、ほとんどのお客様にとって設定作業負荷が軽減されます。

従来のApache HTTPサーバの場合のように設定ファイルをお客様が直接編集することは出来ませんので設定ミスの発生余地が激減しています。ただし設定の自由度は失われております。ご了承ください。

また、httpd.confなどの設定ファイルをお客様自身でカスタマイズしていた場合は移行対象となりませんのでご注意ください。

ここではバージョンアップに伴う変更点を説明します。

#### 変更点

##### サービス名がFb3ApacheからFb3Webに変更されます

新しいWEBサーバーのサービス名は「Fb3Web」になります。

Version3.8.0より前のバージョンからアップグレードされた場合はFb3Apacheサービスは削除されずに無効化されます。

##### HTTPS接続時の通信プロトコルがTLS1.1、TLS1.2に限定されます

従来はSSL3.0での接続が可能でしたが、SSL3.0プロトコルの利用には脆弱性があるため禁止しました。

現時点でTLS1.1、TLS1.2に未対応のWebブラウザはほぼありません。従来の対応クライアントブラウザであれば接続可能です。

なお、Internet Explorer9,10でHTTPS接続できなくなる場合があります。その場合は以下の設定を確認してください。

インターネットオプション 詳細設定 セキュリティ

「SSL3.0を使用する」のチェックを外す

「TLS1.0を使用する」のチェックを外す

「TLS1.1を使用」のチェックを入れる

「TLS1.2を使用」のチェックを入れる

暗号化されたページをディスクに保存しない」のチェックを外す

HTTPS接続でJAVAアップロードを使用されている場合も同様に設定が必要になる場合があります。その場合は以下の設定を確認してください

[JAVAインストールフォルダ]\bin\javacpl.exe を起動して

詳細 高度なセキュリティ設定

「TLS1.1を使用する」「TLS1.2を使用する」にのみチェックを入れる

### http,https接続ポート番号の変更方法が変更されます

旧バージョンではポート番号の変更はhttpd.conf, httpd-ssl.confファイルを直接修正していましたが、今後は管理ツールから変更できるようになります

バージョンアップ時にhttpのポート番号は自動で移行されますが、httpsのポート番号は移行されません。変更されているお客様は管理ツールから変更してください

変更方法については[こちら](#)をご覧ください

### カスタマイズフォルダの場所が変更されます

custom フォルダの場所が変更されます

旧

ExaPadインストールフォルダ\Apache\htdocs\ExaPad\custom

新

C:\ProgramData\ExaPad3.0\htdocs\custom

バージョンアップ時に自動で移行されるので別途必要な作業はありません

### IPv4,IPv6接続設定方法が変更されます

旧バージョンではIPv4,IPv6の設定はhttpd.conf, httpd-ssl.confファイルを直接修正していましたが、今後は管理ツールから変更できるようになります

変更方法については[こちら](#)をご覧ください

### Apache アクセスログの代替機能

Apacheにはhttp接続のログを出力する機能がありましたが、これと同様のログをExaPadでも出力可能です

ただし、初期設定では出力されませんのでシステム設定画面から"web\_accesslog\_enabled"パラメータを有効にする必要があります

出力先はC:\programdata\ExaPad3.0\weblog\access.logとなります ( 'weblog\_dir'にて変更可能 )

http接続全てのログが出力されます

Apacheのアクセスログとはフォーマットが異なります

